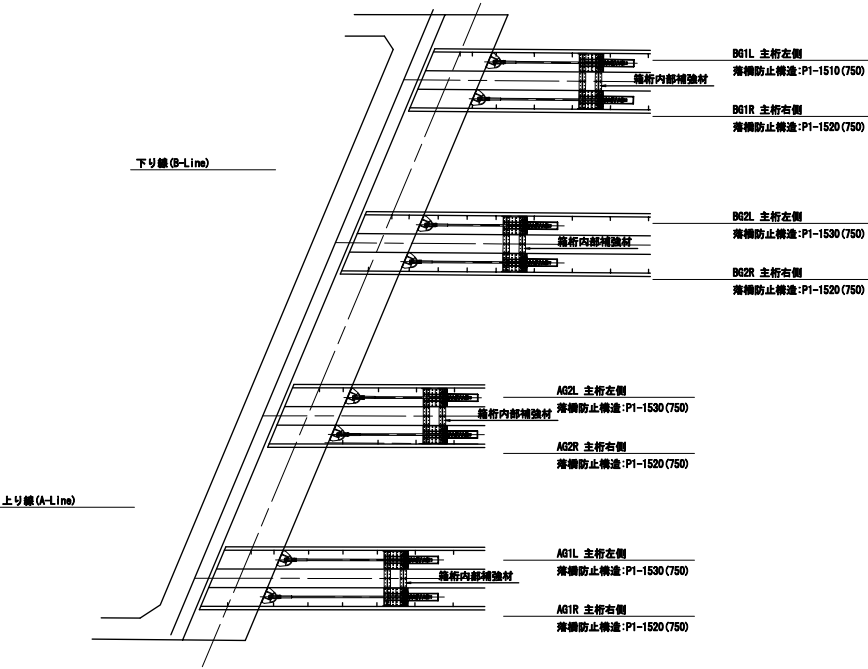
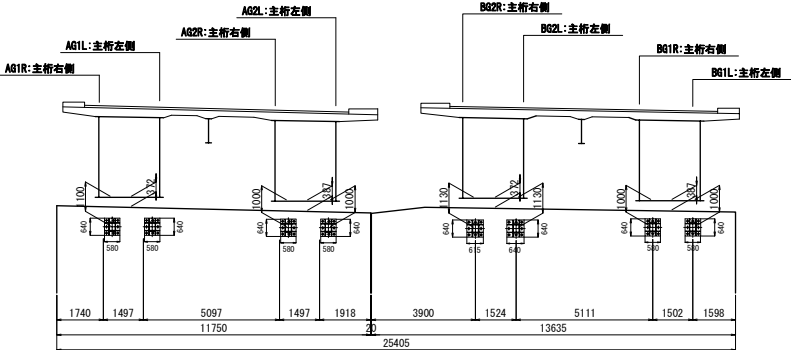


<A1橋台>

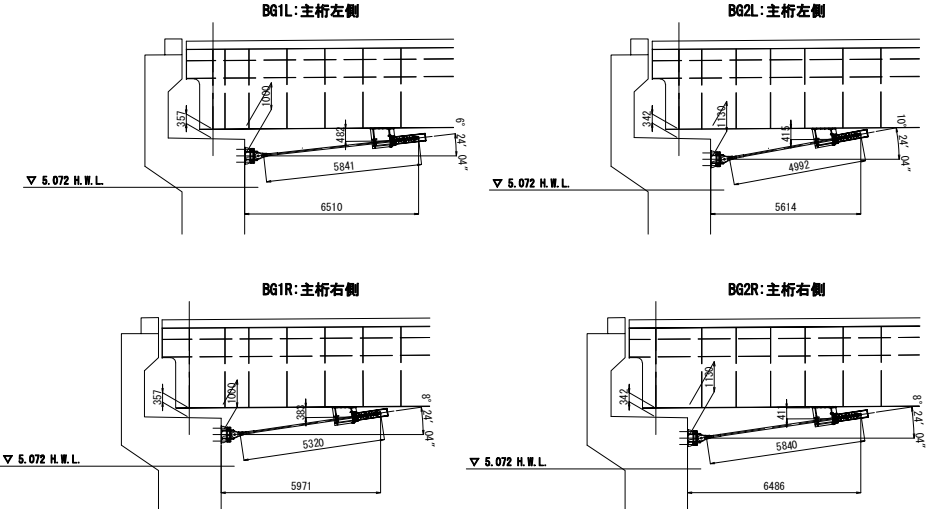
平面図



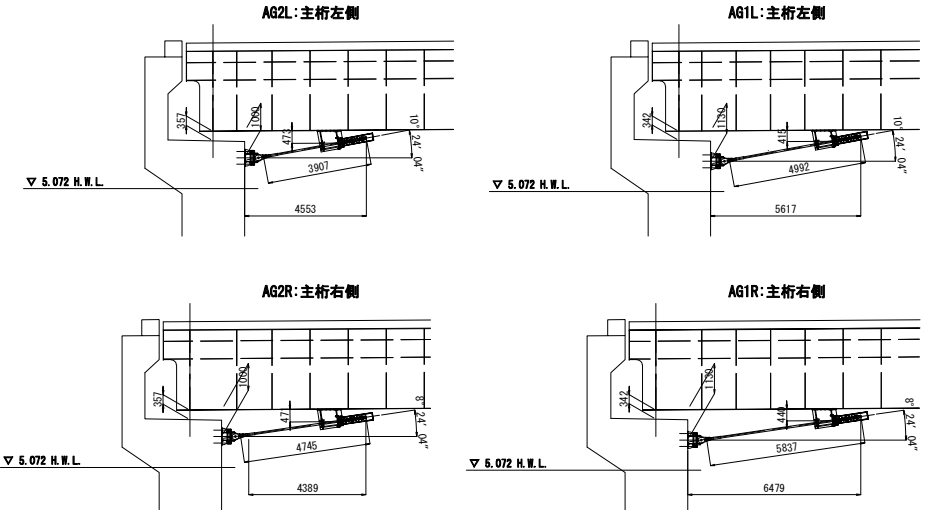
正面図



下り線 (B-Line) 主桁詳細図

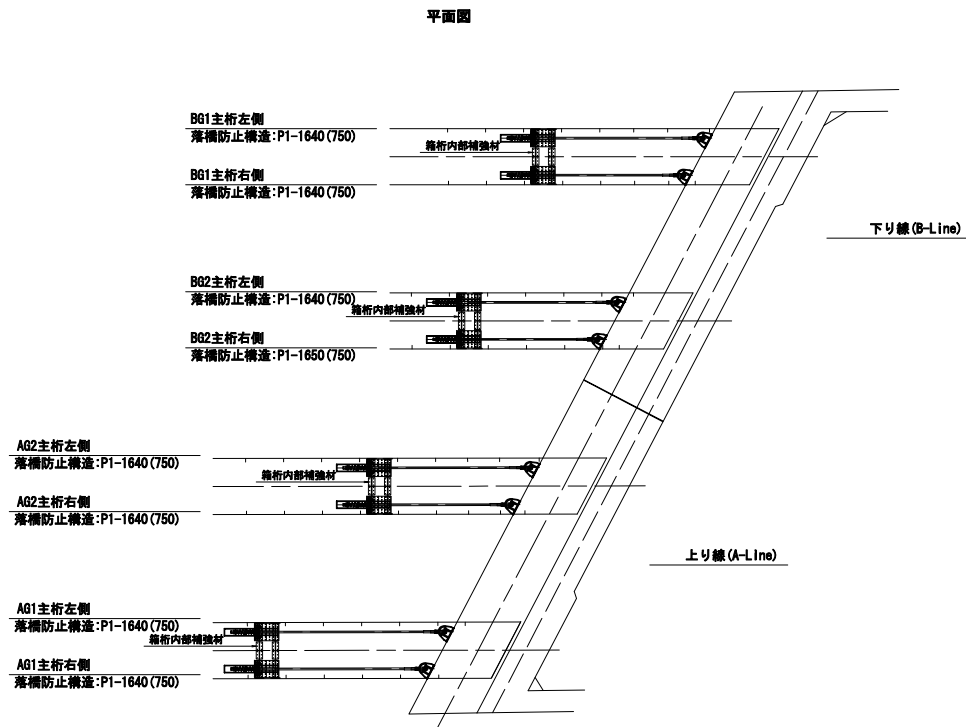


上り線 (A-Line) 主桁詳細図

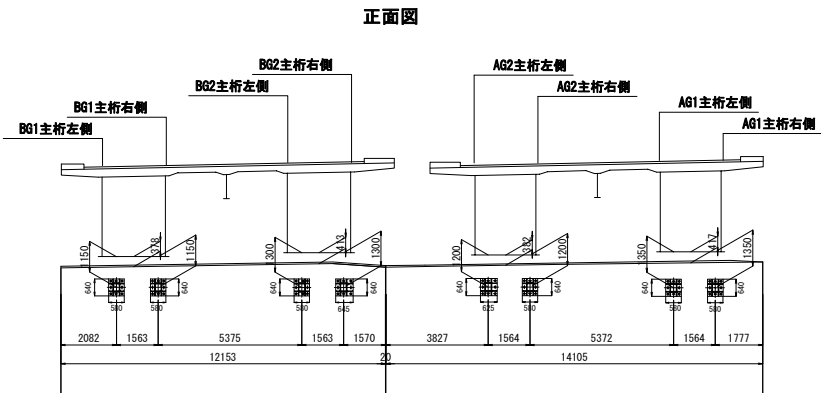


仙合東部道路 新名取川橋桁架補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 1 一般図(その1)(参考図) <A1橋台>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事案所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

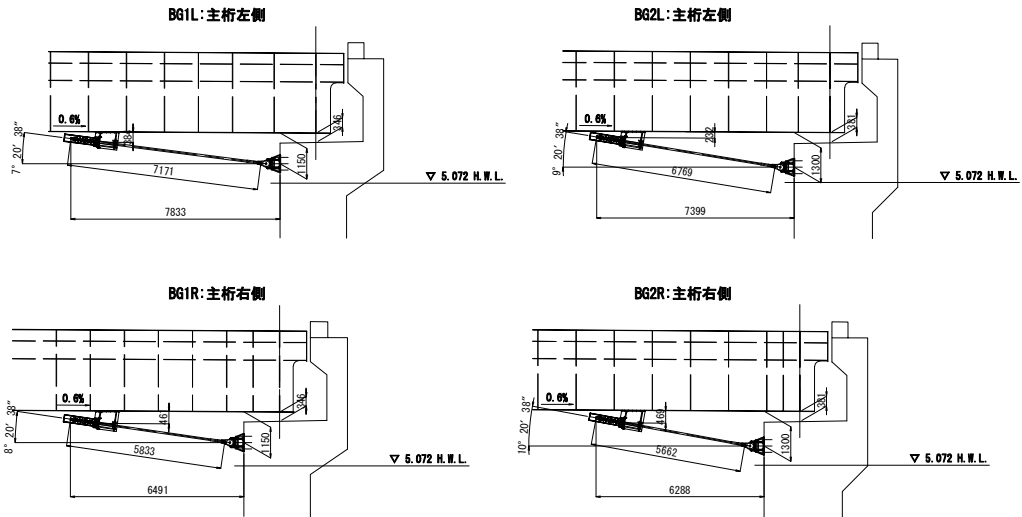
落橋防止構造 P 1 一般図(その2)(参考図) S=1:200
<A2橋台>



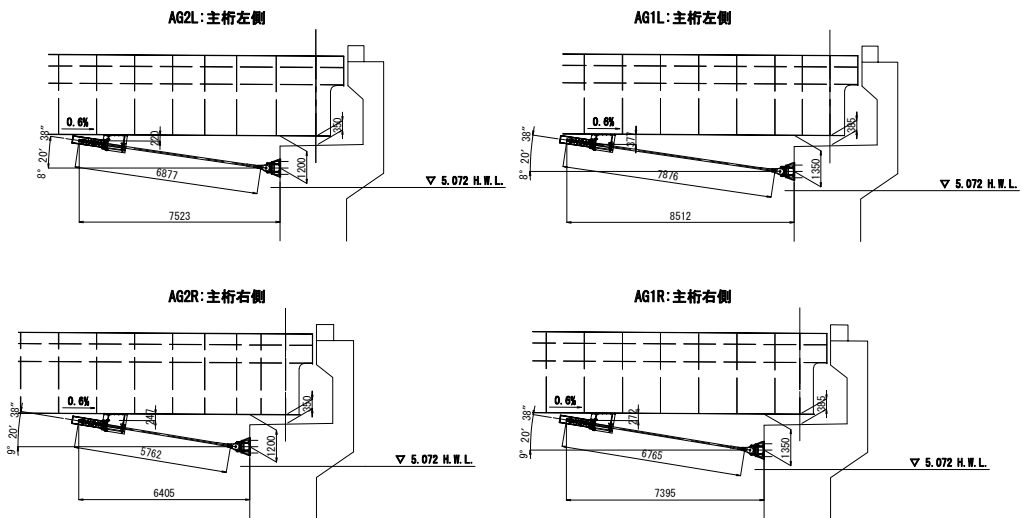
落橋防止装置下部エブラケット取付図



下り線(B-Line)主桁詳細図

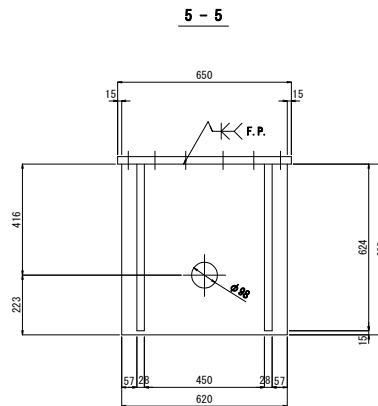
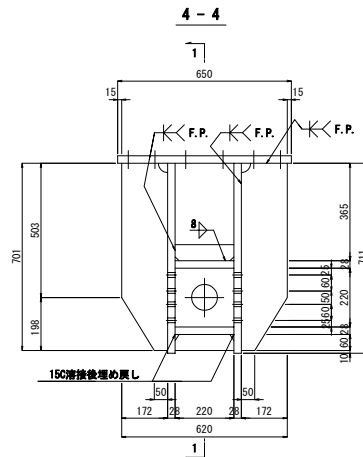
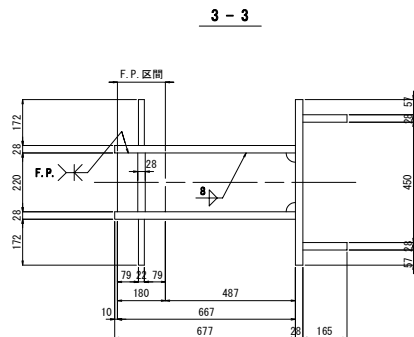
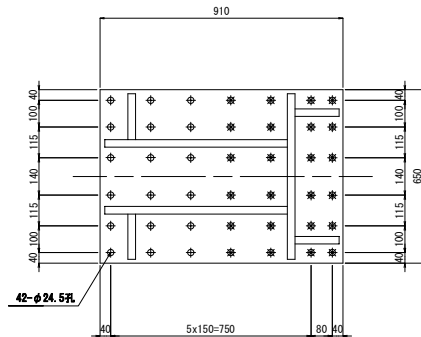
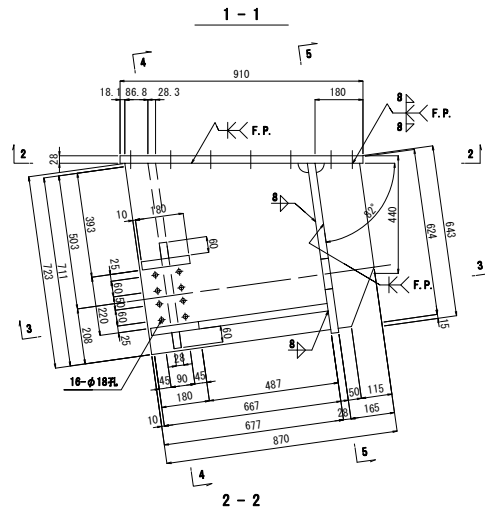


上り線(A-Line)主桁詳細図



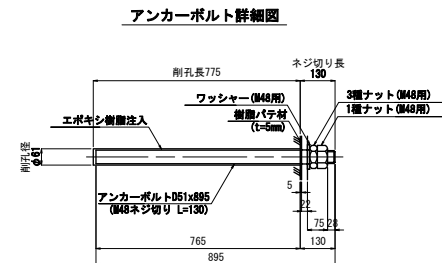
仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 1 一般図(その2)(参考図) <A2橋台>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事案所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

ブラケット詳細図



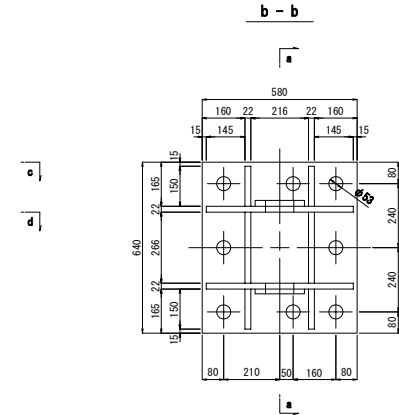
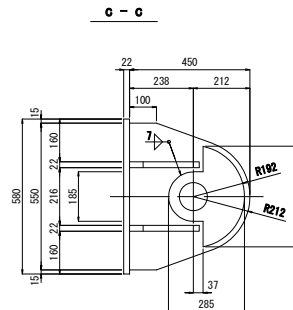
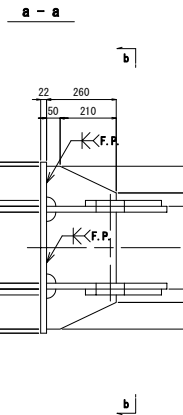
ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 165x28x624
2-PL 677x28x723
2-PL 172x22x701
2-PL 60x28x220
1-PL 220x28x667
1-PL 180x28x220
1-PL 620x28x643
1-PL 650x28x910
12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
12-TCB M22x100 (S10T)
12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
6-TCB M22x 75 (S10T)

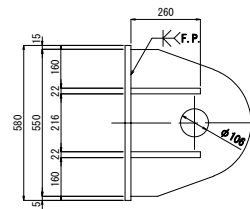


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

アンカーボルト詳細図



d - d



ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
 2-PL 450x22x550
 4-PL 150x22x260
 2-PL 260x22x266
 1-PL 580x22x640
 8-Aro Bolt D51x895 (SD345)
 8-1種 Nut M48用 (SS400)
 8-3種 Nut M48用 (SS400)
 8-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てS440NBとする。
 2. 特記なきスカーラップは全てZSRとする。
 3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 4. ※ の高力ボルトは環部部にも座金を用いるものとする。
 5. 下部エブラケットは、全て特記無効メッキ仕上りとする。
付着量は、JIS H 8841 HZ25Sとする。
 6. 但し、ボルト・ナット間はHZ23Sとする。
- ブラケットは、現場実地確認のうえ、製作を行うこと。

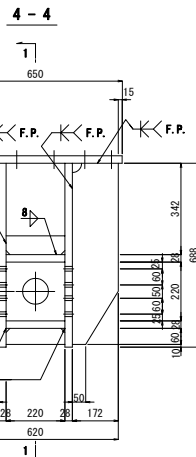
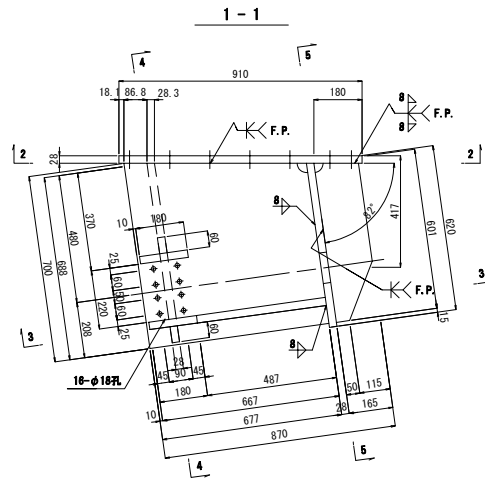
仙台東部道路 新名取川橋梁補修工事			
図面の種類	堤防防止構造 P 1 詳細図 (その1) (参考図) <A1側面 A61図>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

落橋防止構造 P 1 詳細図(その2)(参考図) S=1:20

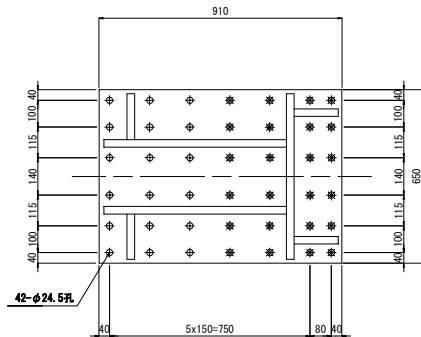
<A1橋台 AG1L>

53 / 190

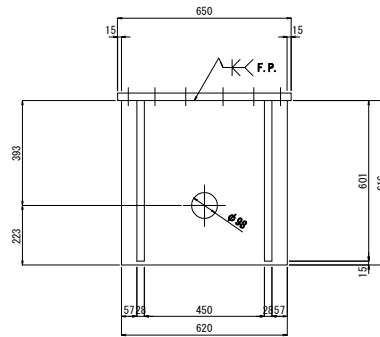
ブラケット詳細図



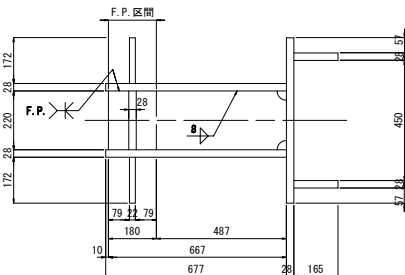
2-2



5-5

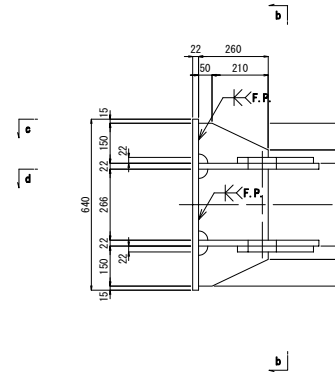


3-3

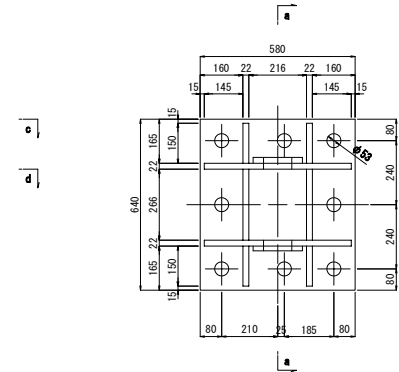


下部エブラケット詳細図

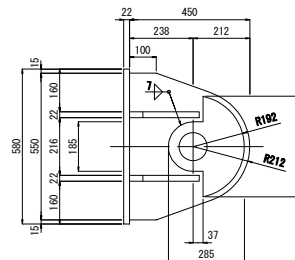
a-a



b-b



c-c

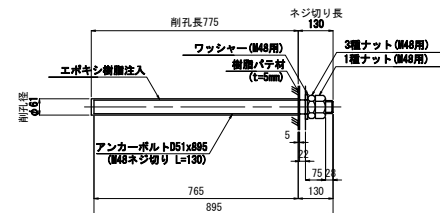


d-d

ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x550
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 280x22x266
- 1-PL 580x22x640
- 8-Anc Bolt D51x895 (S345)
- 8-1種 Nut M40用 (SS400)
- 8-3種 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

アンカーボルト詳細図



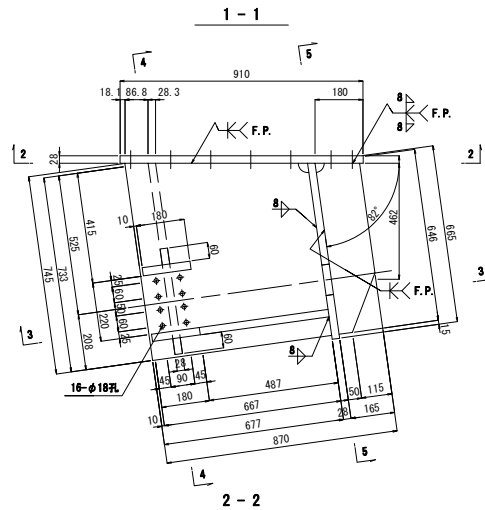
※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

注記)

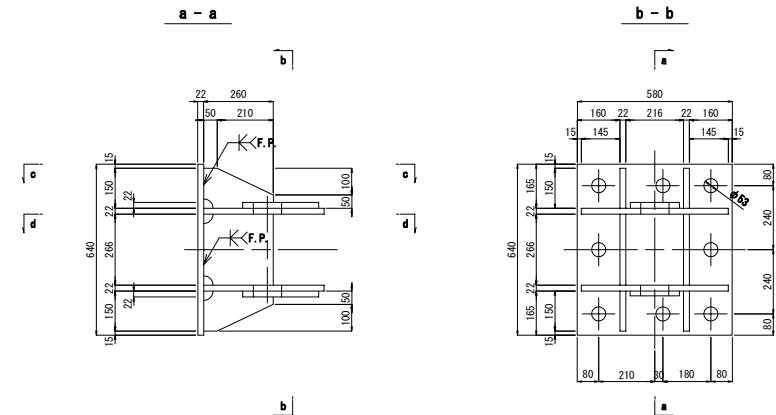
1. 特記なき材質は全てS440YBとする。
2. 特記なきスカラーップは全て3SRとする。
3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
4. ※の高力ボルトは胴部側にも底金を用いるものとする。
5. 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。
6. 付数量は、JIS H 8641 H2Z55とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
7. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋新設補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 1 詳細図(その2)(参考図) <A1橋台 AG1L>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

ブラケット詳細図



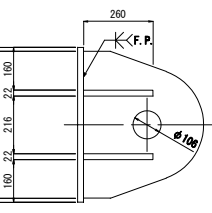
下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 2-PL 265x22x377
- 2-PL 450x22x550
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 260x22x266
- 1-PL 580x22x640
- 0-Anc Bolt D51x895 (SD345)
- 0-1個 Nut M40用 (SS400)
- 0-3個 Nut M40用 (SS400)
- 0-Washer M40用 (SS400)

d-d



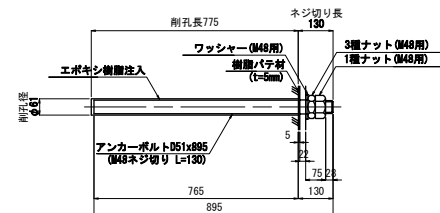
注記)

- 特記なき材質は全てSM400Bとする。
- 特記なきスカラーは全て35Rとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは胴部側にも座金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て防錆塗装メッキ仕上げとする。
- 付数量は、JIS H 8541 H0255とする。
- 但し、ボルト・ナットはH0235とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

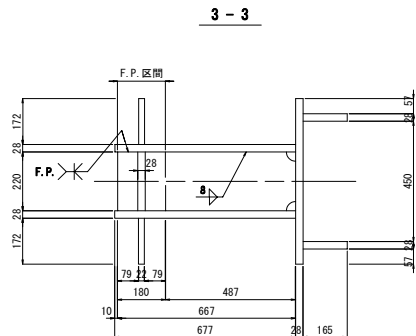
ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 2-PL 165x28x646
- 2-PL 677x28x745
- 2-PL 172x22x723
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x685
- 1-PL 650x28x910
- 12-TGB M22x105 (S10T) (*1W)
- 12-TGB M22x100 (S10T)
- 12-TGB M22x 80 (S10T) (*1W)
- 6-TGB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図

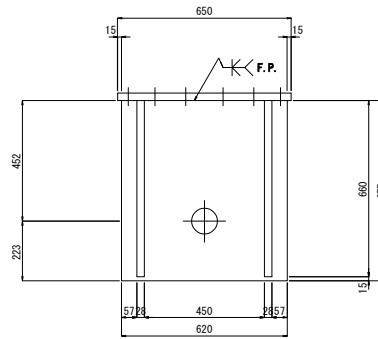
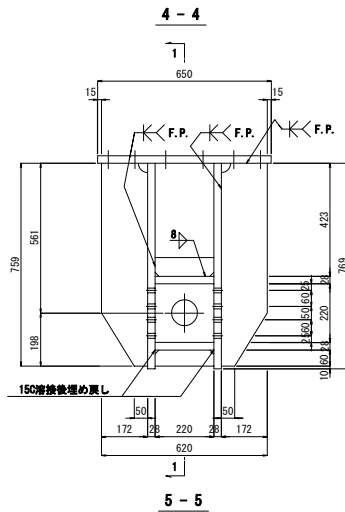
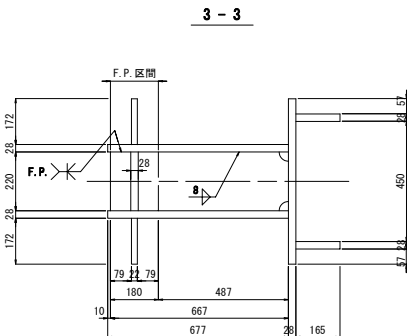
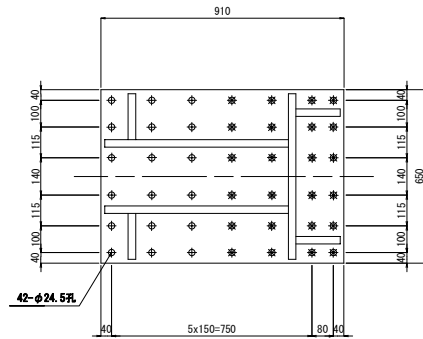
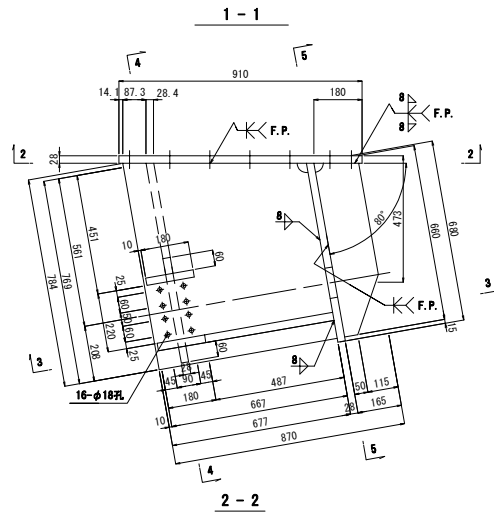


※アンカーボルトはネジ切り部のみ清漆塗埋めつきを施すものとする。



仙台東部道路 新名取川橋新設補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 1 詳細図(その3)(参考図) <A1橋台 AG2R>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所		

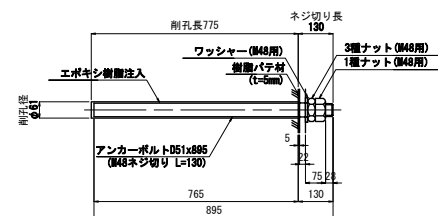
ブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:1基)

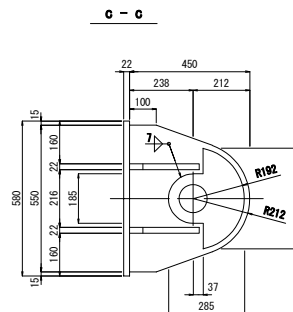
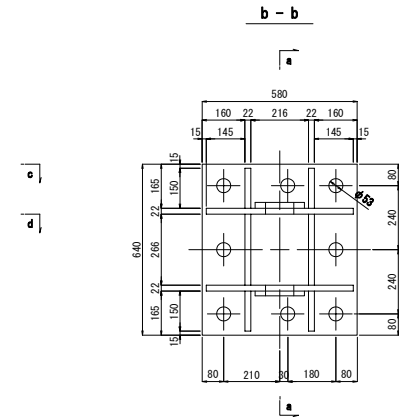
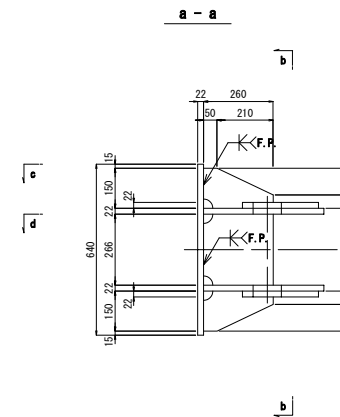
- | | | |
|--------|------------|---------------|
| 2-PL | 165x28x660 | |
| 2-PL | 677x28x784 | |
| 2-PL | 172x22x759 | |
| 2-PL | 60x28x220 | |
| 1-PL | 220x28x667 | |
| 1-PL | 180x28x220 | |
| 1-PL | 620x28x680 | |
| 1-PL | 650x28x910 | |
| 12-TCB | M22x105 | (\$10T) [+1W] |
| 12-TCB | M22x100 | (\$10T) |
| 12-TCB | M22x 80 | (\$10T) [+1W] |
| 6-TCB | M22x 75 | (\$10T) |

アンカーボルト詳細図

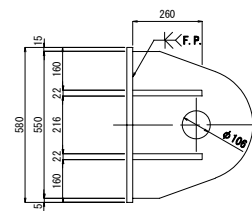


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

下部エブラケット詳細図



d - d



ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
2-PL 450x22x550
4-PL 150x22x260
2-PL 260x22x266
1-PL 580x22x640
8-Ano Bolt D51x695 (SD345)
8-1環 Nut M48用 (SS400)
8-3環 Nut M48用 (SS400)
8-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
2. 特記なきスカラーアップは全て3SRとする。
3. 上部工ブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
4. ※の高力ボルトは頭部部にも座金を用いるものとする。
5. 下部工ブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8841 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
6. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋梁整備工事			
図面の種類	増補防止構造P1 詳細図(その4)(参考図) Q1橋台 A62L		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

落橋防止構造 P 1 詳細図(その5)(参考図)

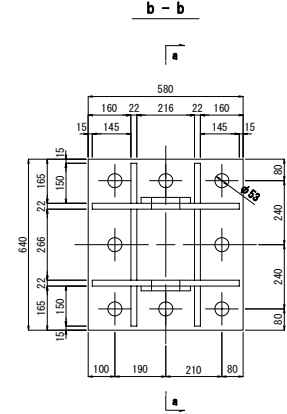
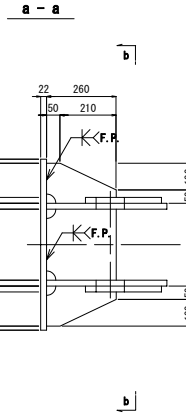
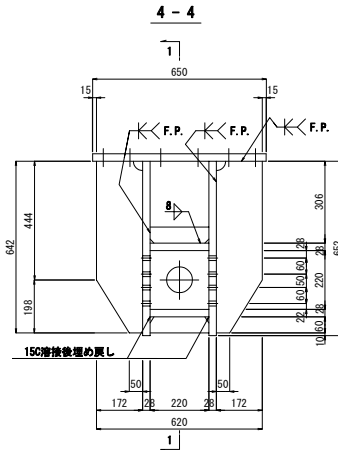
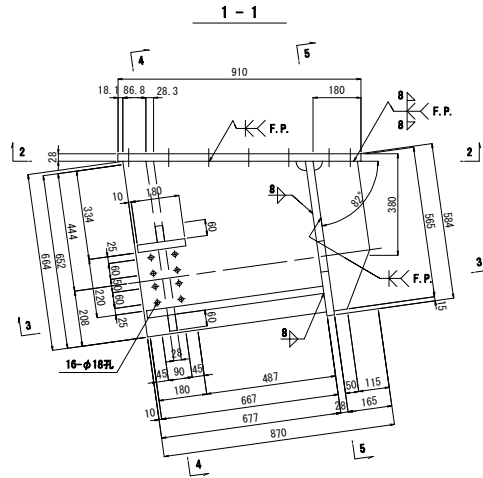
<A1橋台 BG1R>

S=1:20

56 / 190

ブラケット詳細図

下部エブラケット詳細図

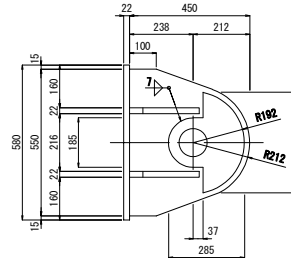
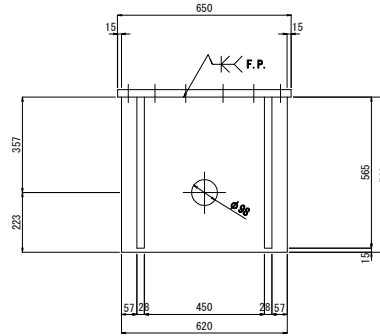
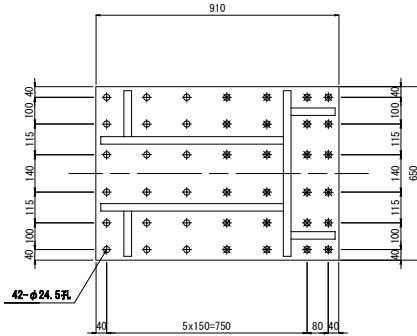


2-2

5-5

c-c

d-d



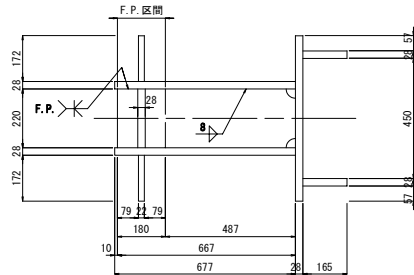
ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x550
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 260x22x266
- 1-PL 580x22x640
- 8-Anc Bolt D51x885 (S345)
- 8-1種 Nut M40用 (SS400)
- 8-3種 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

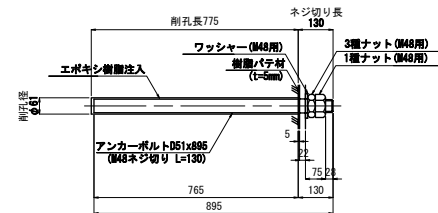
3-3

ブラケット1基当り (製作数:1基)

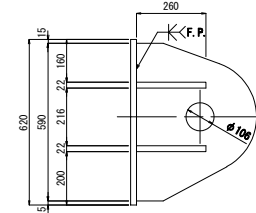
アンカーボルト詳細図



- 2-PL 165x28x565
- 2-PL 664x28x677
- 2-PL 172x22x642
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 584x28x620
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [*1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [*1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。



注記)

- 特記なき材質は全てS345とする。
- 特記なきスカラーは全て3SRとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高性能ボルトは主桁にも底金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。
- 付数量は、JIS H 8641 H2Z55とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

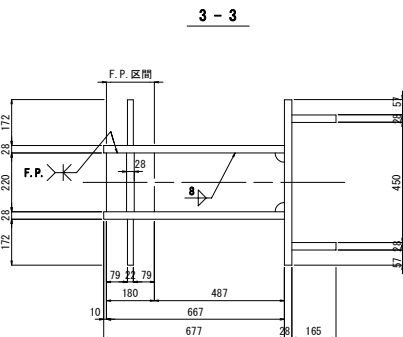
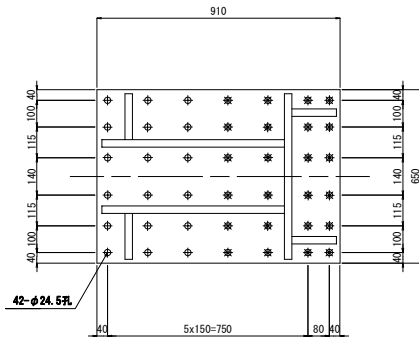
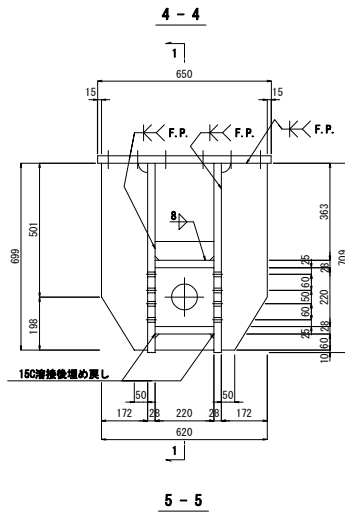
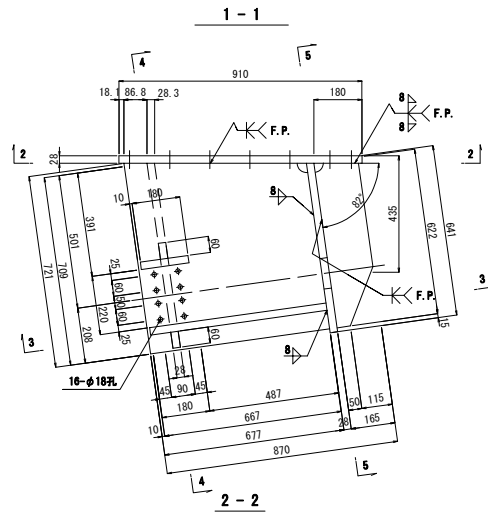
仙台直轄道路 新名取川橋脚復旧補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 1 詳細図(その5)(参考図)	図面番号	
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術	施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

落橋防止構造 P 1 詳細図(その6)(参考図) S=1:20

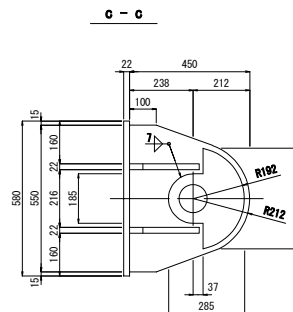
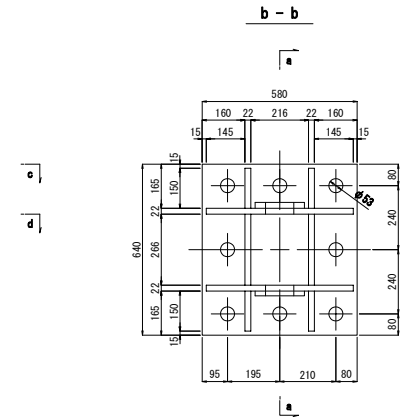
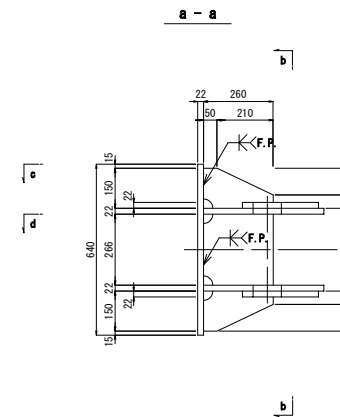
<A1橋台 BG1L>

57 / 190

ブラケット詳細図



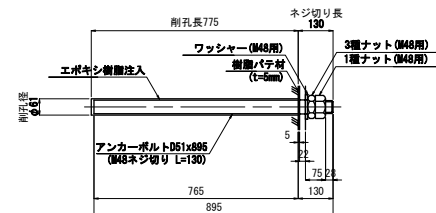
下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 265x22x377
- 2-PL 450x22x550
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 260x22x266
- 1-PL 580x22x640
- 8-Anc Bolt D51x895 (S345)
- 8-1種 Nut M40用 (SS400)
- 8-3種 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 165x28x622
- 2-PL 677x28x721
- 2-PL 172x22x699
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x687
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x641
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [*1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [*1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

注記)

- 特記なき材質は全てS440YBとする。
- 特記なきスカラーは全て3SRとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは頭部側にも底金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。付数量は、JIS H 8641 H2Z55とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

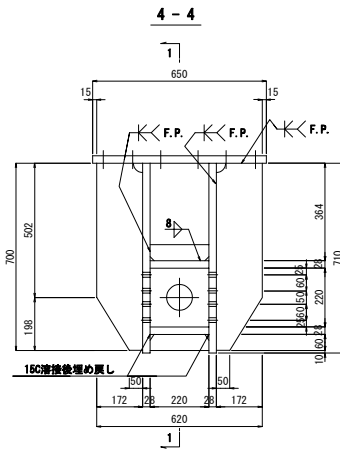
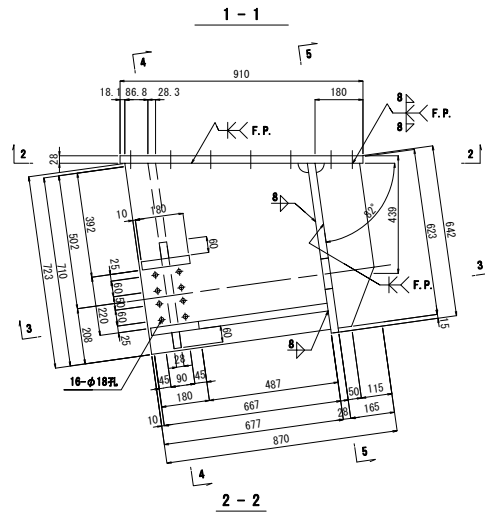
仙台直轄道路 新名取川橋脚復旧補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 1 詳細図(その6)(参考図)	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

落橋防止構造 P 1 詳細図(その7)(参考図) S=1:20

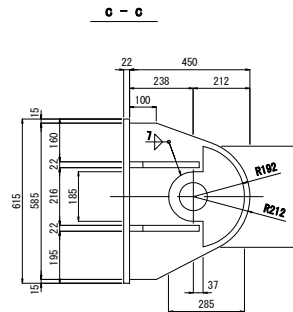
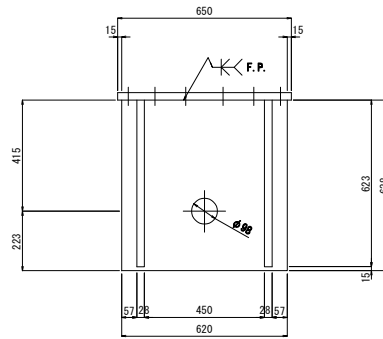
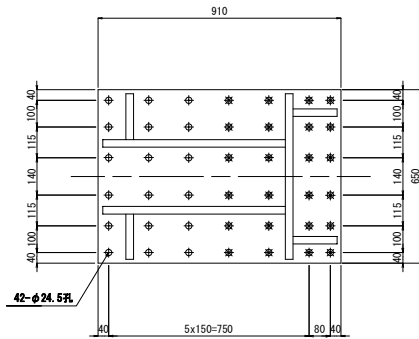
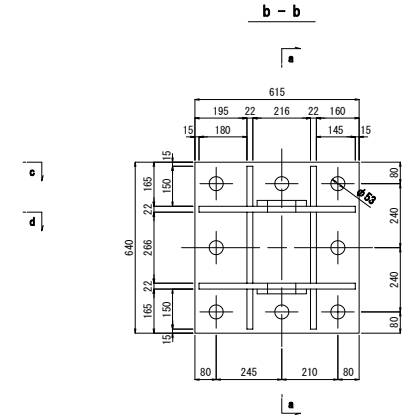
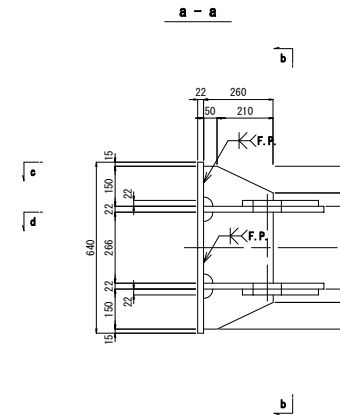
<A1橋台 BG2R>

58/190

ブラケット詳細図



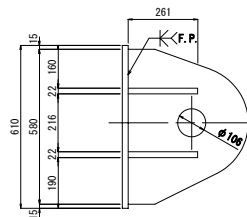
下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x585
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 260x22x266
- 1-PL 615x22x640
- 8-Anc Bolt D51x806 (S345)
- 8-1種 Nut M40用 (SS400)
- 8-3種 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

d-d



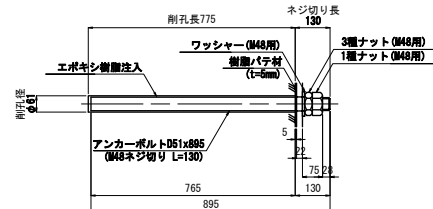
注記)

- 特記なき材質は全てSM400Bとする。
- 特記なきスカラーは全て35Rとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは胴部側にも座金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。
- 付数量は、JIS H 8541 H2Z55とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

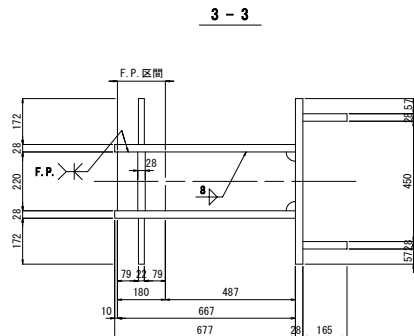
ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 165x28x623
- 2-PL 677x28x723
- 2-PL 172x22x700
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x642
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [*1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [*1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図

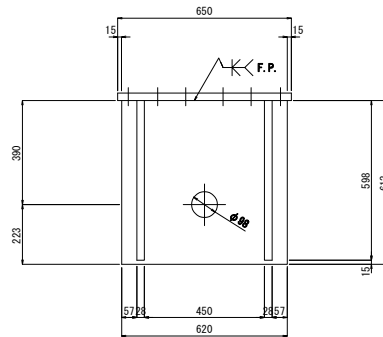
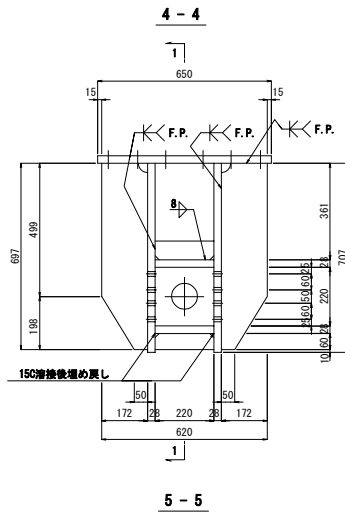
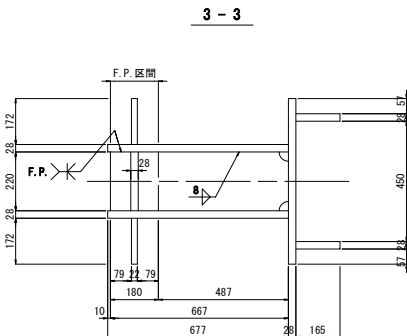
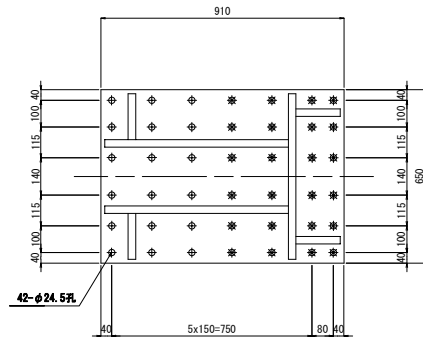
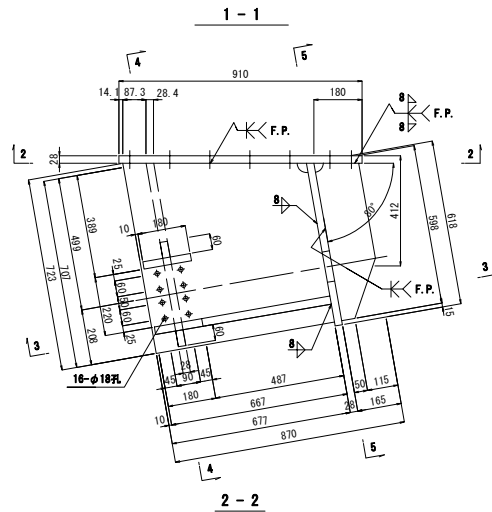


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。



仙台東部道路 新名取川橋新設補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 1 詳細図(その7)(参考図) <A1橋台 BG2R>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管課事務所		

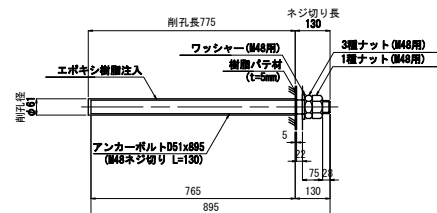
ブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:1基)

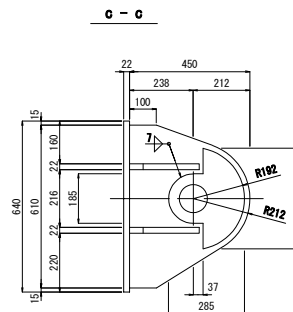
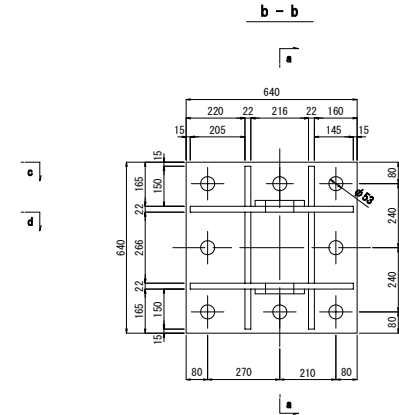
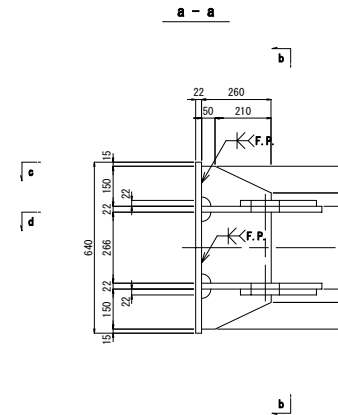
- 2-PL 165x28x598
2-PL 677x28x723
2-PL 172x22x697
2-PL 60x28x220
1-PL 220x28x667
1-PL 180x28x220
1-PL 618x28x620
1-PL 650x28x910
12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
12-TCB M22x100 (S10T)
12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図

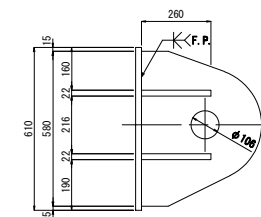


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

下部エブラケット詳細図



d - d



ブラケット1基当り(製作数:1基)

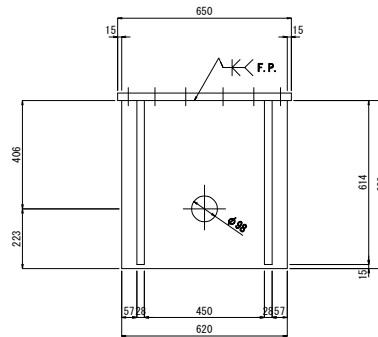
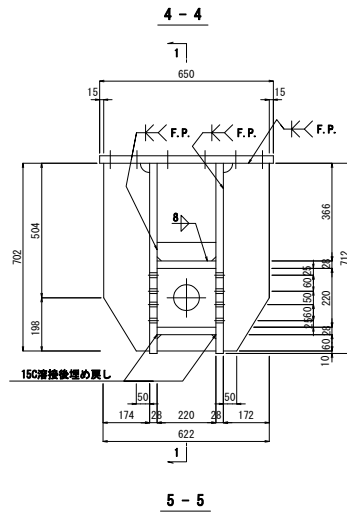
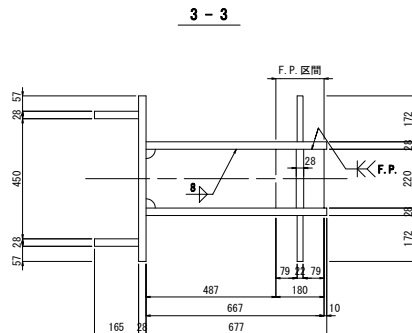
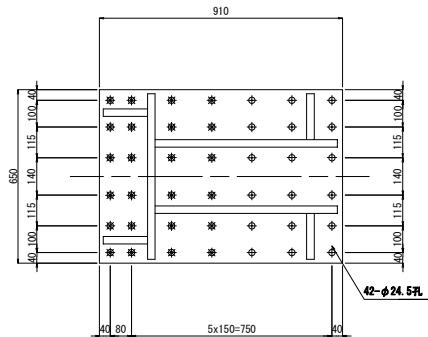
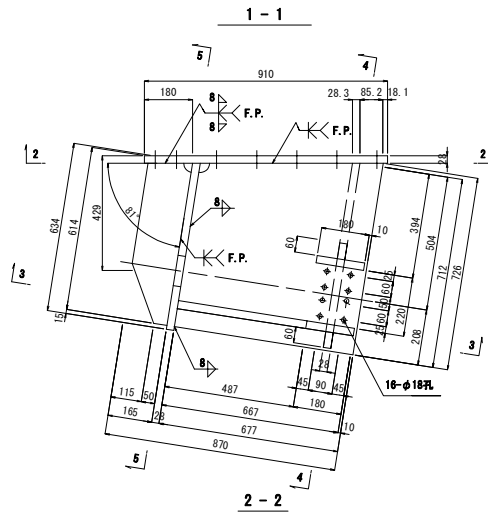
- 2-PL 285x22x377
2-PL 450x22x610
4-PL 150x22x260
2-PL 260x22x266
1-PL 640x22x640
8-Aro Bolt D51x895 (SD345)
8-1種 Nut M48用 (SS400)
8-3種 Nut M48用 (SS400)
8-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てS4000Bとする。
 2. 特記なきスカーラップは全てZSRとする。
 3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 4. ※ の高力ボルトは環部部にも座金を用いるものとする。
 5. 下部エブラケットは、全て特記無しのメッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8841 HZ25Sとする。
 6. 但し、ボルト・ナット間はHYZ35とする。
- ブラケットは、現場実地確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋梁補修工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 1 詳細図 (その6) (参考図) <A1台番 552>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

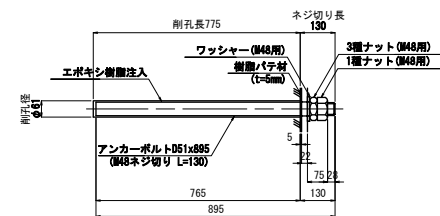
ブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:1基)

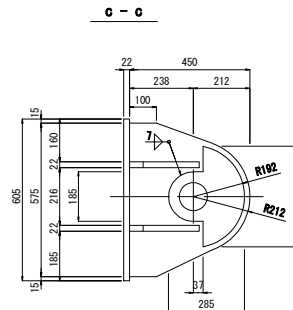
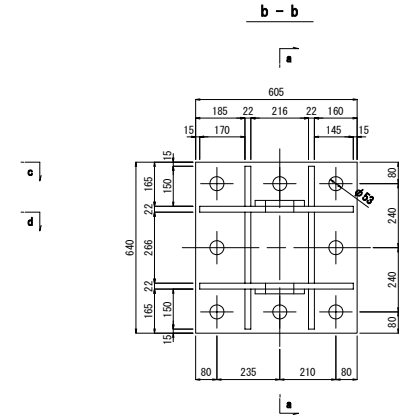
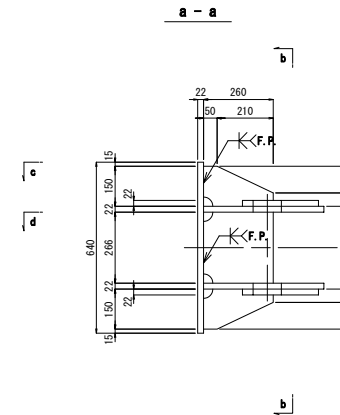
- 2-PL 165x28x614
2-PL 677x28x726
2-PL 172x22x702
2-PL 60x28x220
1-PL 220x28x667
1-PL 180x28x220
1-PL 620x28x634
1-PL 650x28x910
12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
12-TCB M22x100 (S10T)
12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図

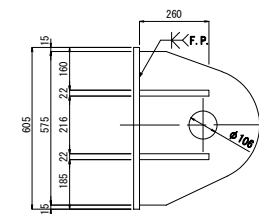


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

下部エブラケット詳細図



d - d



ブラケット1基当たり(製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
2-PL 450x22x575
4-PL 150x22x260
2-PL 260x22x266
1-PL 605x22x640
8-Anc Bolt D61x895 (SD345)
8-1種 Nut M48用 (SS400)
8-3種 Nut M48用 (SS400)
8-Washer M48用 (SS400)

注記)

- 1. 特記なき材質は全てS490YBとする。
- 2. 特記なきスカラーアップは全て35Rとする。
- 3. 上部ブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- 4. ※の高力ボルトは胴側側面にも塗金を用いるものとする。
- 5. 下部ブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8041 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナットはHDZ35とする。
- 6. プラケットは、現場実測図面の上、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋梁復強工事			
図面の種類	常規防止構造 P 1 詳細図 (その0) (参考図) <A2適合 A51R>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

落橋防止構造 P 1 詳細図(その10) (参考図)

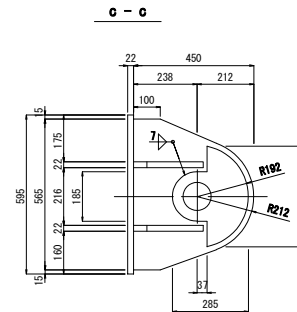
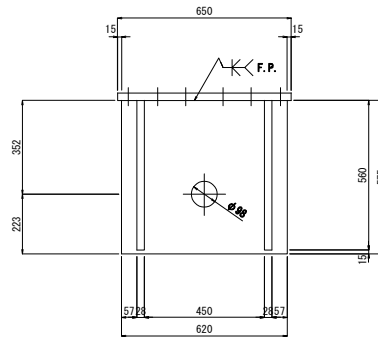
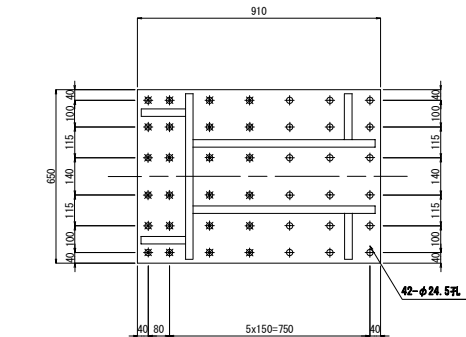
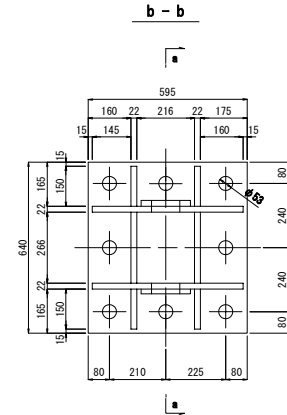
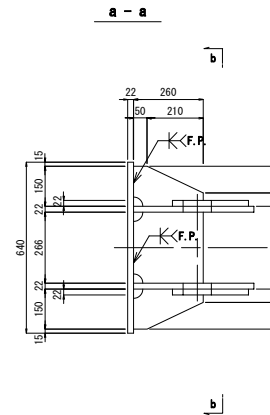
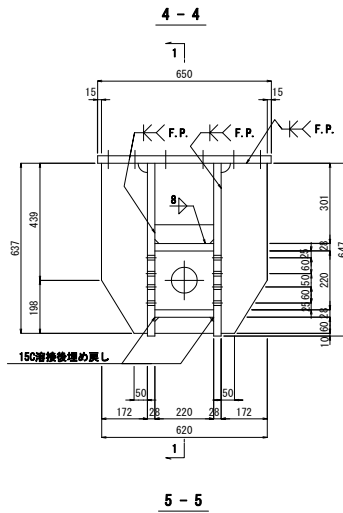
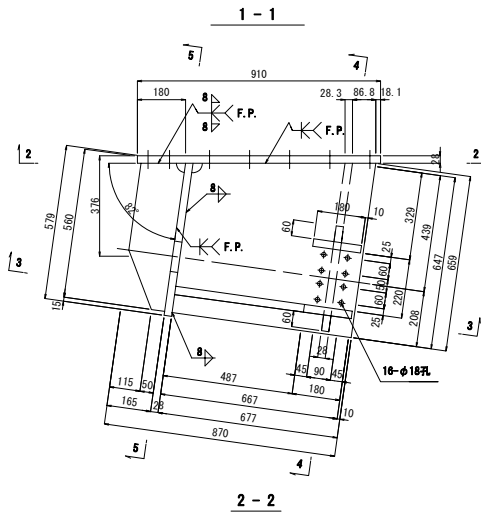
S=1:20

<A2橋台 AG1L>

61 / 190

ブラケット詳細図

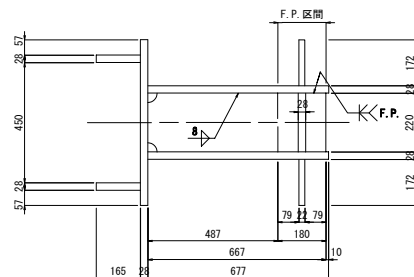
下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x565
- 4-PL 150x22x280
- 2-PL 280x22x286
- 1-PL 595x22x640
- 8-Anc Bolt D51x895 (S345)
- 8-1 鋼 Nut M40用 (SS400)
- 8-3 鋼 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

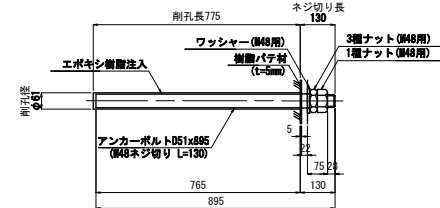
3-3



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

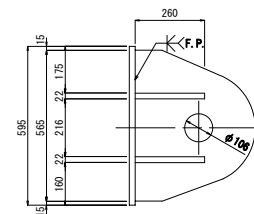
- 2-PL 165x28x580
- 2-PL 658x28x677
- 2-PL 172x22x637
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 579x28x620
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

d-d



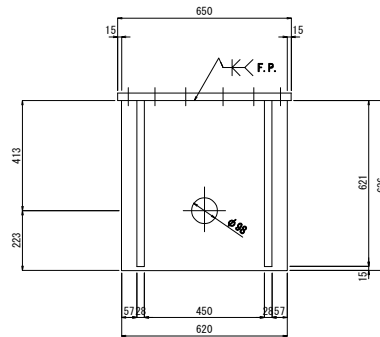
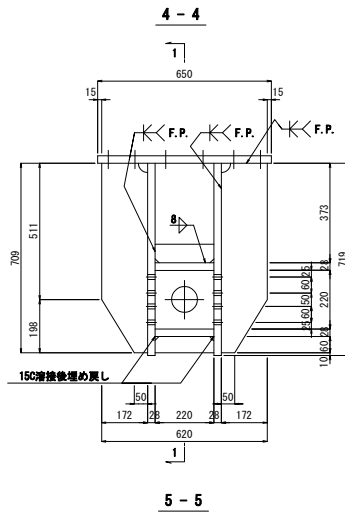
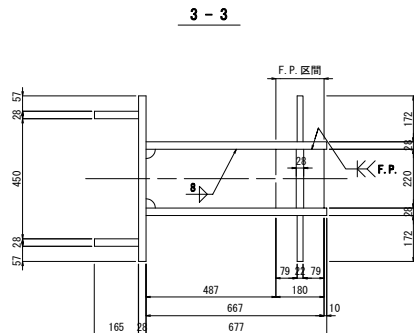
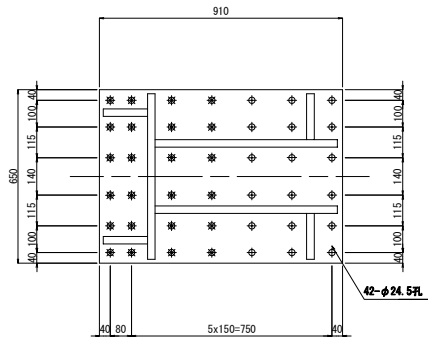
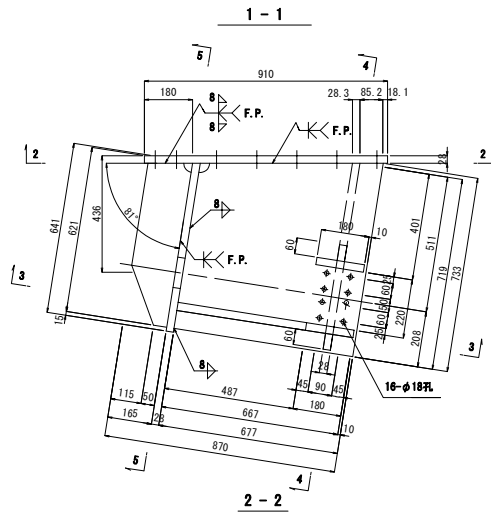
注記)

- 特記なき材質は全てSM400Bとする。
- 特記なきスカラーラップは全て3SRとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは胴部側にも底金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。付着量は、JIS H 8641 H2Z55とする。但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 1 詳細図(その10) (参考図) <A2橋台 AG1L>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
承認者名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

<A2橋台 AG2R>

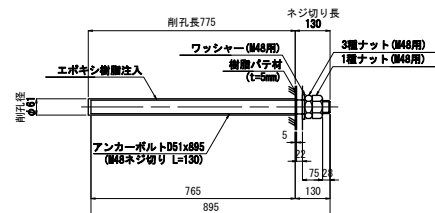
ブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:1基)

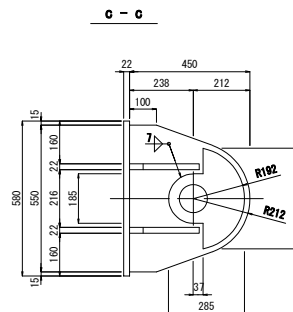
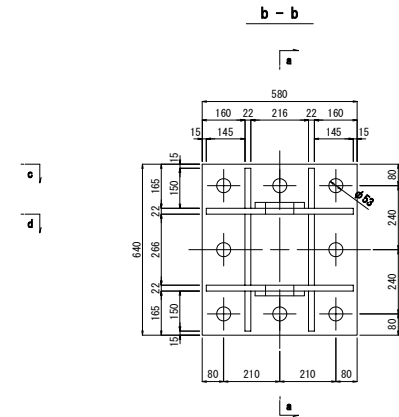
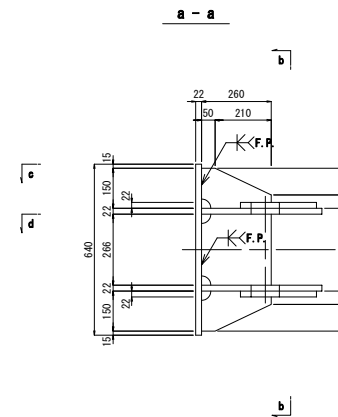
- 2-PL 165x28x621
2-PL 677x28x733
2-PL 172x22x709
2-PL 60x28x220
1-PL 220x28x667
1-PL 180x28x220
1-PL 620x28x641
1-PL 650x28x910
12-TCB M22x105 (\$10T) [+1W]
12-TCB M22x100 (\$10T)
12-TCB M22x 80 (\$10T) [+1W]
6-TCB M22x 75 (\$10T)

アンカーボルト詳細図

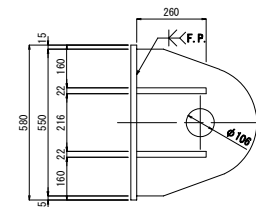


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

下部エブラケット詳細図



d - d



ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
 2-PL 450x22x550
 4-PL 150x22x260
 2-PL 260x22x266
 1-PL 580x22x640
 8-Aro Bolt D51x895 (SD345)
 8-1種 Nut M48用 (SS400)
 8-3種 Nut M48用 (SS400)
 8-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特設なき材質は全てS490YBとする。
2. 特設なきスカーラップは全て35Rとする。
3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
4. ※の高力ボルトは頭部側にも座金を用いるものとする。
5. 下部エブラケットは、全て溶接止めメッキ仕上げとする。
付増量は、JIS H 8641 HX255とする。
- 但し、ボルト・ナットはHDX235とする。
6. ブラケットは、現場実測補強のうえ、製作を行うこと。

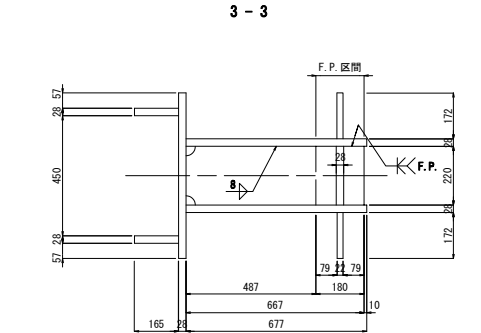
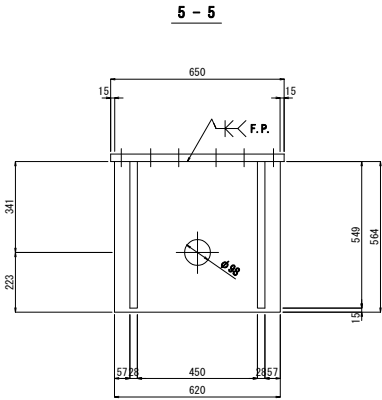
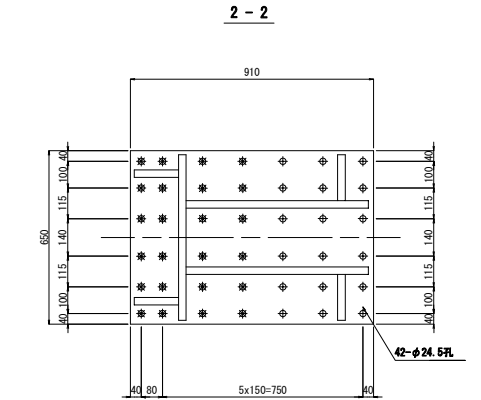
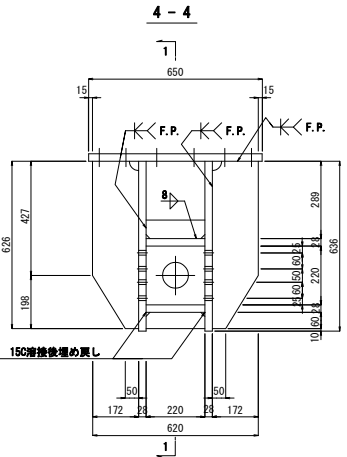
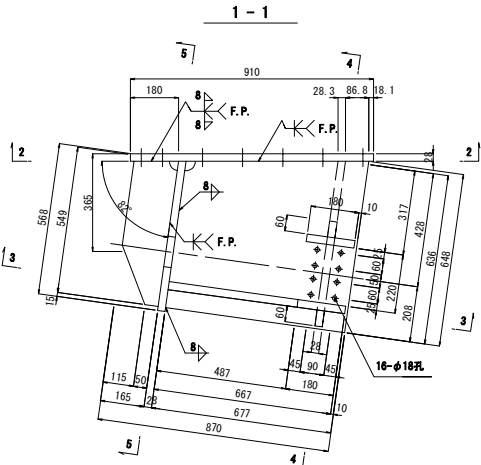
仙台東部道路 新名取川橋梁復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 第 1 詳細図 (その11) (参考図) 《A2組合 A2B2》		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

落橋防止構造 P 1 詳細図(その12)(参考図)

<A2橋台 AG2L>

63/190

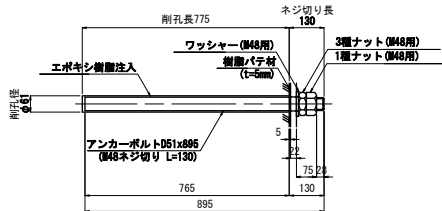
ブラケット詳細図



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

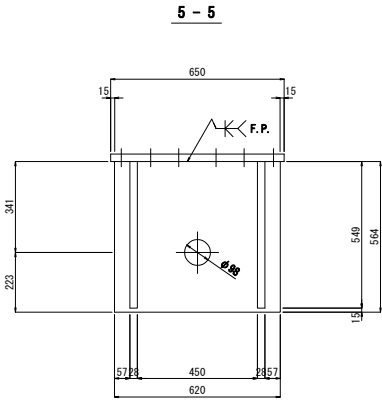
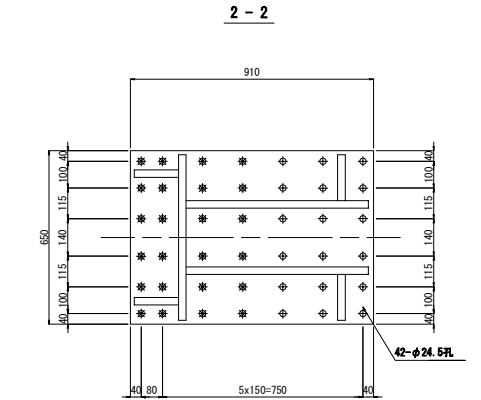
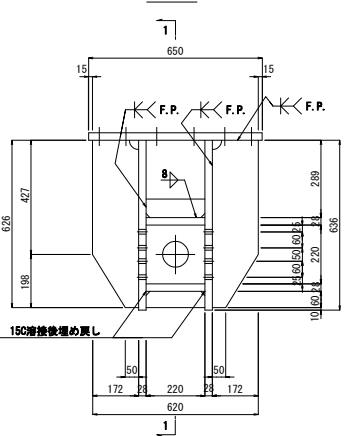
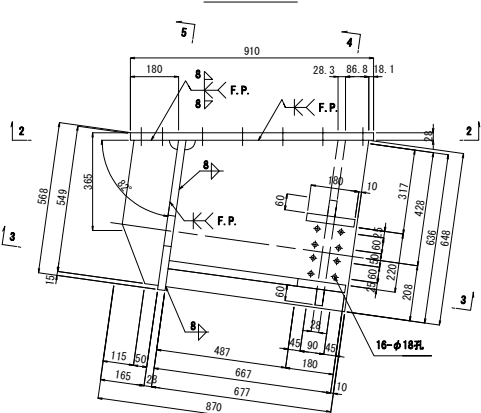
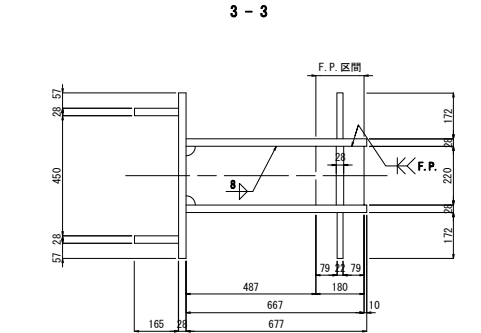
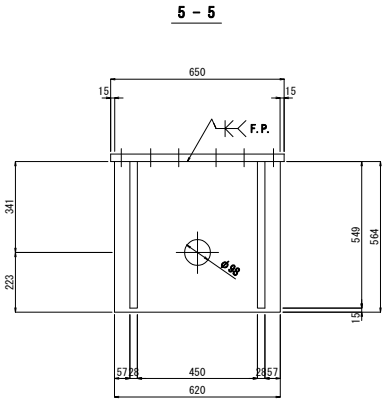
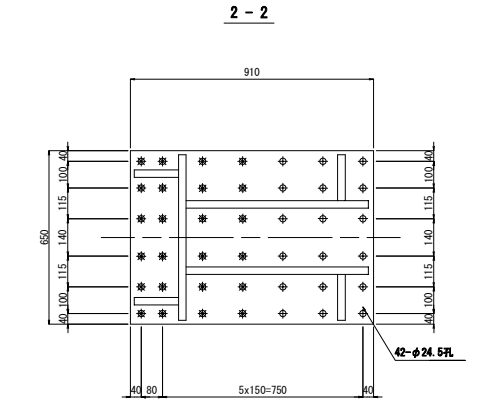
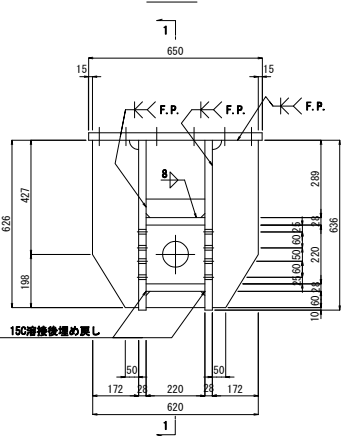
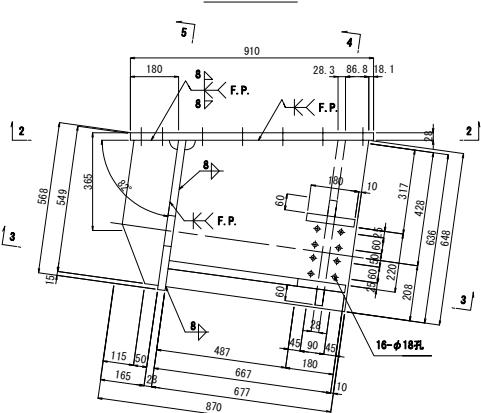
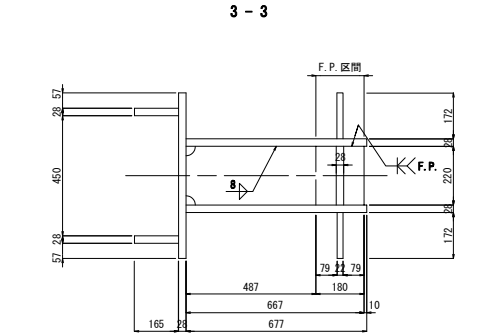
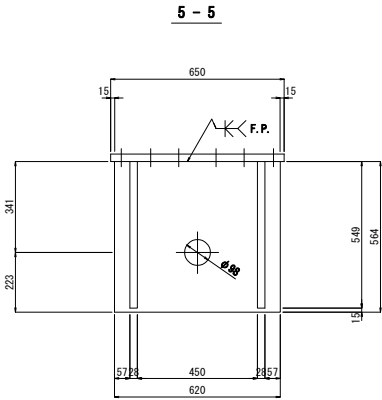
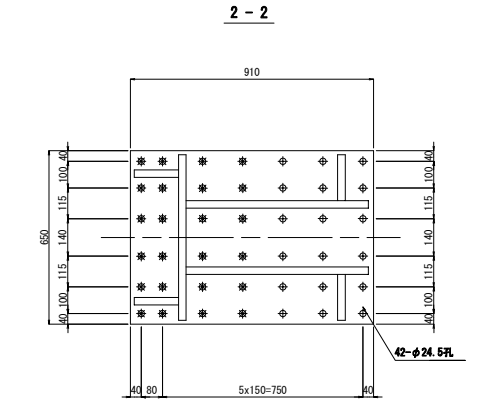
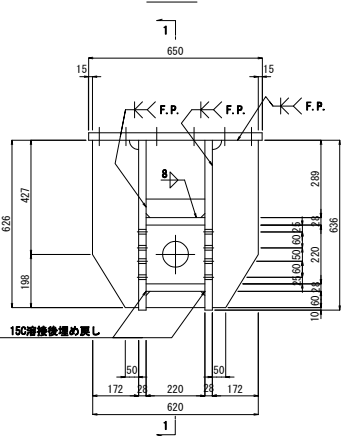
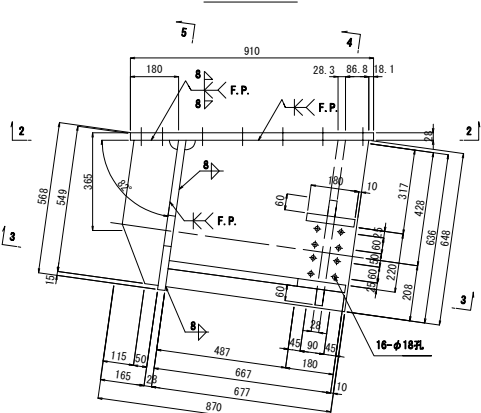
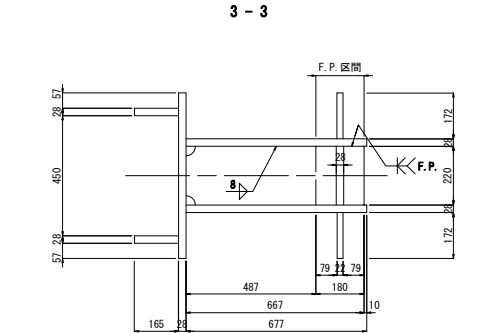
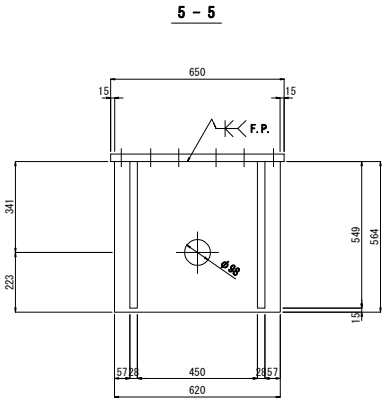
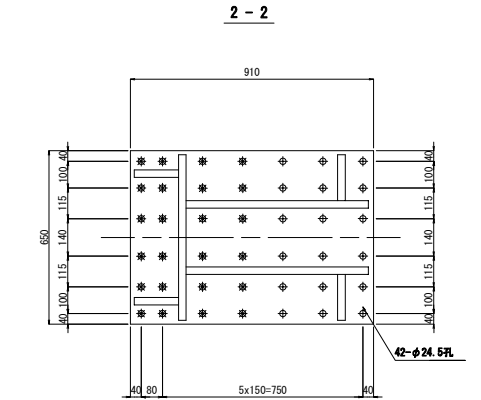
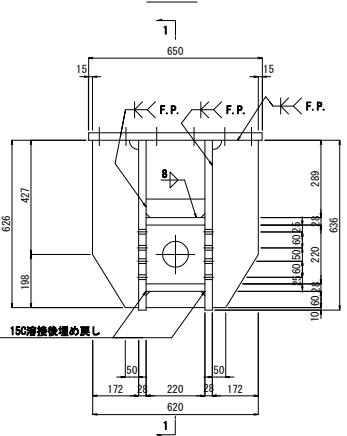
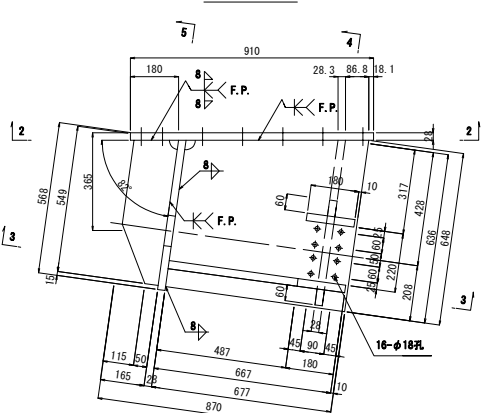
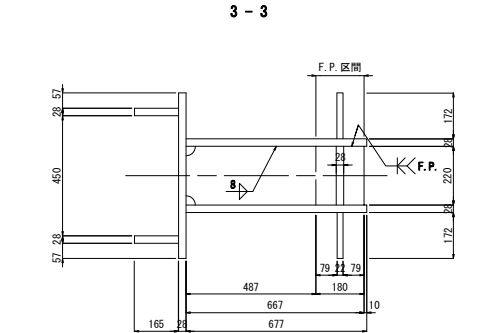
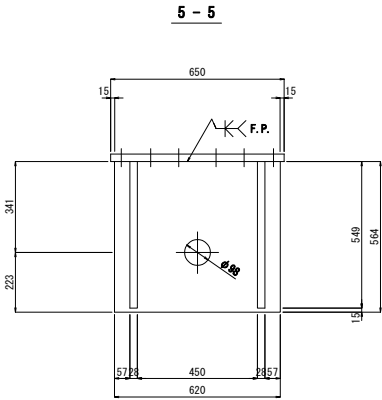
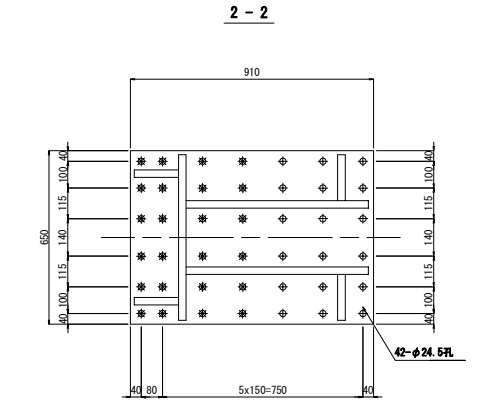
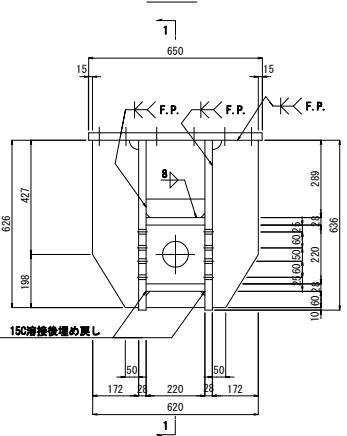
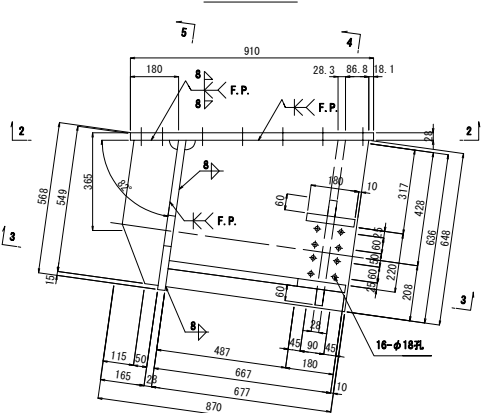
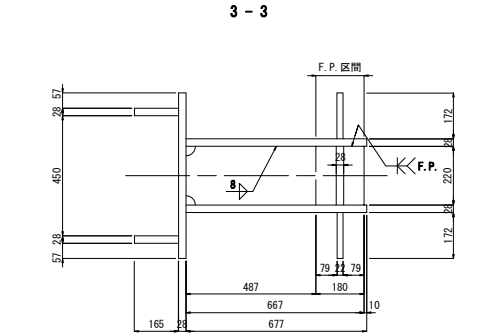
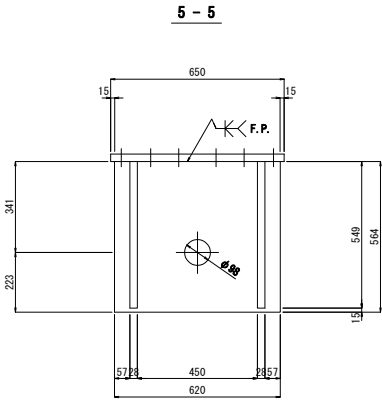
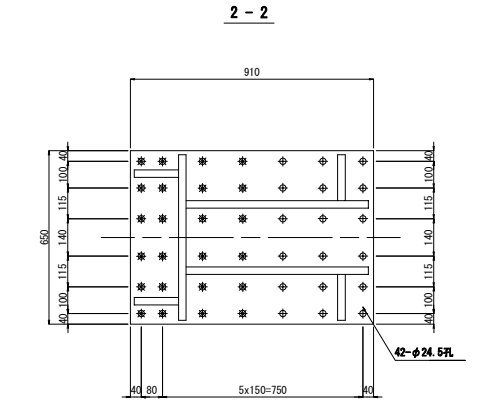
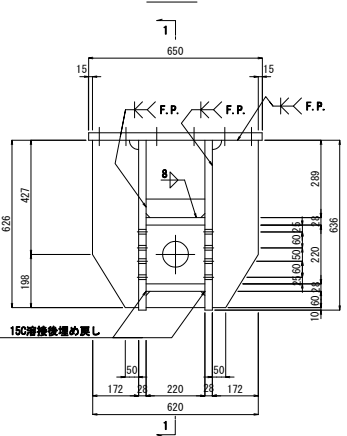
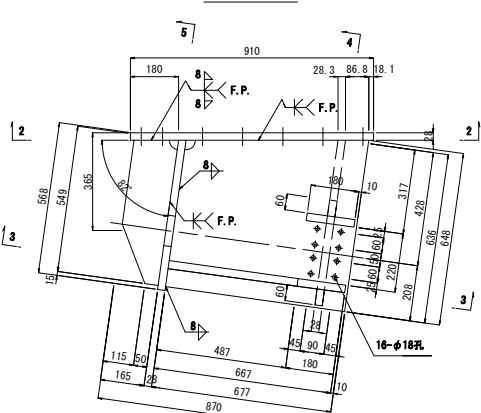
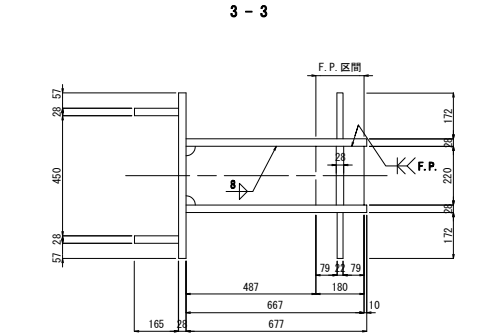
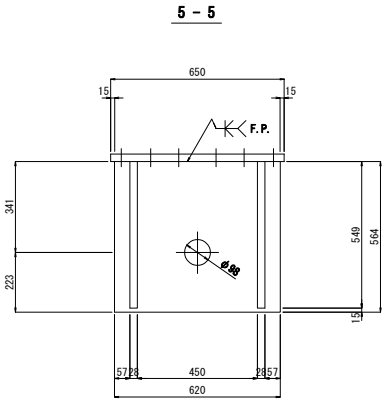
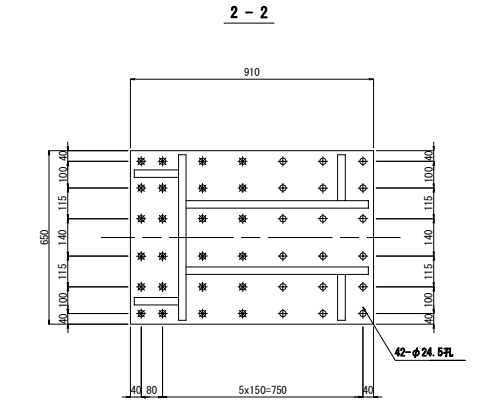
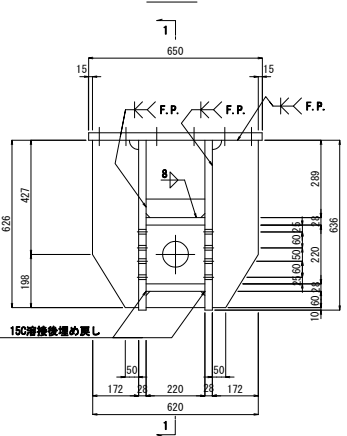
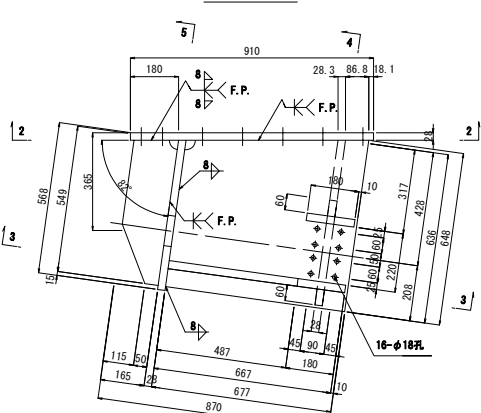
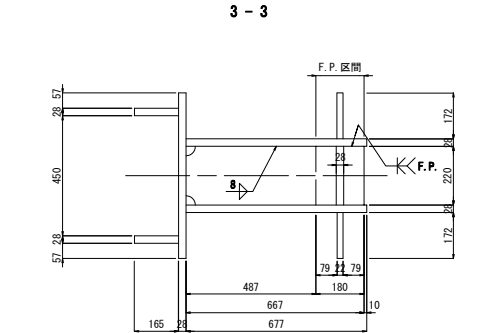
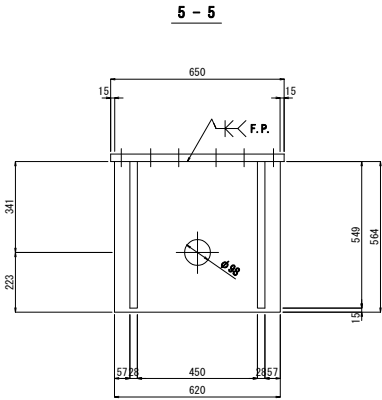
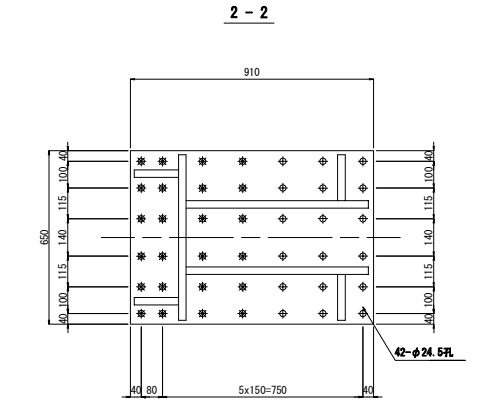
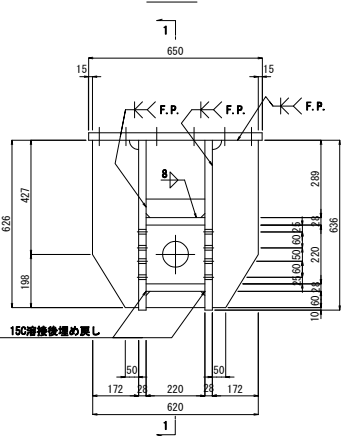
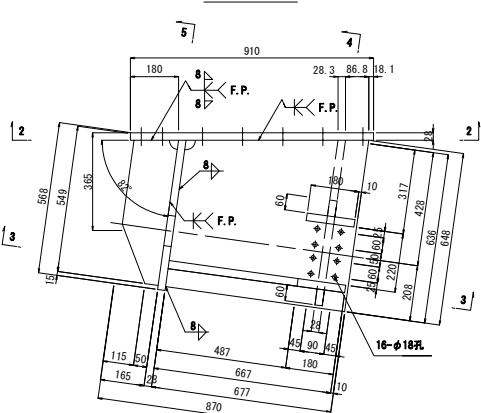
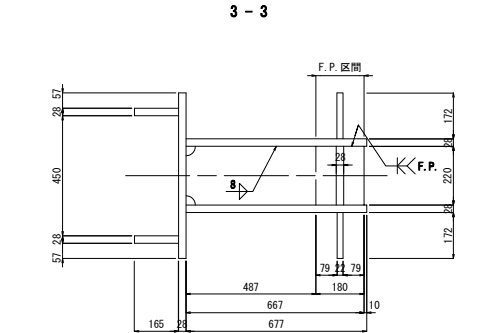
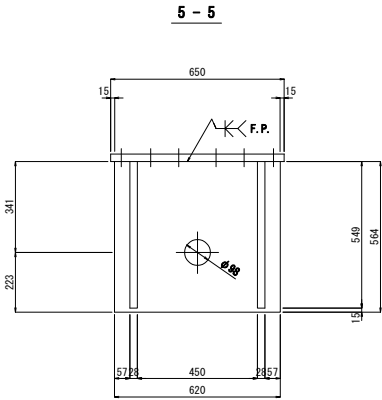
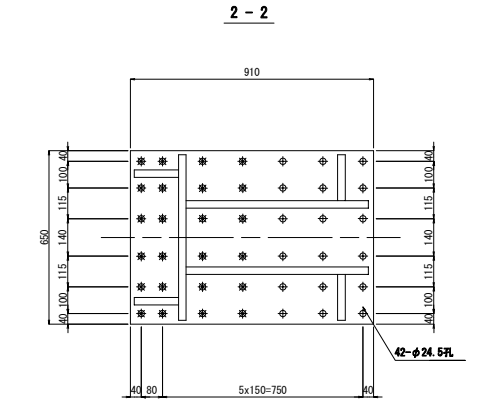
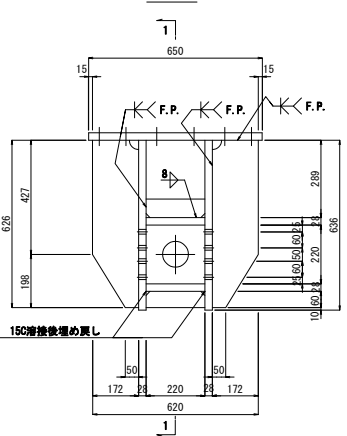
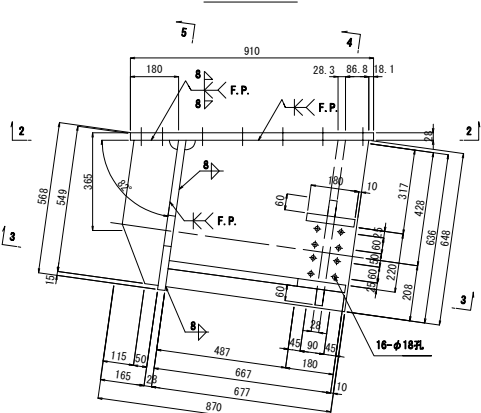
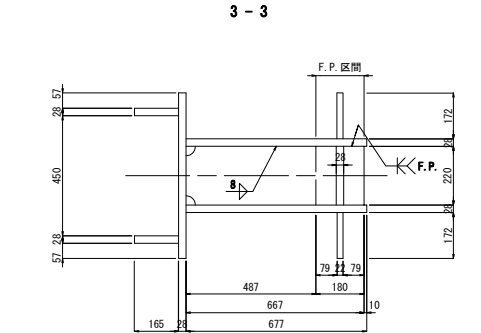
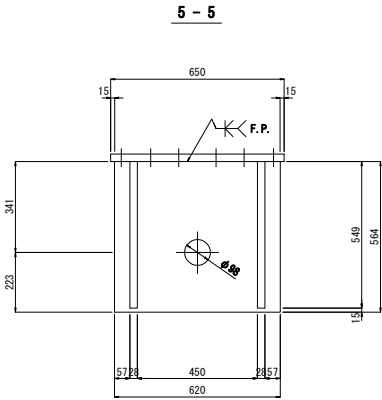
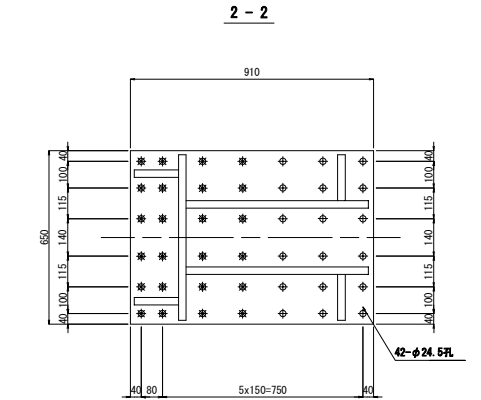
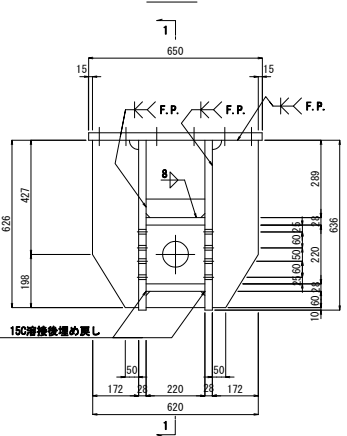
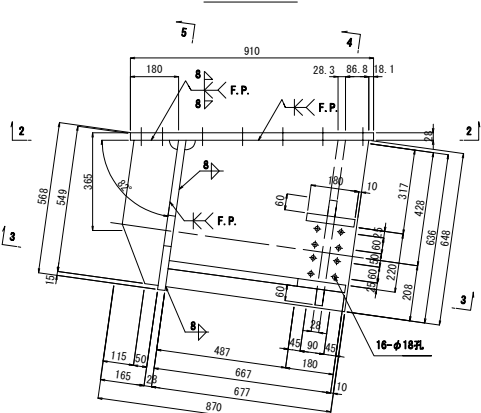
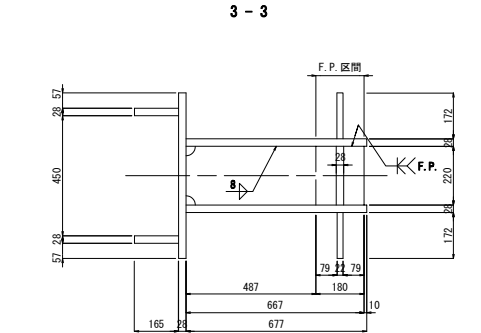
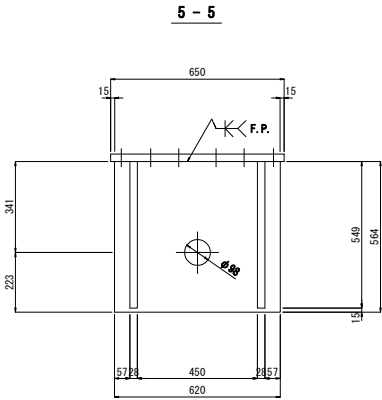
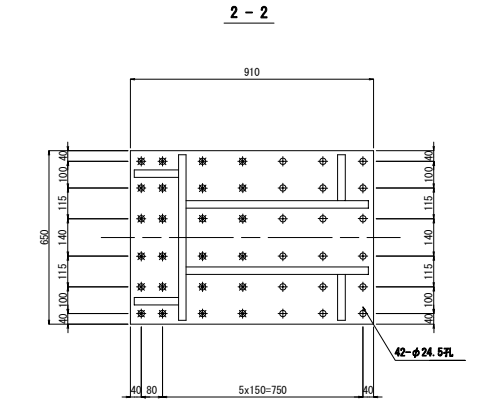
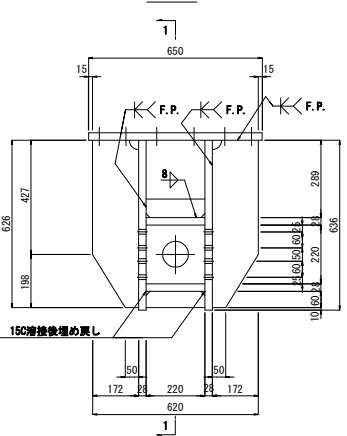
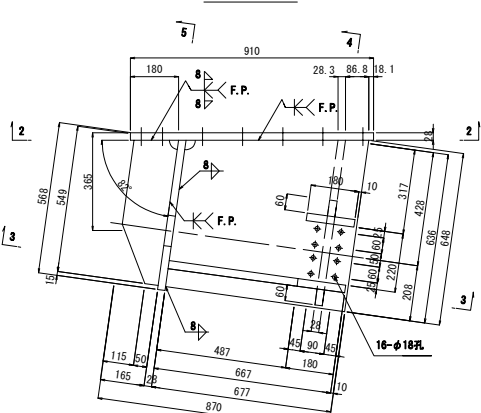
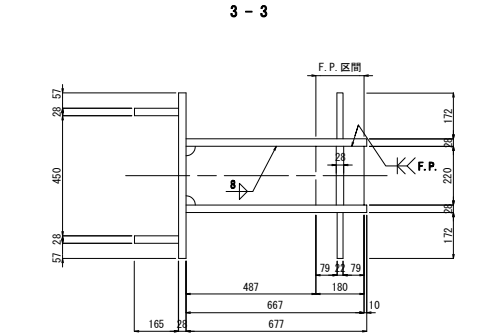
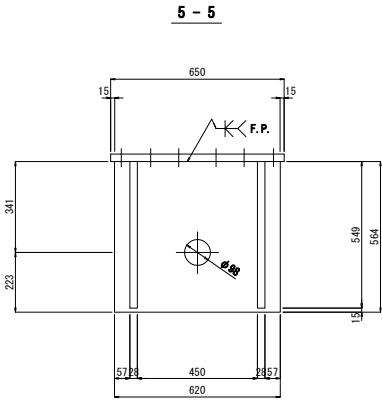
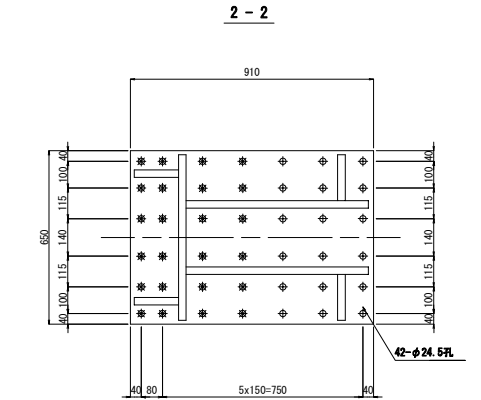
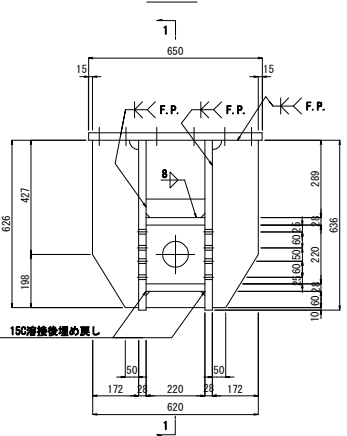
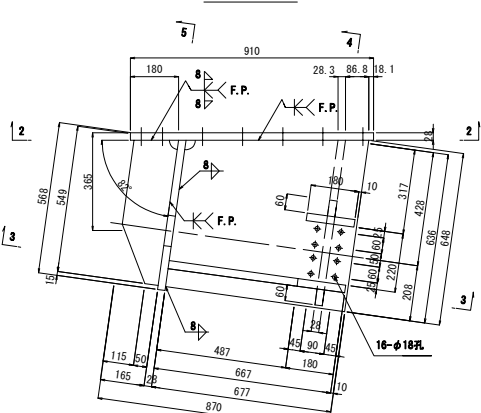
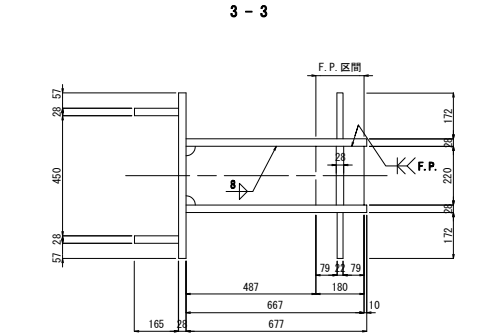
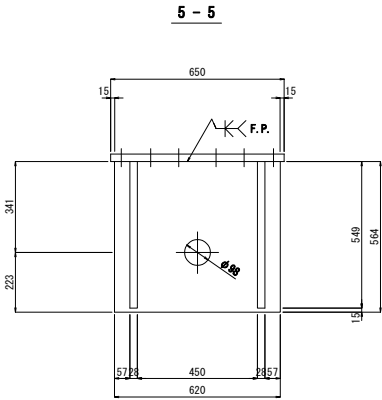
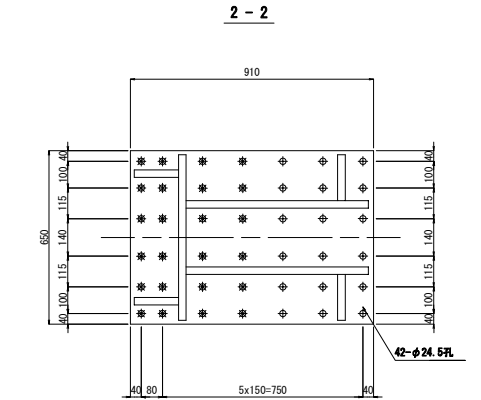
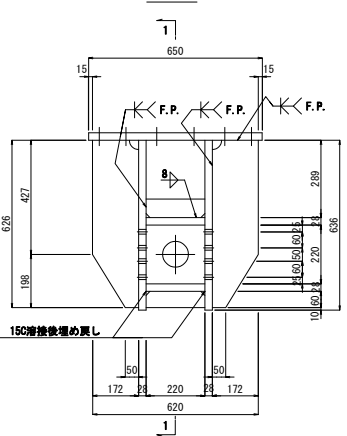
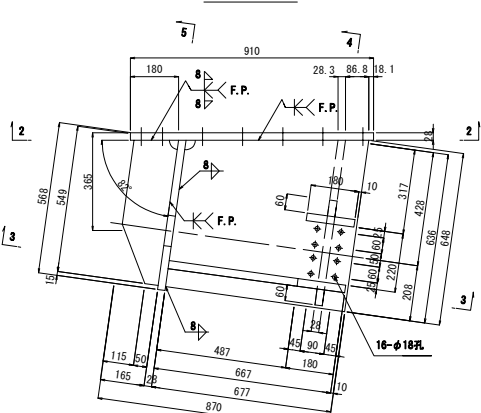
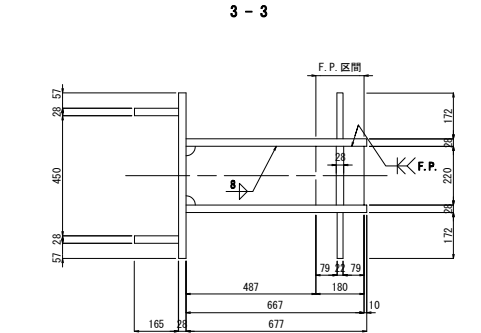
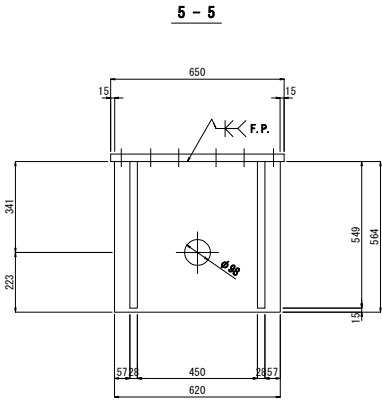
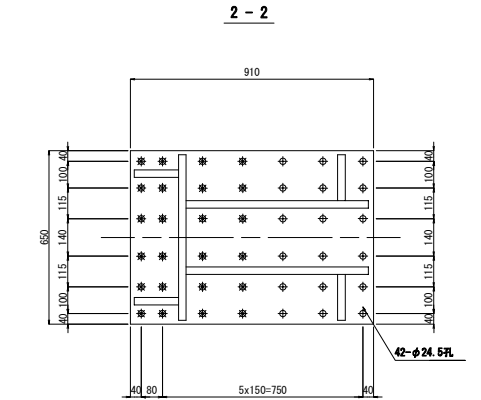
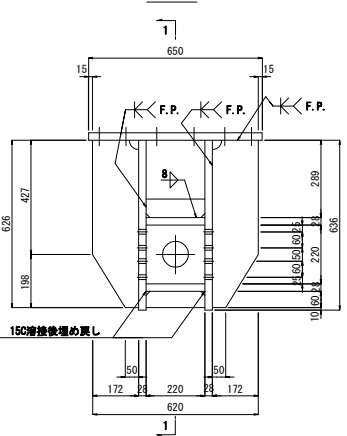
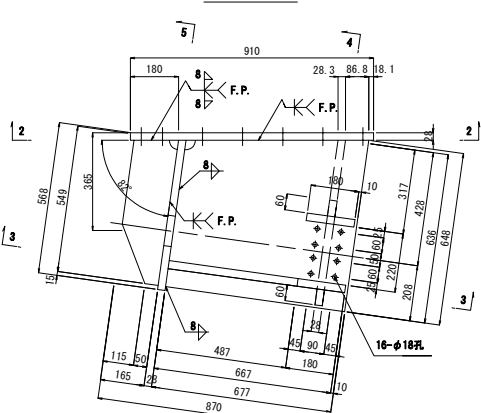
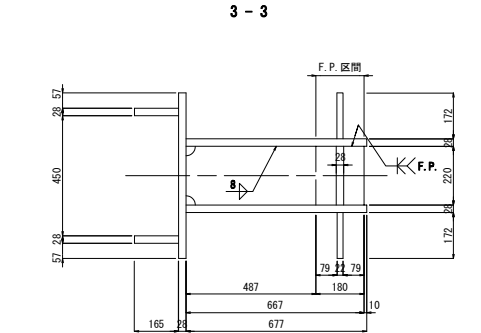
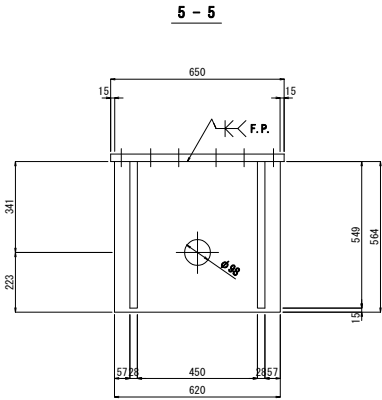
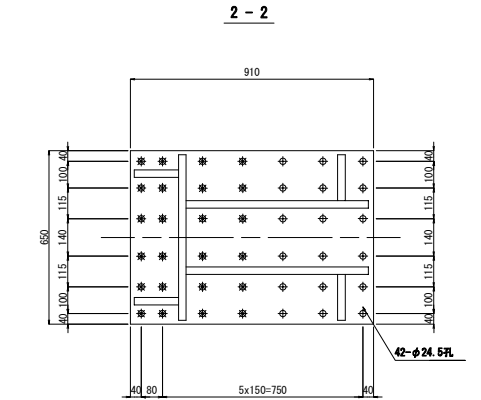
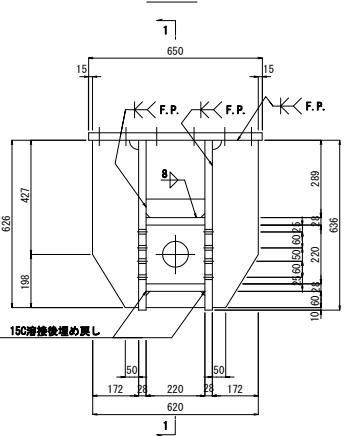
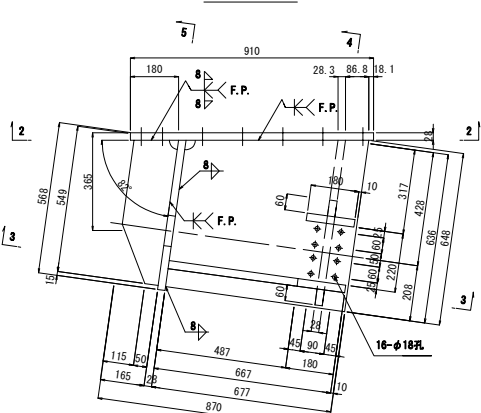
- 2-PL 165x28x548
- 2-PL 648x28x677
- 2-PL 172x22x626
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x687
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 568x28x620
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図

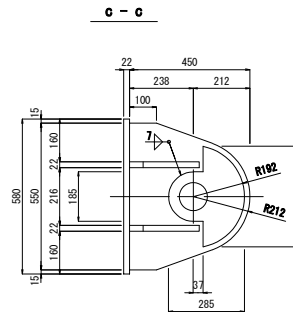
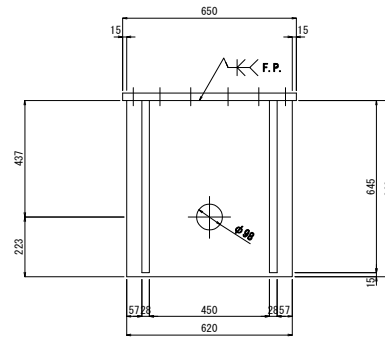
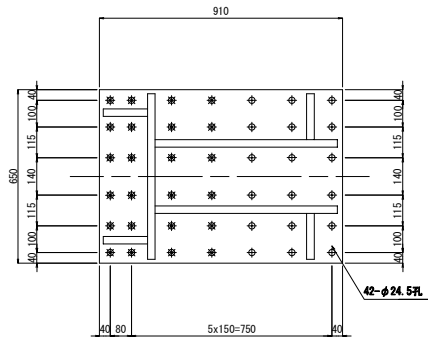
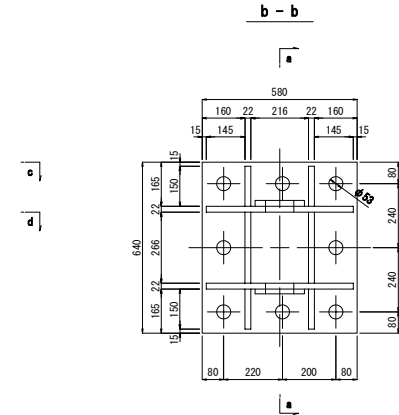
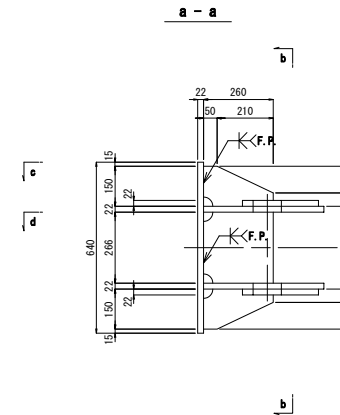
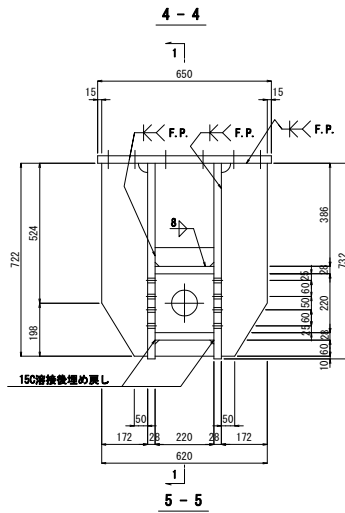
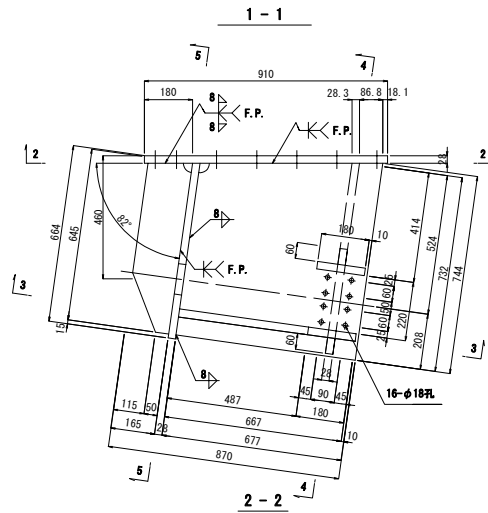


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

下部エブラケット詳細図



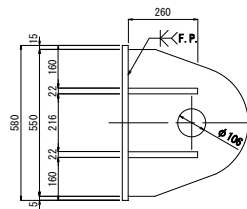
下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当たり(製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
 2-PL 450x22x550
 4-PL 150x22x260
 2-PL 260x22x266
 1-PL 580x22x640
 8-Anc Bolt D51x895 (SD345)
 8-1種 Nut M48用 (SS400)
 8-3種 Nut M48用 (SS400)
 8-Washer M48用 (SS400)

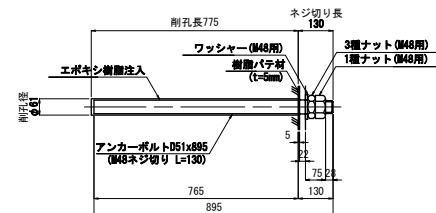
d - d



注記)

- 1. 特記なき材質は全てS4007Bとする。
- 2. 特記なきスカラーアップは全てS5Rとする。
- 3. 上部エブラケットは主桁と同等への防錆塗装を施すものとする。
- 4. ※の耐力ポルトは頭部側にも座金を用いるものとする。
- 5. 下部エブラケットは、全て増強型メッキ仕上げとする。
付増量は、JIS H 8041 H0255とする。
- 但し、ポルト・ナット類はH0235とする。
- 6. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

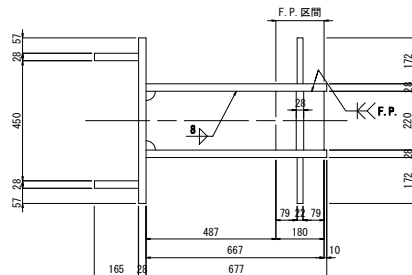
アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 165x28x645
2-PL 677x28x744
2-PL 172x22x722
2-PL 60x28x220
1-PL 220x28x667
1-PL 180x28x220
1-PL 620x28x664
1-PL 650x28x910
12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
12-TCB M22x100 (S10T)
12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
6-TCB M22x 75 (S10T)



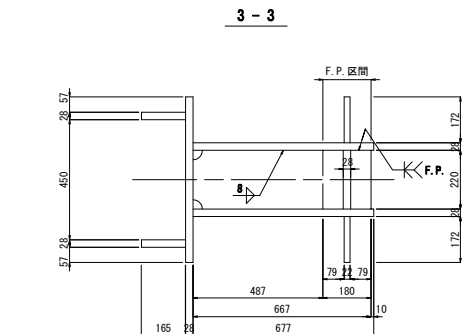
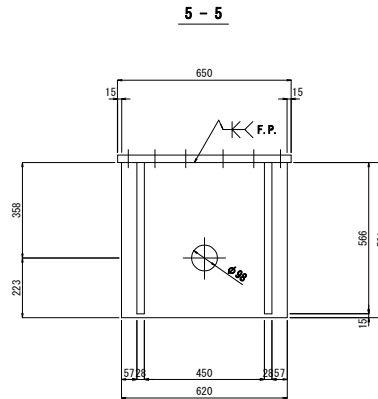
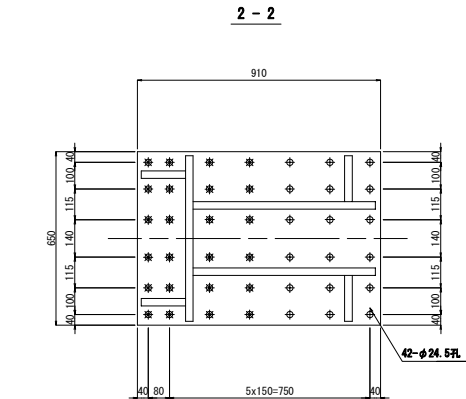
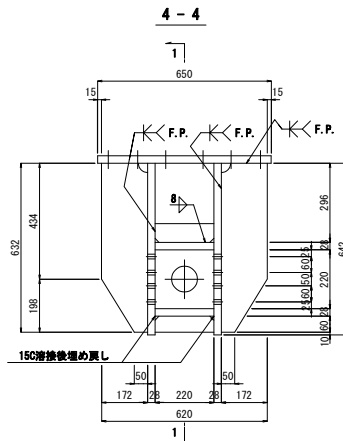
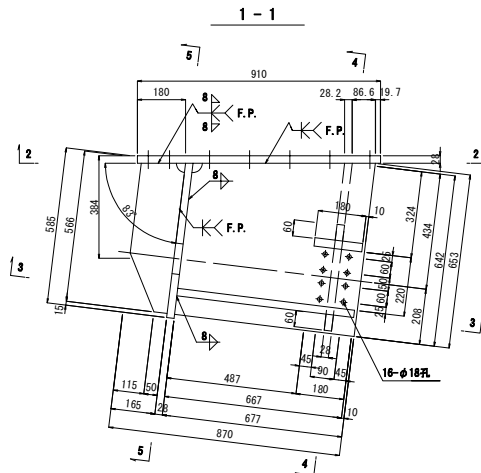
仙台東部道路 新名取川橋梁愛護施工工事			
図面の種類	落橋防止構造図 ① 詳細図 (その13) (参考図) <Z機合 BG1H>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

落橋防止構造 P1 詳細図(その14) (参考図) S=1:20

<A2橋台 BG1L>

65 / 190

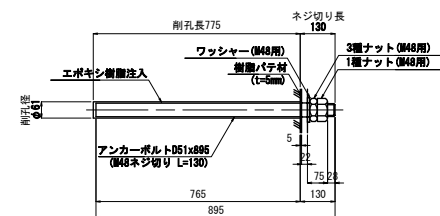
ブラケット詳細図



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

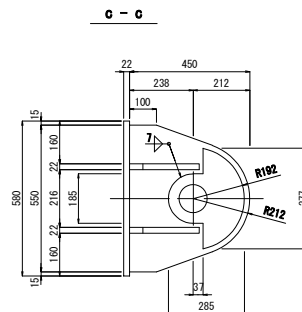
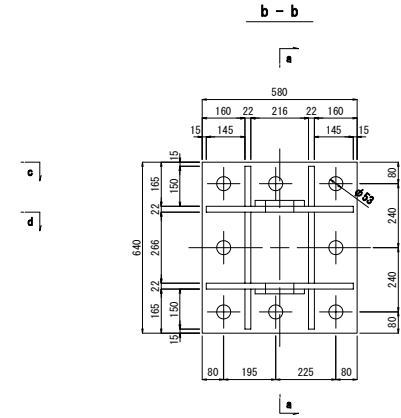
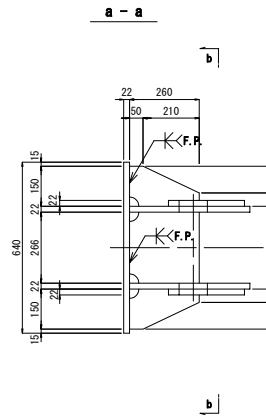
- 2-PL 165x28x566
- 2-PL 653x28x677
- 2-PL 172x22x632
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 585x28x620
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [*1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [*1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図

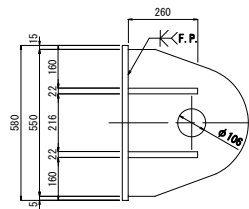


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

下部エブラケット詳細図



d - d



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 2-PL 265x22x377
- 2-PL 450x22x550
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 260x22x266
- 1-PL 580x22x640
- 8-Anc Bolt D51x895 (S345)
- 8-1個 Nut M40用 (SS400)
- 8-3個 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てS440YBとする。
2. 特記なきスカラーラップは全て3SRとする。
3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
4. ※の高力ボルトは胴部側にも座金を用いるものとする。
5. 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。
6. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台直轄道路 新名取川橋新設補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P1 詳細図(その14) (参考図) <A2橋台 BG1L>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

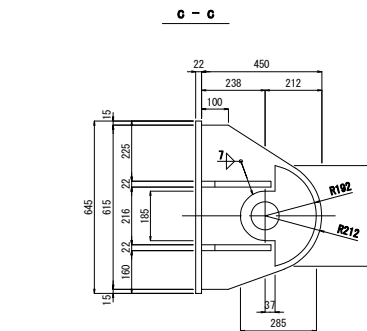
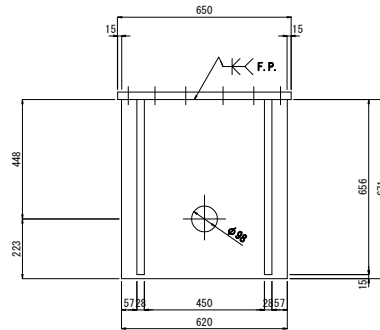
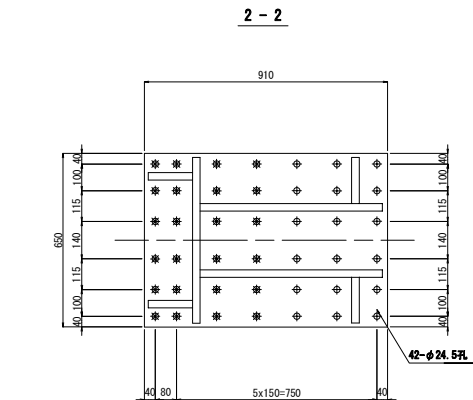
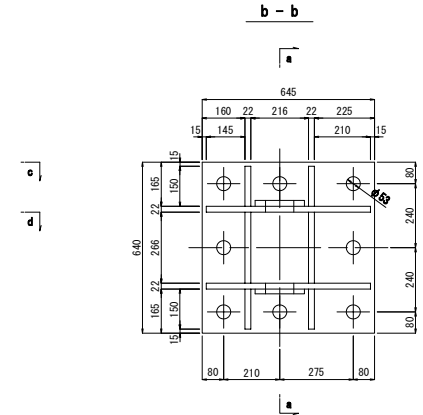
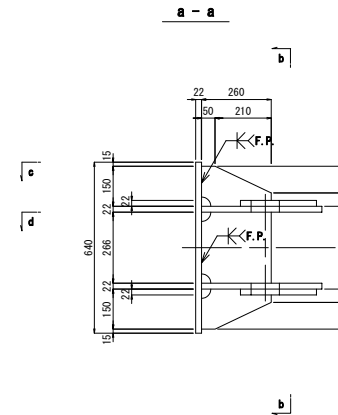
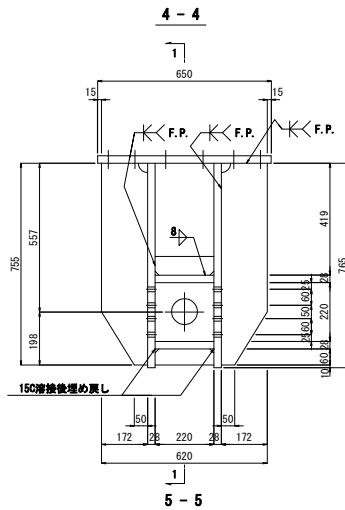
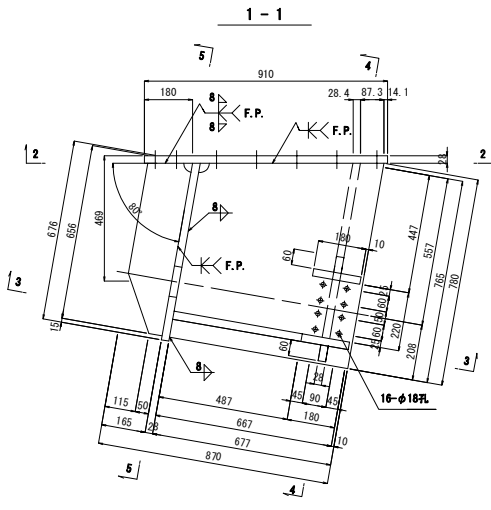
落橋防止構造 P 1 詳細図(その15) (参考図)

<A2橋台 BG2R>

66 / 190

ブラケット詳細図

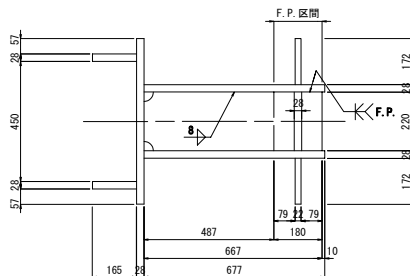
下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x115
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 280x22x266
- 1-PL 640x22x645
- 8-Anc Bolt D51x805 (S345)
- 8-1個 Nut M40用 (SS400)
- 8-3個 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

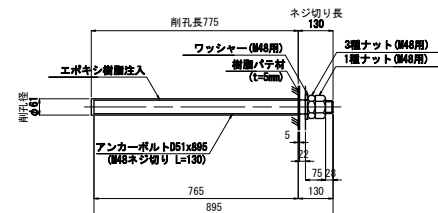
3-3



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

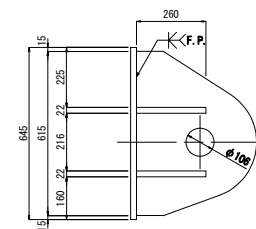
- 2-PL 165x28x656
- 2-PL 677x28x780
- 2-PL 172x22x755
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x676
- 1-PL 650x28x910
- 12-TGB M22x105 (S10T) [+1W]
- 12-TGB M22x100 (S10T)
- 12-TGB M22x 80 (S10T) [+1W]
- 6-TGB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

d-d



注記)

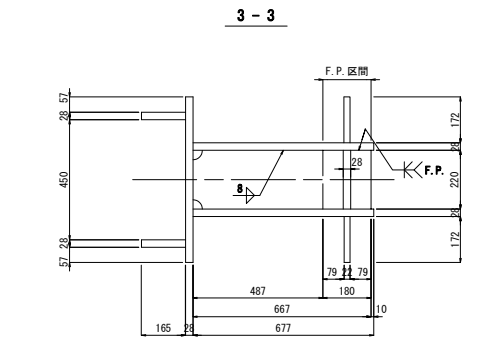
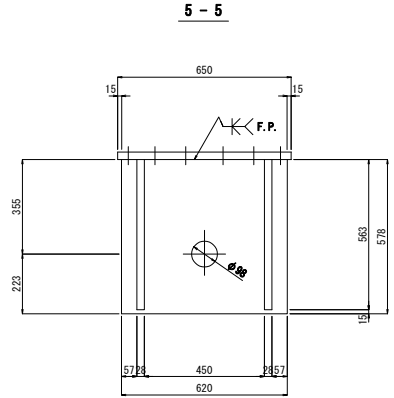
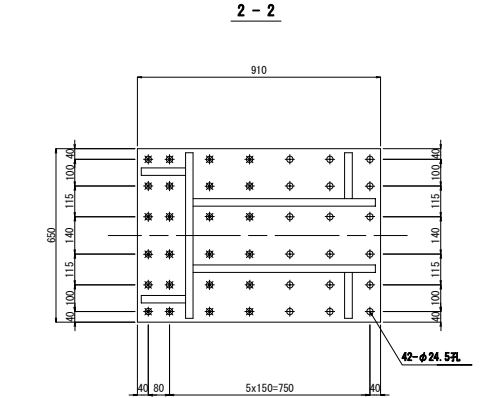
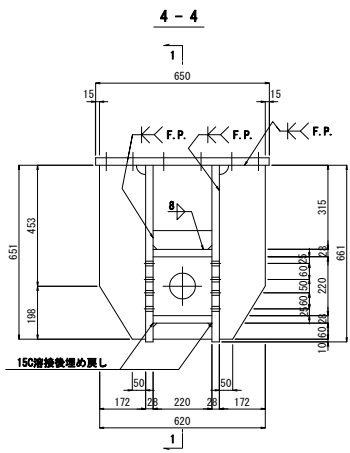
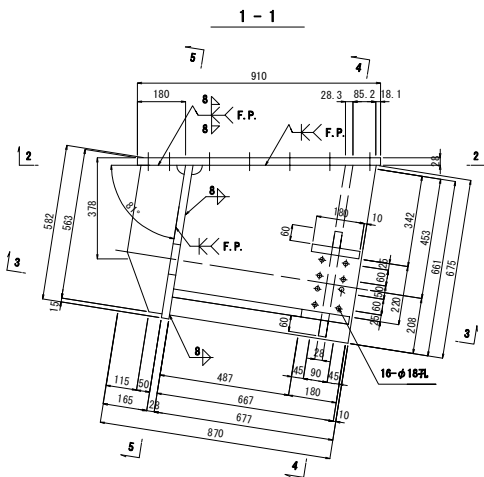
- 特記なき材質は全てS440YBとする。
- 特記なきスカラーラップは全て3SRとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは胴部側にも座金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。付数量は、JIS H 8641 H2Z55とする。但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台直轄道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 1 詳細図(その15) (参考図)	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

落橋防止構造 P 1 詳細図(その16) (参考図)

<A2橋台 BG2L>

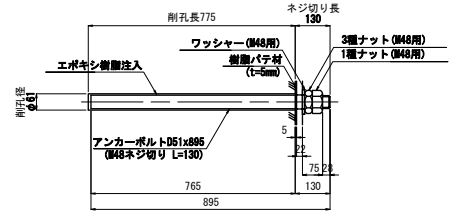
ブラケット詳細図



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

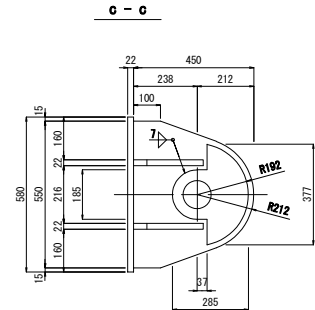
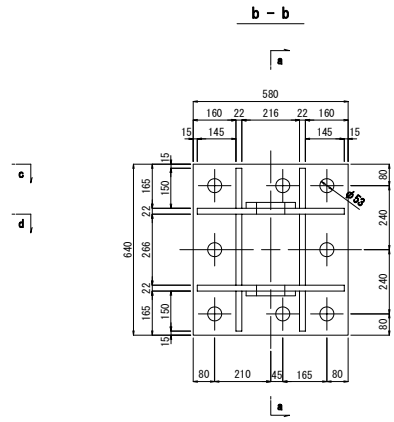
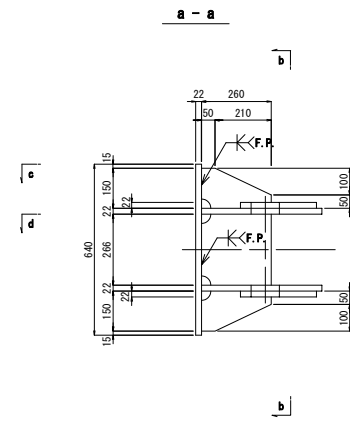
- 2-PL 165x28x563
- 2-PL 675x28x677
- 2-PL 172x22x651
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x687
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 582x28x620
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [*1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [*1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図

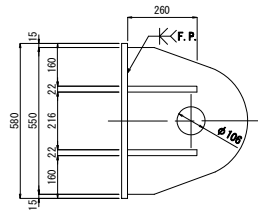


※アンカーボルトはネジ切り部のみ滑継ぎ締めつきを施すものとする。

下部エブラケット詳細図



d - d



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 2-PL 265x22x377
- 2-PL 450x22x550
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 240x22x266
- 1-PL 580x22x640
- 8-Anc Bolt D51x895 (S345)
- 8-1個 Nut M40用 (SS400)
- 8-3個 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

- 1. 特記なき材質は全てS345とする。
- 2. 特記なきスカラーは全て35Rとする。
- 3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- 4. ※の高力ボルトは胴部側にも座金を用いるものとする。
- 5. 下部エブラケットは、全て滑継ぎ締めつき仕上とする。
- 6. 付数量は、JIS H 8641 H2Z55とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
- 6. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋新設補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 1 詳細図(その16) (参考図)	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所		

S=1:20

仙台東部道路 新名取川橋新築補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 1 詳細図(その17) (参考図) 「A1橋台」		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管事務所		

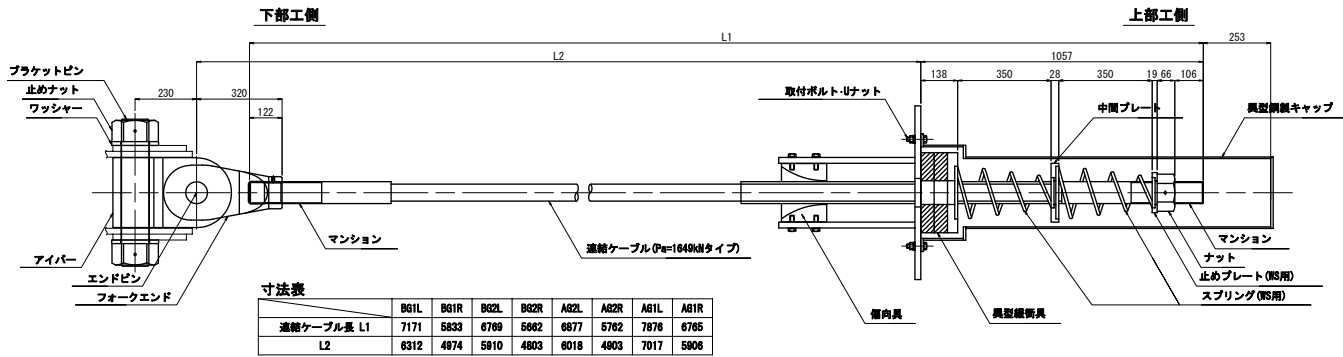
落橋防止構造 P 1 詳細図(その18) (参考図)

<A2橋台>

S=1:20

69 / 190

取付詳細図



寸法表

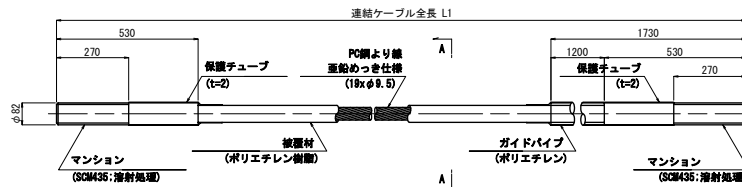
	B61L	B61R	B62L	B62R	A62L	A62R	A61L	A61R
連結ケーブル長 L1	7171	5833	6769	5662	6677	5782	7878	6765
L2	6312	4974	5910	4803	6018	4903	7017	5906

材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)

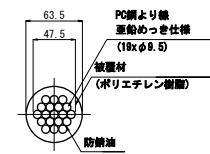
全0組 (8組/橋台)

名 称	規 格	単位	数量	備 考
連結ケーブル (マンション) (ガイドパイプ)	Pa=1649kNタイプ Pa=1649kNタイプ用 標準 Pa=1649kNタイプ用 1200mm	本 個 本	1 2 1	PC鋼より線、亜鉛めっき仕様、ポリエチレン被覆 SCM435、亜鉛アミ溶射、ねじり鋼線 <ケーブルに組込> ポリエチレン <ケーブルに組込>
ナット	Pa=1649kNタイプ用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)
止めプレート (WS用)	Pa=1649kNタイプ用	枚	1	SS400、亜鉛めっき (HDZ55)
スプリング (WS用)	Pa=1649kNタイプ用 L=500	個	2	SW-C、亜鉛めっき、クロメート処理
中間プレート	Pa=1649kNタイプ用	枚	1	SS400、亜鉛めっき (HDZ55)
異型鋼製具	Pa=1649kNタイプ用	個	1	SS400、亜鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	Pa=1649kNタイプ用	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x55 18付	本	16	SS400相当品:亜鉛めっき (HDZ35) 塗着剤付
異型鋼製キャップ	Pa=1649kNタイプ L=1310	個	1	SS400、STK400:亜鉛めっき (HDZ55)
取付ボルト・ナット	M16x70 28付	本	4	SS400相当品:亜鉛めっき (HDZ35)
ブラケットピン	Pa=1649kNタイプ用	本	1	SCM435、ダクロダイズ処理、DMコート
止めナット	Pa=1649kNタイプ用	個	2	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)
ワッシャー	Pa=1649kNタイプ用	個	2	SS400、亜鉛めっき (HDZ55)
アイバー	Pa=1649kNタイプ用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)
フォークエンド	Pa=1649kNタイプ用	個	1	S45C、亜鉛めっき (HDZ55)
エンドピン (ピン)	Pa=1649kNタイプ用	本	1	SCM435、ダクロダイズ処理、DMコート
(止めプレート)	Pa=1649kNタイプ用	個	1	SS400、亜鉛めっき

連結ケーブル

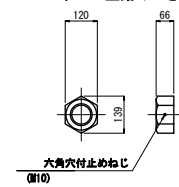


A-A断面図 S=1/4

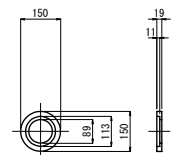


ナット

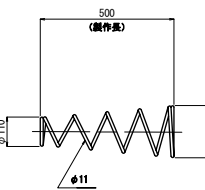
(S45C:亜鉛めっき)



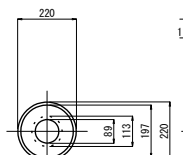
止めプレート (WS用)
(SS400相当品:亜鉛めっき)



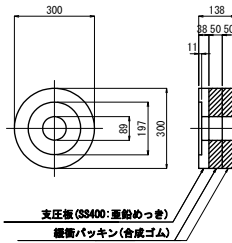
スプリング (WS用)
(SW-C:亜鉛めっき,加メート処理)



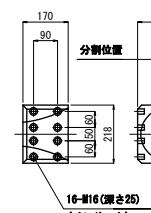
中間プレート
(SS400:亜鉛めっき)



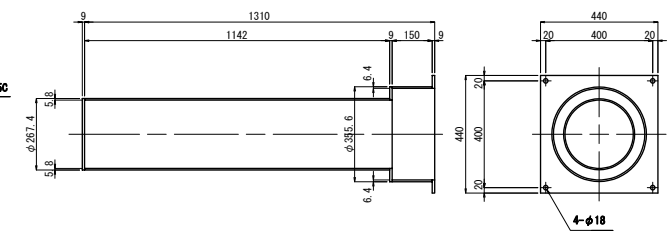
異型鋼製具
(支柱板+緩衝パッキン)



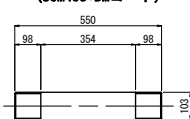
偏向具
(ポリエチレン)



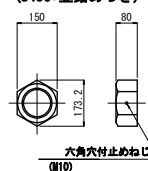
異型鋼製キャップ
(SS400, STK400:亜鉛めっき)



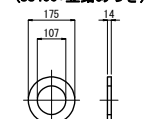
ブラケットピン
(SCM435:DMコート)



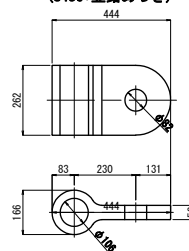
止めナット
(S45C:亜鉛めっき)



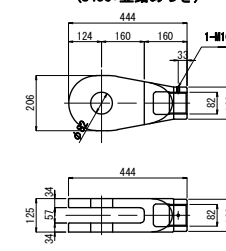
ワッシャー
(SS400:亜鉛めっき)



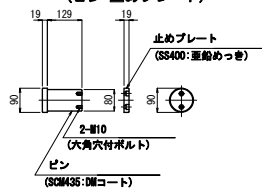
アイバー
(S45C:亜鉛めっき)



フォークエンド
(S45C:亜鉛めっき)



エンドピン
(ピン+止めプレート)

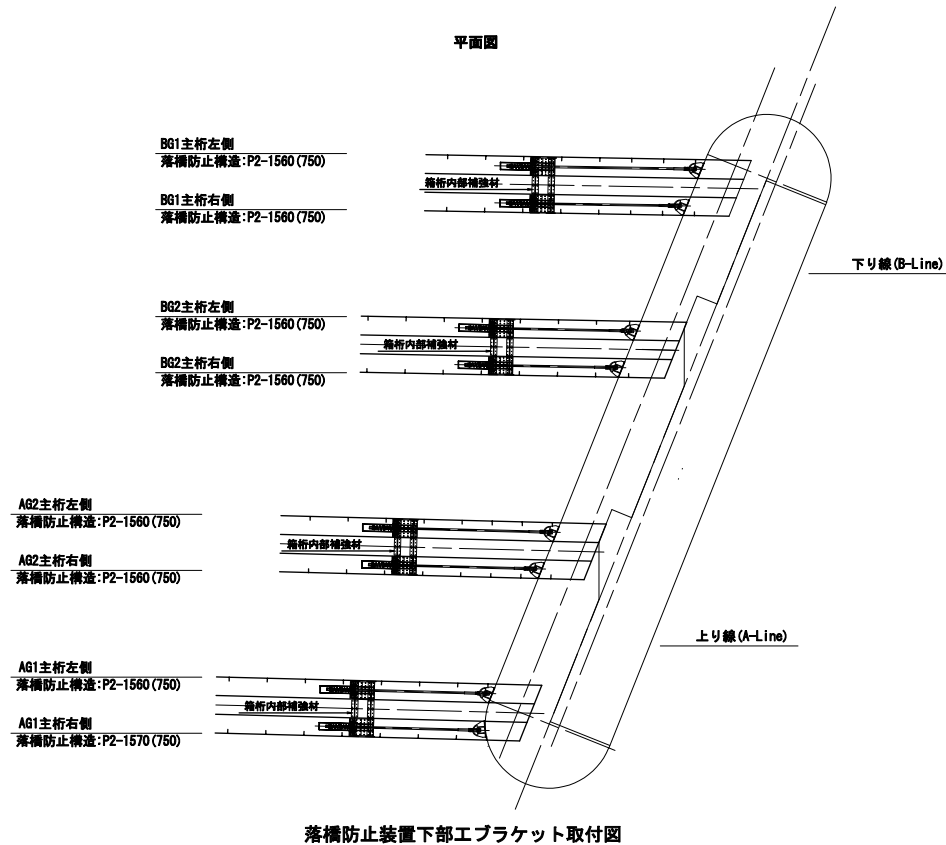


注記
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確保のうえ、おこなうこと。

仙台直轄道路 新名取川橋脚復旧工事	
図面の種類	落橋防止構造 P 1 詳細図(その18) (参考図) <A2橋台>
縮 尺	図 示
設計会社名	株式会社 片平新日本技術
施工会社名	
事業所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所

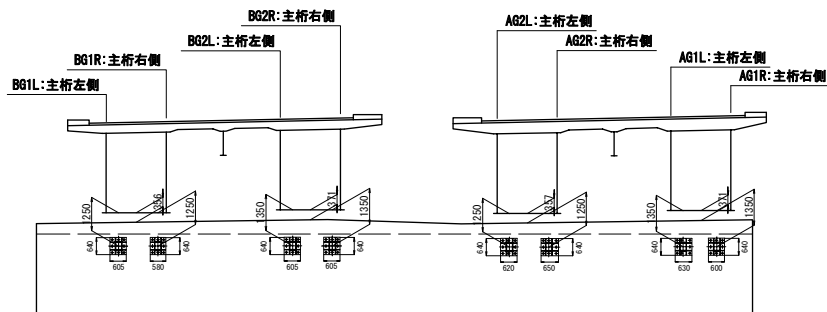
<P2橋脚(起点側)>

下り線(B-Line)主桁詳細図

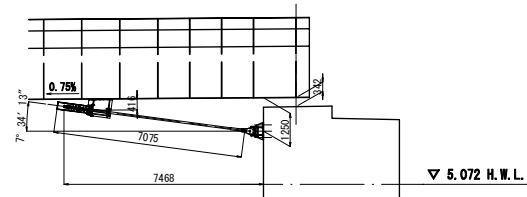


落橋防止装置下部エブラケット取付図

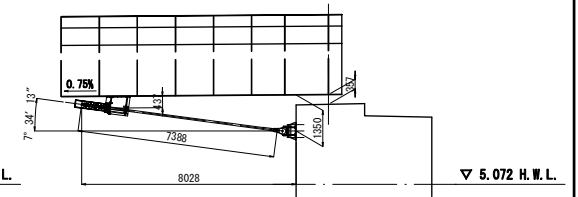
正面图



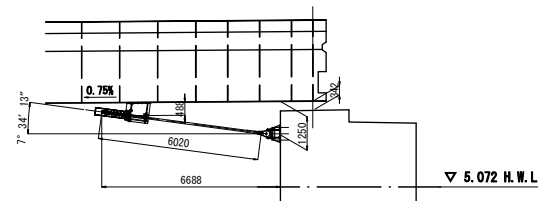
BG1L:主桁左側



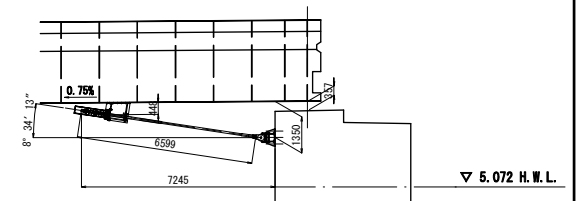
BQ2L:主桁左側



BG1R:主桁右側

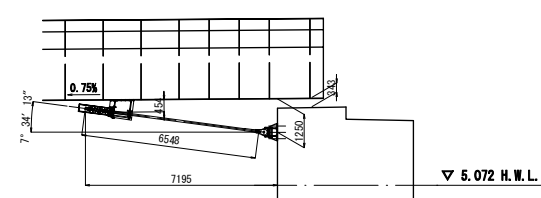


BG2R:主桁右側

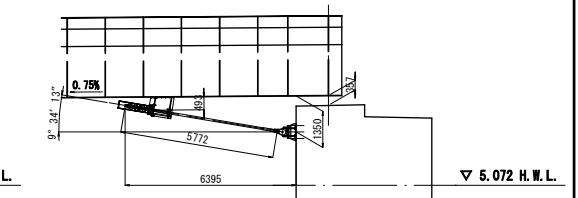


上り線(A-Line)主桁詳細図

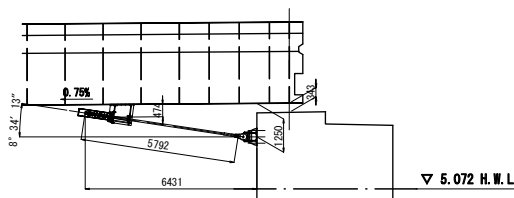
AG2L:主桁左側



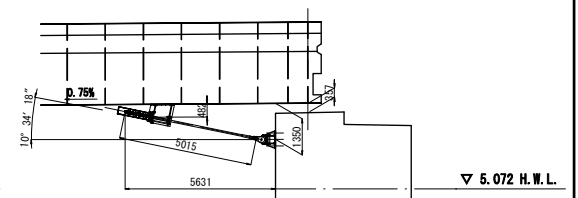
AG1L:主桁左側



AG2R:主桁右側



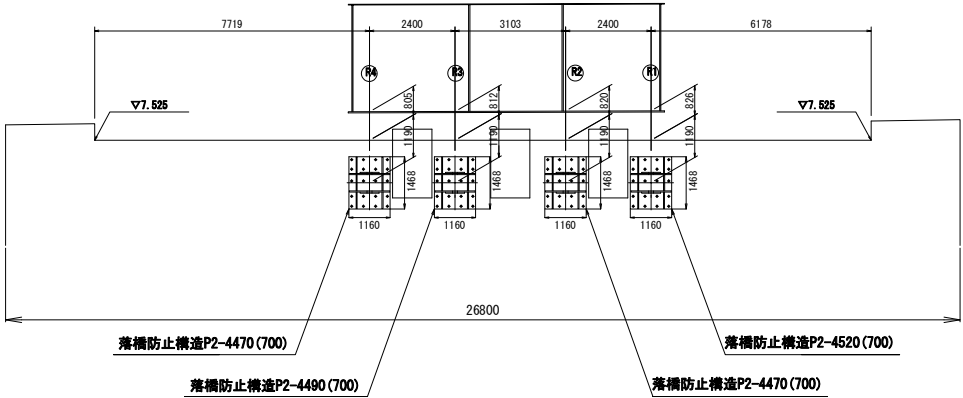
AG1R:主桁右側



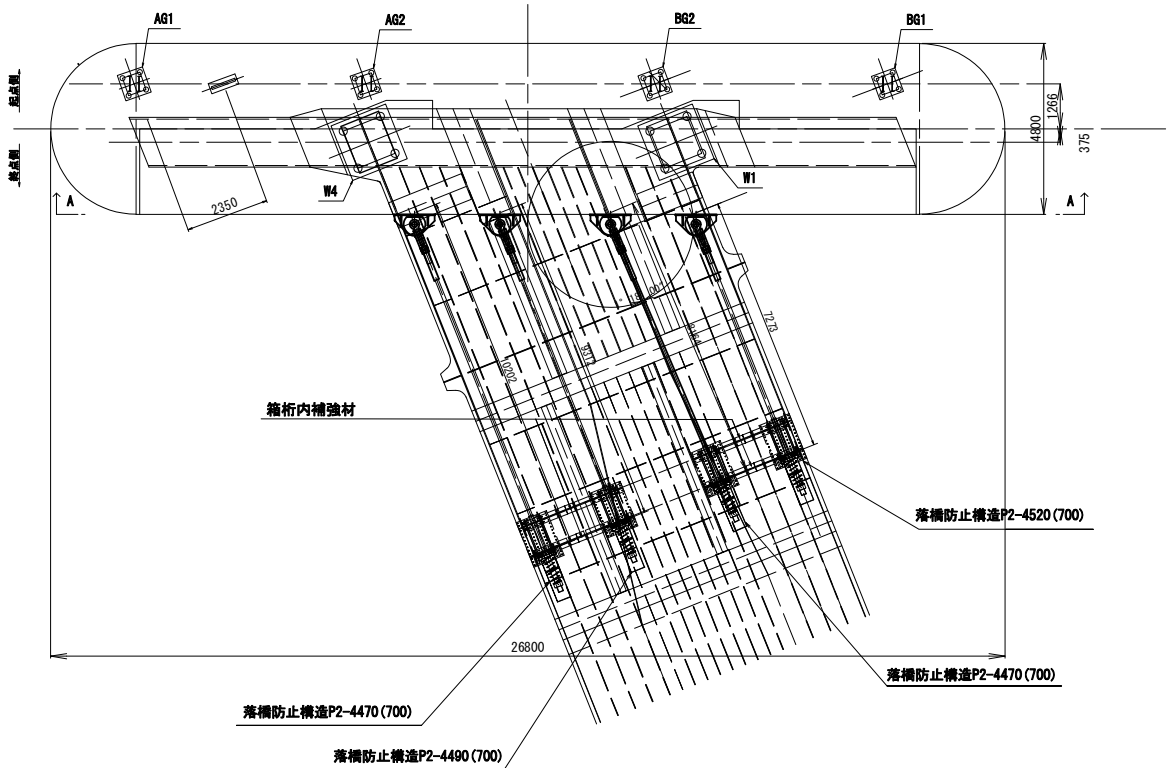
仙台東部道路 新名取川橋梁補強工事	
図面の種類	湾路防止橋道P2一般図(その1)(参考図) ＜P2欄外(端点側)＞
縮 尺	図 示 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所

落橋防止構造 P 2 一般図(その2)(参考図)
<P2橋脚(終点側)>

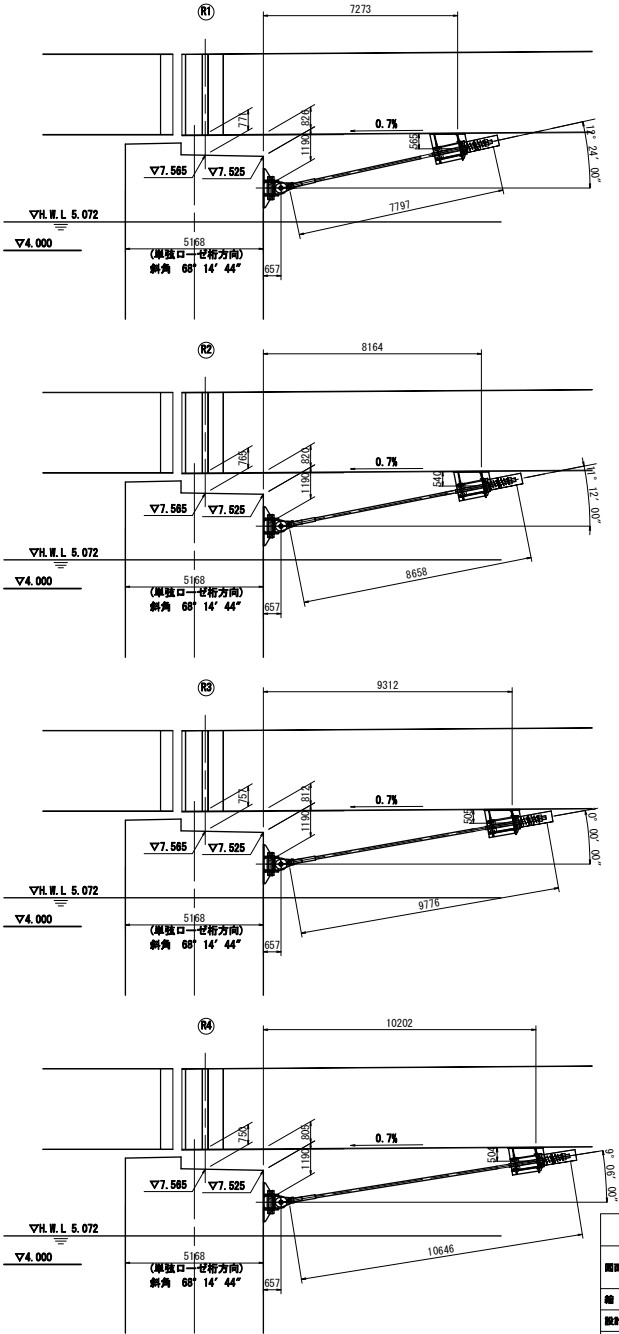
正面図 (A-A断面) S=1:150



平面図 S=1:150



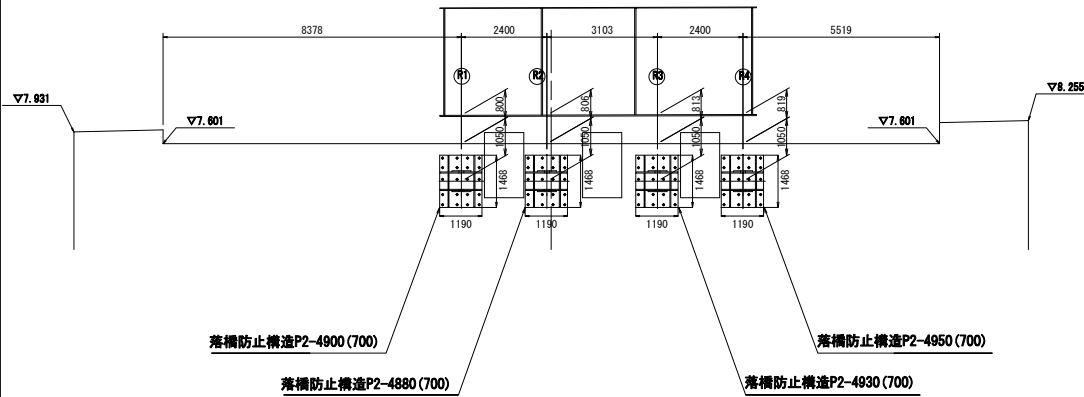
側面図 S=1:200



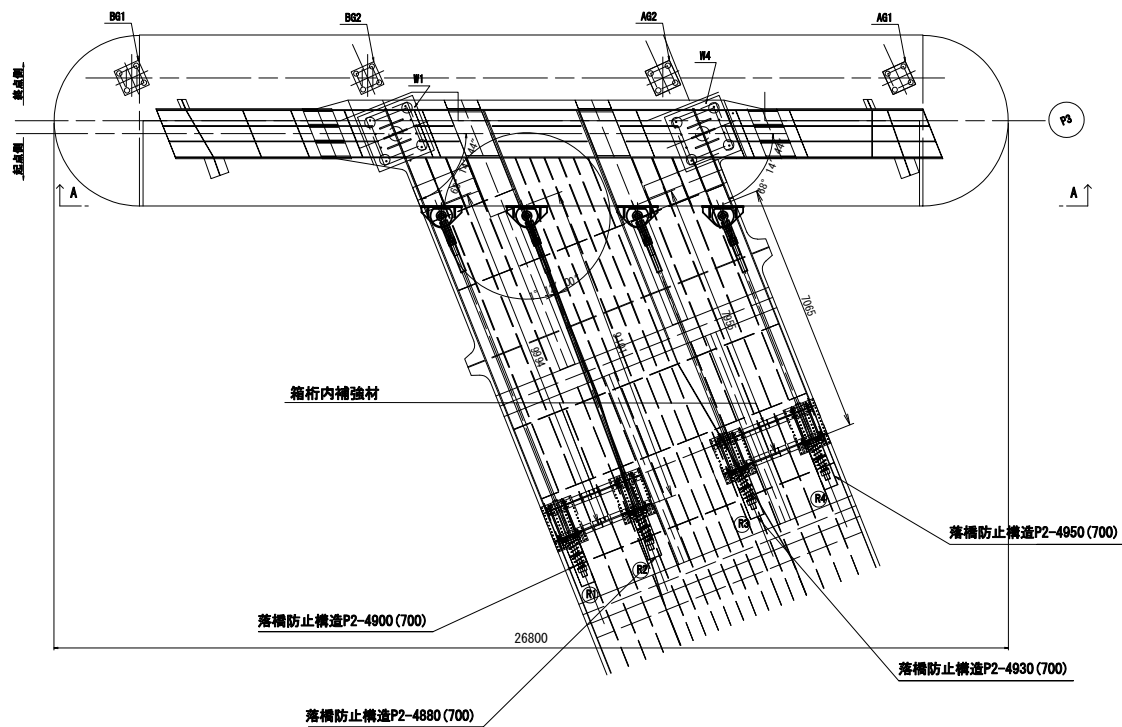
仙台東部道路 新名取川橋脚耐震補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 一般図(その2)(参考図) <P2橋脚(終点側)>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

＜P3橋脚(起点側)＞

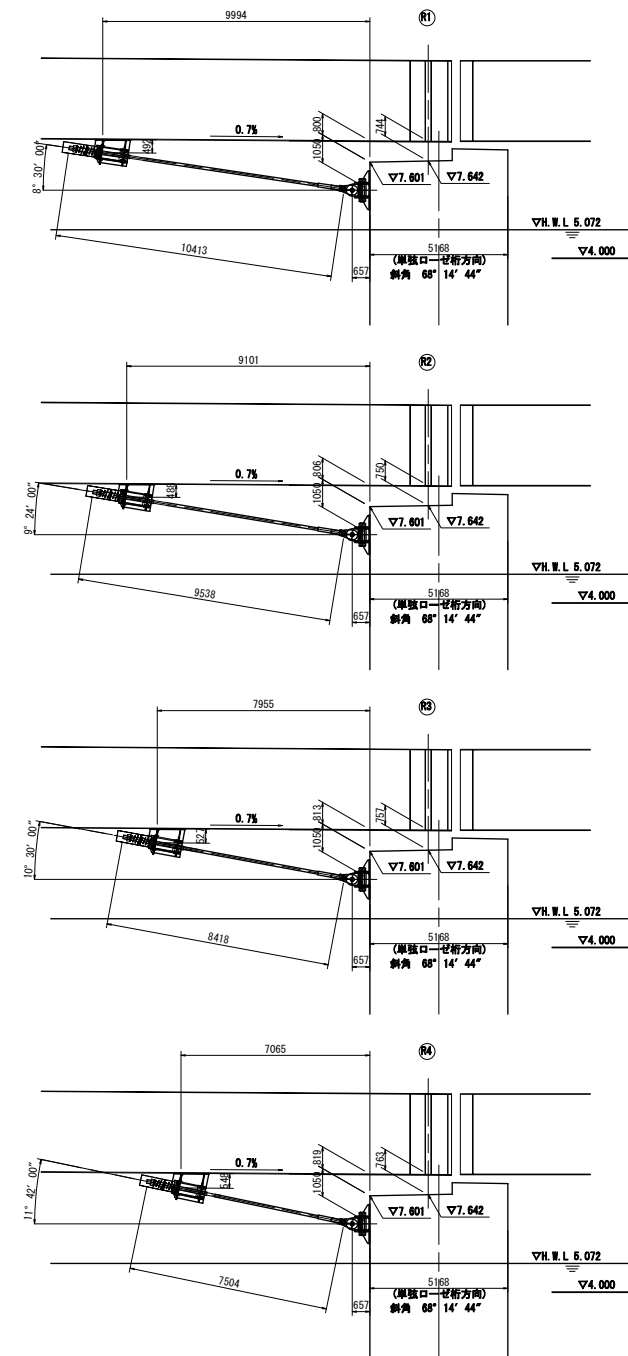
正面图 (A-A断面)



平面图 S=1:150



側面圖 S=1:200

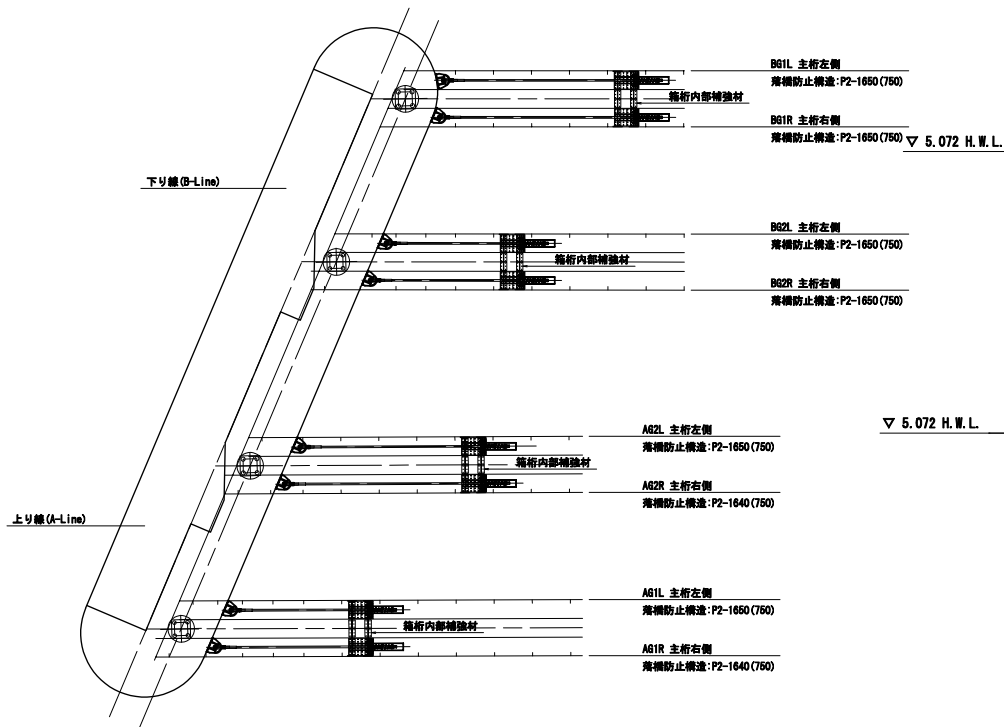


仙台東部道路 新名取川橋対養補強工事			
図面の種類	常設防犯構造P2 一般図(その3)(参考図) P3補強(起点側)		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

<P3橋脚(終点側)>

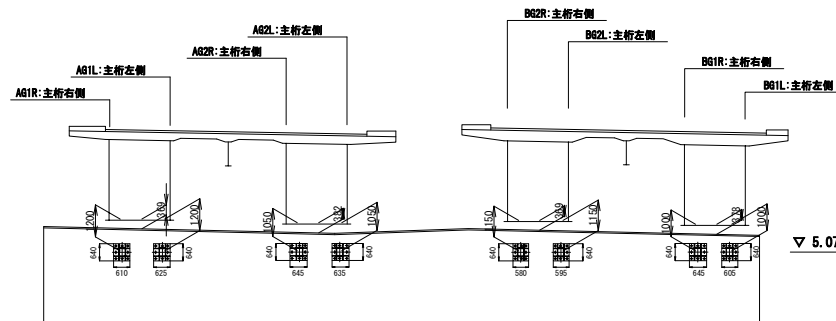
下り線(B-Line)主桁詳細図

平面図

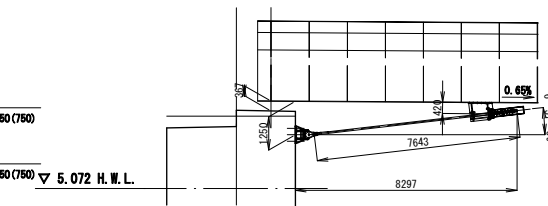


落橋防止装置下部エブラケット取付図

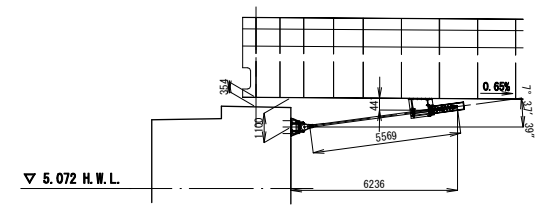
正面図



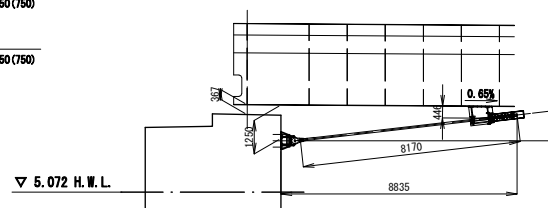
BG1L: 主桁左側



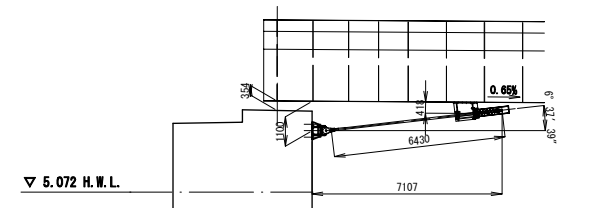
BG2L: 主桁左側



BG1R: 主桁右側

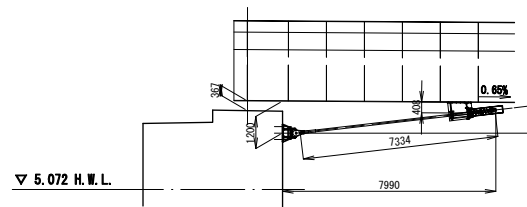


BG2R: 主桁右側

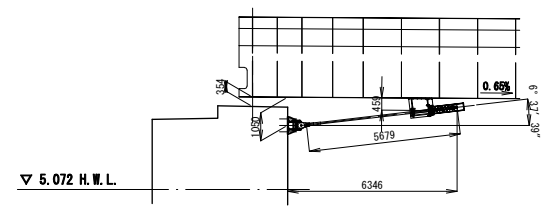


上り線(A-Line)主桁詳細図

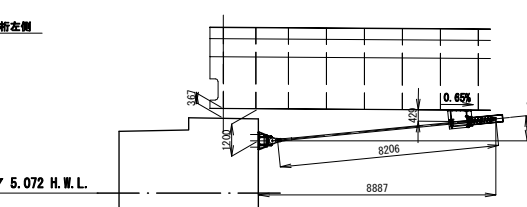
AG2L: 主桁左側



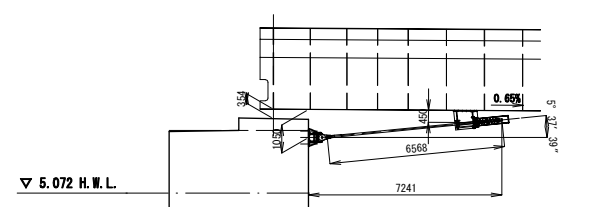
AG1L: 主桁左側



AG2R: 主桁右側



AG1R: 主桁右側



仙台直轄道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 一般図(その4)(参考図) <P3橋脚(終点側)>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事業所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

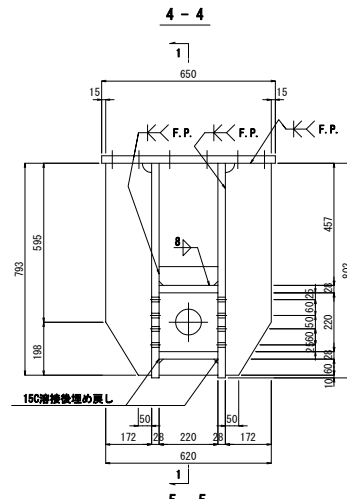
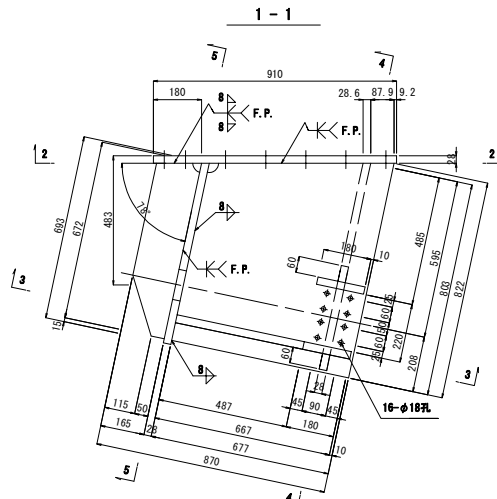
落橋防止構造 P 2 詳細図(その1)(参考図)

<P2橋脚(起点側)AG1R>

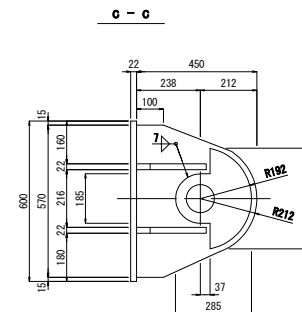
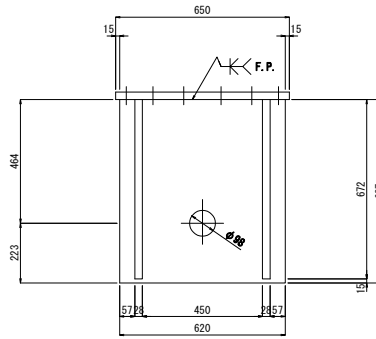
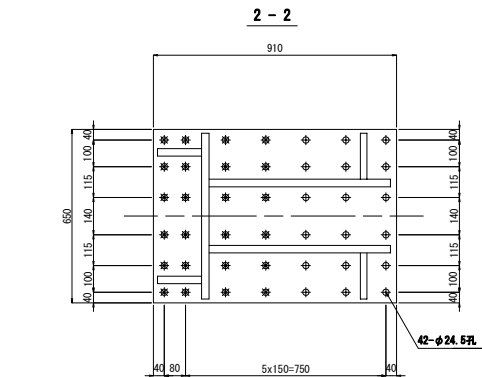
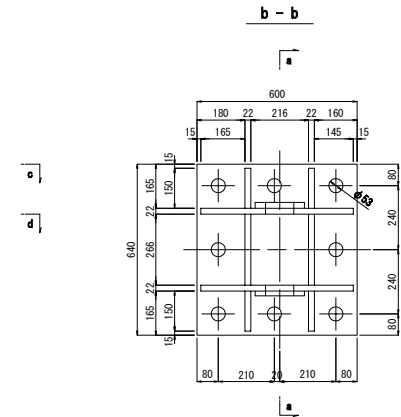
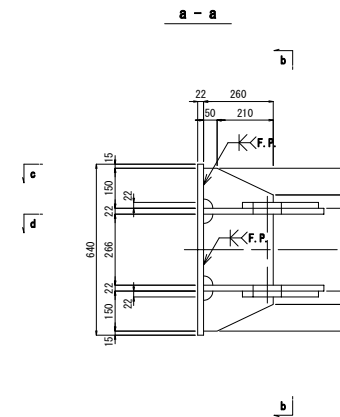
S=1:20

74 / 190

ブラケット詳細図



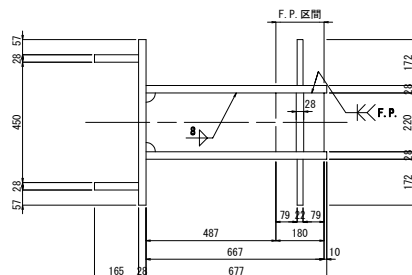
下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x570
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 260x22x266
- 1-PL 600x22x640
- 8-Anc Bolt D51x895 (S345)
- 8-1個 Nut M40用 (SS400)
- 8-3個 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

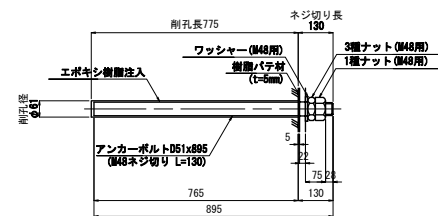
3-3



ブラケット1基当り(製作数:1基)

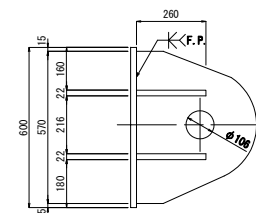
- 2-PL 165x28x672
- 2-PL 677x28x622
- 2-PL 172x22x793
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x683
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

d-d



注記)

- 特記なき材質は全てS440YBとする。
- 特記なきスカラーラップは全て3SRとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは胴部側にも座金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上とする。
- 付数量は、JIS H 8641 H2Z55とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その1)(参考図) ▽2橋脚(起点側)AG1R		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

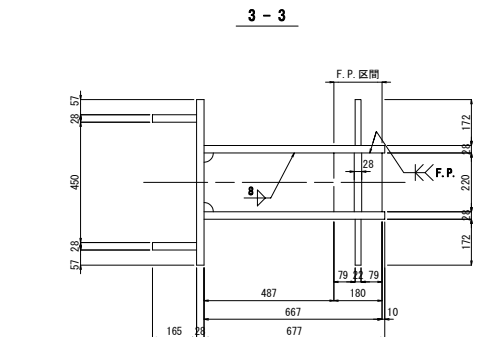
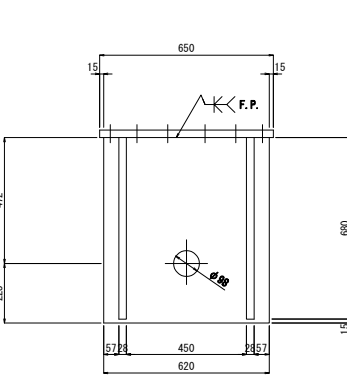
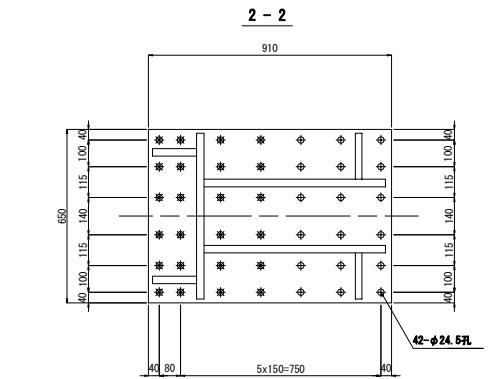
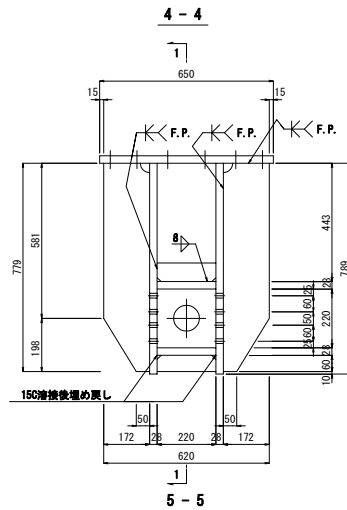
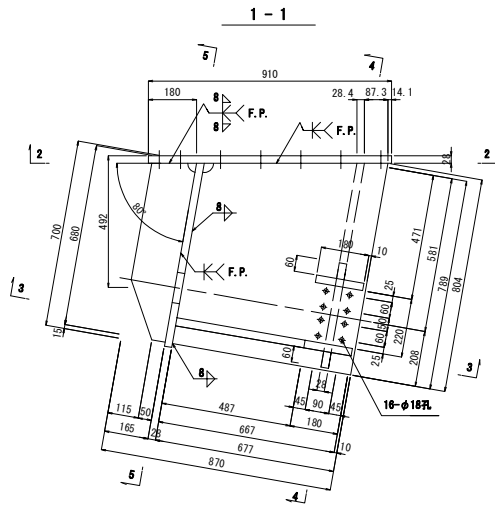
落橋防止構造 P 2 詳細図(その2)(参考図)

<P2橋脚(起点側)AG1L>

S=1:20

75/190

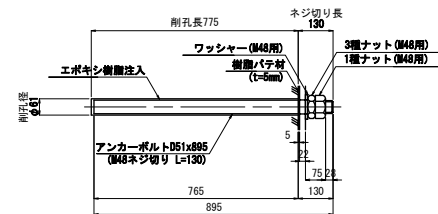
ブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:1基)

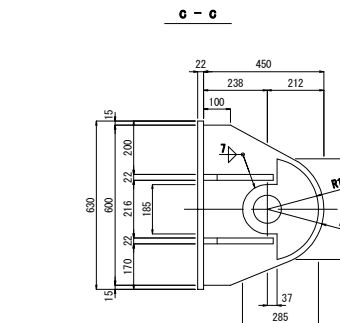
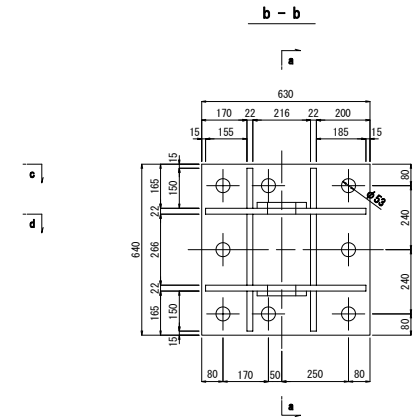
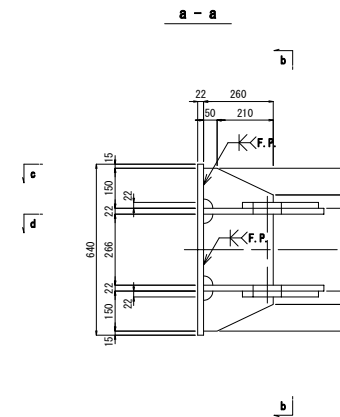
- 2-PL 165x28x680
- 2-PL 677x28x804
- 2-PL 172x22x779
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x700
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [*1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [*1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

下部エブラケット詳細図



d-d

ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x600
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 260x22x266
- 1-PL 630x22x640
- 8-Ans Bolt D51x896 (S3045)
- 8-1個 Nut M48用 (SS400)
- 8-3個 Nut M48用 (SS400)
- 8-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てS440YBとする。
2. 特記なきスカラーは全て3SRとする。
3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
4. ※の高力ボルトは胴部側にも座金を用いるものとする。
5. 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。
6. 付数量は、JIS H 8641 H2Z55とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
7. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その2)(参考図) ▽2線側(橋梁側)軸し		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		

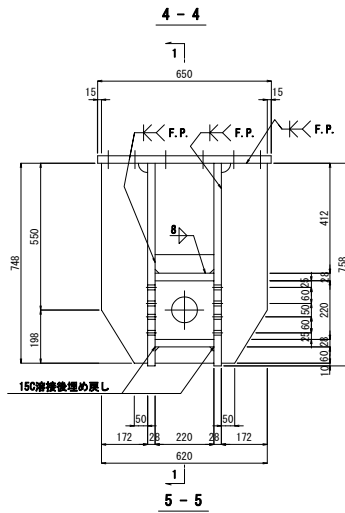
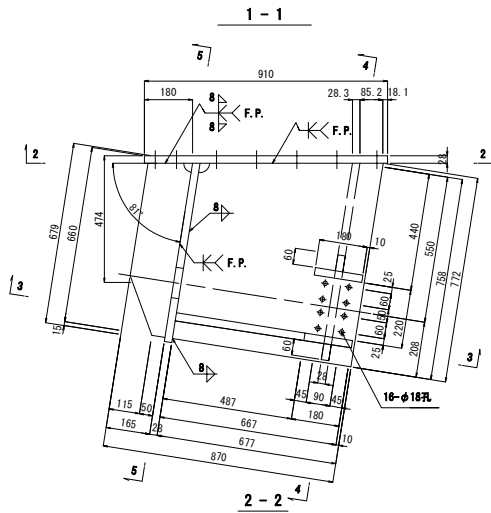
落橋防止構造 P 2 詳細図(その3)(参考図)

<P2橋脚(起点側)AG2R>

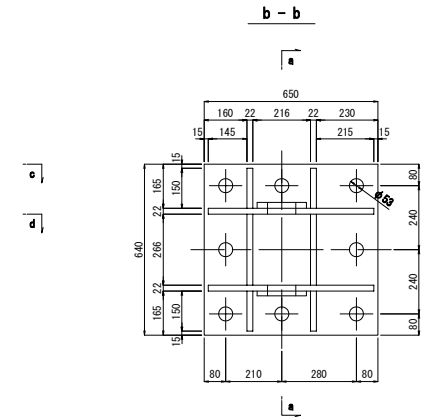
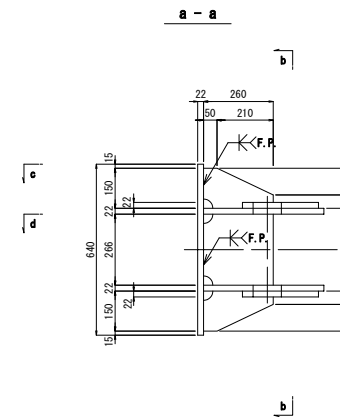
S=1:20

76/190

ブラケット詳細図

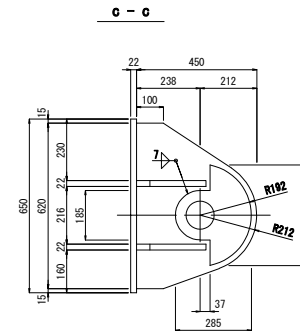


下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x620
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 280x22x266
- 1-PL 640x22x650
- 8-Anc Bolt D51x895 (S10T)
- 8-1種 Nut M48用 (SS400)
- 8-3種 Nut M48用 (SS400)
- 8-Washer M48用 (SS400)

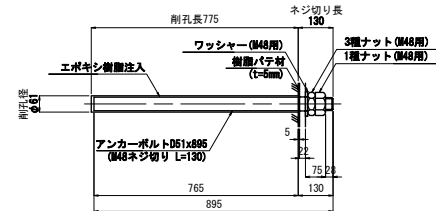


d - d

ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 165x28x660
- 2-PL 677x28x772
- 2-PL 172x22x748
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x679
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [*1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [*1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

注記)

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカラーは全て3SRとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは胴部側にも座金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付数量は、JIS H 8641 H255とする。
- 但し、ボルト・ナットはH235とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台直轄道路 新名取川橋脚耐震補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その3)(参考図) ▽2線側(起点側)AG2R		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

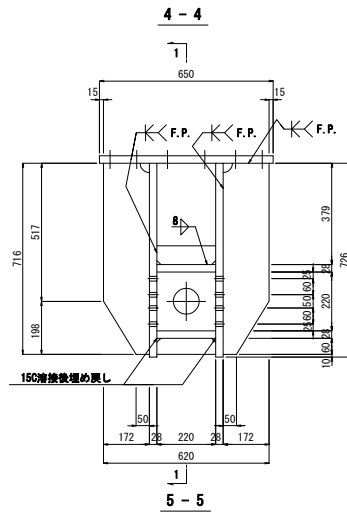
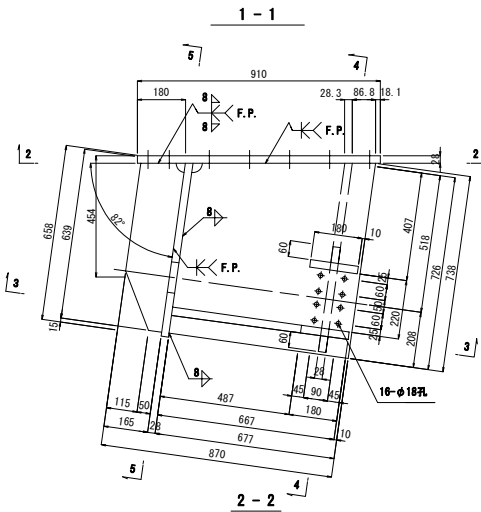
落橋防止構造 P 2 詳細図(その4) (参考図)

<P2橋脚(起点側)AG2L>

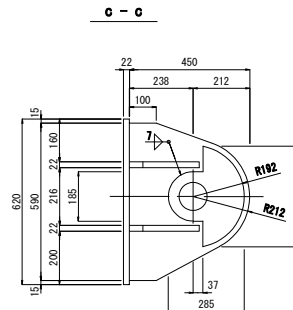
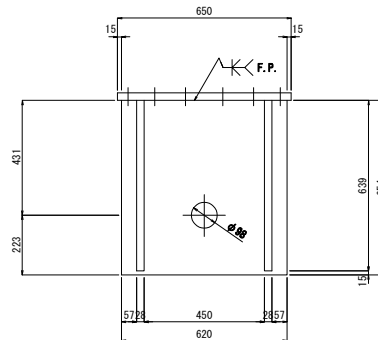
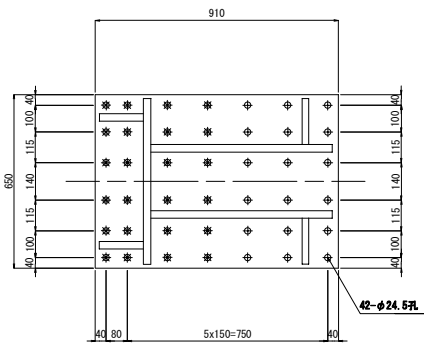
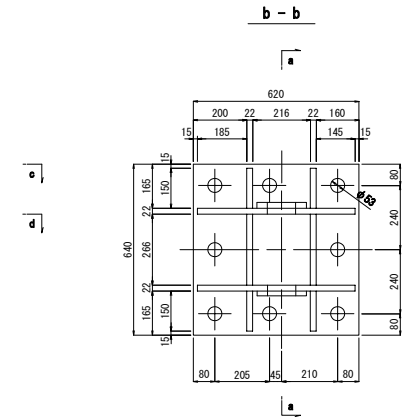
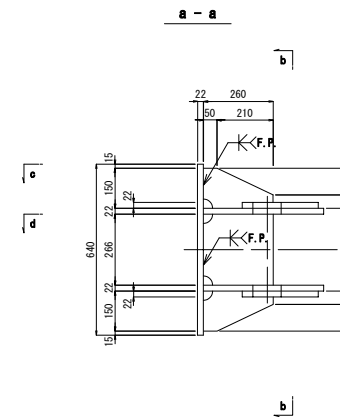
S=1:20

77/190

ブラケット詳細図



下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:1基)

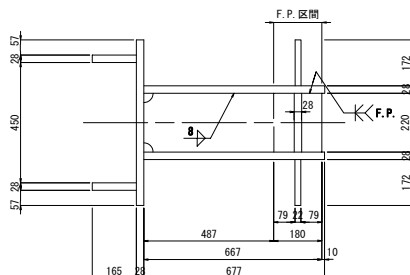
- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x590
- 4-PL 150x22x280
- 2-PL 240x22x286
- 1-PL 620x22x640
- 8-Anc Bolt D51x895 (S345)
- 8-1個 Nut M48用 (SS400)
- 8-3個 Nut M48用 (SS400)
- 8-Washer M48用 (SS400)

d-d

注記)

- 特記なき材質は全てSM400Bとする。
- 特記なきスカラーは全て35Rとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは両部側にも底金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。付数量は、JIS H 8641 H2255とする。但し、ボルト・ナットはH2335とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

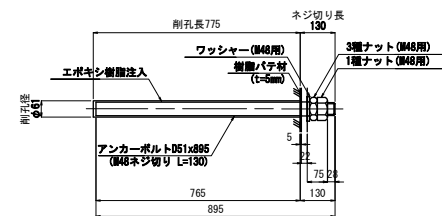
3-3



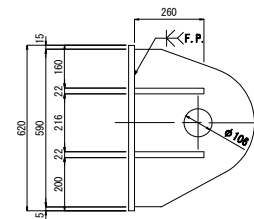
ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 165x28x639
- 2-PL 677x28x738
- 2-PL 172x22x716
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x658
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [*1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [*1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図

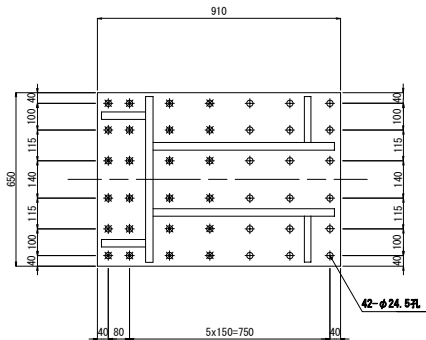
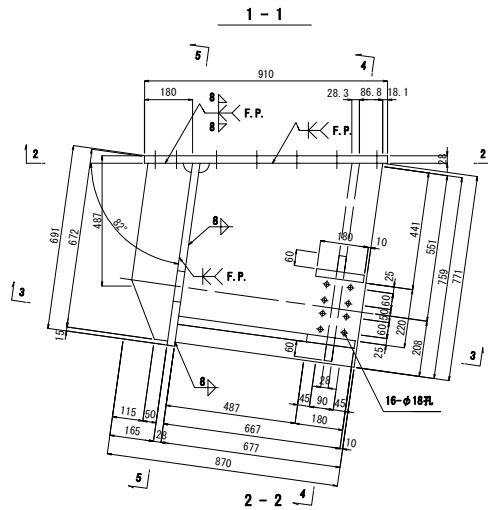


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

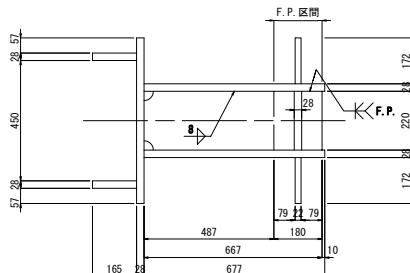


仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その4) (参考図) <P2橋脚(起点側)AG2L>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
承認者名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所		

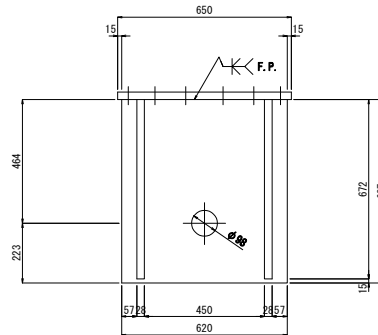
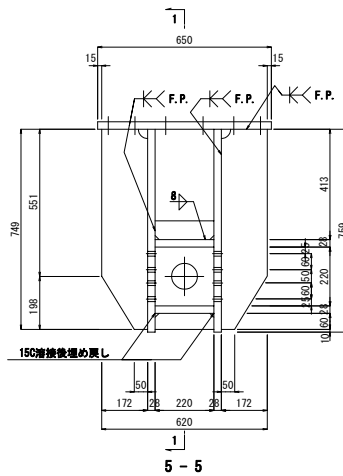
ブラケット詳細図



3 - 3



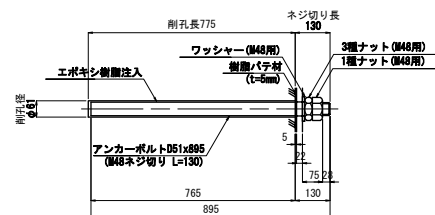
4 - 4



ブラケット1基当り(製作数:1基)

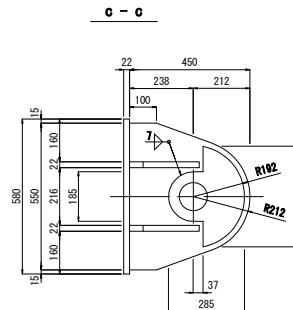
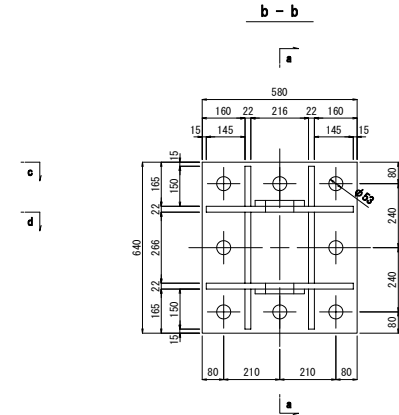
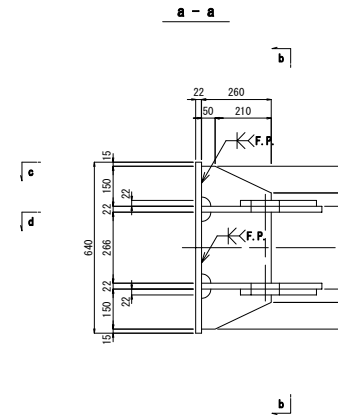
- 2-PL 165x28x672
2-PL 677x28x771
2-PL 172x22x749
2-PL 60x28x220
1-PL 220x28x667
1-PL 180x28x220
1-PL 620x28x691
1-PL 650x28x910
12-TCB M22x105 (\$10T) [+1W]
12-TCB M22x100 (\$10T)
12-TCB M22x 80 (\$10T) [+1W]
6-TCB M22x 75 (\$10T)

アンカーボルト詳細図

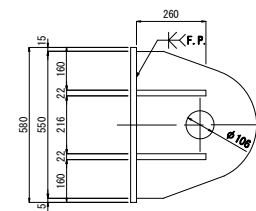


※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

下部エブラケット詳細図



d - d



注記)

1. 特記なき材質は全てS4000Bとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て3SRとする。
 3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 4. ※の高力ボルトは頭部部に座金を用いるものとする。
 5. 下部エブラケットは、全て特記無効メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8641 H235Sとする。
 6. 但し、ボルト・ナット間はH235Sとする。
- ブラケットは、現場突合確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋梁復旧工事	
図面の種類	増補禁止供通P2 詳細図(その5)(参考図) G22第1(地点)第1D
縮 尺	図 示 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所

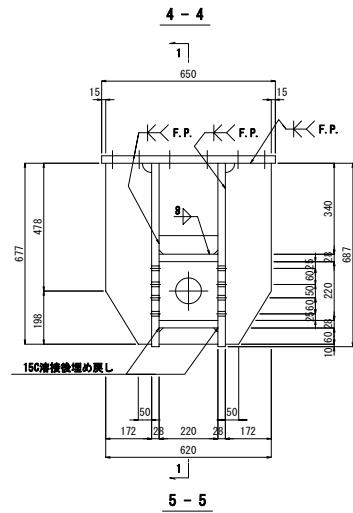
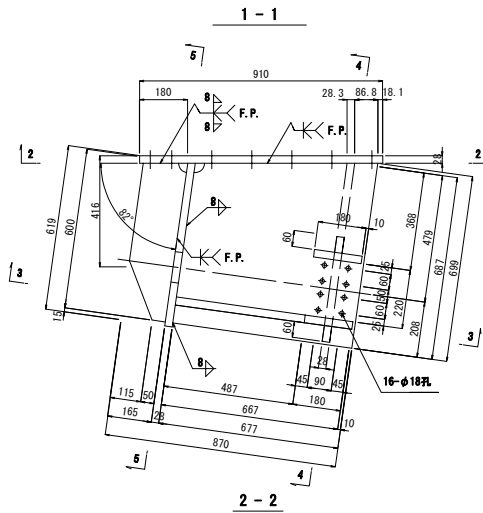
落橋防止構造 P 2 詳細図(その6) (参考図)

<P2橋脚(起点側)BG1L>

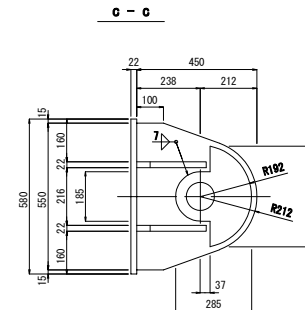
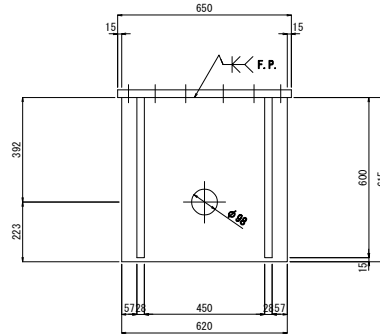
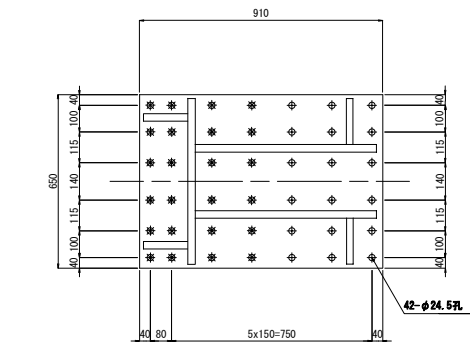
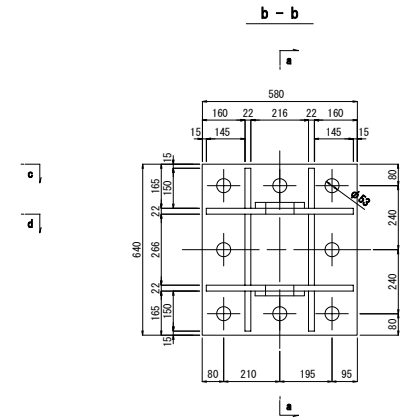
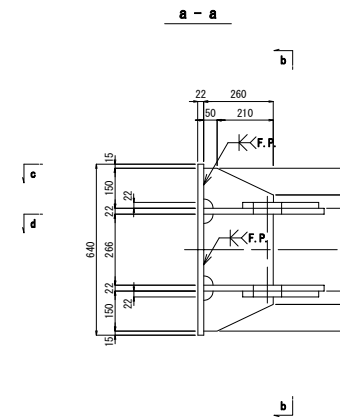
S=1:20

79/190

ブラケット詳細図

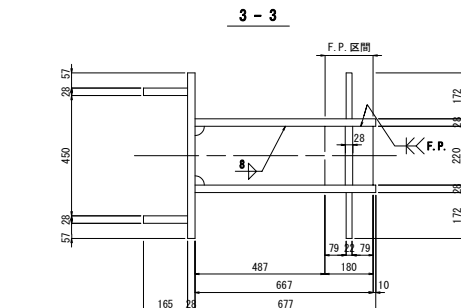


下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り (製作数:1基)

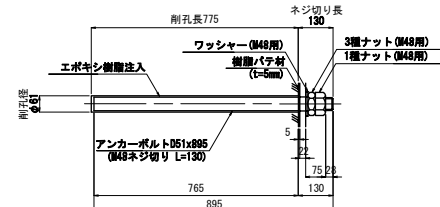
- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x550
- 4-PL 150x22x280
- 2-PL 280x22x286
- 1-PL 580x22x640
- 8-Anc Bolt D51x895 (S10T)
- 8-1個 Nut M48用 (SS400)
- 8-3個 Nut M48用 (SS400)
- 8-Washer M48用 (SS400)



ブラケット1基当り (製作数:1基)

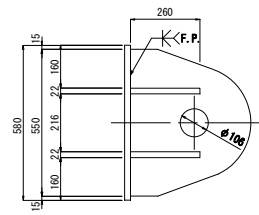
- 2-PL 165x28x600
- 2-PL 677x28x699
- 2-PL 177x22x677
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x619
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [*1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [*1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

d - d



注記)

- 特記なき材質は全てSM400Bとする。
- 特記なきスカラーは全て35Rとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは胴部側にも座金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上とする。
- 付数量は、JIS H 8641 H2Z5とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その6) (参考図) ▽2線側(起点側)BG1L		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

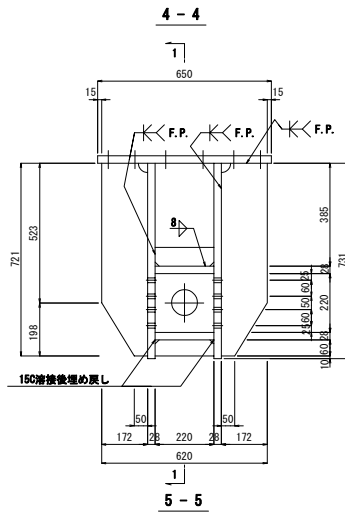
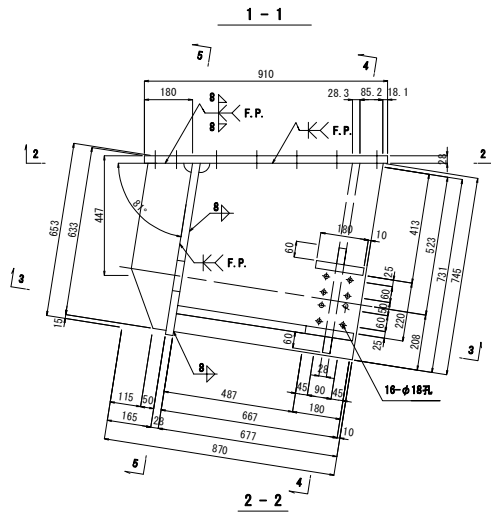
落橋防止構造 P 2 詳細図(その7) (参考図)

<P2橋脚(起点側)B62R>

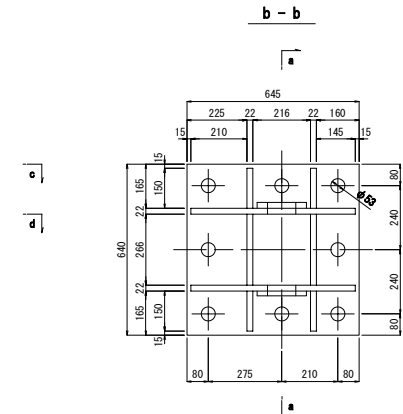
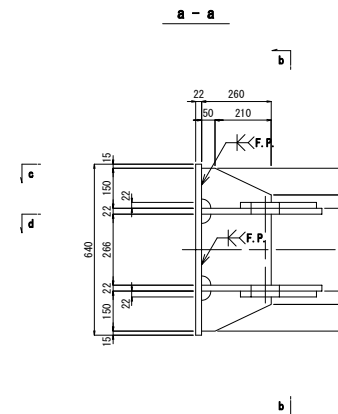
S=1:20

80/190

ブラケット詳細図

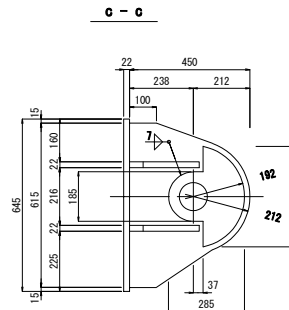
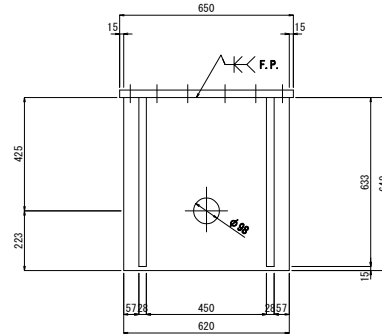
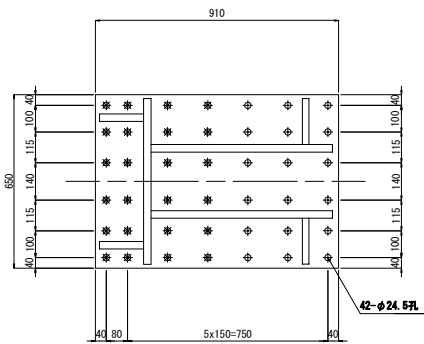


下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x115
- 4-PL 150x22x280
- 2-PL 280x22x286
- 1-PL 645x22x640
- 8-Anc Bolt D51x895 (S10T)
- 8-1個 Nut M40用 (SS400)
- 8-3個 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

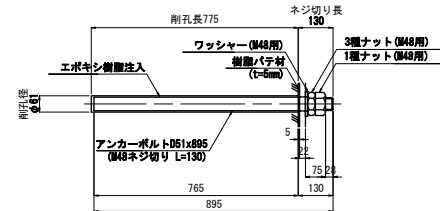


d - d

ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 165x28x633
- 2-PL 677x28x745
- 2-PL 172x22x721
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x653
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカラーは全て3SRとする。
3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
4. ※の高力ボルトは両部側にも座金を用いるものとする。
5. 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上とする。
6. 付数量は、JIS H 8641 H2Z55とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
7. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その7) (参考図) ▽2線側 (橋脚側) B62R		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		

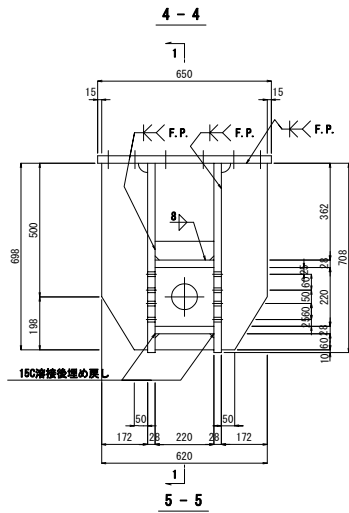
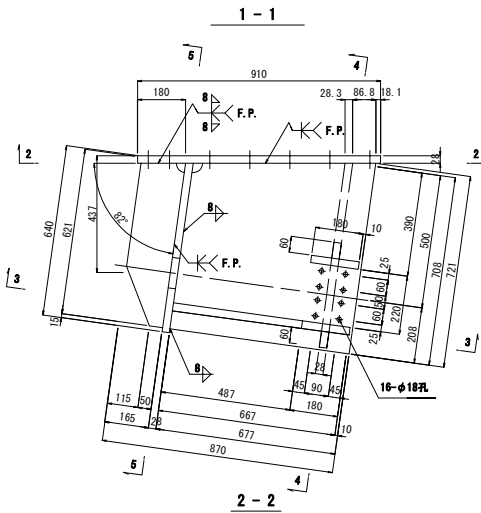
落橋防止構造 P 2 詳細図(その8)(参考図)

<P2橋脚(起点側)B62L>

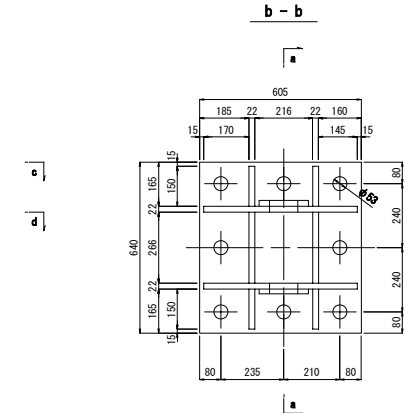
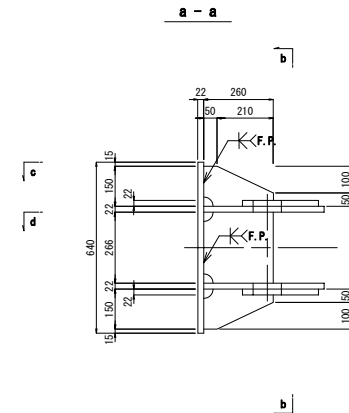
S=1:20

81 / 190

ブラケット詳細図

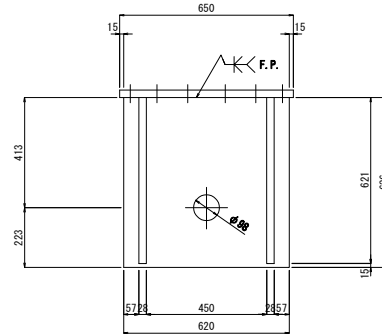
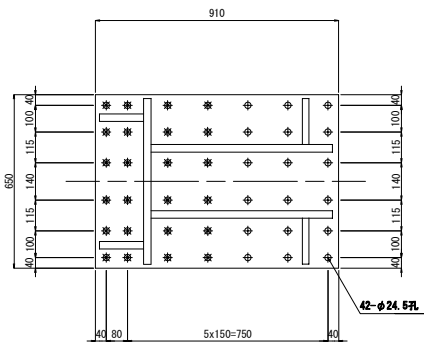


下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:1基)

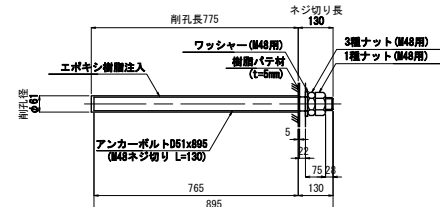
- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x575
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 260x22x266
- 1-PL 605x22x640
- 8-Ans Bolt D51x895 (S3045)
- 8-1個 Nut M40用 (SS400)
- 8-3個 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)



ブラケット1基当り(製作数:1基)

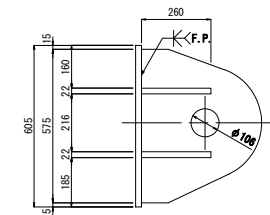
- 2-PL 165x28x621
- 2-PL 677x28x721
- 2-PL 172x22x698
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x640
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

d - d



注記)

1. 特記なき材質は全てS30405とする。
2. 特記なきスカラーは全て35Rとする。
3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗料を施すものとする。
4. ※の高力ボルトは胴部側にも座金を用いるものとする。
5. 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。付数量は、JIS H 8641 H0255とする。
6. フラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

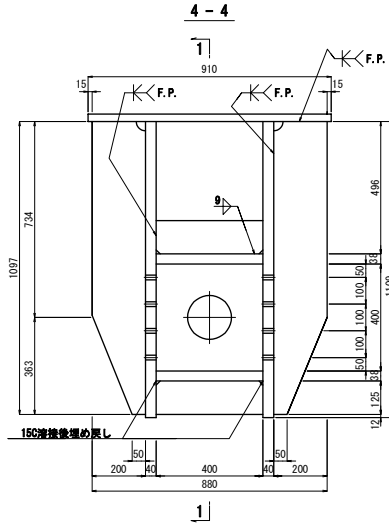
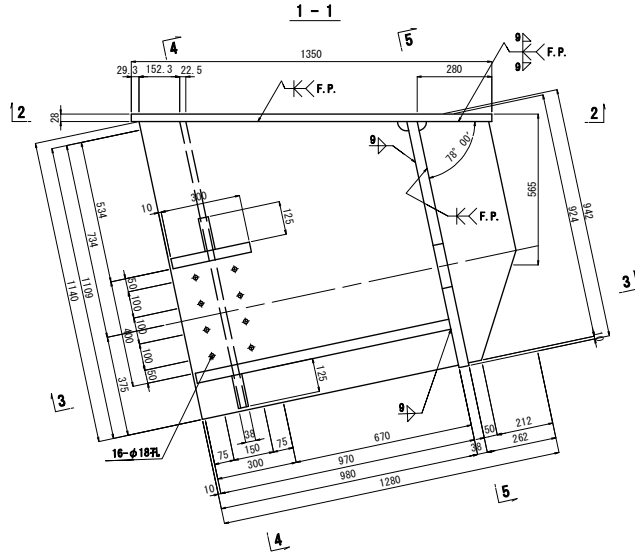
仙台支那道橋 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その8)(参考図) <P2橋脚(起点側)B62L>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

落橋防止構造 P 2 詳細図(その9)(参考図)

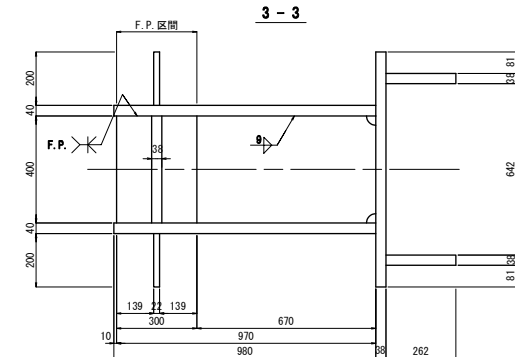
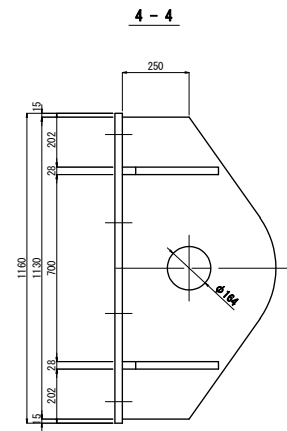
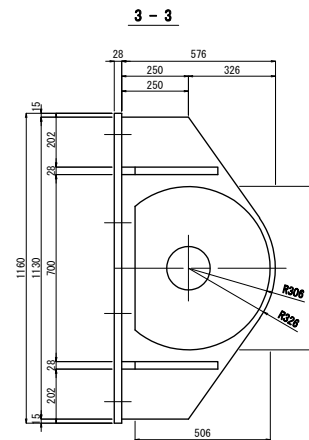
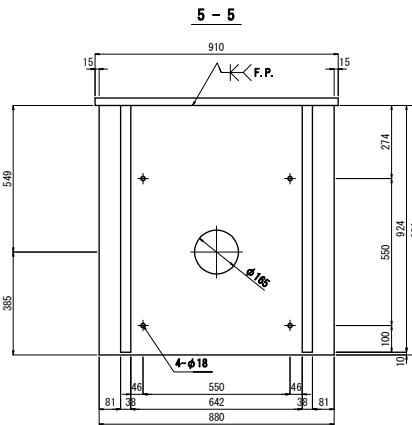
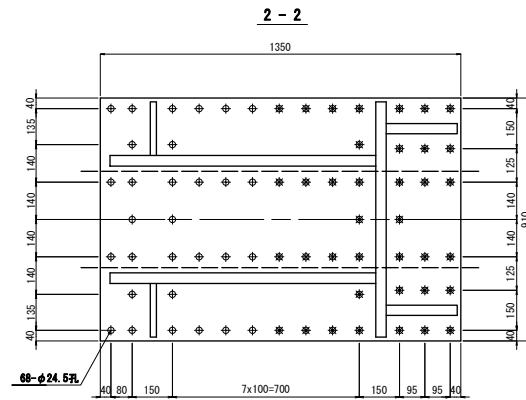
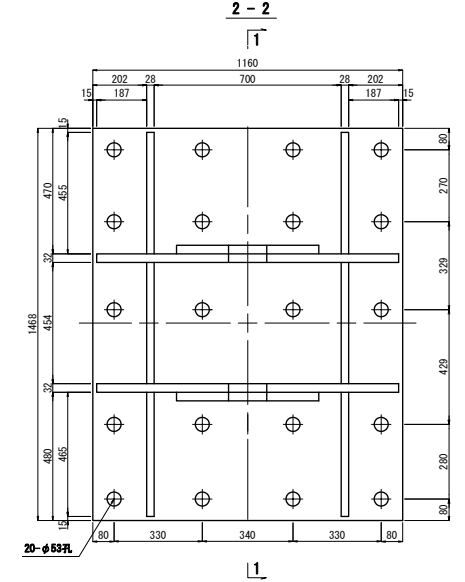
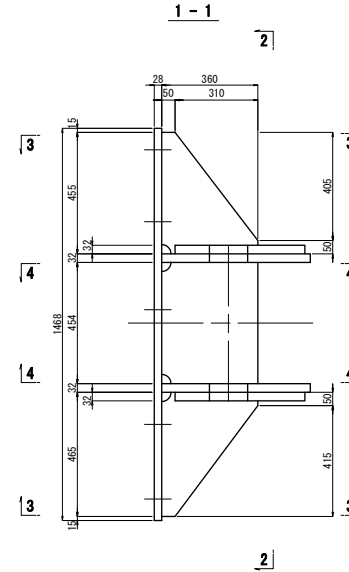
<P2橋脚(終点側)R1>

82 / 190

上部エブラケット S=1:20



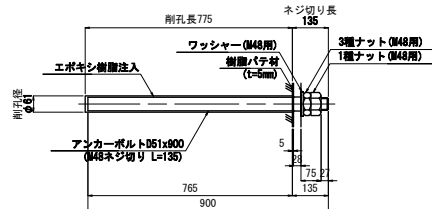
下部エブラケット S=1:20



ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 282x38x 924
- 2-PL 980x40x1140
- 2-PL 200x22x1097
- 2-PL 125x38x 400
- 1-PL 400x38x 970
- 1-PL 300x38x 400
- 1-PL 942x38x 880
- 1-PL 910x28x1350
- 12-T08 M22x115 (S10T) [+1W]
- 12-T08 M22x110 (S10T)
- 26-T08 M22x 90 (S10T) [+1W]
- 18-T08 M22x 85 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ増設重鉛めつきを施すものとする。

ブラケット1基当り(製作数:1基)

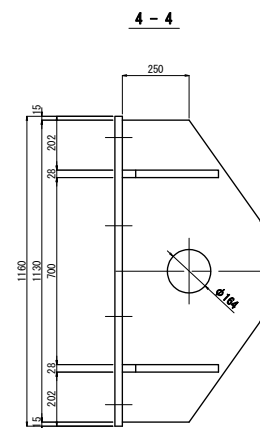
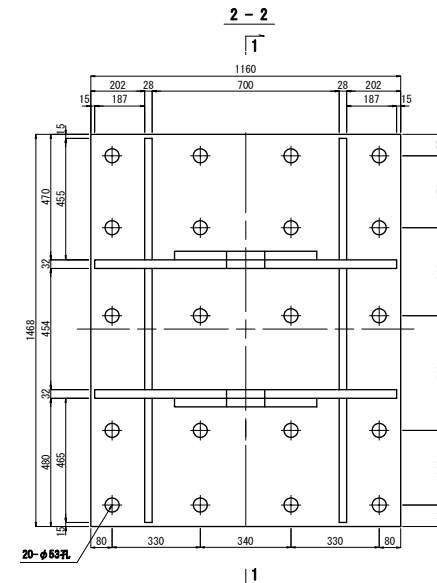
- 2-PL 612x32x 506
- 2-PL 576x32x1130
- 2-PL 360x28x 455
- 2-PL 360x28x 465
- 2-PL 360x28x 454
- 1-PL 1160x28x1468
- 20-Anc Bolt D51x900 (SD345)
- 20-1種 Nut M48用 (SS400)
- 20-3種 Nut M48用 (SS400)
- 20-Washer M48用 (SS400)

注記

- 特記なき材質は全てSM490YBとする。
- 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは頭部側にも底面を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て増設重鉛めつき仕上とする。付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット側はHDZ35とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その9)(参考図)	図面番号	〇〇〇〇〇〇
設計会社名	株式会社 片平新日本技研	施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所

下部エブラケット S=1:20



- 2-PL 262x38x 896
2-PL 980x38x1090
2-PL 202x22x1050
2-PL 125x38x 400
1-PL 400x38x 870
1-PL 300x38x 400
1-PL 913x38x 880
1-PL 910x32x1350
14-TCB M22x115 (S10T) [+1W]
12-TCB M22x110 (S10T)
24-TCB M22x 90 (S10T) [+1W]
16-TCB M22x 85 (S10T)

[illegible]

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

- ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 612x32x 506
2-PL 576x32x1130
2-PL 360x28x 455
2-PL 360x28x 465
2-PL 360x28x 454
1-PL 1160x28x1468
20-Anc Bolt D51x900 (SD345)
20-1種 Nut M48用 (SS400)
20-3種 Nut M48用 (SS400)
20-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
2. 特記なきスカラーアップは全て35Rとする。
3. 上部ブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
4. ※の高力ボルトは頭部顔面に産生を用いるものとする。
5. 下部ブラケットは、全て清漆塗布メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。
- 但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
6. ブラケットは、現場実装確認のうえ、製作を行うこととする。

仙台東部道路 新名取川橋梁補強工事			
図面の種類	落橋防止構造図 2 詳細図 (その10) (参考) ②橋脚 (橋台部) 図		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台支店管理事務所		

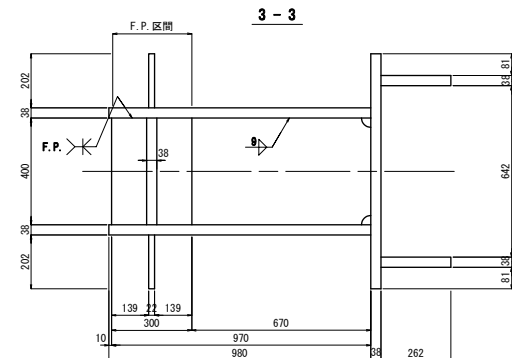
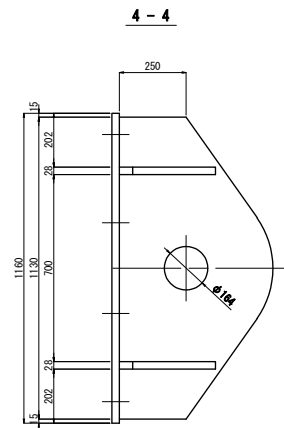
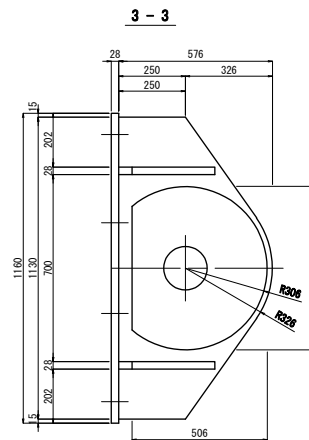
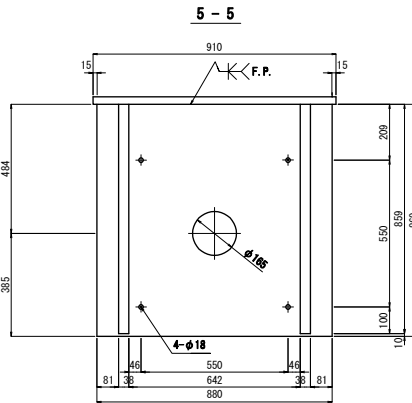
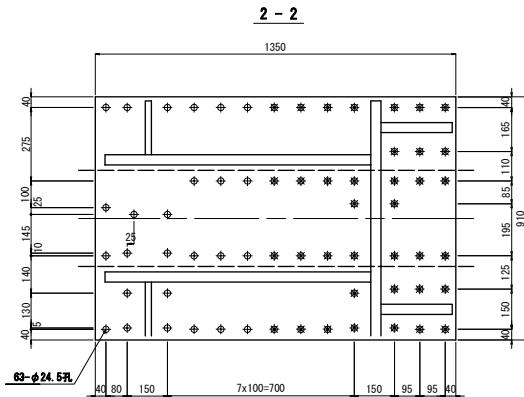
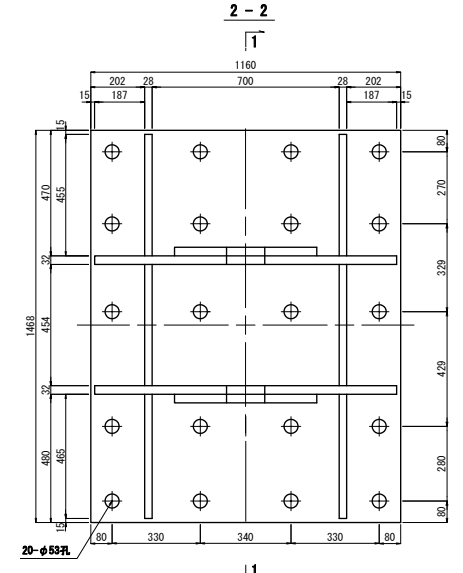
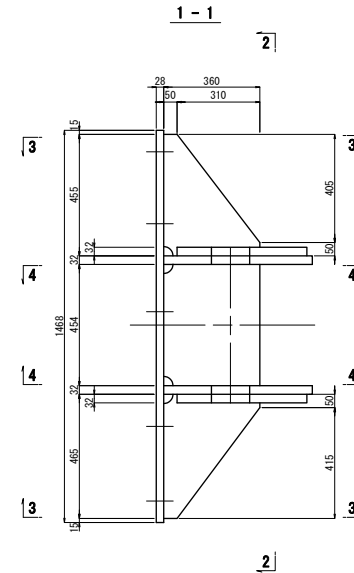
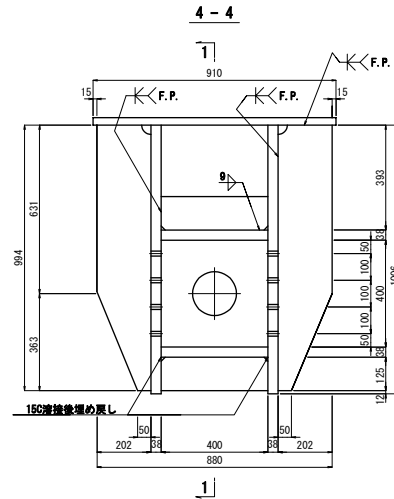
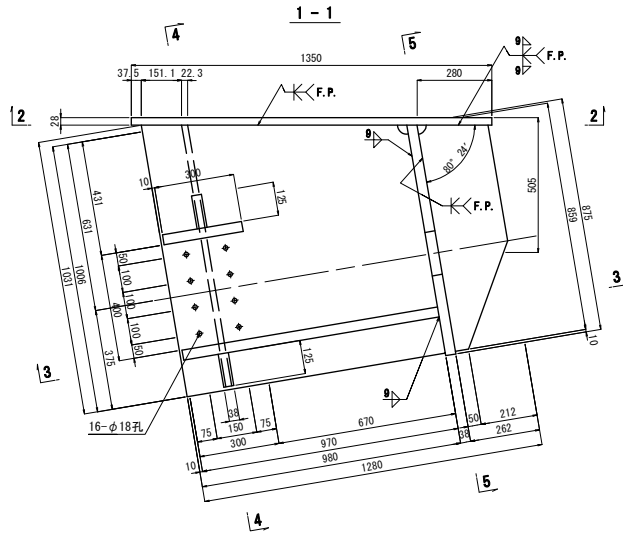
落橋防止構造 P 2 詳細図(その11)(参考図)

84 / 190

<P2橋脚(終点側)R3>

上部エブラケット S=1:20

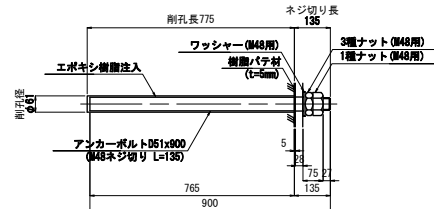
下部エブラケット S=1:20



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 2-PL 262x38x 859
- 2-PL 980x38x1031
- 2-PL 202x22x 994
- 2-PL 125x38x 400
- 1-PL 400x38x 970
- 1-PL 300x38x 400
- 1-PL 875x38x 880
- 1-PL 910x28x1350
- 13-TCB M22x115 (S10T) (+1W)
- 10-TCB M22x110 (S10T)
- 24-TCB M22x 90 (S10T) (+1W)
- 16-TCB M22x 85 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ増設重めつきを施すものとする。

ブラケット1基当り (製作数: 1基)

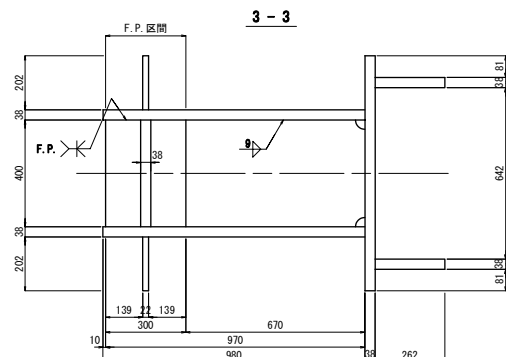
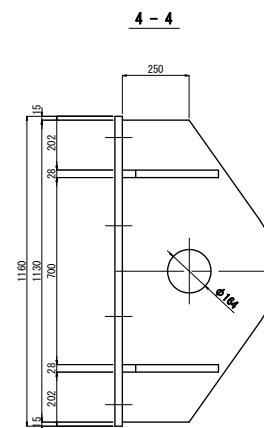
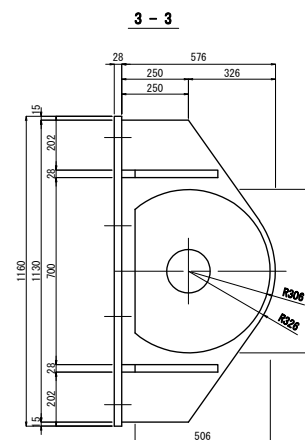
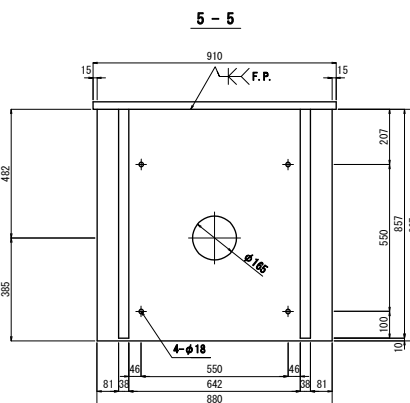
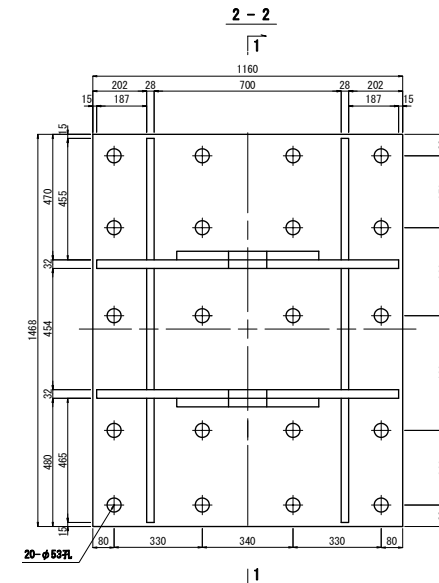
- 2-PL 612x32x 506
- 2-PL 576x32x1130
- 2-PL 360x28x 455
- 2-PL 360x28x 465
- 2-PL 360x28x 454
- 1-PL 1160x28x1468
- 20-Anc Bolt D51x900 (SD345)
- 20-1種 Nut M48用 (SS400)
- 20-3種 Nut M48用 (SS400)
- 20-Washer M48用 (SS400)

注記

- 特記なき材質は全てSM490YBとする。
- 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗を施すものとする。
- ※の高力ボルトは頭部側にも底金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て増設重めつき仕上とする。付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。但し、ボルト・ナット間はHDZ35とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その11)(参考図)	図面番号	270000 (終点側)R2
設計会社名	株式会社 片平新日本技研	施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所

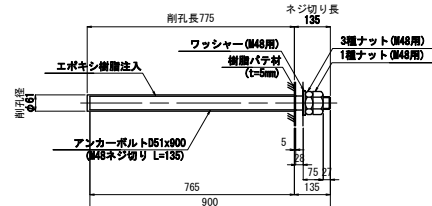
下部エブラケット S=1:20



ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 612x32x 506
2-PL 576x32x1130
2-PL 360x28x 455
2-PL 360x28x 465
2-PL 360x28x 454
1-PL 1160x28x1468
20-Anc Bolt D51x900 (SD345)
20-1種 Nut M48用 (SS400)
20-3種 Nut M48用 (SS400)
20-Washer M48用 (SS400)

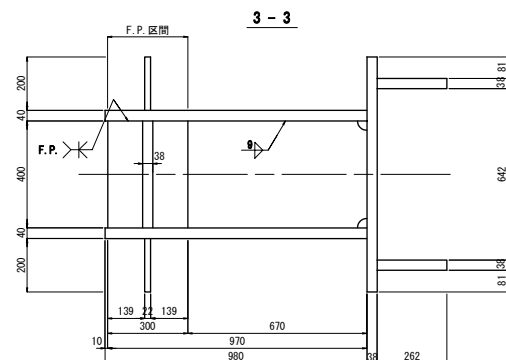
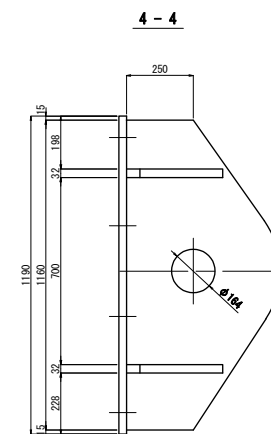
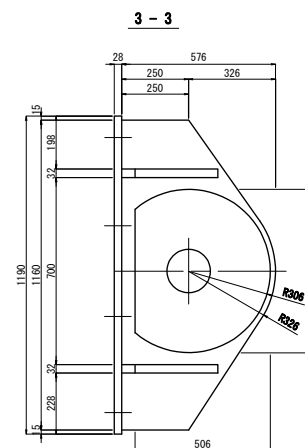
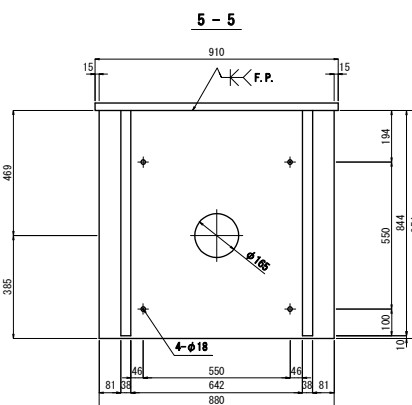
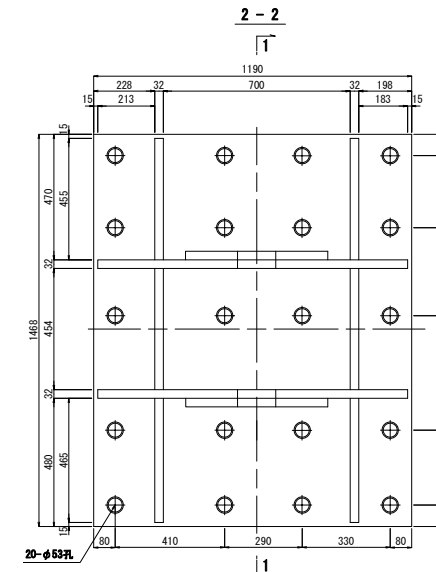
1. 特記なき材質は全てS480YBとする。
2. 特記なきスカラーは全て3Rとする。
3. 下部ブラケットは左図と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
4. ※の高力ボルトは頭部側にも塗金を用いるものとする。
5. 下部ブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8041 HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
6. ブラケットは、現場実装手順のうえ、製作を行うこと。



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

仙台東部道路 新名取川橋梁整備工事	
図面の種類	落橋防止構造P2 詳細図 (その12) (参考 G2図面 (構造部) 4)
縮 尺	図 示 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台支店管理事務所

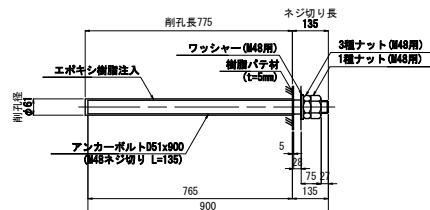
下部エブラケット S=1:20



ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 262x38x 844
2-PL 980x40x 989
2-PL 200x22x 955
2-PL 125x38x 400
1-PL 400x38x 970
1-PL 300x38x 400
1-PL 859x38x 880
1-PL 910x28x1350
12-TCB M22x115 (S10T) [+1W]
12-TCB M22x110 (S10T)
26-TCB M22x 90 (S10T) [+1W]
18-TCB M22x 85 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

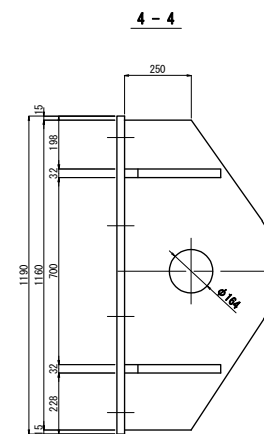
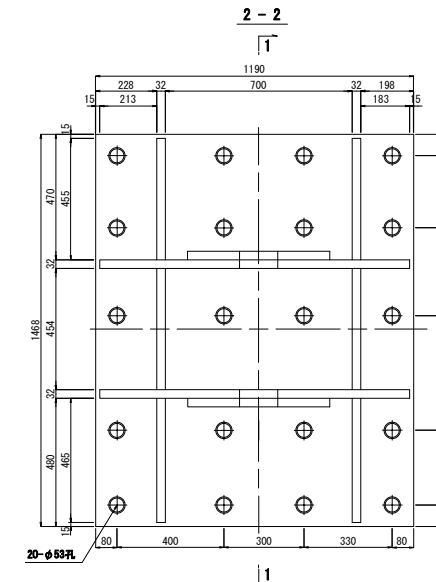
ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 612x32x 506
2-PL 576x32x1160
2-PL 360x32x 455
2-PL 360x32x 465
2-PL 360x32x 454
1-PL 1190x28x1468
20-Anc Bolt D51x900 (SD345)
20-1種 Nut M48用 (SS400)
20-3種 Nut M48用 (SS400)
20-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. 上郷工プラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
4. ※の高力ボルトは環部側にも座金を用いるものとする。
5. 下部工プラケットは、全て滑動面給メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8641 HDZ55とする。
6. 但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
7. プラケットは、現場実測諸元のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取橋新架橋強化工事	
図面の種類	築橋防止構造P2 詳細図(その13)(参考 図30詳細(掘き出し)*)
縮 尺	図示 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台管理事務所

下部エブラケット $S=1:20$ 

- 2-PL 262x38x 841
2-PL 980x40x1002
2-PL 200x22x 966
2-PL 126x38x 400
1-PL 400x38x 970
1-PL 300x38x 400
1-PL 857x38x 880
1-PL 910x28x1350
14-TCB M22x115 (S10T) [+1W]
12-TCB M22x110 (S10T)
24-TCB M22x 90 (S10T) [+1W]
16-TCB M22x 85 (S10T)

Technical drawing of a bolt connection detail. The drawing shows a cross-section of a metal plate with a bolt and nut. The bolt is labeled "アンカーボルト 051:900 (048ネジ切り L=135)". The nut is labeled "3個ナット (048用) 1個ナット (048用)". The washer is labeled "ワッシャー (048用)". The gasket is labeled "樹脂パチ材 (t=6mm)". The plate thickness is labeled "エポキシ樹脂注入" and "板厚 25". The bolt length is labeled "全長 775". The nut length is labeled "ネジ切り長 135". The total length of the assembly is labeled "900". The distance from the plate end to the bolt head is labeled "765". The distance from the plate end to the nut is labeled "75". The distance from the plate end to the washer is labeled "5". The distance from the plate end to the gasket is labeled "135".

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り(製作数:1基)

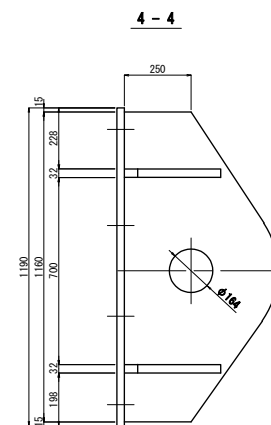
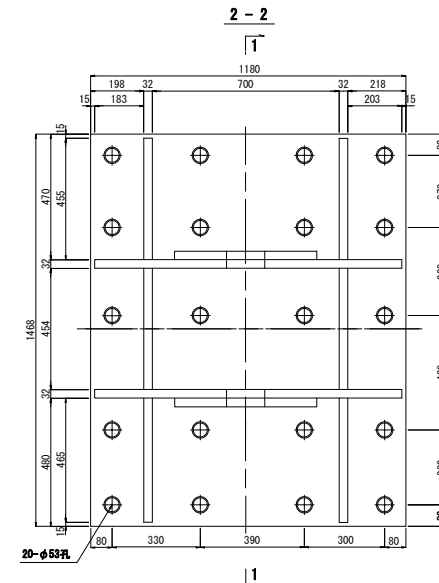
- 2-PL 612x32x 506
2-PL 576x32x1160
2-PL 360x32x 455
2-PL 360x32x 465
2-PL 360x32x 454
1-PL 1190x28x1468
20-Anc Bolt D51x900 (SD345)
20-1種 Nut M48用 (SS400)
20-3種 Nut M48用 (SS400)
20-Washer M48用 (SS400)

注記)

- 1. 特記なき材質は全てS400YBとする。
- 2. 特記なきスカラーップは全て35Rとする。
- 3. 上部ブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- 4. ※の高力ボルトは頭部にも塗金を用いるものとする。
- 5. 下部ブラケットは、全て防錆重油メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8641 H255とする。
- 但し、ボルト・ナット実部はH238とする。
- 6. プラケットは、現場実装部材のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋梁補強工事			
国道の種類	常備防火防止道P2 野幌線(その14) (参考 ≪9号線(旭川線)12)		
縮 尺	図 示	国道路号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台倉庫管理事務所		

下部エブラケット S=1:20



- | | | | |
|--------|-------------|--------|-------|
| 2-PL | 262x38x | 882 | |
| 2-PL | 980x40x1063 | | |
| 2-PL | 200x22x1025 | | |
| 2-PL | 125x38x | 400 | |
| 1-PL | 400x38x | 970 | |
| 1-PL | 300x38x | 400 | |
| 1-PL | 899x38x | 880 | |
| 1-PL | 910x28x1350 | | |
| 13-TCB | M22x115 | (S10T) | [+1W] |
| 10-TCB | M22x110 | (S10T) | |
| 24-TCB | M22x 90 | (S10T) | [+1W] |
| 16-TCB | M22x 85 | (S10T) | |

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

- ブラケット1基当り(製作数:1基)

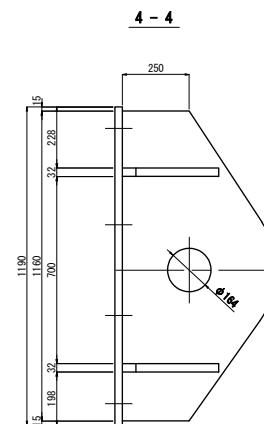
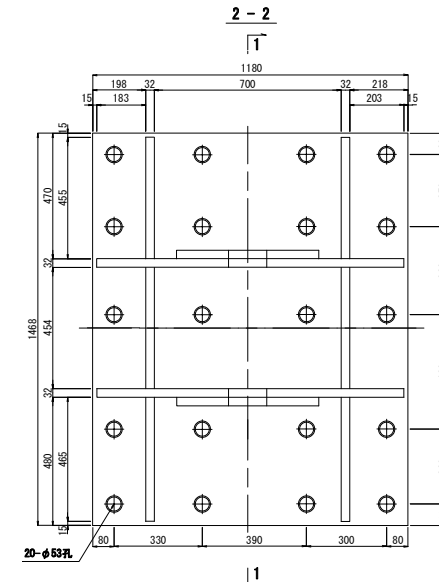
- 2-PL 612x32x 506
2-PL 576x32x1160
2-PL 360x32x 455
2-PL 360x32x 465
2-PL 360x32x 454
1-PL 1180x28x1468
20-Anc Bolt D51x900 (SD345)
20-1種 Nut M48用 (SS400)
20-3種 Nut M48用 (SS400)
20-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
2. 特記なきスカラーアップは全て35Rとする。
3. 上部エブラケットは支柱と同等級以上の防錆塗装を施すものとする。
4. *の高力ボルトは頭部端にも産金を用いるものとする。
5. 下部エブラケットは、全て清酸亜鉛メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8041 HDZ55とする。
- 但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
6. ブラケットは、現場実測値のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋梁整備強化工事	
図面の種類	落橋防止構造P2 詳細図(その15)(参考 Q2図面(配管図)R2)
縮 尺	図示 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所

下部エブラケット S=1:20



- | | | |
|--------|-------------|--------------|
| 2-PL | 262x38x | 905 |
| 2-PL | 980x40x1109 | |
| 2-PL | 200x22x1067 | |
| 2-PL | 126x38x | 400 |
| 1-PL | 400x38x | 970 |
| 1-PL | 300x38x | 400 |
| 1-PL | 923x38x | 880 |
| 1-PL | 910x28x1350 | |
| 12-TCB | M22x115 | (S10T) [+1W] |
| 12-TCB | M22x110 | (S10T) |
| 26-TCB | M22x 90 | (S10T) [+1W] |
| 18-TCB | M22x 85 | (S10T) |

[illegible]

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 612x32x 506
2-PL 576x32x1160
2-PL 360x32x 455
2-PL 360x32x 465
2-PL 360x32x 454
1-PL 1180x28x1468
20-Anc Bolt D51x900 (SD345)
20-1種 Nut M48用 (SS400)
20-3種 Nut M48用 (SS400)
20-Washer M48用 (SS400)

注記)

1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
2. 特記なきスカラーアップは全て3SRとする。
3. 上部ブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
4. ※の威力ボルトは環部組立てに盛金を用いるものとする。
5. 下部ブラケットは、全て防錆処理メッキ仕上げとする。
付着量は、JIS H 8641 H255とする。
但し、ボルト・ナットはH2D35とする。
6. プラケットは、現場実装確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋梁整備工事	
国図の種類	落橋防止構造P2 詳細図(その16)(参考 P2組図(組点図)44)
縮 尺	図 示 国図番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台支店管理事務所

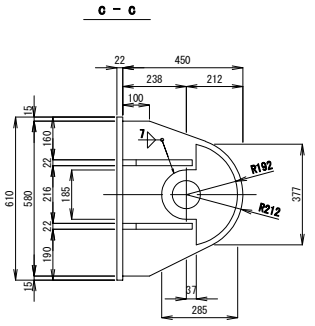
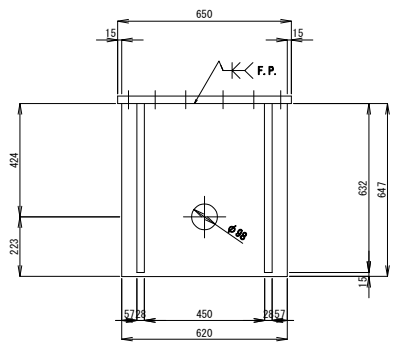
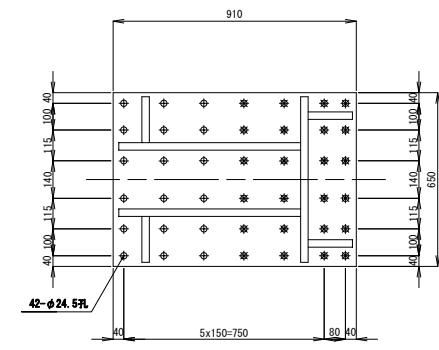
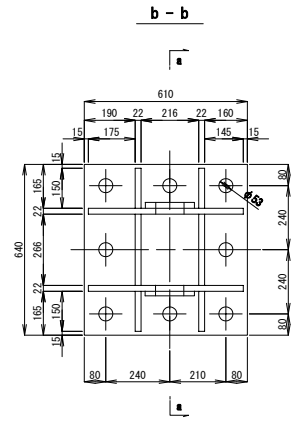
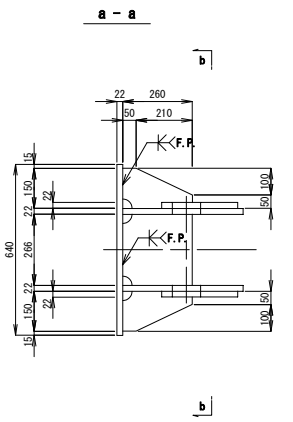
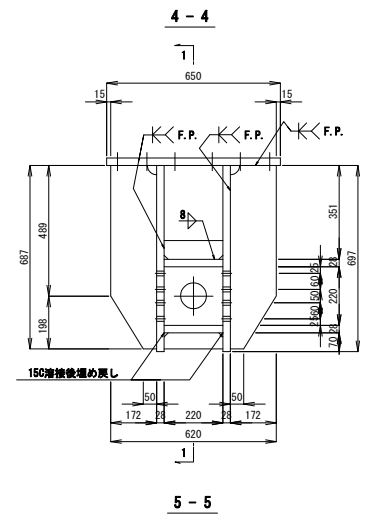
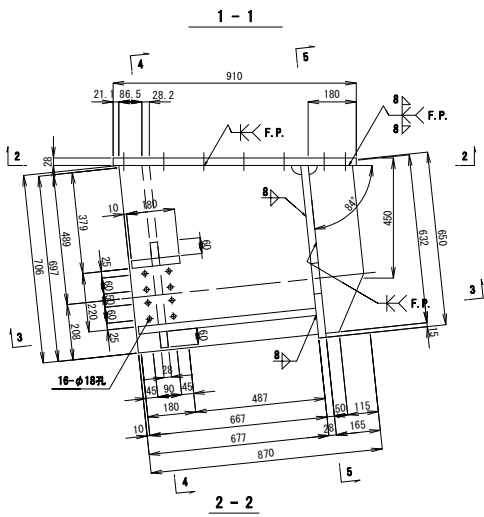
落橋防止構造 P 2 詳細図(その17) (参考図)

<P3橋脚(終点側)AG1R>

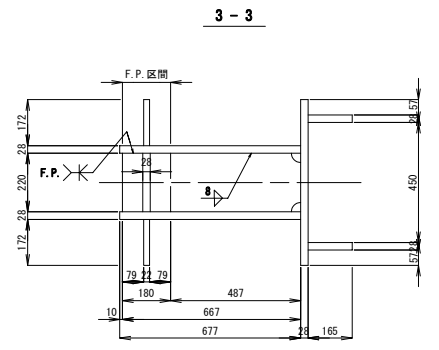
S=1:20

ブラケット詳細図

下部エブラケット詳細図

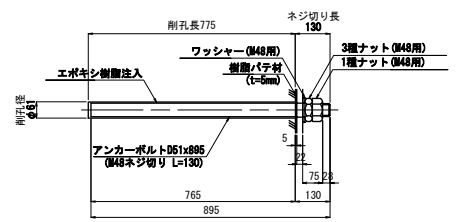


- ブラケット1基当り (製作数:1基)
- 2-PL 285x22x377
 - 2-PL 450x22x580
 - 4-PL 150x22x260
 - 2-PL 260x22x266
 - 1-PL 610x22x640
 - 8-Ans Bolt D51x895 (S3045)
 - 8-1層 Nut M48用 (SS400)
 - 8-3層 Nut M48用 (SS400)
 - 8-Washer M48用 (SS400)



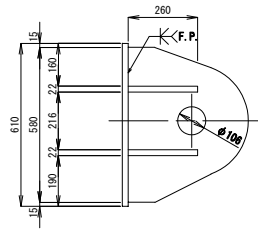
- ブラケット1基当り (製作数:1基)
- 2-PL 165x28x632
 - 2-PL 677x28x706
 - 2-PL 172x22x687
 - 2-PL 60x28x220
 - 1-PL 220x28x667
 - 1-PL 180x28x220
 - 1-PL 620x28x650
 - 1-PL 650x28x910
 - 12-TGB M22x105 (S10T) [*1W]
 - 12-TGB M22x100 (S10T)
 - 12-TGB M22x 80 (S10T) [*1W]
 - 6-TGB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

d - d



- 注記)
- 特記なき材質は全てS30405とする。
 - 特記なきスカラーは全て36Rとする。
 - 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - φの高力ボルトは鋼部側にも座金を用いるものとする。
 - 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上とする。付着量は、JIS H 8641 H2Z55とする。但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
 - ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋脚耐震補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その17) (参考図)	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所		

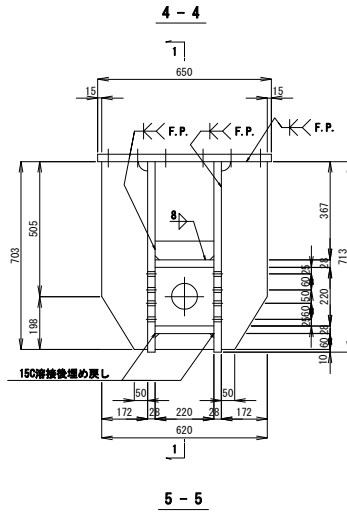
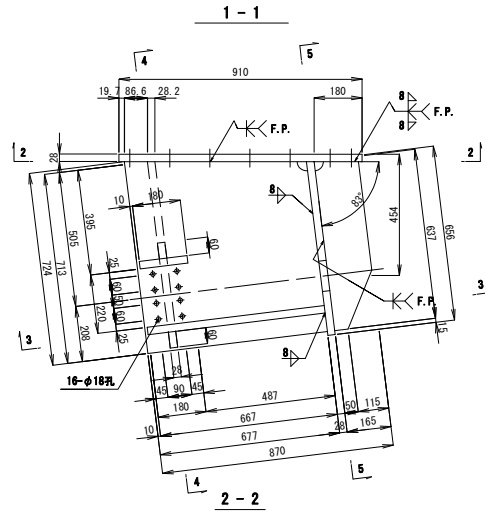
落橋防止構造 P 2 詳細図(その18) (参考図)

<P3橋脚(終点側)AGIL>

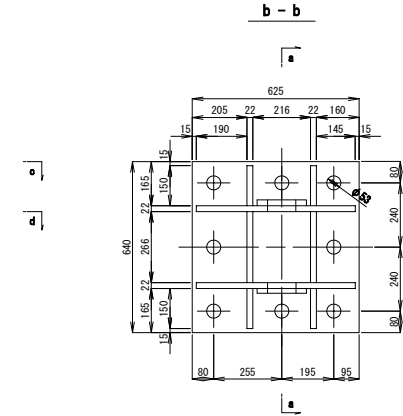
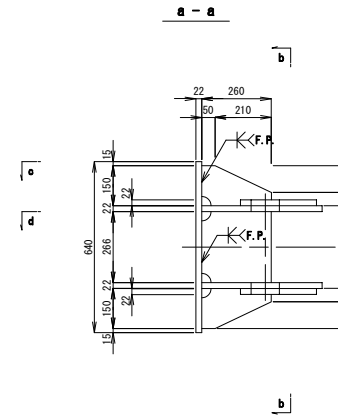
S=1:20

91 / 190

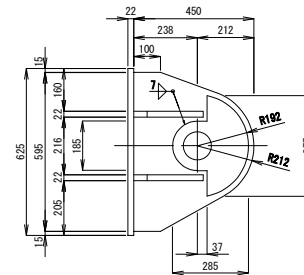
ブラケット詳細図



下部エブラケット詳細図



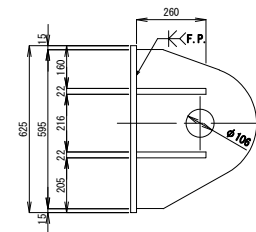
c - c



ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x595
- 4-PL 150x22x280
- 2-PL 280x22x286
- 1-PL 825x22x640
- 8-Anc Bolt D51x895 (S3045)
- 8-1個 Nut M48用 (SS400)
- 8-3個 Nut M48用 (SS400)
- 8-Washer M48用 (SS400)

d - d



注記)

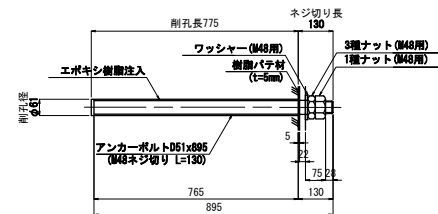
1. 特記なき材質は全てS30405とする。
2. 特記なきスカラーラップは全て30Rとする。
3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
4. ※の高力ボルトは胴部側にも底金を用いるものとする。
5. 下部エブラケットは、全て防錆塗装メッキ仕上とする。
6. 付着量は、JIS H 8641 H2255とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2235とする。
7. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

ブラケット1基当り (製作数:1基)

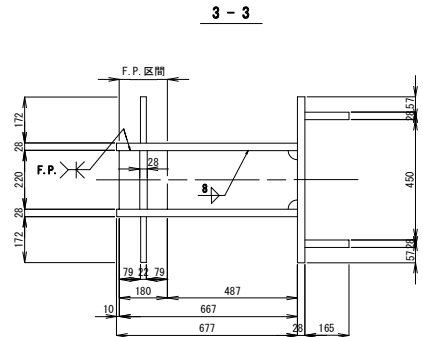
ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 165x28x637
- 2-PL 677x28x724
- 2-PL 172x22x703
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x656
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [*1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [*1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ防錆塗装めっきを施すものとする。



仙台東部道路 新名取川橋脚復旧補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その18) (参考図)	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研	図示	図面番号
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所	図示	図面番号
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所	図示	図面番号

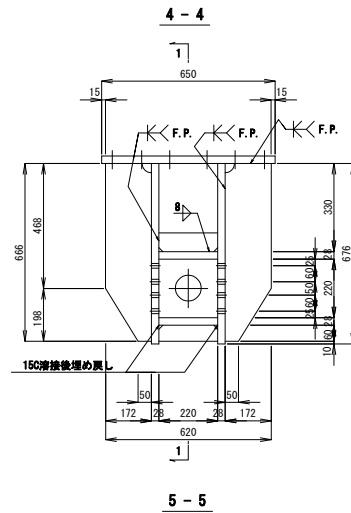
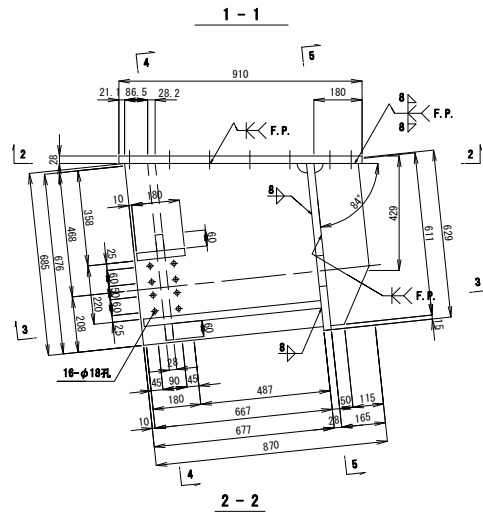
落橋防止構造 P 2 詳細図(その19) (参考図)

<P3橋脚(終点側)AG2R>

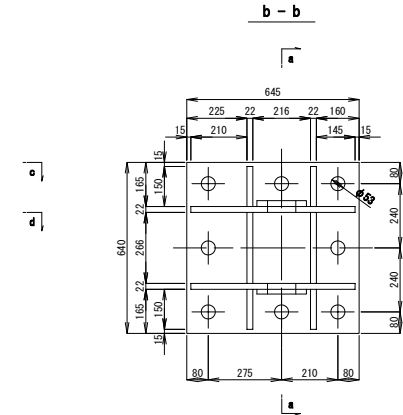
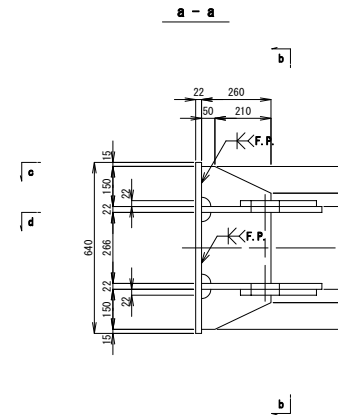
S=1:20

92 / 190

ブラケット詳細図



下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x615
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 280x22x266
- 1-PL 640x22x645
- 8-Anc Bolt D51x895 (S345)
- 8-1個 Nut M40用 (SS400)
- 8-3個 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

d - d

注記)

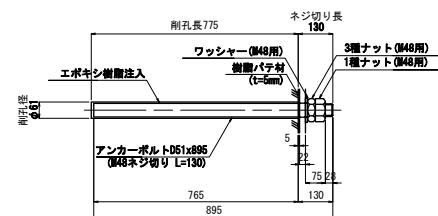
- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカラーアップは全て36Rとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは欄部側にも底金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て防錆塗装メッキ仕上とする。
- 付数量は、JIS H 8941 H2Z55とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台直轄道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その19) (参考図)	図面番号	370図脚(終点側)AG2R
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研	施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 2-PL 165x28x611
- 2-PL 877x28x685
- 2-PL 172x22x686
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x687
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x629
- 1-PL 950x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [*1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [*1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ防錆塗装めっきを施すものとする。

落橋防止構造 P 2 詳細図(その20) (参考図)

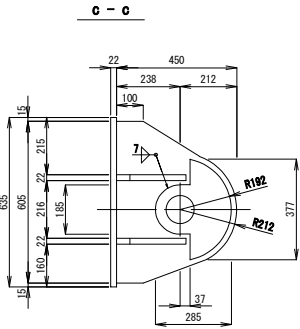
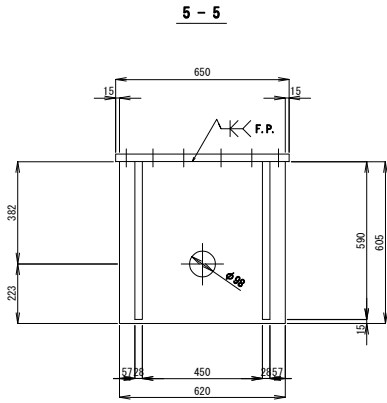
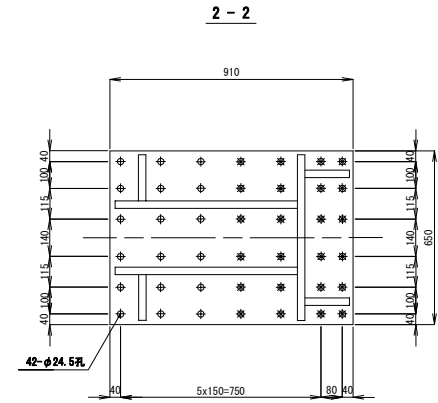
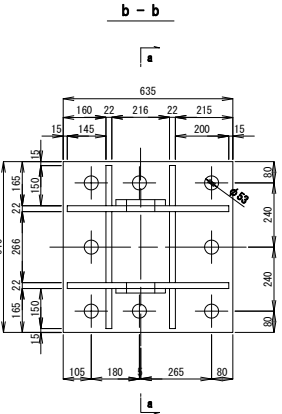
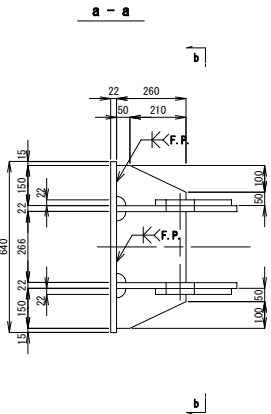
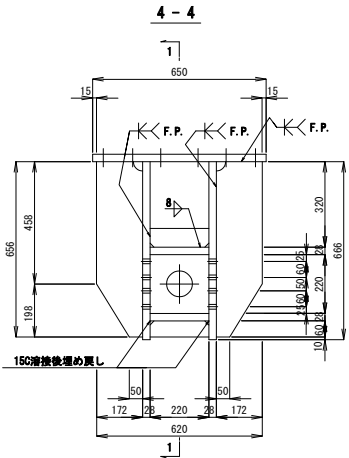
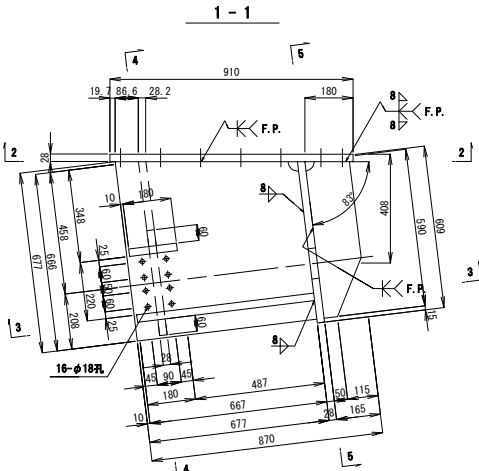
<P3橋脚(終点側)AG2L>

S=1:20

93/190

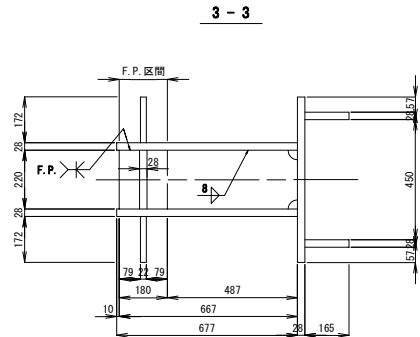
ブラケット詳細図

下部エブラケット詳細図



ブラケット1基当り(製作数:1基)

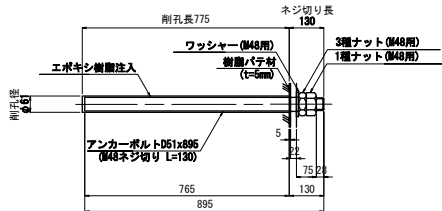
- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x605
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 260x22x266
- 1-PL 635x22x640
- 8-Ano Bolt D51x895 (S3045)
- 8-1種 Nut M48用 (SS400)
- 8-3種 Nut M48用 (SS400)
- 8-Weater M48用 (SS400)



ブラケット1基当り(製作数:1基)

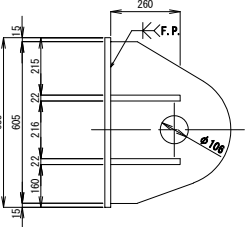
- 2-PL 165x28x590
- 2-PL 677x28x677
- 2-PL 172x22x656
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 609x28x620
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

d - d



注記)

- 特記なき材質は全てS440YBとする。
- 特記なきスカラーラップは全て36Rとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは欄脚側にも底金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛メッキ仕上げとする。付数量は、JIS H 8641 H0255とする。但し、ボルト・ナットはH0235とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その20) (参考図)	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所		

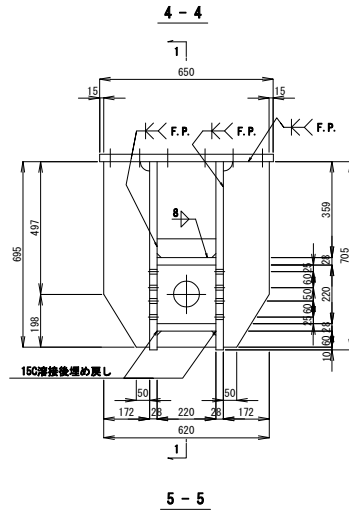
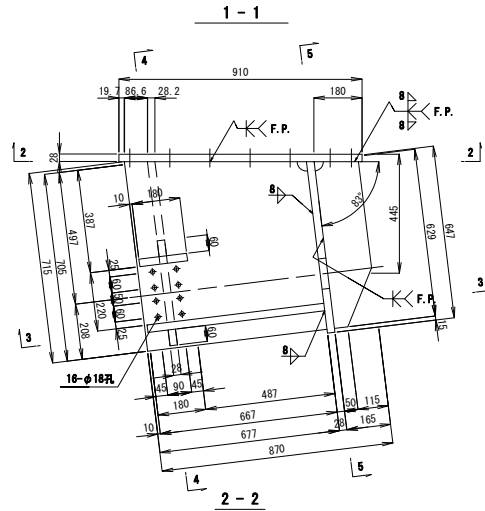
落橋防止構造 P 2 詳細図(その21) (参考図)

<P3橋脚(終点側)BG1R>

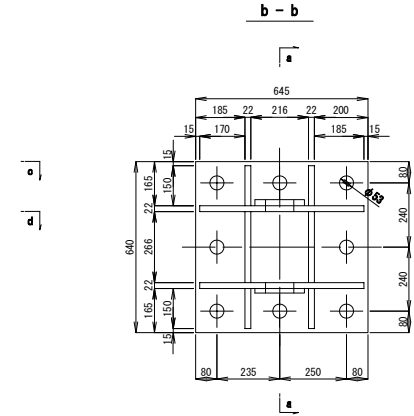
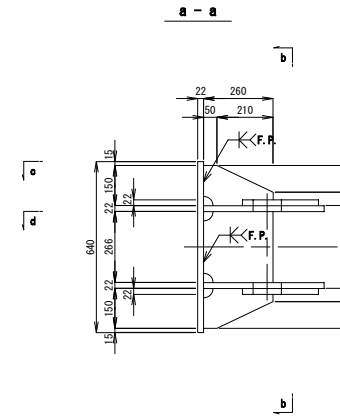
S=1:20

94 / 190

ブラケット詳細図

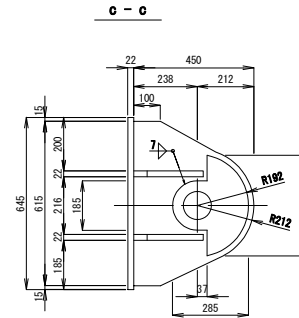


下部エブラケット詳細図

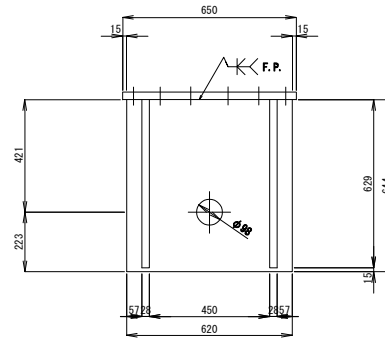
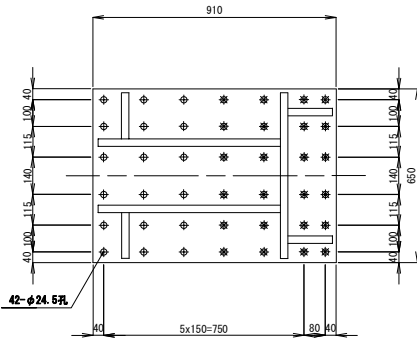


ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x615
- 4-PL 150x22x280
- 2-PL 280x22x286
- 1-PL 640x22x645
- 8-Ano Bolt D51x895 (S3045)
- 8-1種 Nut M48用 (SS400)
- 8-3種 Nut M48用 (SS400)
- 8-Weaver M48用 (SS400)



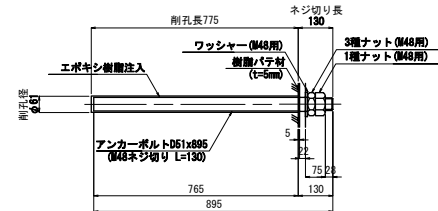
d - d



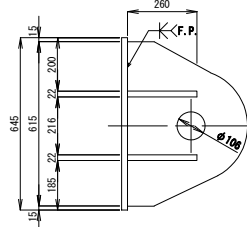
ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 165x28x629
- 2-PL 677x28x715
- 2-PL 172x22x685
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x667
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x647
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。



注記)

- 特記なき材質は全てS35407Bとする。
- 特記なきスカラーは全て35Rとする。
- 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは胴部側にも座金を用いるものとする。
- 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上とする。付数量は、JIS H 8641 H2Z55とする。但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
- ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋南側補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その21) (参考図)	図面番号	
補 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研	施工会社名	
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所	事務所名	

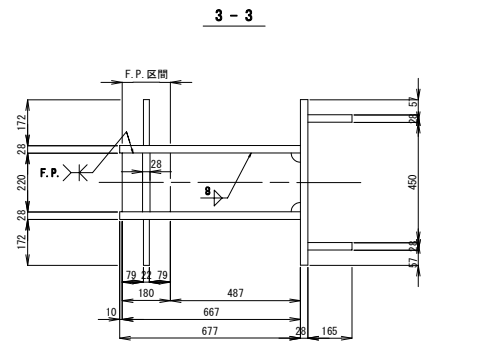
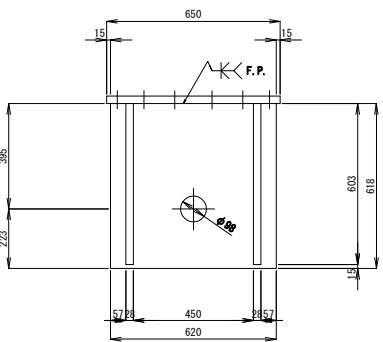
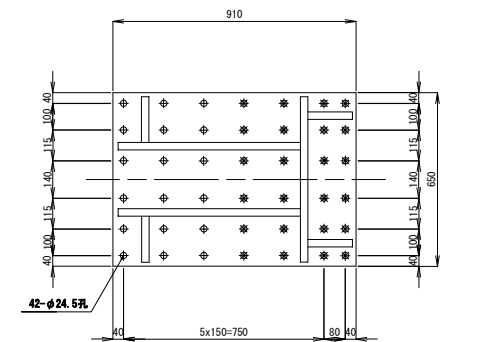
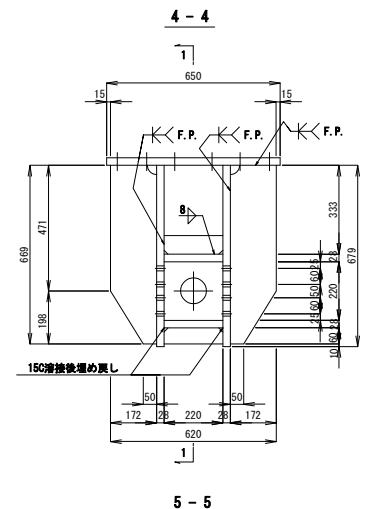
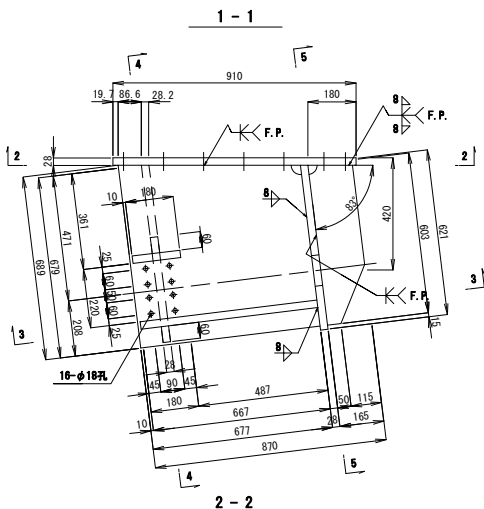
落橋防止構造 P 2 詳細図(その22) (参考図)

S=1:20

<P3橋脚(終点側)BG1L>

ブラケット詳細図

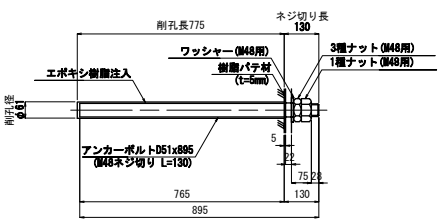
下部エブラケット詳細図



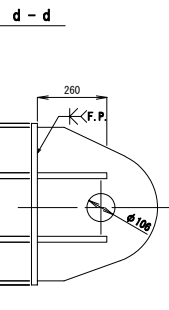
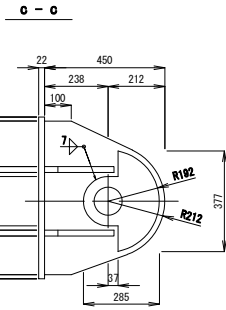
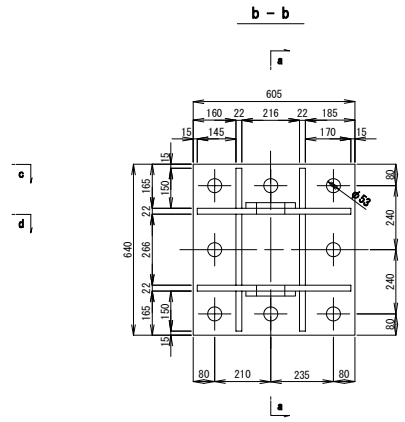
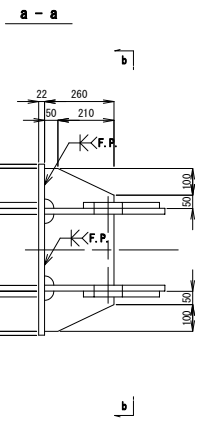
ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 2-PL 165x28x603
- 2-PL 677x28x689
- 2-PL 172x22x689
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x687
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 621x28x620
- 1-PL 650x28x910
- 12-TGB M22x105 (S10T) [*1W]
- 12-TGB M22x100 (S10T)
- 12-TGB M22x 80 (S10T) [*1W]
- 6-TGB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。



ブラケット1基当り (製作数: 1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x575
- 4-PL 150x22x260
- 2-PL 280x22x266
- 1-PL 605x22x640
- 8-Anc Bolt D51x885 (S345)
- 8-1種 Nut M40用 (SS400)
- 8-3種 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

- 注記)
- 特記なき材質は全てSM400Bとする。
 - 特記なきスカラーアップは全て3SRとする。
 - 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - ※の高力ボルトは欄間側にも座金を用いるものとする。
 - 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。付数量は、JIS H 8841 H2Z55とする。但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
 - ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧補強工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その22) (参考図) *3詳細(終点側)BG1L		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所		

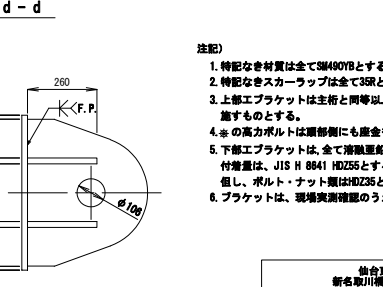
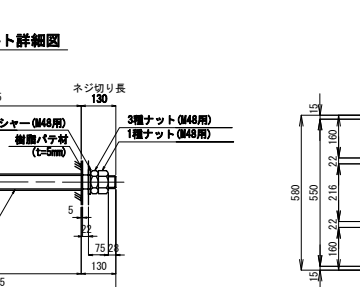
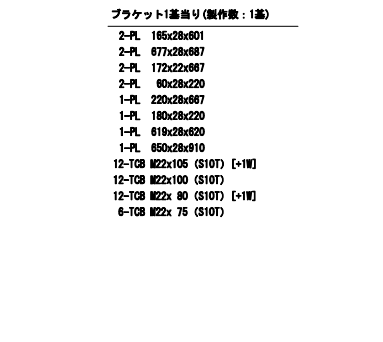
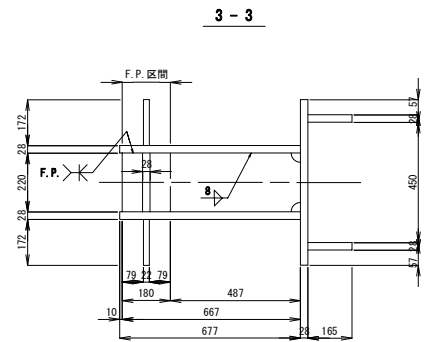
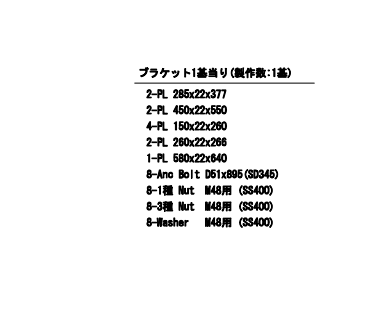
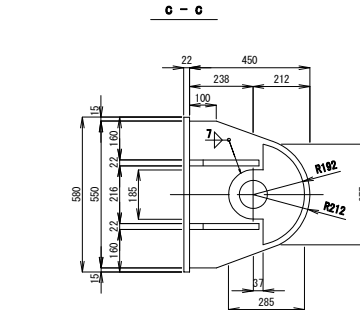
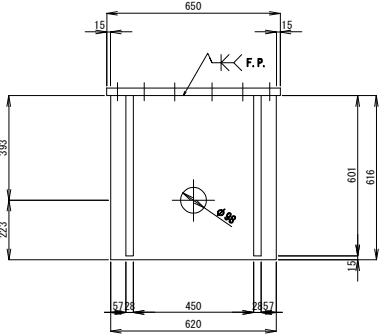
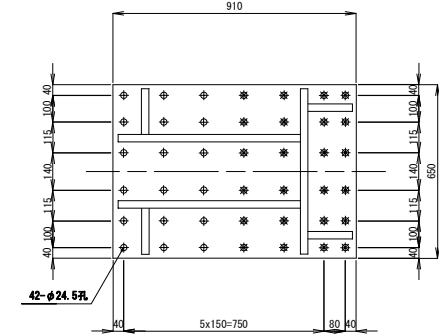
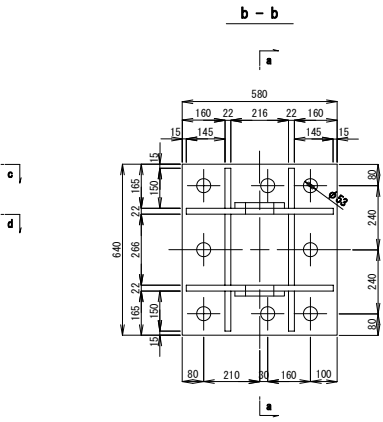
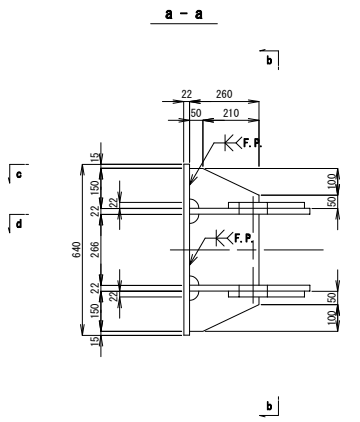
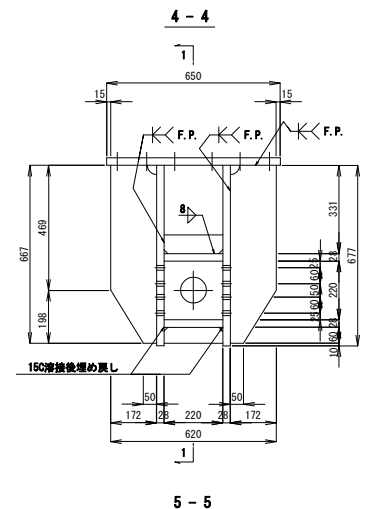
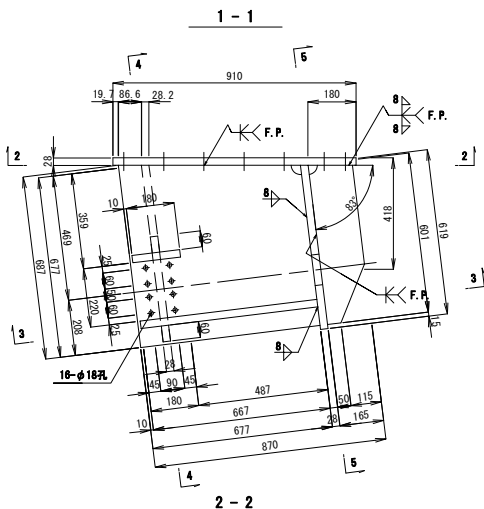
落橋防止構造 P 2 詳細図(その23) (参考図)

<P3橋脚(終点側)B62R>

S=1:20

ブラケット詳細図

下部エブラケット詳細図



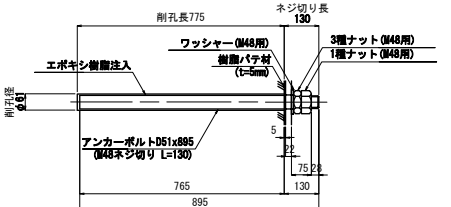
ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x550
- 4-PL 150x22x280
- 2-PL 280x22x286
- 1-PL 580x22x640
- 8-Ano Bolt D51x806 (S345)
- 8-1種 Nut M40用 (SS400)
- 8-3種 Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

ブラケット1基当り(製作数:1基)

- 2-PL 165x28x801
- 2-PL 677x28x687
- 2-PL 172x22x687
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x687
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 619x28x620
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

- 1. 特記なき材質は全てSM400Bとする。
- 2. 特記なきスカラーラップは全て3Rとする。
- 3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- 4. ※の高力ボルトは溶融亜鉛めっきを用いるものとする。
- 5. 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上げとする。
- 6. 付数量は、JIS H 8841 H2Z55とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
- 7. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台直轄道路 新名取川橋脚復旧補修工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その23) (参考図)	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 片平研	図示	図面番号
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所	図示	図面番号

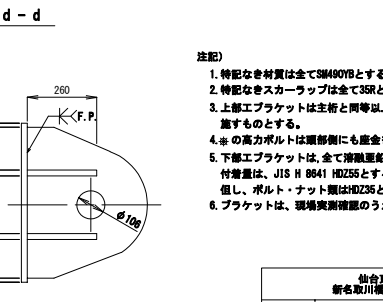
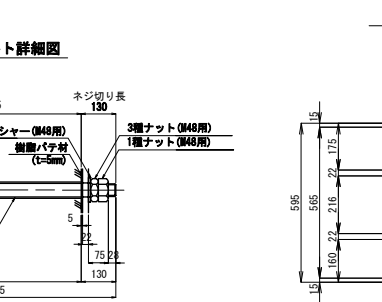
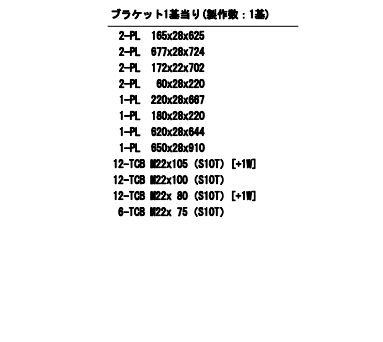
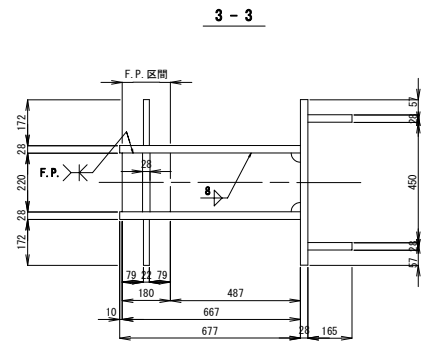
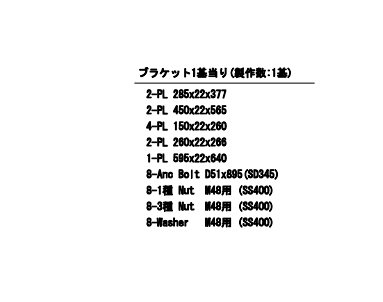
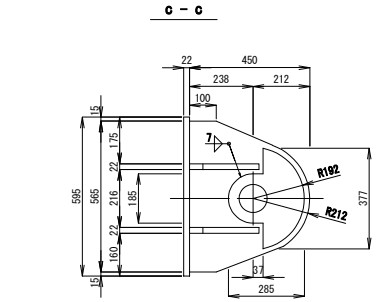
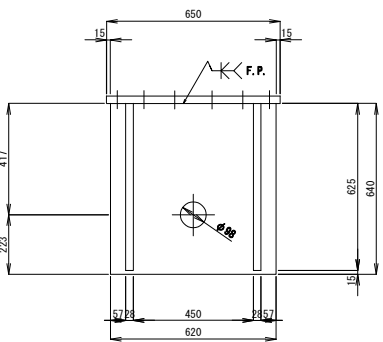
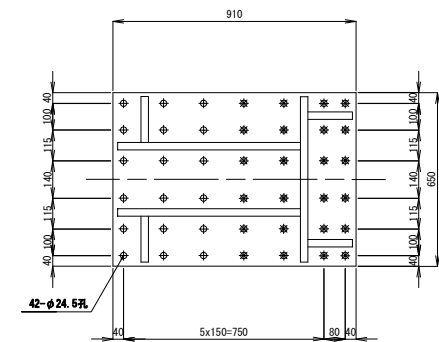
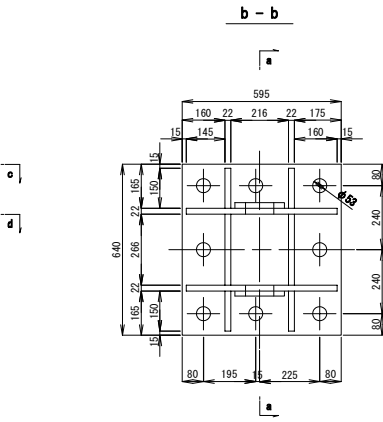
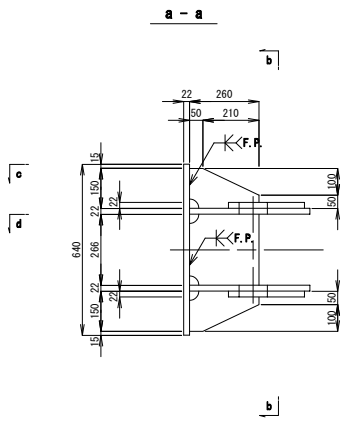
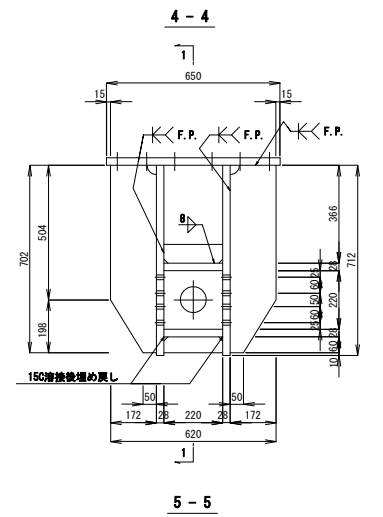
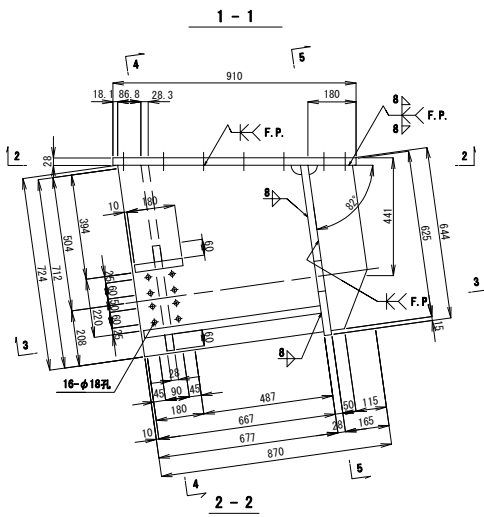
落橋防止構造 P 2 詳細図(その24) (参考図)

<P3橋脚(終点側)B62L>

S=1:20

ブラケット詳細図

下部エブラケット詳細図



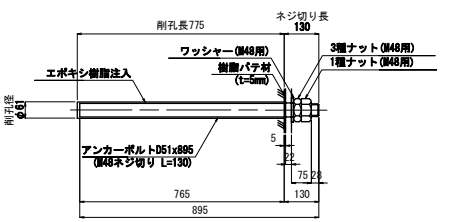
ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 285x22x377
- 2-PL 450x22x585
- 4-PL 150x22x280
- 2-PL 280x22x288
- 1-PL 585x22x640
- 8-Anc Bolt D51x885 (S10T)
- 8-1mm Nut M40用 (SS400)
- 8-3mm Nut M40用 (SS400)
- 8-Washer M40用 (SS400)

ブラケット1基当り (製作数:1基)

- 2-PL 185x28x625
- 2-PL 677x28x724
- 2-PL 172x22x702
- 2-PL 60x28x220
- 1-PL 220x28x687
- 1-PL 180x28x220
- 1-PL 620x28x644
- 1-PL 650x28x910
- 12-TCB M22x105 (S10T) [+1W]
- 12-TCB M22x100 (S10T)
- 12-TCB M22x 80 (S10T) [+1W]
- 6-TCB M22x 75 (S10T)

アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

注記)

- 1. 特記なき材質は全てSM400Bとする。
- 2. 特記なきスカラーアップは全て35Rとする。
- 3. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- 4. ※の高力ボルトは欄部側にも座金を用いるものとする。
- 5. 下部エブラケットは、全て溶融亜鉛めっき仕上とする。
- 6. 付数量は、JIS H 8641 H2Z55とする。
- 但し、ボルト・ナットはH2Z35とする。
- 7. ブラケットは、現場実測確認のうえ、製作を行うこと。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その24) (参考図)	図面番号	
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術	施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所		

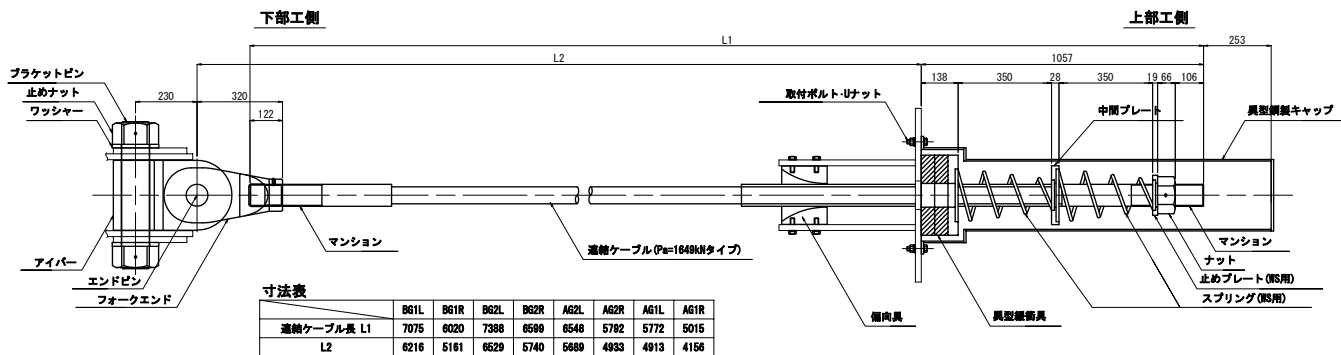
落橋防止構造 P 2 詳細図(その25) (参考図)

<P2橋脚(起点側)>

S=1:20

98 / 190

取付詳細図



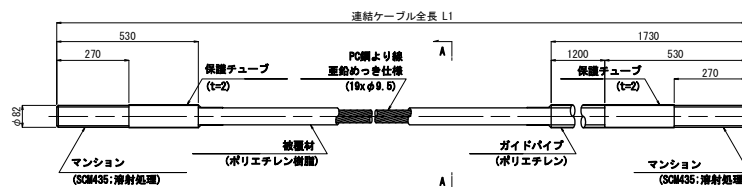
寸法表

	B61L	B61R	B62L	B62R	AG2L	AG2R	AG1L	AG1R
連結ケーブル長 L1	7075	6020	7388	6589	6548	5782	5772	5015
L2	6216	5161	6529	5740	5688	4933	4913	4156

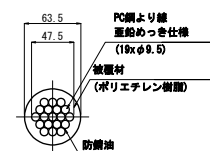
材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)

				全8組 (8組/橋台)	
名 称	規 格	単位	数量	備 考	
連結ケーブル (マンション) (ガイドパイプ)	Pe=1649kNタイプ	本	1	PC鋼より線、重鉛めっき仕様、ポリエチレン被覆	
	Pe=1649kNタイプ用 標準	個	2	SCM435、重鉛アルミ溶射、ねじり標準 <ケーブルに継ぎ>	
	Pe=1649kNタイプ用 1200mm	本	1	ポリエチレン <ケーブルに継ぎ>	
ナット	Pe=1649kNタイプ用	個	1	S45C、重鉛めっき (H2Z55)	
止めプレート (NS用)	Pe=1649kNタイプ用	枚	1	S400、重鉛めっき (H2Z55)	
スプリング (NS用)	Pe=1649kNタイプ用 L=500	個	2	SW-G、重鉛めっき、クロメート処理	
中間プレート	Pe=1649kNタイプ用	枚	1	S400、重鉛めっき (H2Z55)	
異型緩衝具	Pe=1649kNタイプ用	個	1	S400、重鉛めっき (H2Z55) + 合成ゴム	
偏向具	Pe=1649kNタイプ用	個	1	ポリエチレン	
(取付ボルト)	M16x55 19付	本	16	S400相当品;重鉛めっき (H2Z35) 接着剤付	
異型鋼製キャップ	Pe=1649kNタイプ L=1310	個	1	S400、STK400;重鉛めっき (H2Z55)	
取付ボルト・ナット	M16x70 29付	本	4	S400相当品;重鉛めっき (H2Z35)	
ブラケットピン	Pe=1649kNタイプ用	本	1	S400、ダクロダイズ処理、DMコート	
止めナット	Pe=1649kNタイプ用	個	2	S45C、重鉛めっき (H2Z55)	
ワッシャー	Pe=1649kNタイプ用	個	2	S400、重鉛めっき (H2Z55)	
アイバー	Pe=1649kNタイプ用	個	1	S45C、重鉛めっき (H2Z55)	
フォークエンド	Pe=1649kNタイプ用	個	1	S45C、重鉛めっき (H2Z55)	
エンドピン (ピン)	Pe=1649kNタイプ用	本	1	SCM435、ダクロダイズ処理、DMコート	
(止めプレート)	Pe=1649kNタイプ用	個	1	S400、重鉛めっき	

連結ケーブル

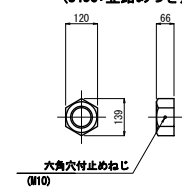


A-A断面図 S=1/4

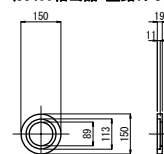


ナット

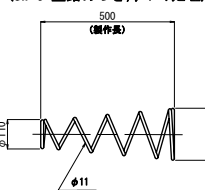
(S45C:重鉛めっき)



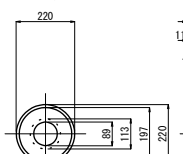
止めプレート (NS用)
(SS400相当品:重鉛めっき)



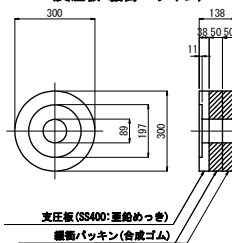
スプリング (NS用)
(SW-G:重鉛めっき,加メート処理)



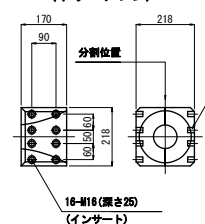
中間プレート
(SS400:重鉛めっき)



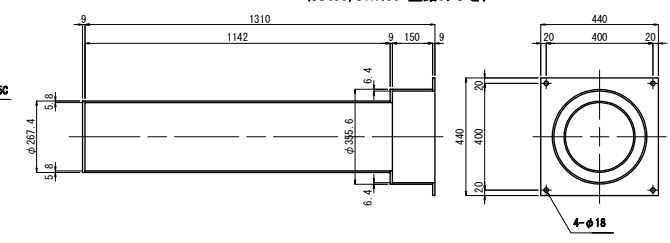
異型緩衝具
(支柱板+緩衝パッキン)



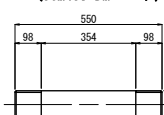
偏向具
(ポリエチレン)



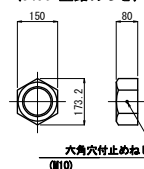
異型鋼製キャップ
(SS400, STK400:重鉛めっき)



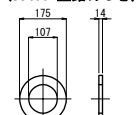
ブラケットピン
(SCM435:DMコート)



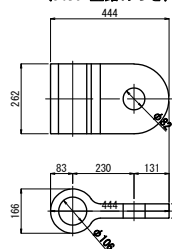
止めナット
(S45C:重鉛めっき)



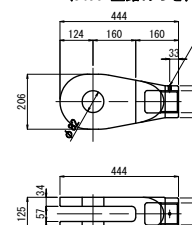
ワッシャー
(SS400:重鉛めっき)



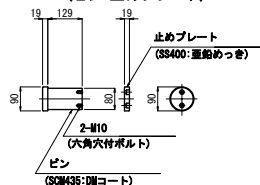
アイバー
(S45C:重鉛めっき)



フォークエンド
(S45C:重鉛めっき)



エンドピン
(ピン+止めプレート)



注記
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付間
距離を確認のうえ、おこなうこと。

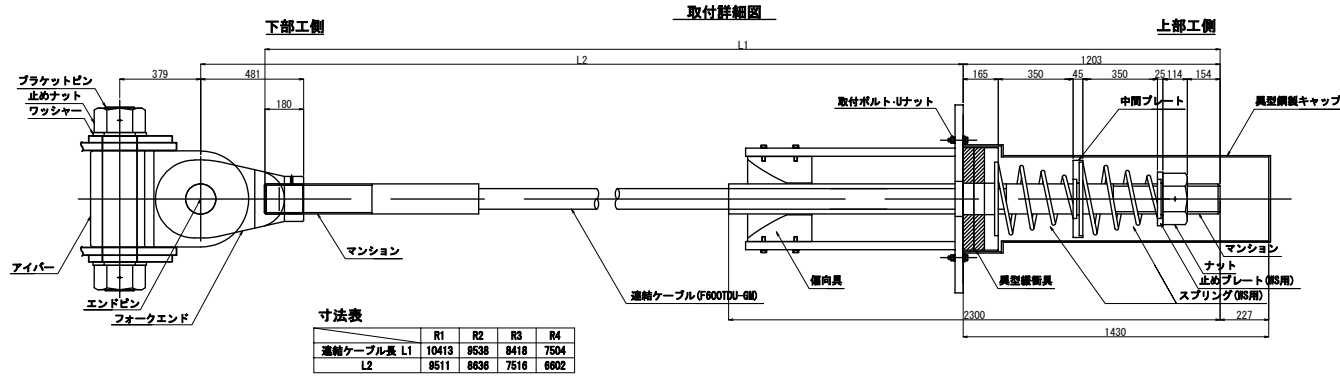
仙台東部道路 新名取川橋梁復旧工事	
図面の確認	落橋防止構造 P 2 詳細図(その25) (参考図) <P2橋脚(起点側)>
縮 尺	図 示
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
承認者名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部道路事務所

落橋防止構造 P 2 詳細図(その27) (参考図)

<P3橋脚(起点側)>

S=1:25

100/190



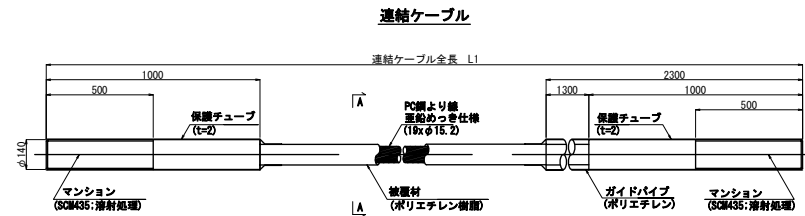
寸法表

	R1	R2	R3	R4
連結ケーブル全長 L1	10413	9538	9418	7504
L2	9511	8636	7516	6802

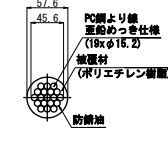
材 料 表 (落橋防止構造1組当たり)

全4組(4組/橋脚)

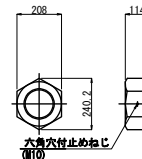
名 称	規 格	単位	数量	備 考
連結ケーブル (マンション)	Pe=5149kNタイプ用-個 L=0000mm	本	1	PC鋼より線、重鉛めっき仕様、ポリエチレン被覆
(ガイドパイプ)	Pe=5149kNタイプ用 標準	個	2	SCM435、重鉛アルミ溶射、ねじり標準 <ケーブルに組込>
ナット	Pe=5149kNタイプ用	個	1	ポリエチレン <ケーブルに組込>
止めプレート (WS用)	Pe=5149kNタイプ用	個	1	S45C:重鉛めっき (HDZ55)
スプリング (WS用)	Pe=5149kNタイプ用 L=500	個	2	SWRS:重鉛めっき、クロメート処理
中間プレート	Pe=5149kNタイプ用	個	1	S400:重鉛めっき (HDZ55)
異型鋼板具	Pe=5149kNタイプ用	個	1	SCM435:重鉛めっき (HDZ55) + 合成ゴム
偏向具	Pe=5149kNタイプ用	個	1	ポリエチレン
(取付ボルト)	M16x55 18付	本	16	S400相当品:重鉛めっき (HDZ35) 接着剤付
異型鋼板キャップ	Pe=5149kNタイプ用 L=1430	個	1	S400, STK400:重鉛めっき (HDZ55)
取付ボルト・ナット	M16x75 28付	本	4	S400相当品:重鉛めっき (HDZ35)
ブラケットピン	Pe=5149kNタイプ用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
止めナット	Pe=5149kNタイプ用	個	2	S45C:重鉛めっき (HDZ55)
ワッシャー	Pe=5149kNタイプ用	個	2	S400:重鉛めっき (HDZ55)
アイバー	Pe=5149kNタイプ用	個	1	S45C:重鉛めっき (HDZ55)
フォークエンド	Pe=5149kNタイプ用	個	1	S45C:重鉛めっき (HDZ55)
エンドピン (ピン)	Pe=5149kNタイプ用	本	1	SCM435、ダクロダイズド処理、DMコート
(止めプレート)	Pe=5149kNタイプ用	個	1	S400:重鉛めっき



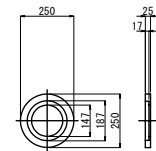
A-A断面図 S=1:5



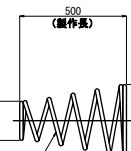
ナット (S45C:重鉛めっき)



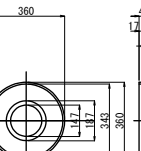
止めプレート (WS用) (S400:重鉛めっき)



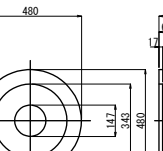
スプリング (WS用) (SWRS:重鉛めっき、加メート処理)



中間プレート (S400:重鉛めっき)



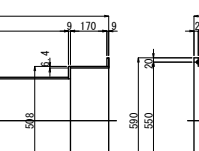
異型鋼板具 (支圧板+緩衝パッキン)



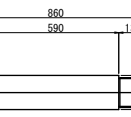
偏向具 (ポリエチレン)



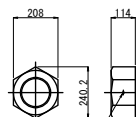
異型鋼板キャップ (S400, STK400:重鉛めっき)



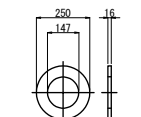
ブラケットピン (SCM435:DMコート)



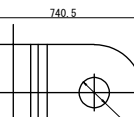
止めナット (S45C:重鉛めっき)



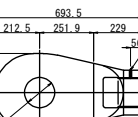
ワッシャー (S400:重鉛めっき)



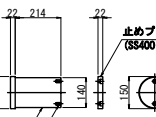
アイバー (S45C:重鉛めっき)



フォークエンド (S45C:重鉛めっき)



エンドピン (ピン+止めプレート)



注記
1. 連結ケーブルの製作は、現場にて取付用距離を確認のうえ、おこなうこと。

監理機関	仙台直轄道路 新名取川橋梁復旧工事
図面の種類	落橋防止構造 P 2 詳細図(その27) (参考図) <P3橋脚(起点側)>
縮 尺	図 示
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所

全8組 (8組/橋台)

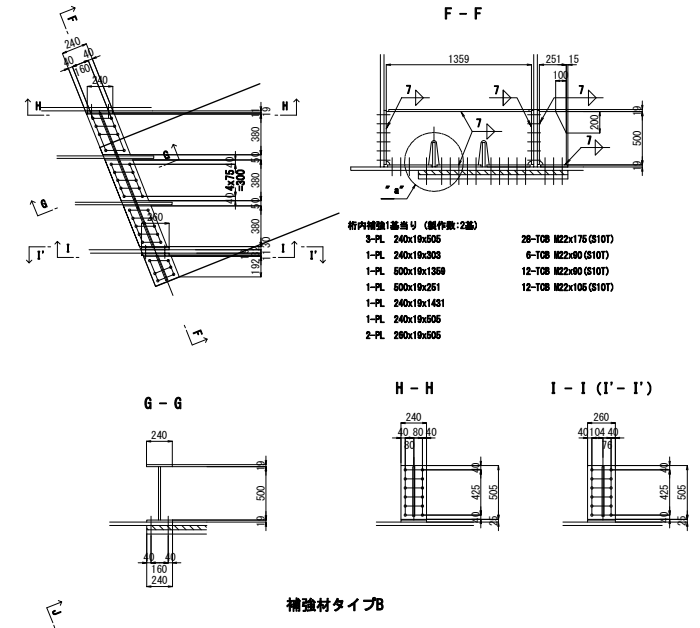
仙台東部道路 新名取川橋脚整備工事			
図面の種類	常備防止構造P2 詳細図(その28) (参考図) <P2橋脚(縦断面)>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管掌事務所		

桁内補強工 詳細図(その1)

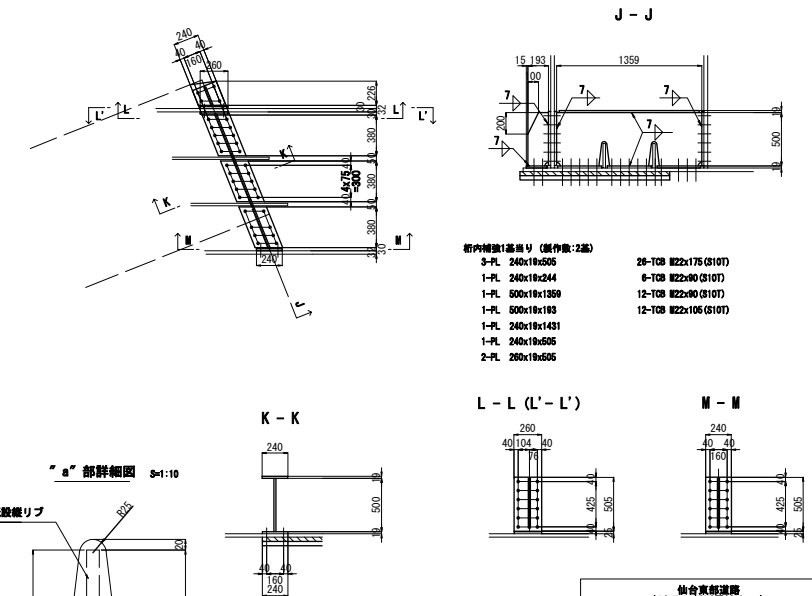
<P2橋脚(終点側) 支承部>

S=1:50

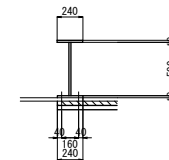
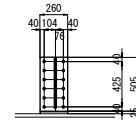
補強材タイプA



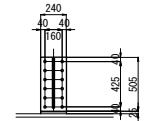
補強材タイプB



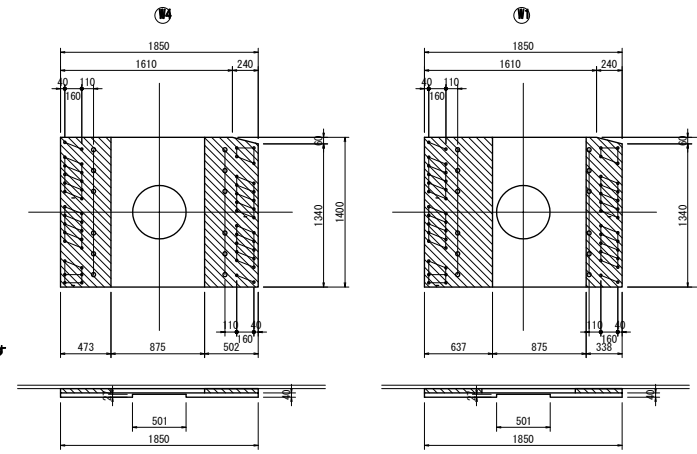
K - K


$$L - L' (L' - L')$$


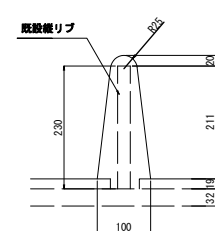
M - M



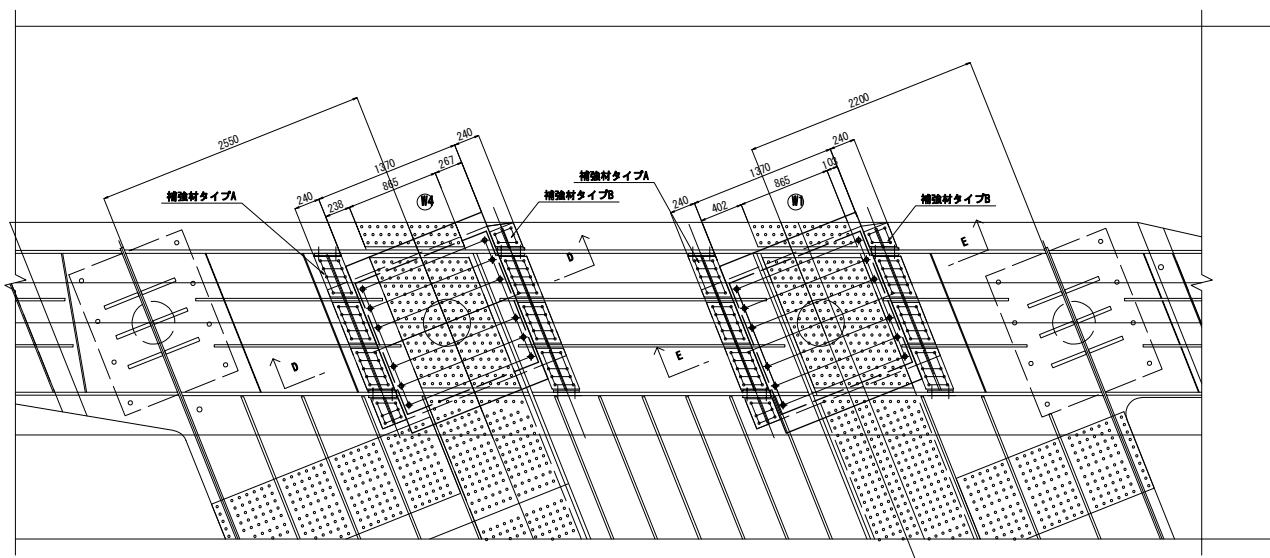
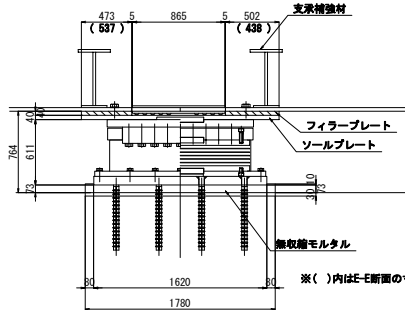
ソールプレート



"a" 部詳細図 S-1:10



平面图


$$\frac{D - D_0}{(E - E_0)}$$


※()内はE-E断面の寸法を示す

- 注記)
1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
 2. 特記なきスカラーアップは全て35Rとする。
 3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 4. 上部エラケット及び、桁補強は主桁と同等級以上の防錆塗装を施すものとする。

仙台東部道路 新名取川橋新築補強工事	
図面の種類	桁内補強工 詳細図(その1) ＜P2橋脚(橋台側) 支承部＞
縮 尺	1:50 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所

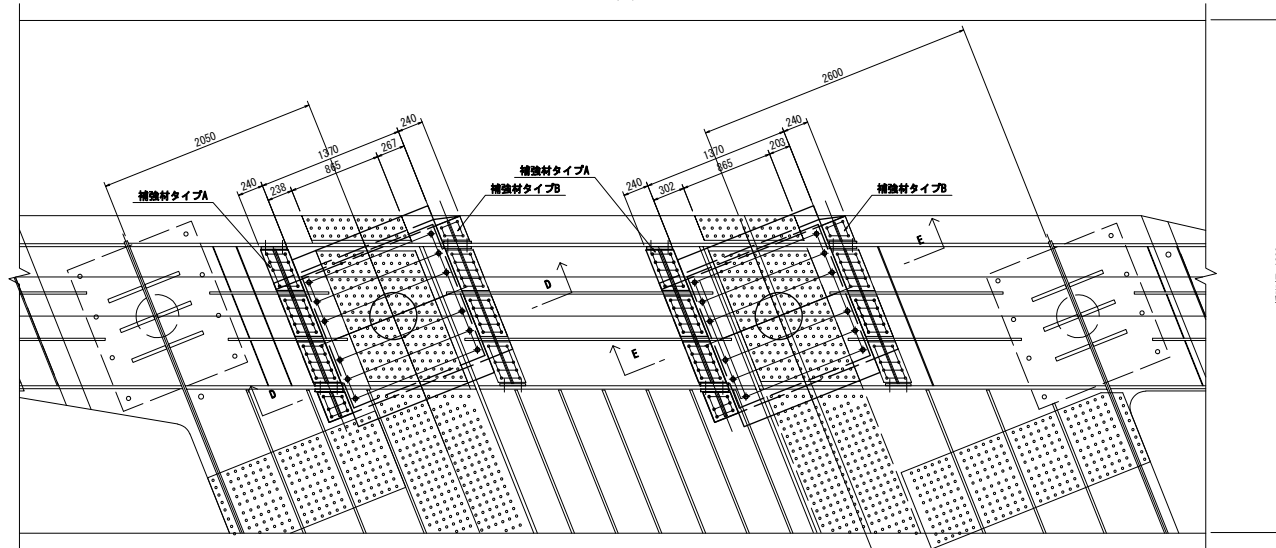
桁内補強工 詳細図(その2)

<P3橋脚(起点側) 支承部>

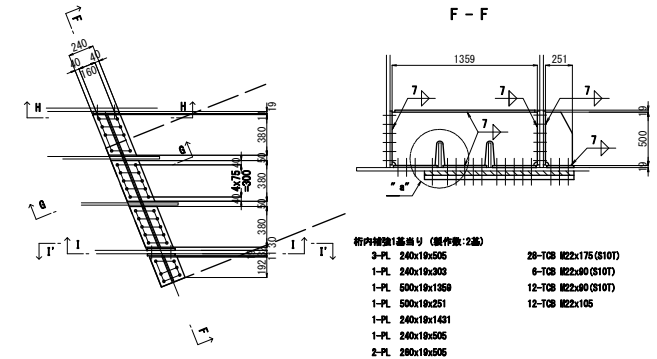
S=1:50

103/190

平面図



補強材タイプA



桁内補強1箇所 (製作数: 2箇所)

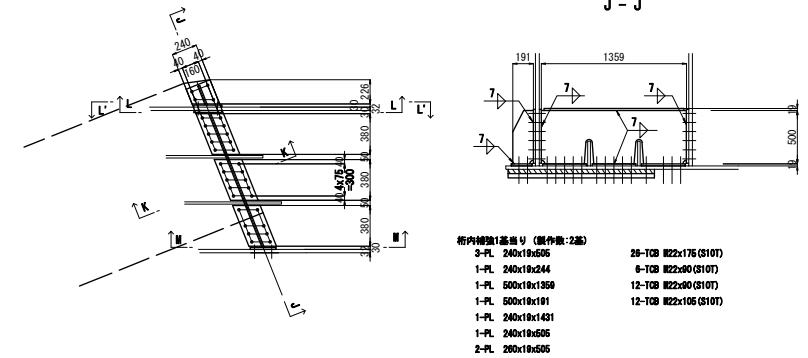
- 3-PL 240x19x505
- 1-PL 240x19x302
- 1-PL 500x19x1359
- 1-PL 500x19x251
- 1-PL 240x19x1431
- 1-PL 240x19x505
- 2-PL 280x19x505
- 26-TCS M22x175 (S10T)
- 6-TCS M22x90 (S10T)
- 12-TCS M22x90 (S10T)
- 12-TCS M22x105

G - G

H - H

I - I (I' - I')

補強材タイプB



桁内補強1箇所 (製作数: 2箇所)

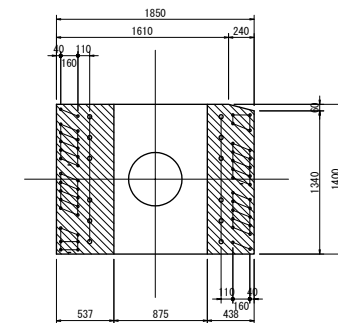
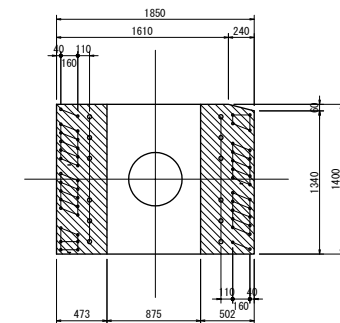
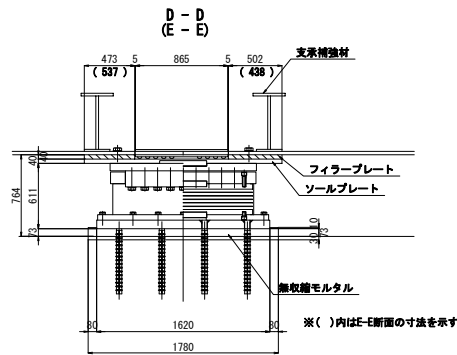
- 3-PL 240x19x505
- 1-PL 240x19x244
- 1-PL 500x19x1359
- 1-PL 500x19x181
- 1-PL 240x19x1431
- 1-PL 240x19x505
- 2-PL 280x19x505
- 26-TCS M22x175 (S10T)
- 6-TCS M22x90 (S10T)
- 12-TCS M22x90 (S10T)
- 12-TCS M22x105 (S10T)

K - K

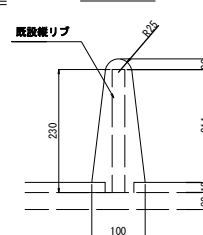
L - L (L' - L')

M - M

ソールプレート



"a" 部詳細図 S=1:10



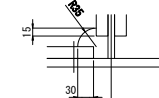
注記)

1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
2. 特記なきスカーラップは全て3Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 上部工ブラケット及び、桁補強は主桁と同等級以上の防錆塗装を施すものとする。

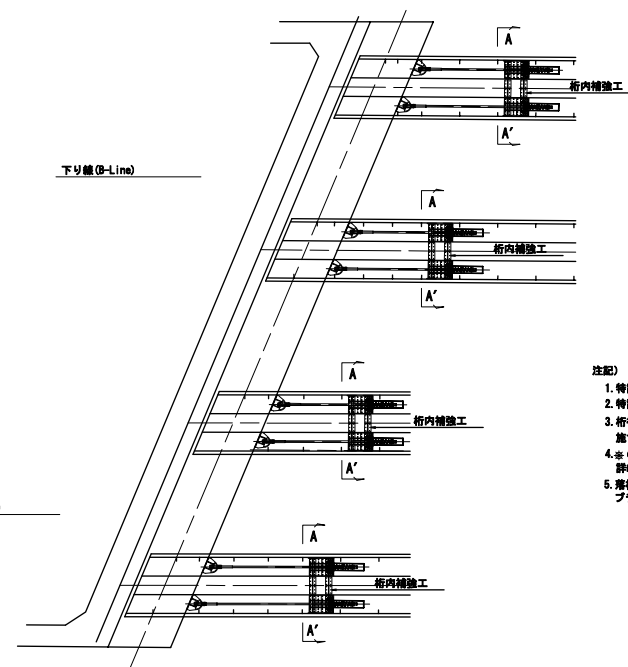
仙台直轄道路 新名取川橋脚架補強工事			
図面の種類	桁内補強工 詳細図(その2) <P3橋脚(起点側) 支承部>		
縮尺	1:50	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

<A1橋台 落橋防止構造部>

104 / 190



平面图 S=1:200



- 注記)
- 1. 特記なき材質は全てSMA490Bとする。
 - 2. 特記なきスカラープは全て35Rとする。
 - 3. 桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 - 4. * の高力ボルトは落橋防止構造Pブラケット詳細図に計上する。
 - 5. 落橋防止構造Pブラケットの孔明けは落橋防止構造Pブラケット詳細図に計上する。

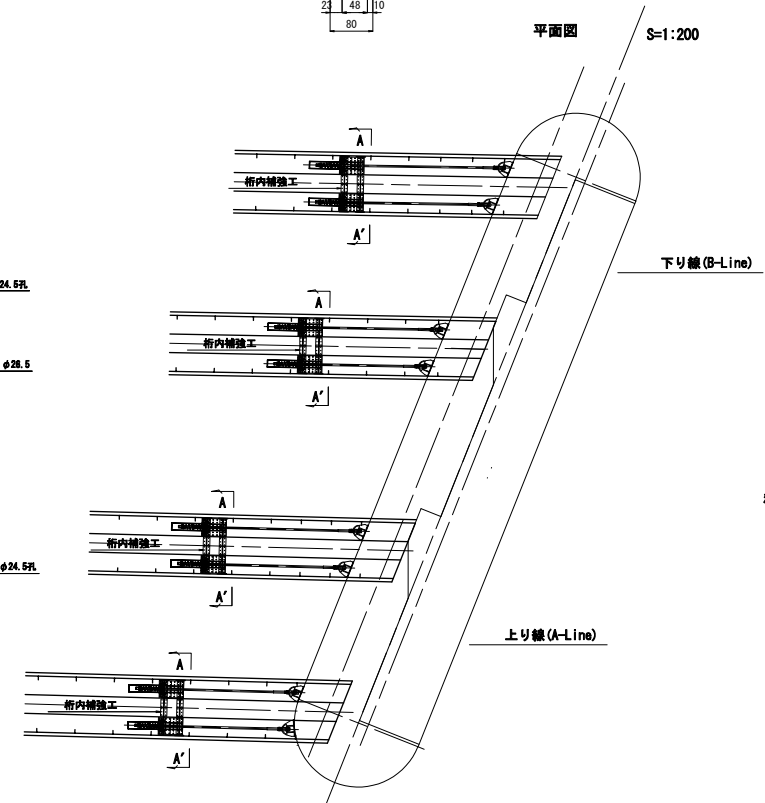
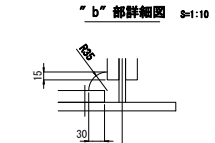
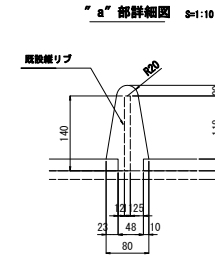
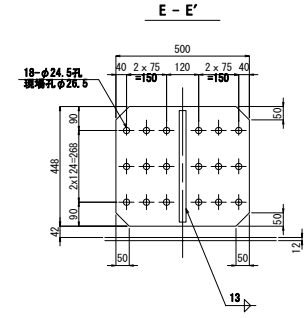
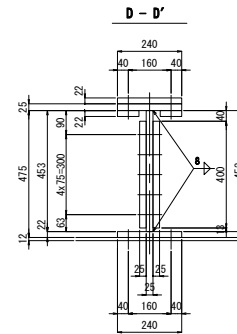
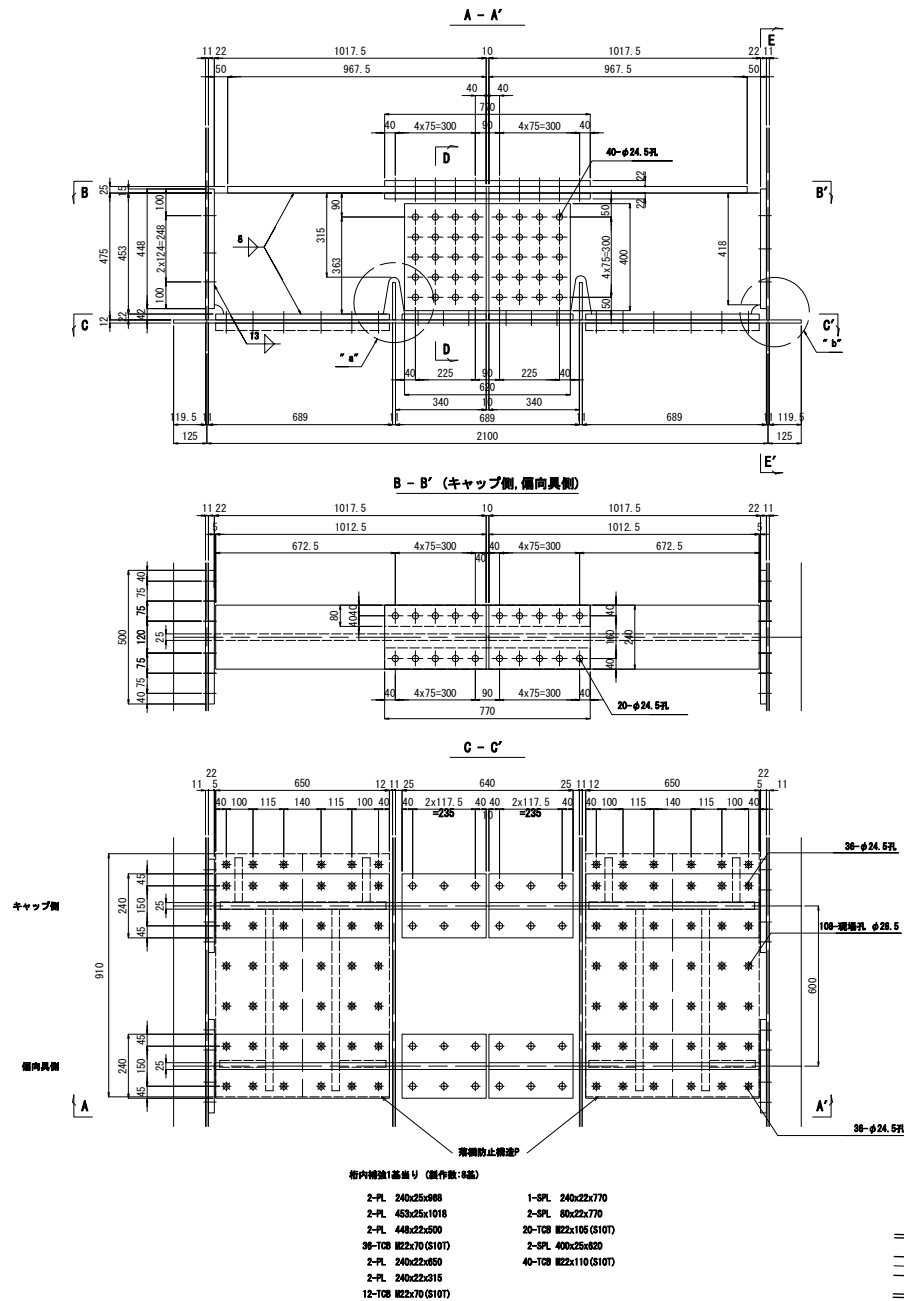
仙台東部道路 新名取川橋脚震害補強工事			
図面の種類	街内補強工 詳細図 (その3) <A1階合 発着防止筋道部>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

桁内補強工 詳細図(その4)

<P2橋脚(起点側) 落橋防止構造部>

S=1:20

105 / 190



- 注記)
1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
 2. 特記なきスカラーップは全て3SRとする。
 3. 桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 4. ※の両力ボルトは落橋防止構造Pブラケット詳細図にて計上する。
 5. 落橋防止構造Pブラケットの孔明けは落橋防止構造Pブラケット詳細図にて計上する。

仙台直轄道路 新名取川橋脚復旧補強工事			
図面の種類	桁内補強工 詳細図(その4) <P2橋脚(起点側) 落橋防止構造部>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

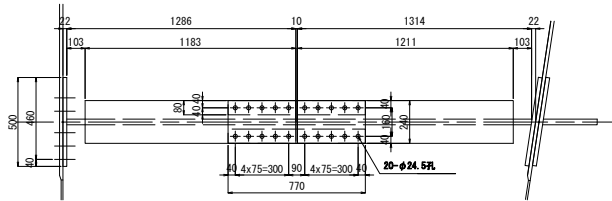
桁内補強工 詳細図(その5)

<P2橋脚(終点側) 落橋防止構造部>

S=1:30

106 / 190

1 - 1' (上フランジ)

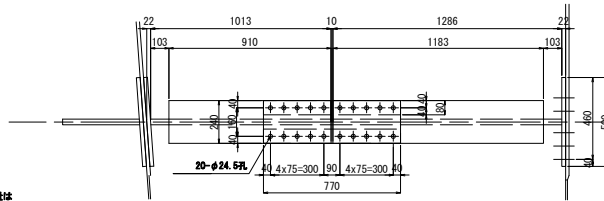


A-A' 断面1基当り (製作数:1基)

- 1-PL 240x22x1183
- 1-PL 240x22x1211
- 1-PL 628x32x1286
- 1-PL 628x32x1314
- 3-PL 638x22x600
- 42-TGB M22x80 (S107)
- 42-TGB M22x100 (S107)
- 2-PL 240x22x600
- 1-PL 240x22x465
- 2-PL 240x22x228
- 1-PL 240x22x130
- 1-PL 240x22x478
- 12-TGB M22x80 (S107)
- 1-SPL 240x22x770
- 2-SPL 80x22x770
- 20-TGB M22x105 (S107)
- 2-SPL 420x28x1070
- 70-TGB M22x125 (S107)
- 1-PL 658x32x306

※上部工ブラケット部間のボルト数量は
上部工ブラケットで計上

2 - 2' (上フランジ)

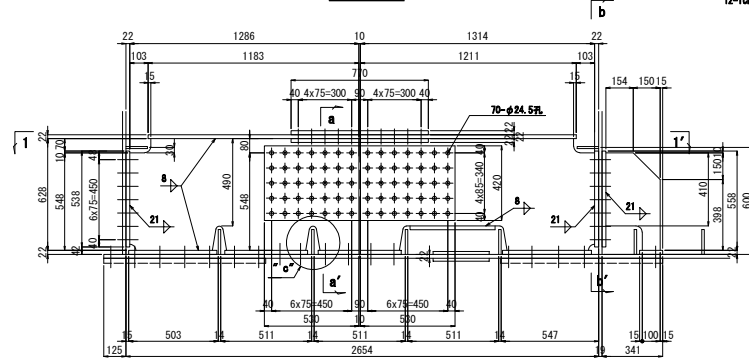


B-B' 断面1基当り (製作数:1基)

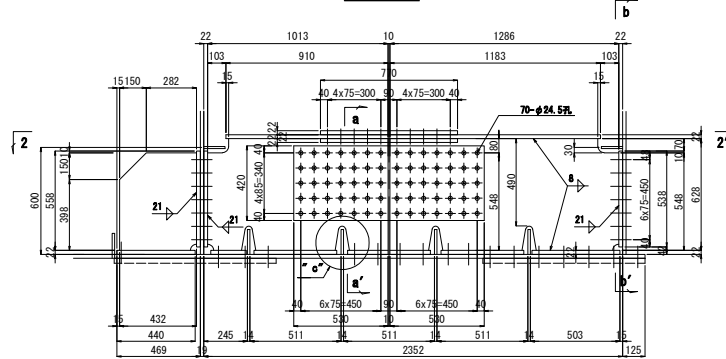
- 1-PL 240x22x1183
- 1-PL 240x22x910
- 1-PL 628x32x1286
- 1-PL 628x32x1013
- 3-PL 638x22x600
- 42-TGB M22x80 (S107)
- 42-TGB M22x100 (S107)
- 1-PL 240x22x600
- 2-PL 240x22x465
- 2-PL 240x22x228
- 1-PL 240x22x200
- 1-PL 240x22x440
- 18-TGB M22x80 (S107)
- 1-SPL 240x22x770
- 2-SPL 80x22x770
- 20-TGB M22x105 (S107)
- 2-SPL 420x28x1070
- 70-TGB M22x125 (S107)
- 1-PL 658x32x432

※上部工ブラケット部間のボルト数量は
上部工ブラケットで計上

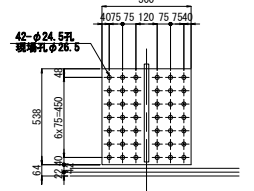
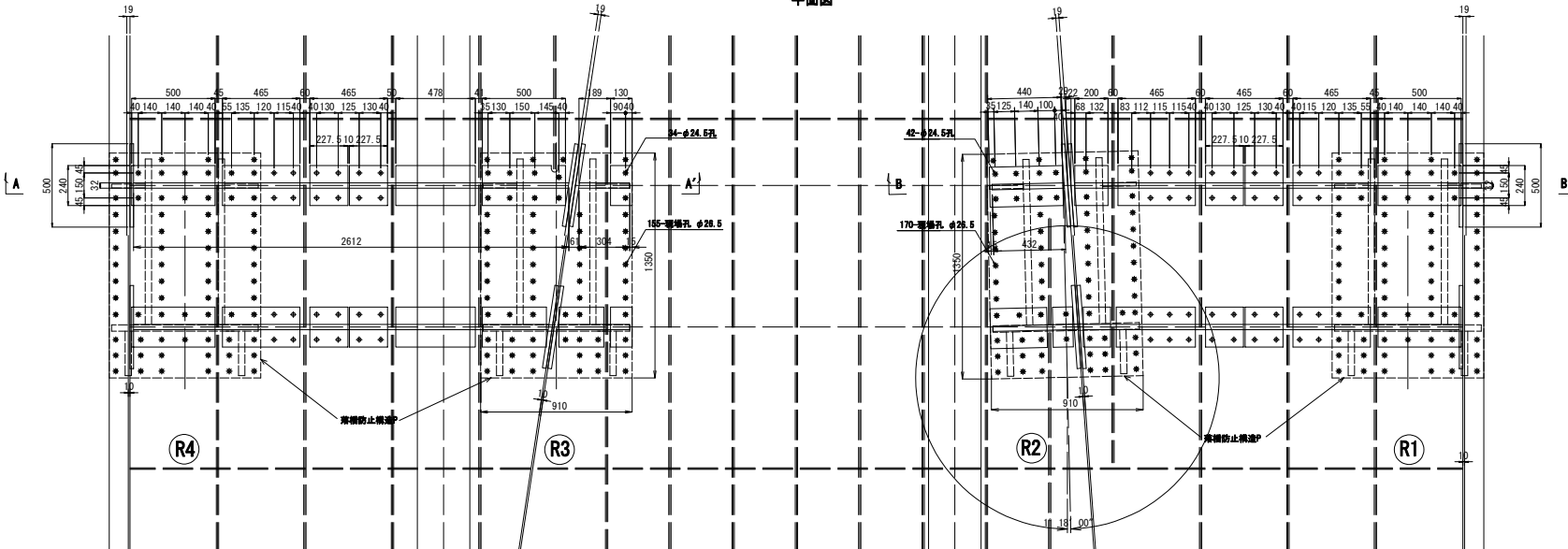
A - A'



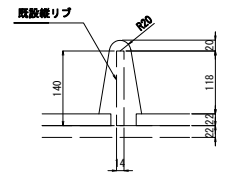
B - B'



平面図



"c" 部詳細図 S=1:10



注記)

1. 特記なき材質は全てSS490Bとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. 桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
4. ※の座力ボルトは落橋防止構造Pブラケット詳細図にて計上する。
5. 落橋防止構造Pブラケットの孔明けは落橋防止構造Pブラケット詳細図にて計上する。

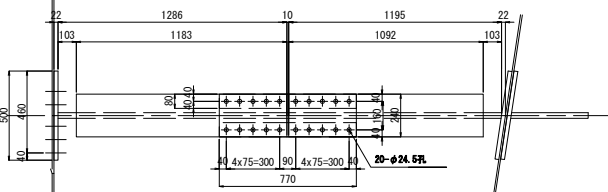
仙台東部道路 新名取川橋脚復旧補強工事			
図面の種類	桁内補強工 詳細図(その5) <P2橋脚(終点側) 落橋防止構造部>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

桁内補強工 詳細図(その6)

<P2橋脚(終点側) 落橋防止構造部>

S=1:30

3 - 3' (上フランジ)

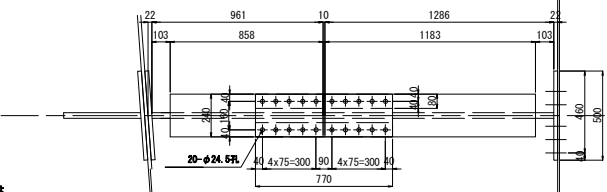


C-C' 断面1基当り (製作数:1基)

- 1-PL 240x22x1183
- 1-PL 240x22x1082
- 1-PL 628x32x1288
- 1-PL 628x32x1185
- 3-PL 538x22x500
- 42-TGB M22x70 (S10T)
- 42-TGB M22x90 (S10T)
- 1-PL 240x22x500
- 1-PL 240x22x465
- 2-PL 240x22x228
- 1-PL 240x22x385
- 1-PL 240x22x270
- 1-PL 240x22x130
- 1-PL 240x22x478
- 12-TGB M22x90 (S10T)

※上蓋工ブラケット端部のボルト数量は
上蓋工ブラケットで計上

4 - 4' (上フランジ)

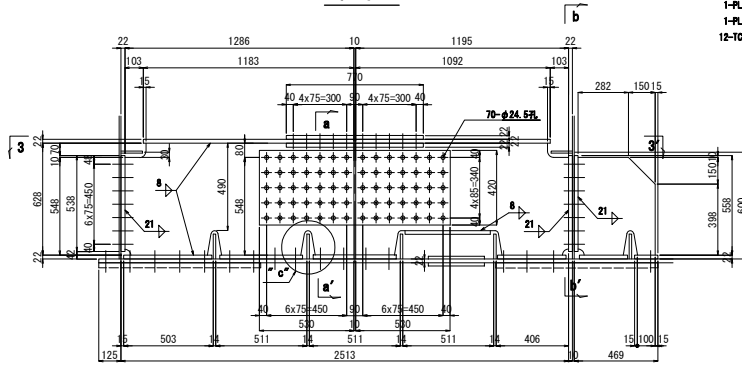


D-D' 断面1基当り (製作数:1基)

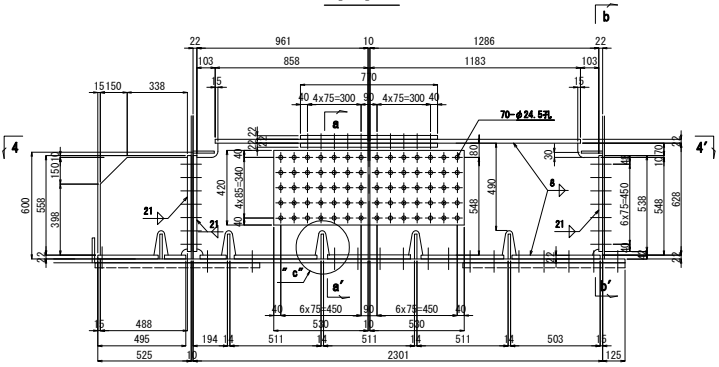
- 1-PL 240x22x1183
- 1-PL 240x22x658
- 1-PL 628x32x1286
- 1-PL 628x32x961
- 3-PL 538x22x500
- 42-TGB M22x70 (S10T)
- 42-TGB M22x90 (S10T)
- 1-PL 240x22x500
- 1-PL 240x22x465
- 2-PL 240x22x228
- 1-PL 240x22x475
- 1-PL 240x22x165
- 1-PL 240x22x120
- 1-PL 240x22x340
- 18-TGB M22x90 (S10T)

※上蓋工ブラケット端部のボルト数量は
上蓋工ブラケットで計上

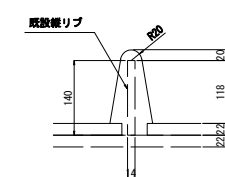
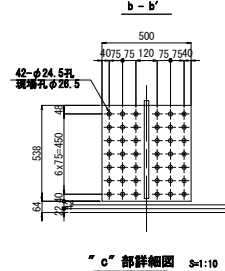
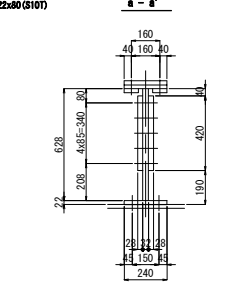
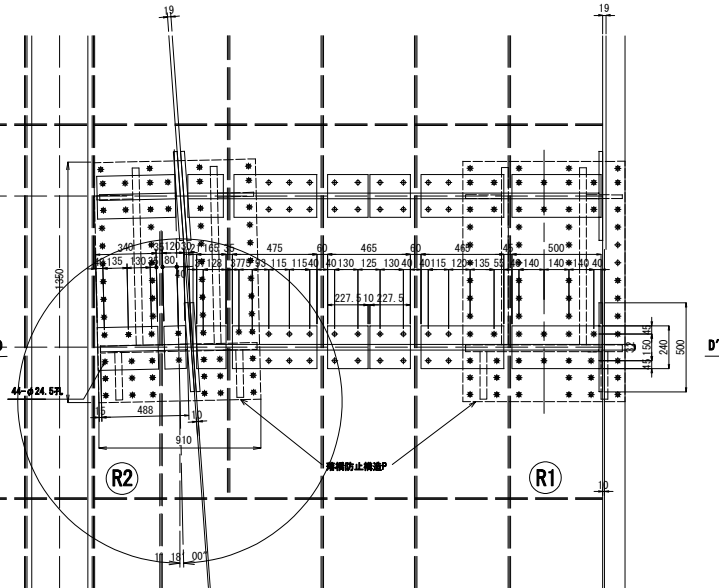
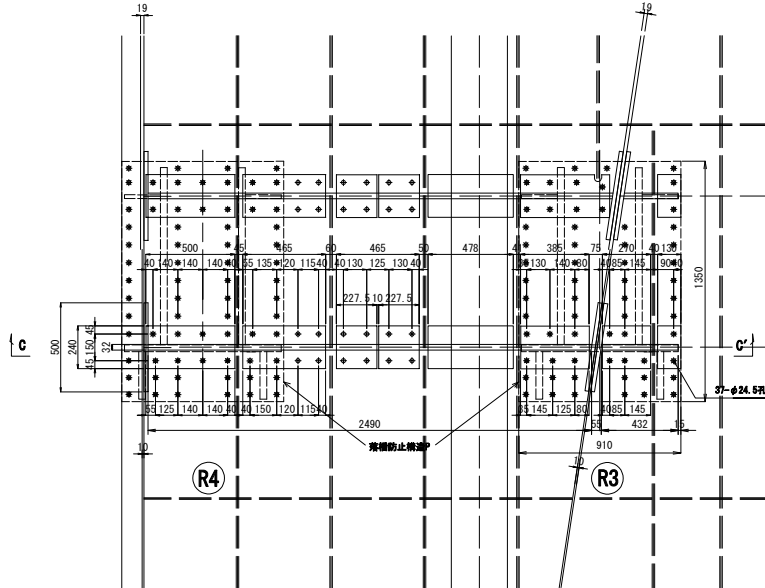
C - C'



D - D'



平面図



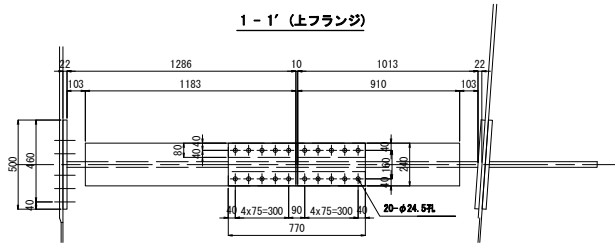
- 1. 特記なき材質は全てSM490TBとする。
- 2. 特記なきスカーラップは全て3SRとする。
- 3. 桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- 4. ※の高力ボルトは落橋防止構造Pブラケット詳細図にて計上する。
- 5. 落橋防止構造Pブラケットの孔明けは落橋防止構造Pブラケット詳細図にて計上する。
- 6. 下フランジの現場孔は桁内補強工詳細図(その5)にて計上する。

仙合東部道路 新名取川橋脚震害補強			
図面の種類	桁内補強工 詳細 <P2橋脚(終点側) 落橋防止構造部>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事業所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

桁内補強工 詳細図(その7)

<P3橋脚(起点側) 落橋防止構造部>

1 - 1' (上フランジ)

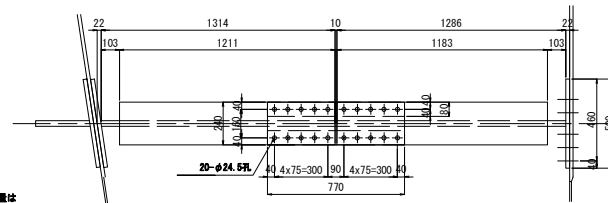


A-A' 断面1基当り (製作数:1基)

- 1-PL 240x22x1183
- 1-PL 240x22x910
- 1-PL 658x32x1288
- 1-PL 658x32x1013
- 3-PL 538x22x500
- 42-TCR M22x100 (S107)
- 42-TCR M22x100 (S107)
- 1-PL 240x22x465
- 2-PL 240x22x228
- 1-PL 240x22x345
- 1-PL 240x22x465
- 18-TCR M22x80 (S107)
- 1-SPL 240x22x770
- 2-SPL 80x22x770
- 20-TCR M22x105 (S107)
- 2-SPL 440x28x1070
- 70-TCR M22x125 (S107)
- 1-PL 558x32x440

※上部工ブラケット部品のボルト数量は
上部工ブラケットで計上

2 - 2' (上フランジ)

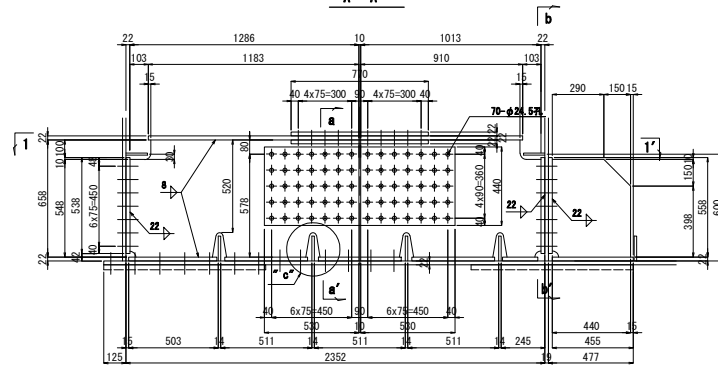


B-B' 断面1基当り (製作数:1基)

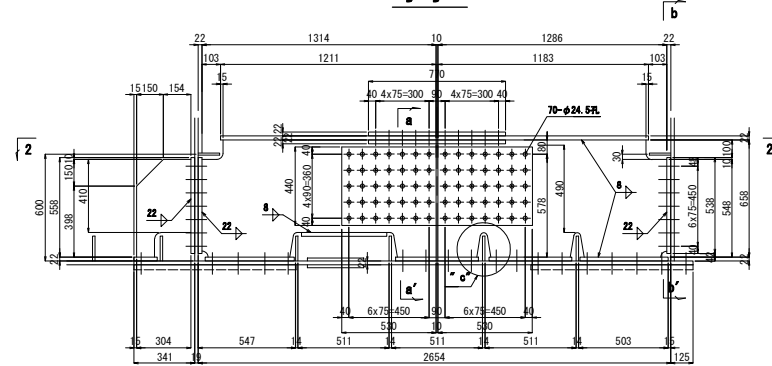
- 1-PL 240x22x1183
- 1-PL 240x22x1211
- 1-PL 658x32x1288
- 1-PL 658x32x1314
- 3-PL 538x22x500
- 42-TCR M22x80 (S107)
- 42-TCR M22x100 (S107)
- 1-PL 240x22x500
- 1-PL 240x22x465
- 2-PL 240x22x228
- 1-PL 240x22x345
- 1-PL 240x22x105
- 1-PL 240x22x130
- 1-PL 240x22x478
- 18-TCR M22x80 (S107)
- 1-SPL 240x22x770
- 2-SPL 80x22x770
- 20-TCR M22x105 (S107)
- 2-SPL 440x28x1070
- 70-TCR M22x125 (S107)
- 1-PL 558x32x304

※上部工ブラケット部品のボルト数量は
上部工ブラケットで計上

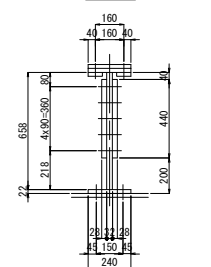
A - A'



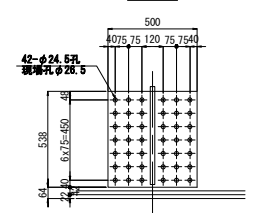
B - B'



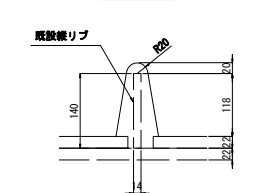
a - a'



b - b'



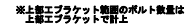
c' 部詳細図 S=1:10



- 注記)
1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て3SRとする。
 3. 桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を
施すものとする。
 4. ※の両方ボルトは落橋防止構造Pブラケット
詳細図にて計上する。
 5. 落橋防止構造Pブラケットの孔明けは落橋防止構造P
ブラケット詳細図にて計上する。

仙台東部道路 新名取川橋脚復旧補強工事			
図面の種類	桁内補強工 詳細図(その7) ＜P3橋脚(起点側) 落橋防止構造部＞		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

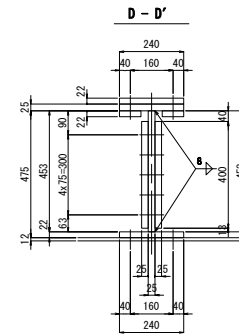
＜P3橋脚(起点側) 落橋防止構造部＞



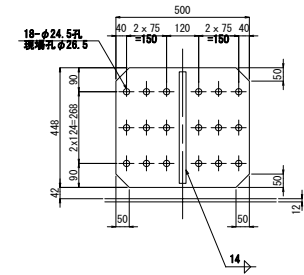
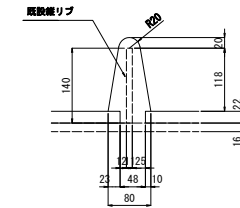
- 1. 特記なき材質は全てS490YBとする。
- 2. 特記なきスカーラップは全て3SRとする。
- 3. 補強は主桁と同等以上の防錆塗を施すものとする。
- 4. ※の高力ボルトは落橋防止構造Pラケット詳細図にて計上する。
- 5. 落橋防止構造Pラケットの孔明けは落橋防止構造Pラケット詳細図にて計上する。
- 6. 下フランジの環着孔は桁内補強詳細図（その7）にて計上する。

仙台東部道路 新名取川橋梁養護補強工事	
図面の種類	桁内補強工 詳細図 (その他) ＜P3橋脚 (起点側) 左側壁付補強部＞
縮 尺	図 示 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所

＜P3橋脚（終点側）落橋防止構造部＞

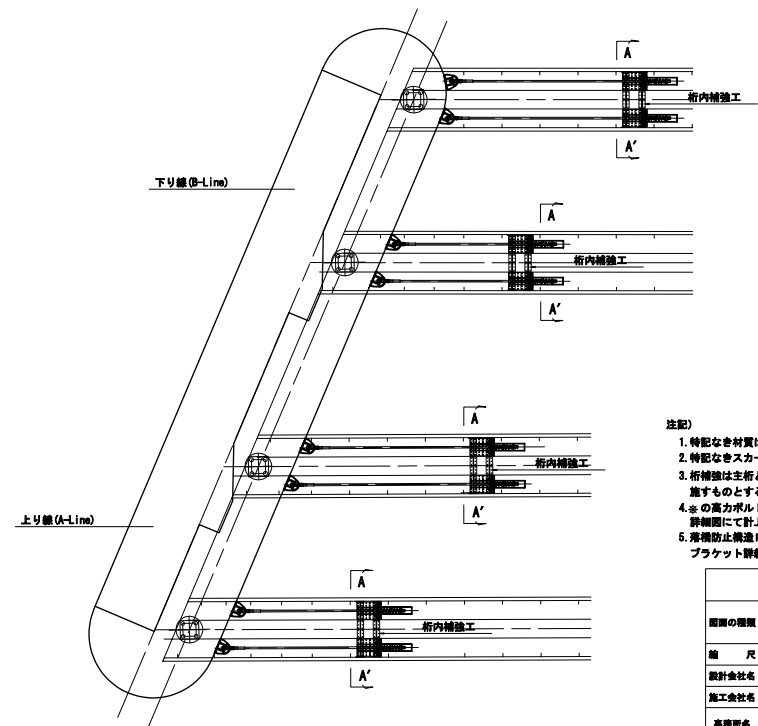


"a" 部詳細図 $s=1:10$



"b" 部詳細図 S=1:10

平面圖 S=1:200



- 注記)
1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
 2. 特記なきスラッパは全て35Rとする。
 3. 桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 4. ※の高力ボルトは落橋防止構造Pブラケット詳細図に計上する。
 5. 落橋防止構造Pブラケットの孔明けは落橋防止構造Pブラケット詳細図に計上する。

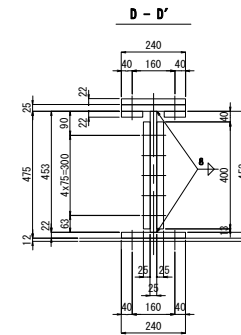
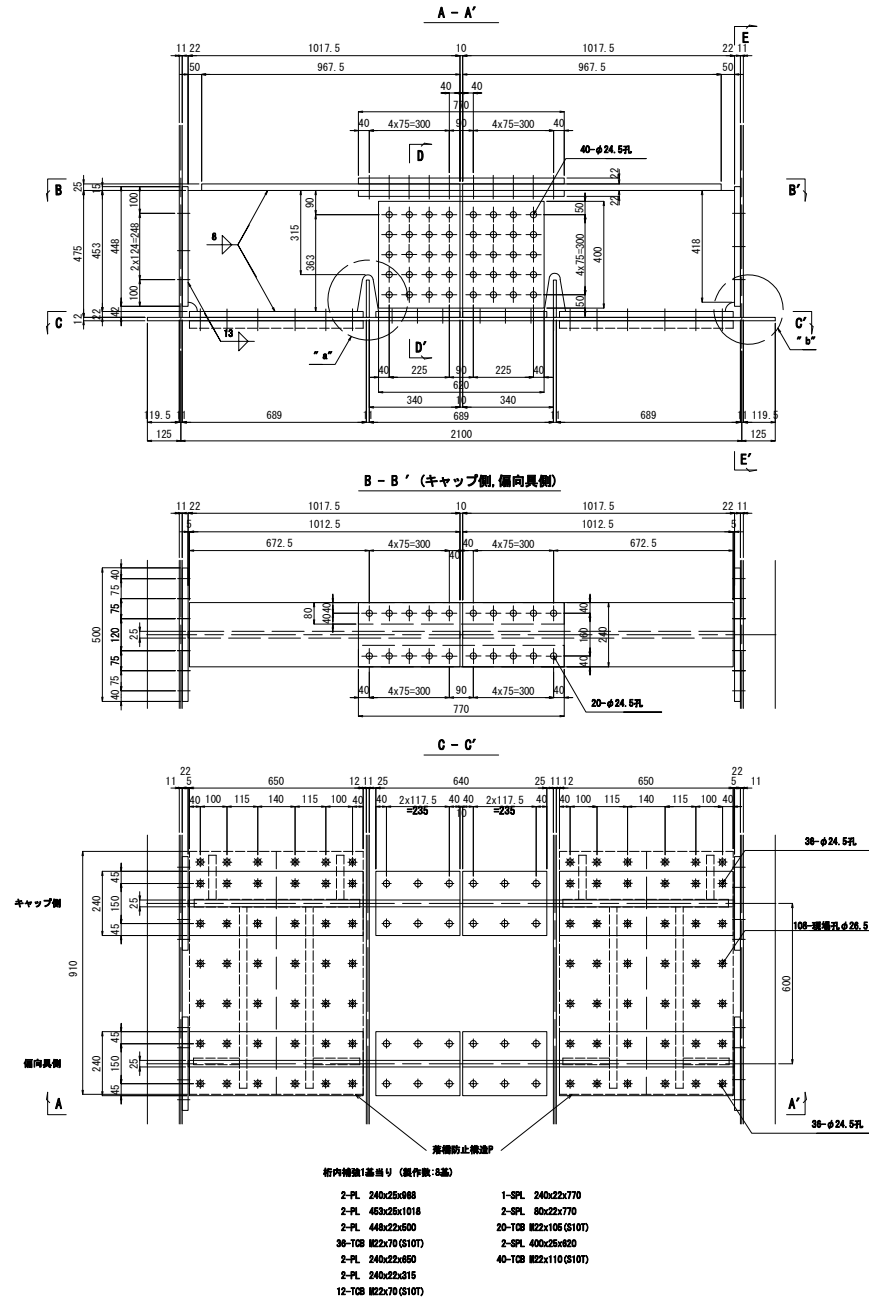
仙台東部道路 新名取川橋南側補強工事		
図面の種類	桁内補強工 詳細面 (その9) ＜P3側脚 (橋点部) 落橋防止構造部＞	
縮 尺	図 示	図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所	

桁内補強工 詳細図(その10)

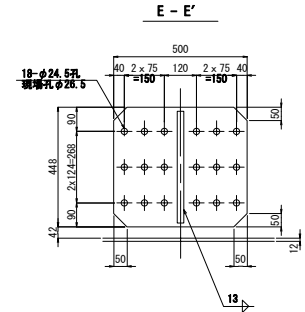
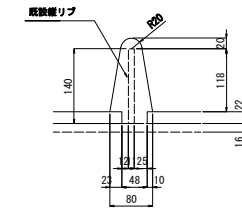
<A2橋台 落橋防止構造部>

S=1:20

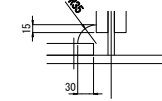
111 / 190



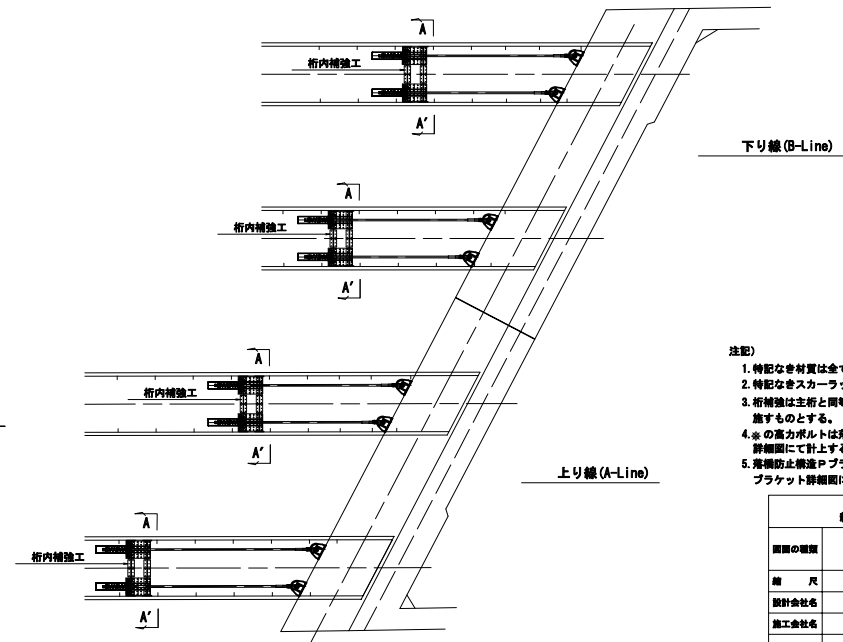
"a" 部詳細図 S=1:10



"b" 部詳細図 S=1:10



平面図 S=1:200



- (注記)
1. 特記なき材質は全てSM490YBとする。
 2. 特記なきスカーラップは全て3Rとする。
 3. 桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 4. * の重みベルトは落橋防止構造Pブラケット詳細図にて計上する。
 5. 落橋防止構造Pブラケットの孔明けは落橋防止構造Pブラケット詳細図にて計上する。

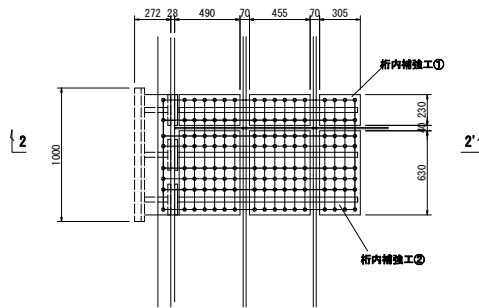
仙合東部道路 新名取川橋脚補強工事			
図面の種類	桁内補強工 詳細図(その10) <A2橋台 落橋防止構造部>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事業所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙合東部道路事務所		

桁内補強工 詳細図(その11)
<P2橋脚(終点側) 横変位拘束構造部>

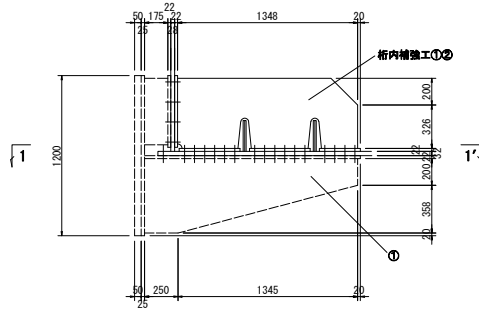
Σ1:40

112/190

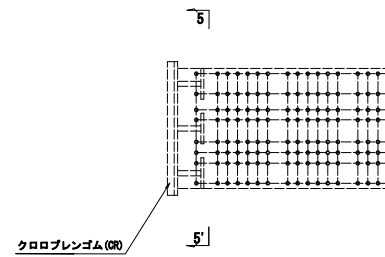
平面図(1-1')



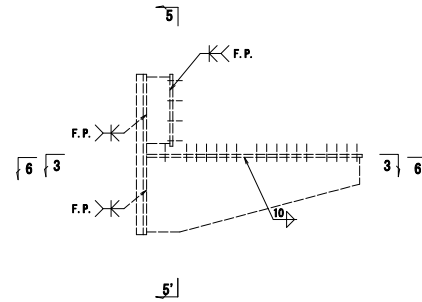
断面図(2-2')



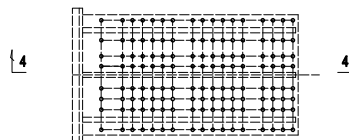
3-3'



4-4'

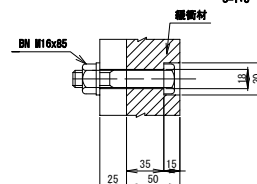


6-6'

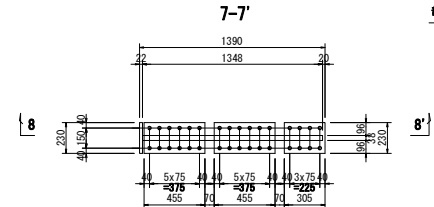


緩衝材止めボルト詳細図

Σ1:5



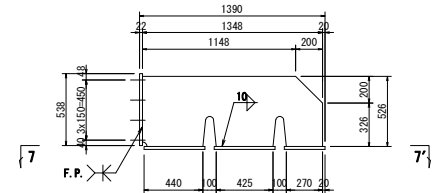
桁内補強部材①



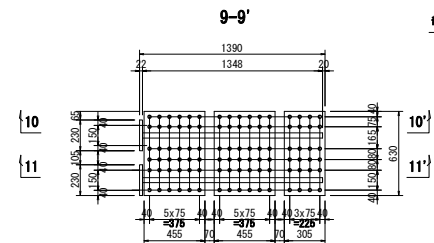
部材①(製作数:1基)

2-PL 455x22x230
1-PL 526x38x1348
1-PL 230x22x505
1-PL 230x22x538

8-8'



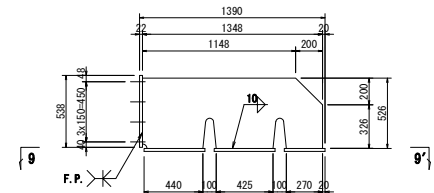
桁内補強部材②



部材②(製作数:1基)

2-PL 455x22x630
2-PL 526x38x1348
2-PL 230x22x538
1-PL 305x22x630

10-10' (11-11')



注記)

1. 特記なき材質は全てS460TBとする。
2. 特記なきスカーップは全て3Rとする。
3. 工事製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 上部工ブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。

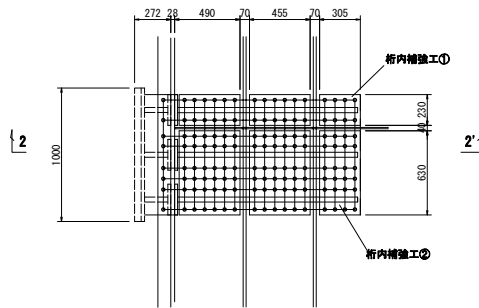
仙台東部道路 新名取川橋脚復旧補強工事			
図面の種類	桁内補強工 詳細図(その11) <P2橋脚(終点側) 横変位拘束構造部>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		

桁内補強工 詳細図(その12)
 <P3橋脚(起点側) 横変位拘束構造部>

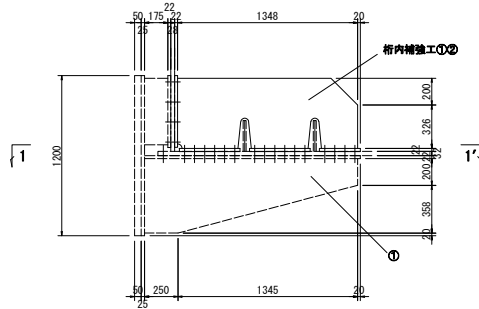
1/40

113/190

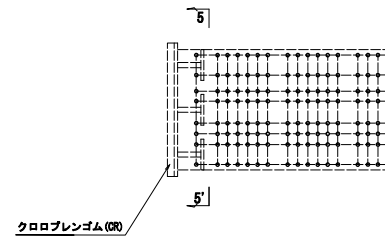
平面図(1-1')



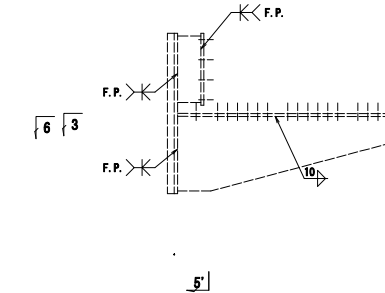
断面図(2-2')



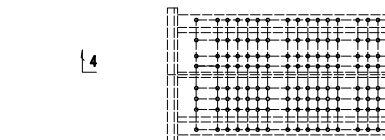
3-3'



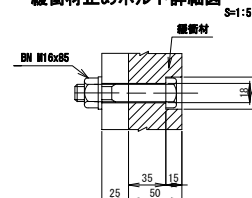
4-4'



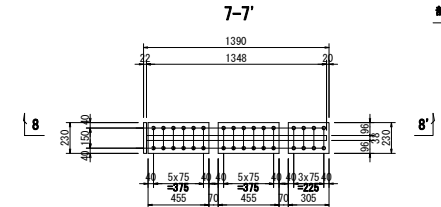
6-6'



縦筋材止めボルト詳細図



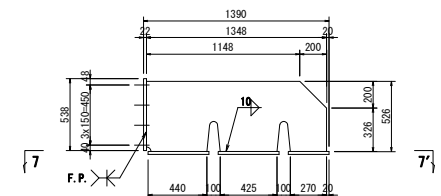
桁内補強部材①



部材①(製作数:1基)

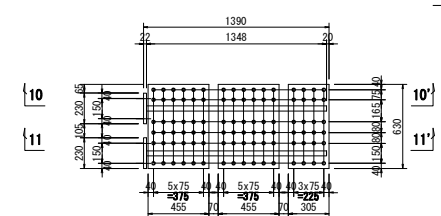
2-PL 455x22x230
 1-PL 526x36x1348
 1-PL 230x22x305
 1-PL 230x22x538

8-8'



桁内補強部材②

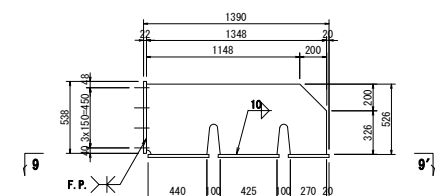
9-9'



部材②(製作数:1基)

2-PL 455x22x630
 2-PL 526x38x1348
 2-PL 230x22x538
 1-PL 305x22x630

10-10' (11-11')



注記)

1. 特記なき材質は全てS400Bとする。
2. 特記なきスカーップは全て3Rとする。
3. 工事製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 上部工ブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。

仙合東部道路 新名取川橋脚復旧補強工事			
図面の種類	桁内補強工 詳細図(その12) <P3橋脚(起点側) 横変位拘束構造部>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事業所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙合東部道路事務所		

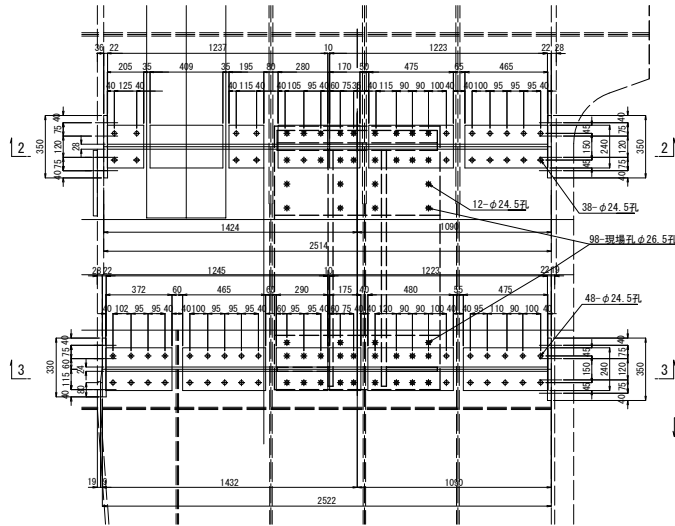
桁内補強工 詳細図(その13)

<制震ダンパーエ D1ブラケット部>

S=1:30

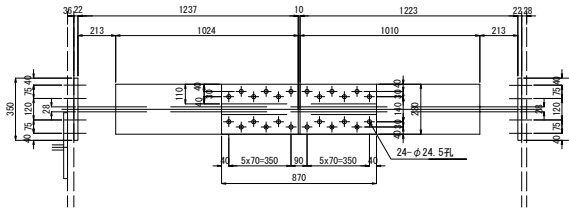
114 / 190

1 - 1

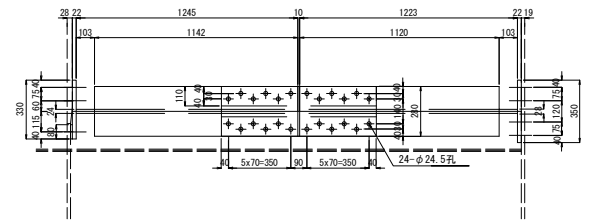


- 1-PL 240x22x205
- 1-PL 240x22x409
- 1-PL 240x22x195
- 1-PL 240x22x280
- 1-PL 240x22x170
- 1-PL 240x22x475
- 1-PL 240x22x465
- 20-TGB M22x90 (S10T)
- 1-PL 240x22x372
- 1-PL 240x22x465
- 1-PL 240x22x290
- 1-PL 240x22x175
- 1-PL 240x22x480
- 1-PL 240x22x475
- 30-TGB M22x80 (S10T)

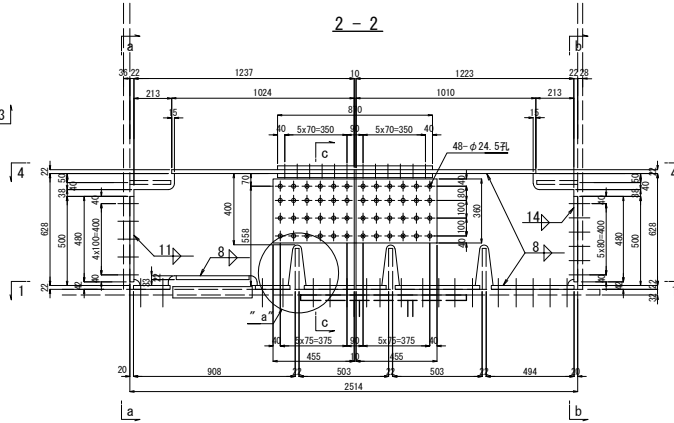
4 - 4



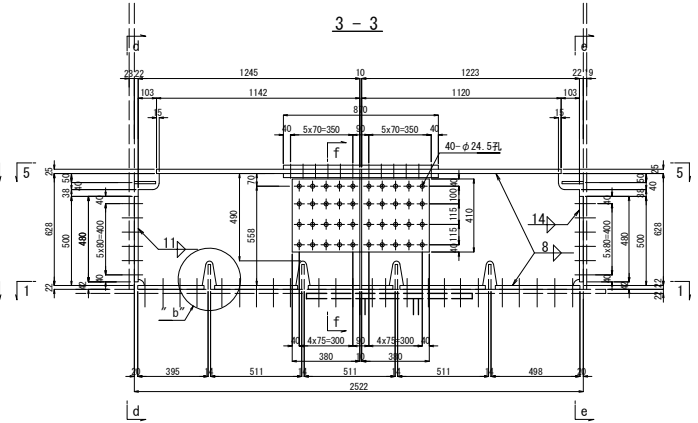
5 - 5



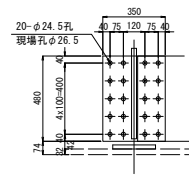
2 - 2



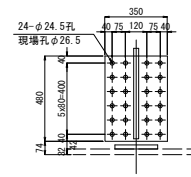
3 - 3



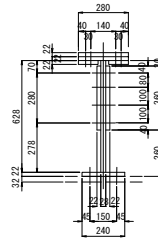
a - a



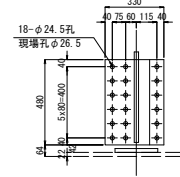
b - b



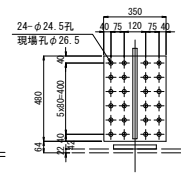
c - c



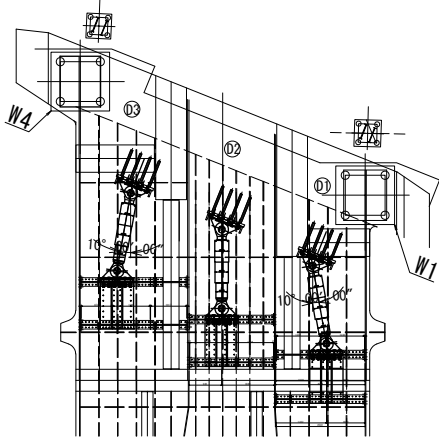
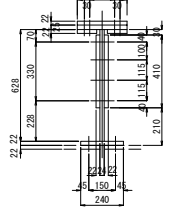
d - d



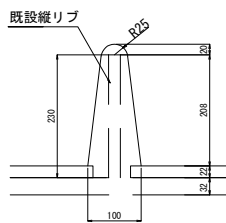
e - e



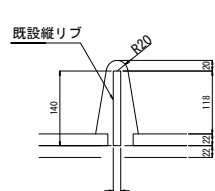
f - f



"a" 部詳細図 S=1:10



"b" 部詳細図 S=1:10



2-2 桁内補強1箇所当り (製作数:1基)

- 1-PL 280x22x1024
- 1-PL 280x22x1010
- 1-PL 628x28x1237
- 1-PL 628x28x1223
- 1-PL 350x22x480
- 10-TGB M22x95 (S10T)
- 10-TGB M22x115 (S10T)
- 1-PL 350x22x480
- 24-TGB M22x85 (S10T)
- 1-SPL 280x22x870
- 2-SPL 110x22x870
- 24-TGB M22x105 (S10T)
- 2-SPL 360x22x920
- 48-TGB M22x110 (S10T)

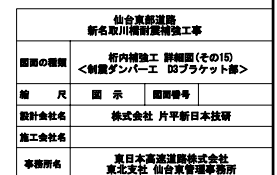
3-3 桁内補強1箇所当り (製作数:1基)

- 1-PL 280x25x1142
- 1-PL 280x25x1120
- 1-PL 628x24x1245
- 1-PL 628x24x1223
- 1-PL 330x22x480
- 1-F111 PL 60x9x480 (SS400)
- 16-TGB M22x85 (S10T)
- 1-PL 350x22x480
- 24-TGB M22x80 (S10T)
- 1-SPL 280x22x870
- 2-SPL 110x22x870
- 24-TGB M22x105 (S10T)
- 2-SPL 410x22x770
- 40-TGB M22x105 (S10T)

注記)

- 特記なき材質は全てS400とする。
- 特記なきスカーップは全て3Rとする。
- 工場の製作は現場実測値のうえ行うものとする。
- 上層エブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- aの裏の裏ルトは上層エブラケット詳細図にて計上する。
- 上層エブラケット孔明けは、制震ダンパーA詳細図にて計上する。

仙台東部道路 新名取川橋脚補強工事			
図面の種類	桁内補強工 詳細図(その13) ＜制震ダンパーエ D1ブラケット部＞		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		



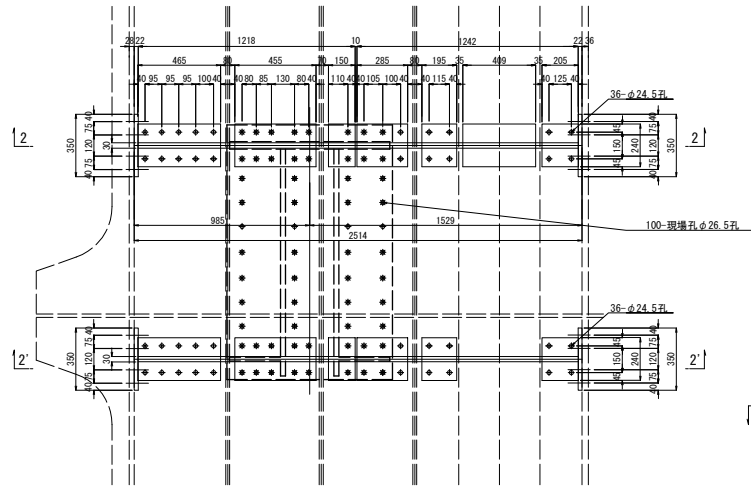
桁内補強工 詳細図(その16)

<制震ダンパーE D1ブラケット部>

S=1:30

117/190

1 - 1

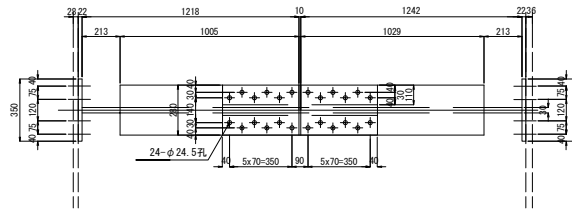


※(2-2)と(2'-2')は、同形状である。

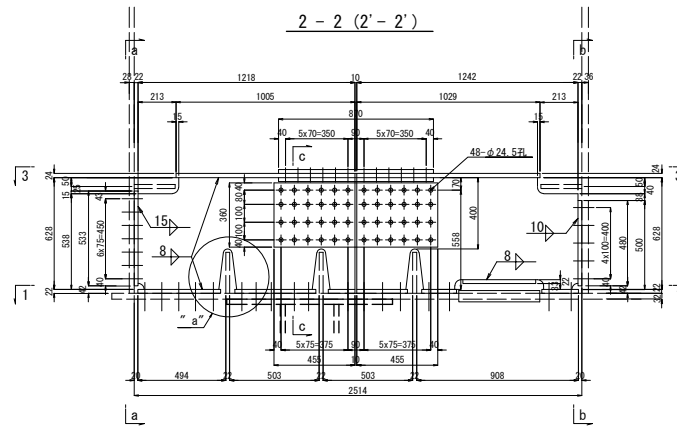
(共通) 桁内補強1箇所当り (製作数:2基)

- 1-PL 240x22x465
- 1-PL 240x22x455
- 1-PL 240x22x150
- 1-PL 240x22x285
- 1-PL 240x22x195
- 1-PL 240x22x409
- 1-PL 240x22x205
- 20-TGB M22x90 (S10T)

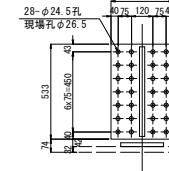
3 - 3



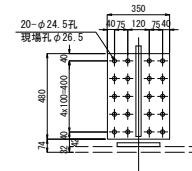
2 - 2 (2' - 2')



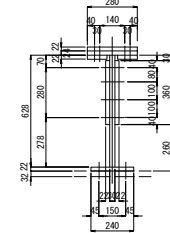
a - a



b - b

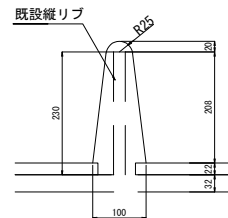


c - c



"a" 部詳細図

S=1:10



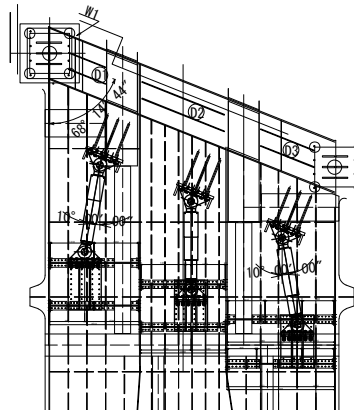
桁内補強1箇所当り (製作数:2基)

- 1-PL 280x24x1005
- 1-PL 280x24x1029
- 1-PL 628x30x1218
- 1-PL 628x30x1242
- 1-PL 350x22x533
- 28-TGB M22x85 (S10T)
- 1-PL 350x22x480
- 20-TGB M22x95 (S10T)
- 1-SPL 280x22x870
- 2-SPL 110x22x870
- 24-TGB M22x105 (S10T)
- 2-SPL 360x22x920
- 48-TGB M22x110 (S10T)

注記)

- 特記なき材質は全てSM400YBとする。
- 特記なきスカーラブは全て35Rとする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- 上部工ブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- ※の高力ボルトは上部工ブラケット詳細図にて計上する。
- 上部工ブラケット孔明けは、制震ダンパー日詳細図にて計上する。

仙台東部道路 新名取川橋脚震害補強工事			
図面の題名	桁内補強工 詳細図(その16) <制震ダンパーE D1ブラケット部>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

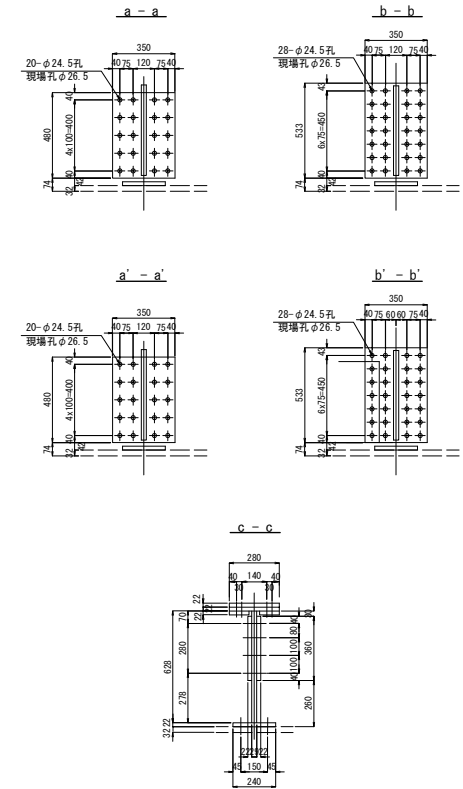
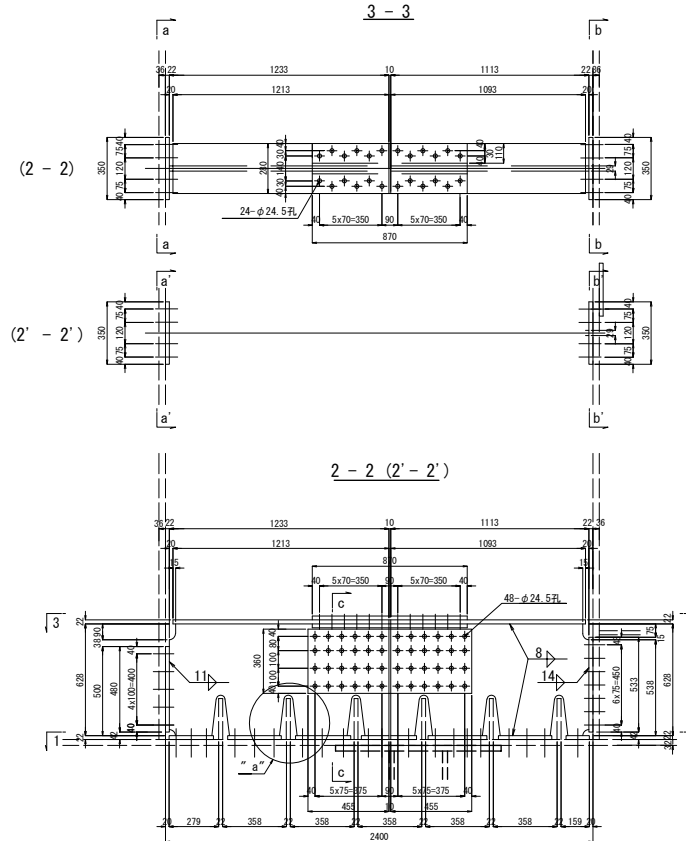
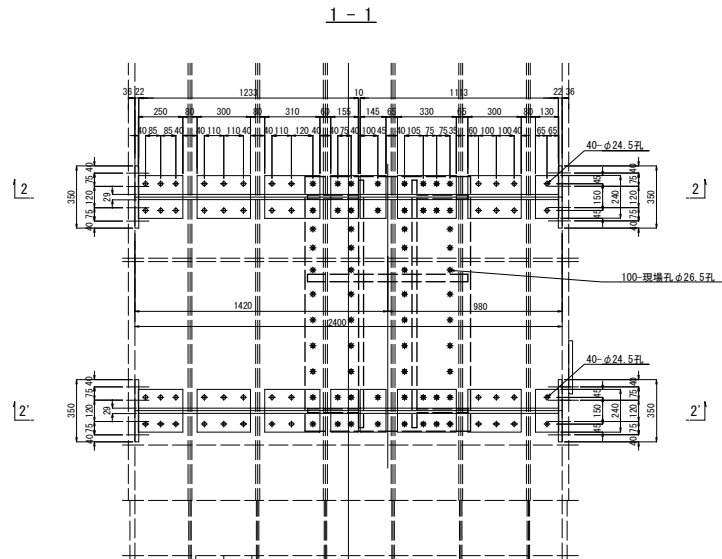


桁内補強工 詳細図(その17)

＜制震ダンパーエ D2ブラケット部＞

S=1:30

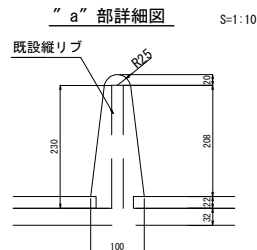
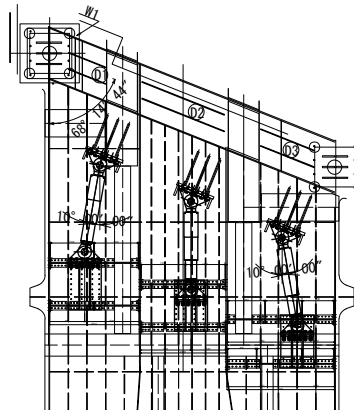
118/190



※(2-2)と(2'-2')は、既設Webとの接合部のみ異なる。

(共通) 桁内補強1箇所当り (製作数:2基)

- 1-PL 240x22x250
- 1-PL 240x22x300
- 1-PL 240x22x310
- 1-PL 240x22x155
- 1-PL 240x22x145
- 1-PL 240x22x330
- 1-PL 240x22x300
- 1-PL 240x22x130
- 24-TGB M22x90 (S10T)



S=1:10

(共通) 桁内補強1箇所当り (製作数:2基)

- 1-PL 280x22x1213
- 1-PL 280x22x1093
- 1-PL 628x29x1233
- 1-PL 628x29x1113
- 1-SPL 280x22x870
- 2-SPL 110x22x870
- 24-TGB M22x105 (S10T)
- 2-SPL 360x22x920
- 48-TGB M22x110 (S10T)

a-a部1箇所当り (製作数:1基)

- 1-PL 350x22x480
- 20-TGB M22x95 (S10T)

b-b部1箇所当り (製作数:1基)

- 1-PL 350x22x533
- 28-TGB M22x95 (S10T)

a'-a'部1箇所当り (製作数:1基)

- 1-PL 350x22x480
- 20-TGB M22x95 (S10T)

b'-b'部1箇所当り (製作数:1基)

- 1-PL 350x22x533
- 21-TGB M22x95 (S10T)
- 7-TGB M22x115 (S10T)

【注記】

1. 特記なき材質は全てSM400YBとする。
2. 特記なきスカーラップは全て35Rとする。
3. 工事製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 上部工ブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. ※の高力ボルトは上部工ブラケット詳細図にて計上する。
6. 上部工ブラケット孔明けは、制震ダンパー日詳細図にて計上する。

仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	桁内補強工 詳細図(その17) ＜制震ダンパーエ D2ブラケット部＞		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

桁内補強工 詳細図(その18)

<制震ダンパーエ D3ブラケット部>

S=1:30

119/190

1-1

4-4

2-2

5-5

3-3

a-a

b-b

c-c

d-d

e-e

f-f

- 1-PL 240x22x205
- 1-PL 240x22x409
- 1-PL 240x22x195
- 1-PL 240x22x80
- 1-PL 240x22x330
- 1-PL 240x22x445
- 1-PL 240x22x95
- 1-PL 240x22x340
- 1-PL 240x22x465
- 26-TCB M22x90 (S10T)
- 1-PL 240x22x492
- 1-PL 240x22x255
- 1-PL 240x22x80
- 1-PL 240x22x305
- 1-PL 240x22x110
- 1-PL 240x22x465
- 1-PL 240x22x105
- 1-PL 240x22x340
- 1-PL 240x22x475
- 30-TCB M22x80 (S10T)

"a"部詳細図

S=1:10

"b"部詳細図

S=1:10

2-2 桁内補強1箇所当り (製作数:1基)

- 1-PL 280x28x824
- 1-PL 280x28x1030
- 1-PL 280x28x670
- 1-PL 628x32x1037
- 1-PL 628x32x1030
- 1-PL 628x32x883
- 1-PL 298x22x480
- 12-TCB M22x95 (S10T)
- 1-PL 350x22x533
- 28-TCB M22x85 (S10T)
- 2-SPL 280x22x1010
- 4-SPL 110x22x1010
- 56-TCB M22x110 (S10T)
- 4-SPL 360x22x920
- 96-TCB M22x110 (S10T)

3-3 桁内補強1箇所当り (製作数:1基)

- 1-PL 280x30x702
- 1-PL 280x30x1270
- 1-PL 280x30x780
- 1-PL 628x28x805
- 1-PL 628x28x1270
- 1-PL 628x28x663
- 1-PL 330x22x480
- 1-F11 PL 80x9x480 (SS400)
- 18-TCB M22x85 (S10T)
- 1-PL 350x22x533
- 28-TCB M22x80 (S10T)
- 2-SPL 280x22x1010
- 2-SPL 110x22x1010
- 56-TCB M22x110 (S10T)
- 4-SPL 430x22x770
- 100-TCB M22x110 (S10T)

注記

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカーップは全て3Rとする。
- 工場製作は現場実測値のうえ行うものとする。
- 上層エブラケット及び、桁補強は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- *の耐力ポルトは上層エブラケット詳細図にて計上する。
- 図の耐力ポルトはD3桁内補強詳細図にて計上する。
- 上層エブラケット孔明けは、制震ダンパー日詳細図にて計上する。

仙台東部道路 新名取川橋脚補強工事			
図面の種類	桁内補強工 詳細図(その18) <制震ダンパーエ D3ブラケット部>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管掌事務所		

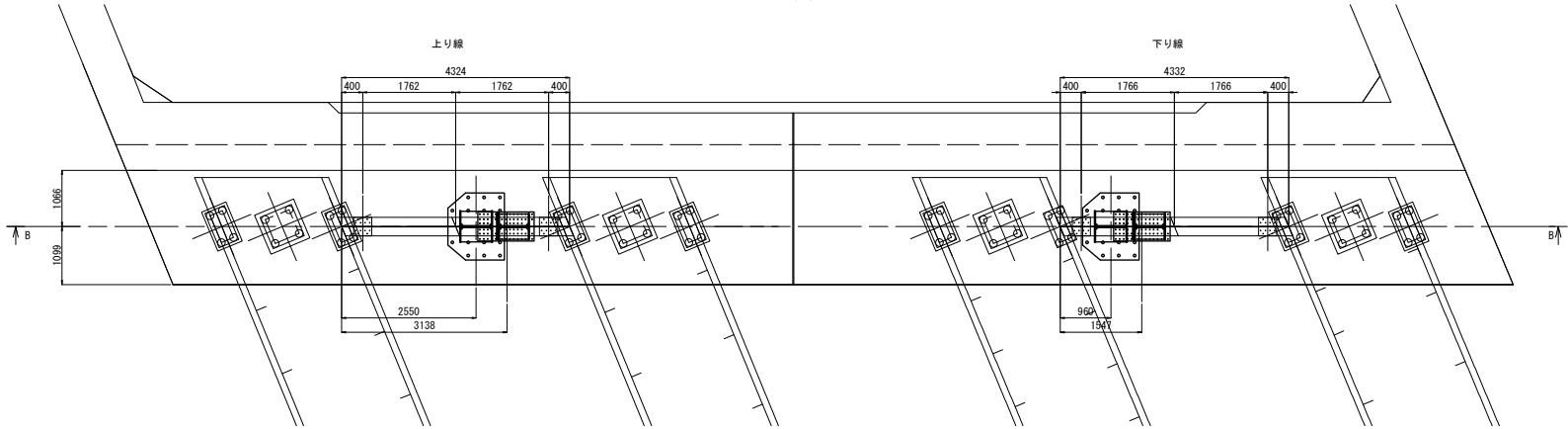
横変位拘束構造図(その1)

S=1:100

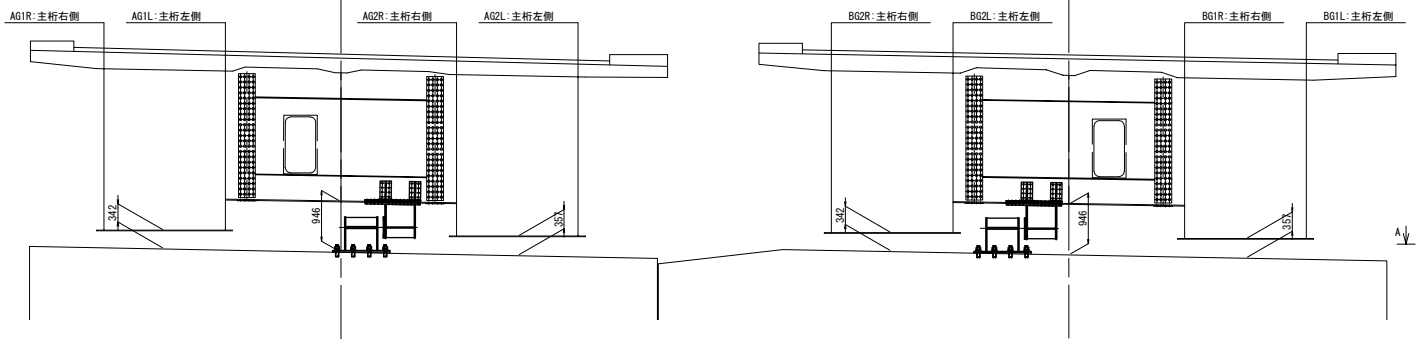
120/190

<A1橋台 (Type I a)>

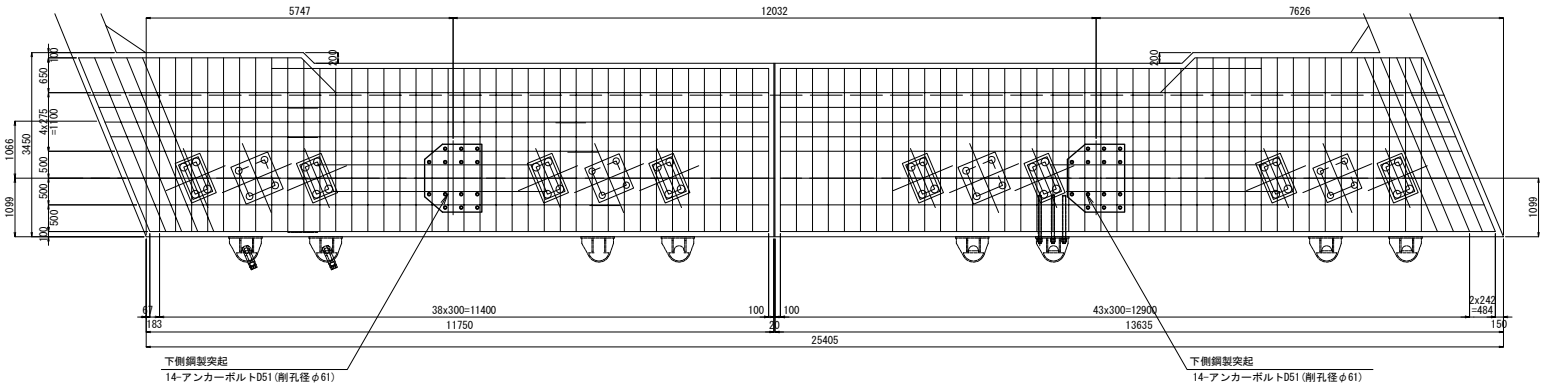
平面図



正面図
B-B



橋座配筋図
A-A



下側鋼製突起
14-アンカーボルトD51 (剛孔径φ61)

下側鋼製突起
14-アンカーボルトD51 (剛孔径φ61)

仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その1) <A1橋台 (Type I a)>		
縮 尺	S=1:100	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

横変位拘束構造図(その2)
<A1橋台(Type I a)>

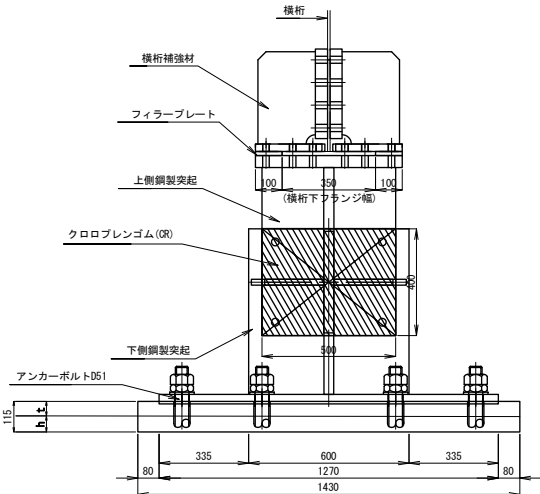
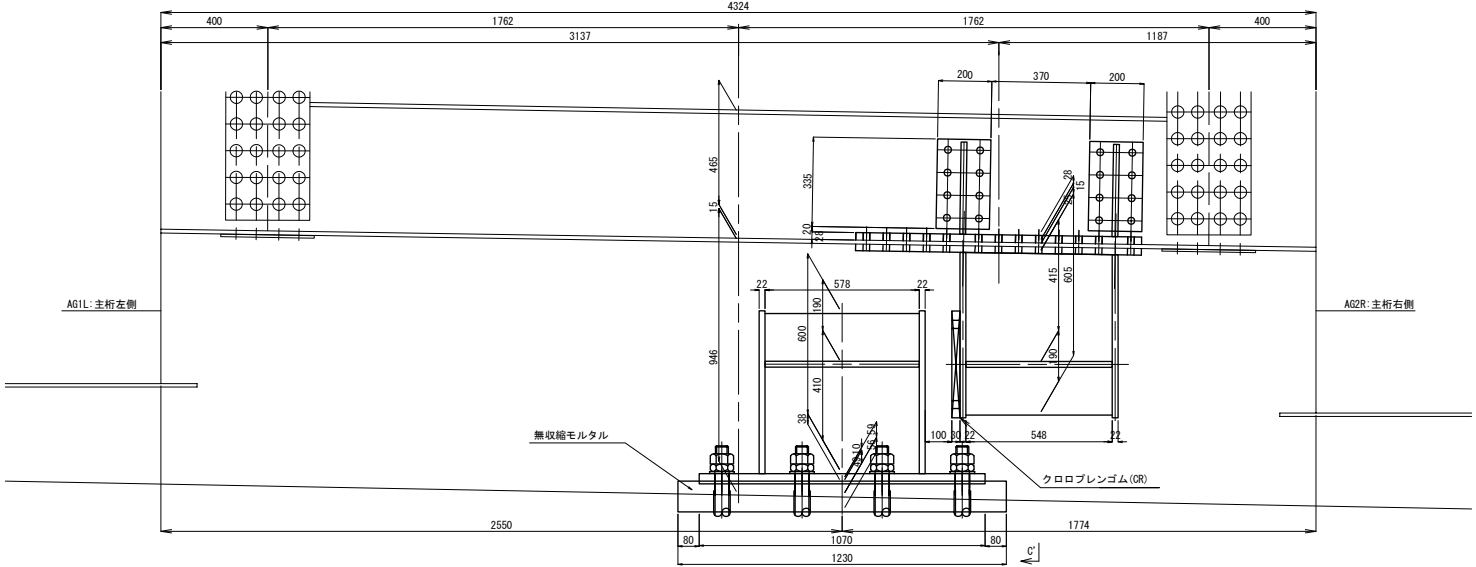
S=1:20

121 / 190

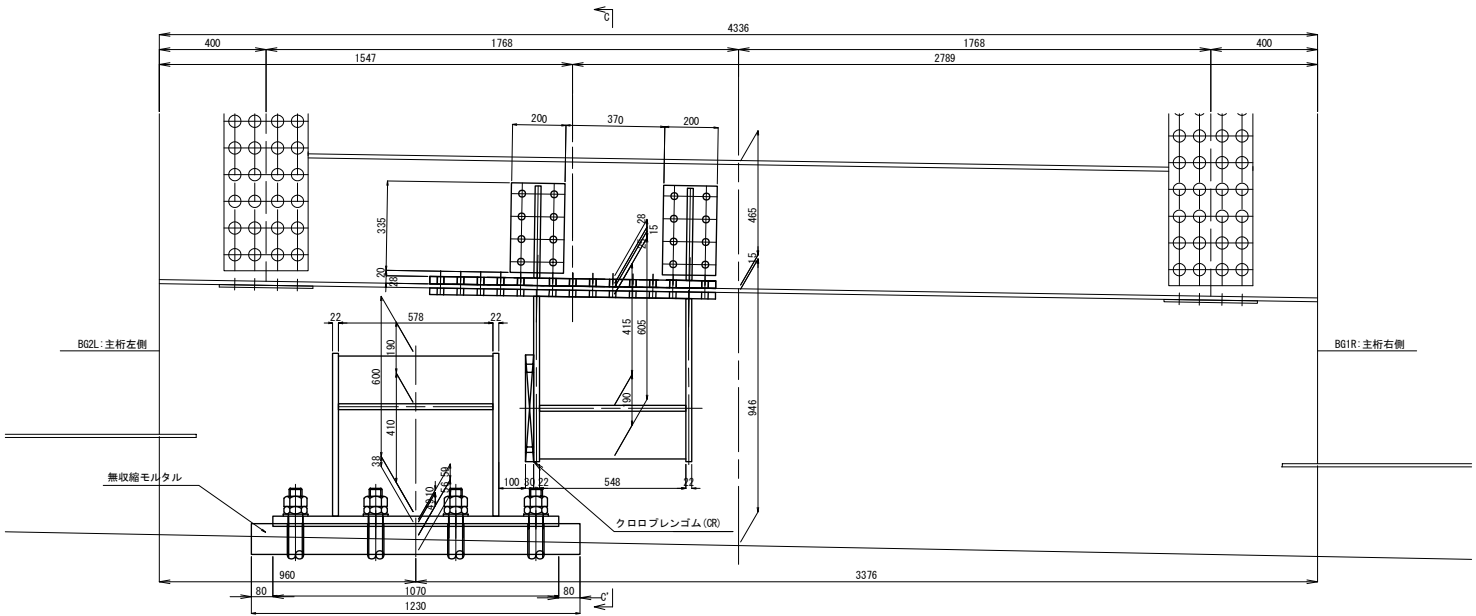
上り線取付図(正面図)



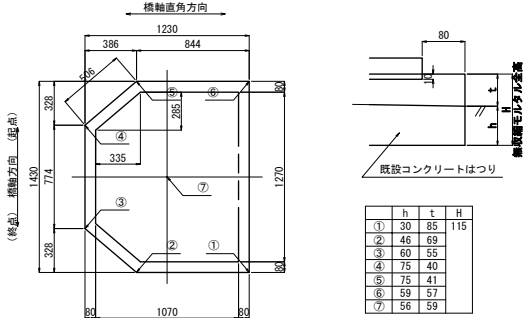
取付図
C-C
S=1:20



下り線取付図(正面図)



台座モルタル詳細図 S=1:40



注記)
1. 不陸調整の寸法等は現地再調査の上、最終決定すること。

仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その2) <A1橋台(Type I a)>		
縮尺	S=1:20	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

横変位拘束構造図(その3)

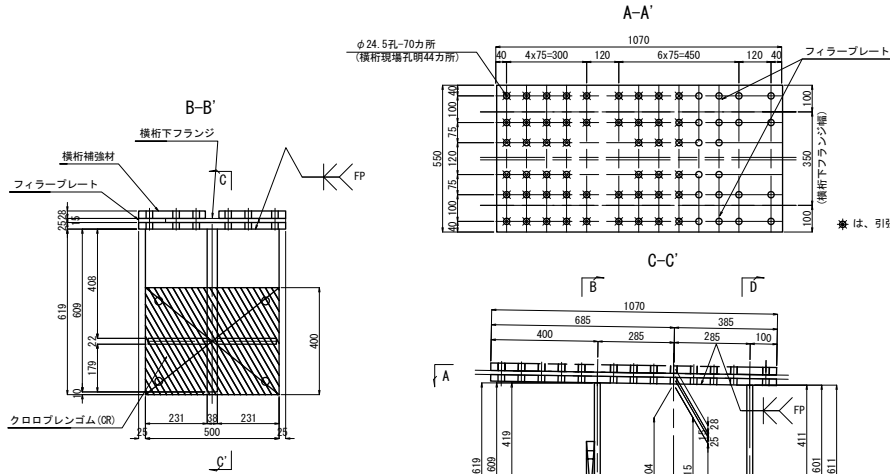
<A1橋台 (Type I a)>

鋼製突起詳細図 製作数2基(上下線共通)

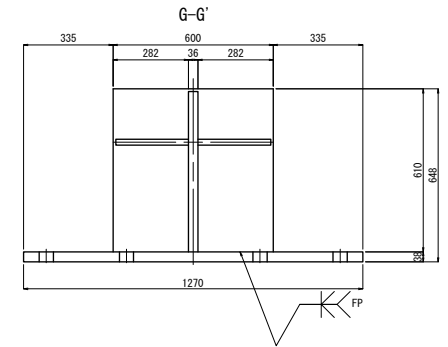
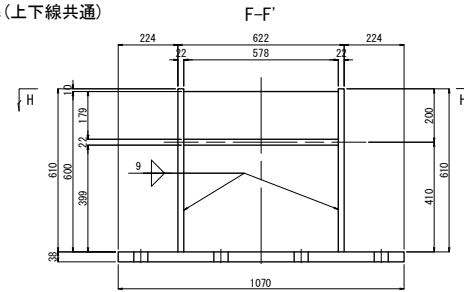
S=1:20

下部工側鋼製突起

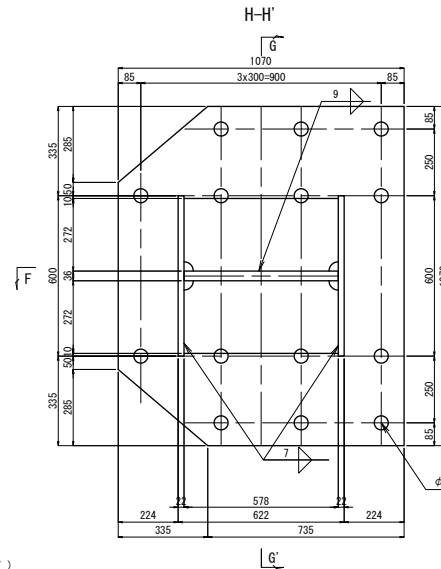
上部工側鋼製突起



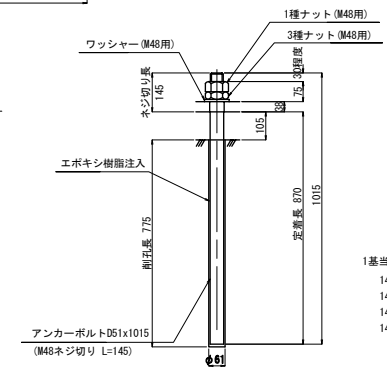
※ は、引張接合用ボルト (TCB+IW) を示す。



- 1基当り
- 1- PL 1070×38×1270 (SM490B)
 - 2- PL 600×22×610 (SM490A)
 - 1- PL 578×36×600 (SM490B)
 - 2- PL 272×22×578 (SM490A)



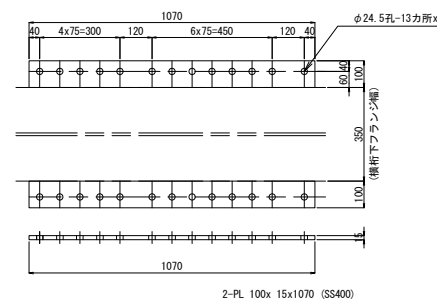
下部工用アンカーボルト詳細図



- 1基当り
- 14-AncBolt D51x1015 (SD345)
 - 14-1種Nut M48用 (SS400)
 - 14-3種Nut M48用 (SS400)
 - 14-Washer M48用 (SS400)

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融垂鉛めつきを施すものとする。

フィラープレート



2-PL 100x15x1070 (SS400)

注記:

- 鋼材加工及び鋼製突起の取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造の応力計算を行うこと。
- 横変位拘束構造の本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて本体の応力計算を行うこと。
- 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、問題がないことを確認すること。
- 特記なきスカーラップは全てR35とすること。
- 鋼材の表面処理は、溶融垂鉛めつき (JIS H 8641) とする。
取付金具類の付着量はHDZT77とし、ボルト、ナット類の付着量はHDZT49とする。

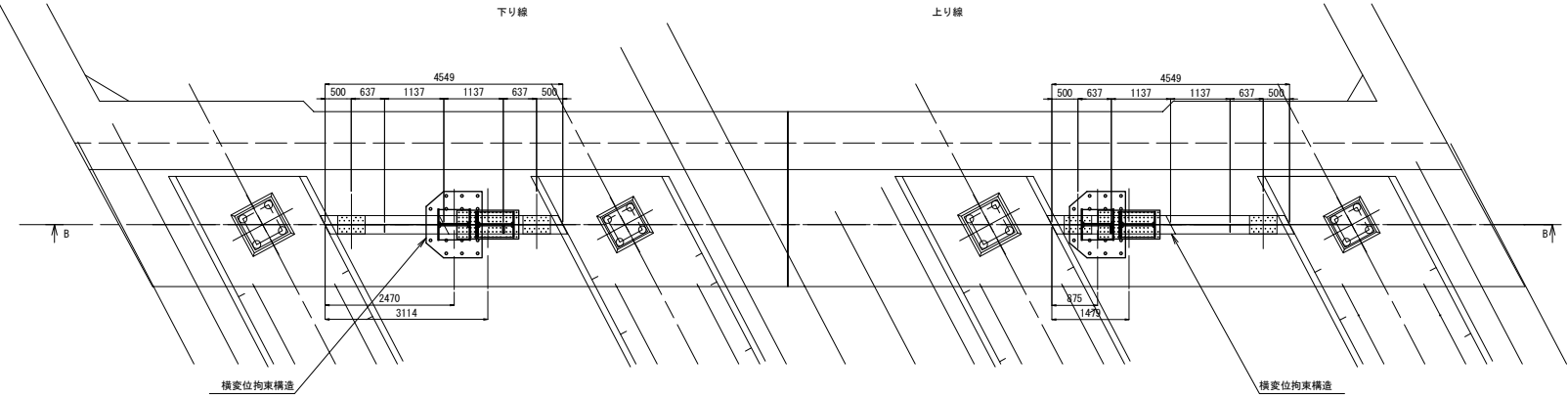
仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その3) <A1橋台 (Type I a)>		
縮尺	S=1:20	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

横変位拘束構造図(その4)

S=1:100

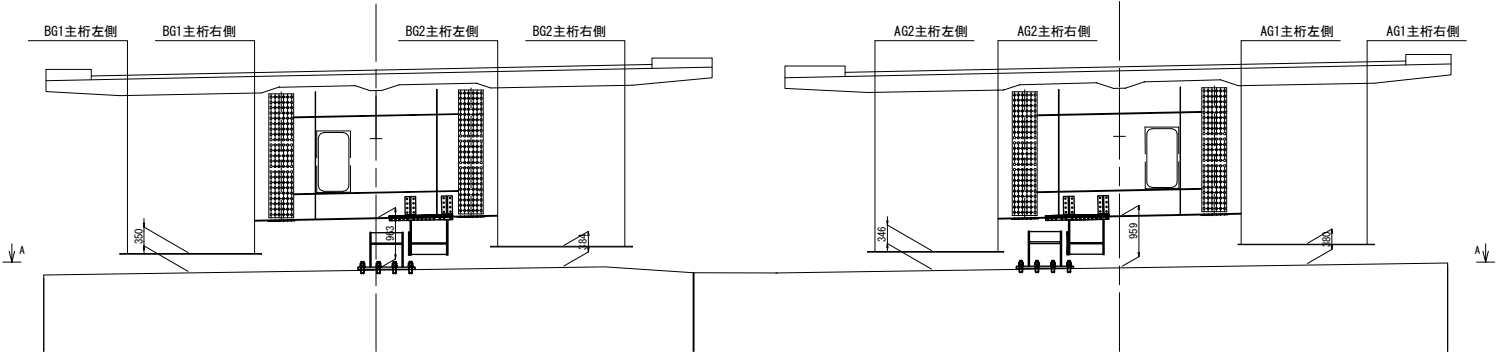
<A2橋台 (Type I a) >

平面図



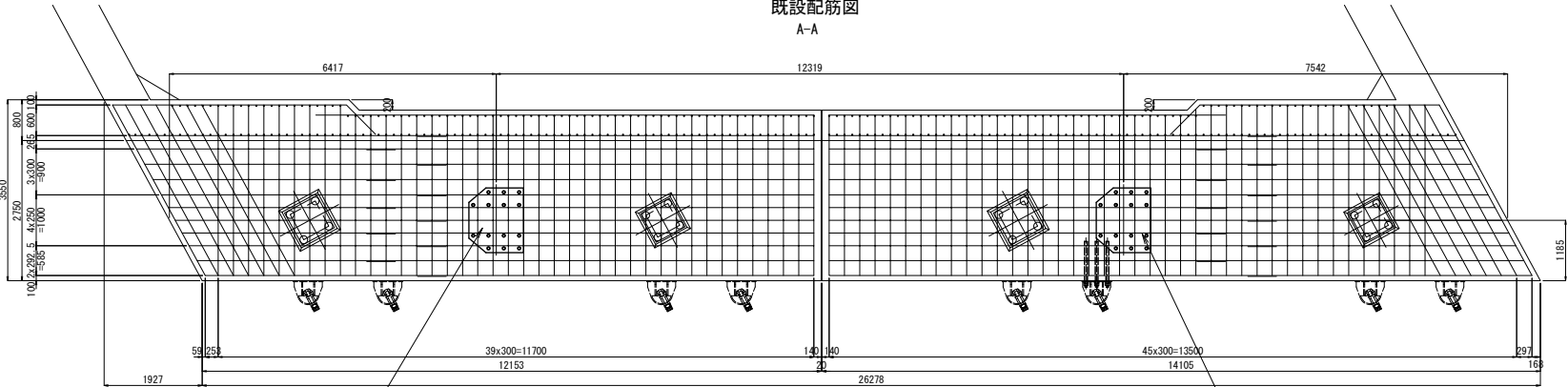
正面図

B-B



既設配筋図

A-A

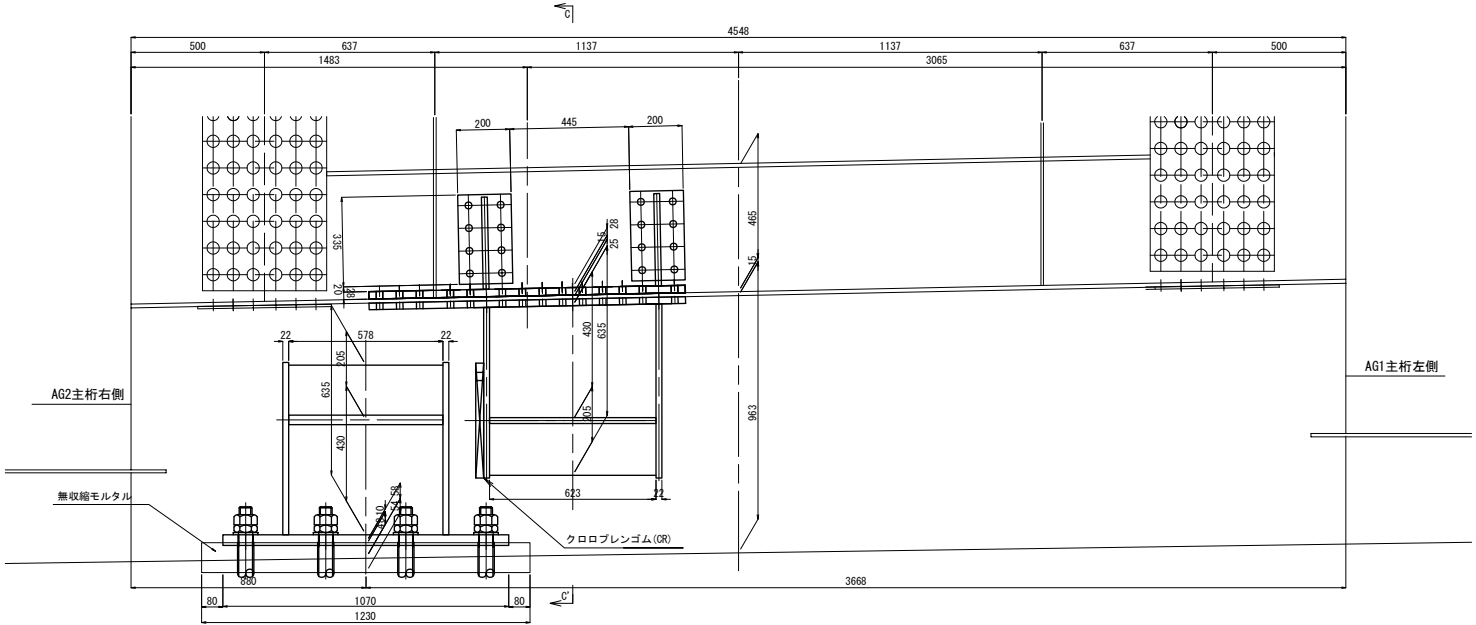


下側鋼製突起
14-アンカーボルトD51(剛孔径φ61)

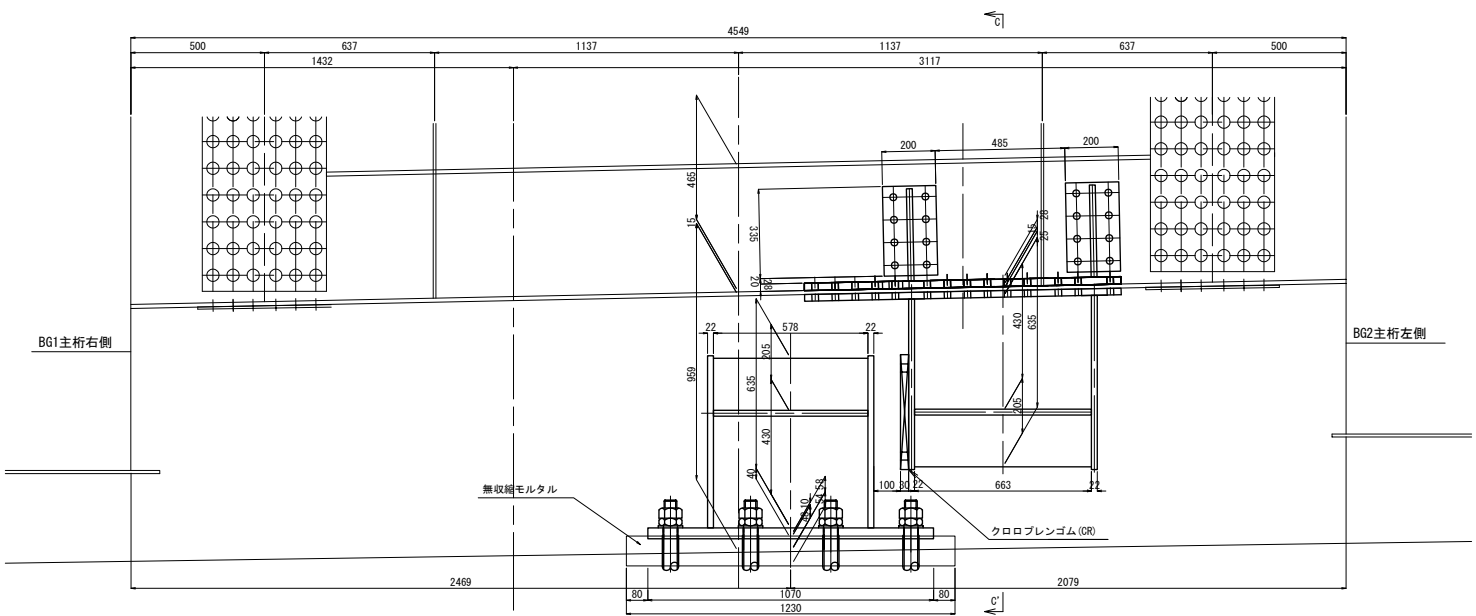
下側鋼製突起
14-アンカーボルトD51(剛孔径φ61)

仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その4) <A2橋台 (Type I a) >		
縮尺	S=1:100	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

上り線取付図 (正面図)

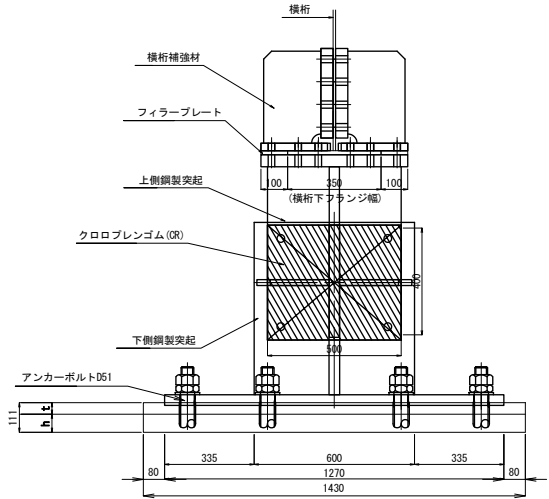


下り線取付図 (正面図)

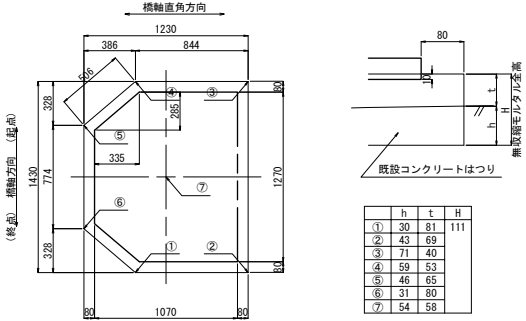


取付図
C-C

S=1:20



台座モルタル詳細図 S=1:40



注記
1. 台座モルタルの寸法等は現地再調査の上、最終決定すること。

仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その5) <A2橋台 (Type I a)>		
縮尺	S=1:20	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

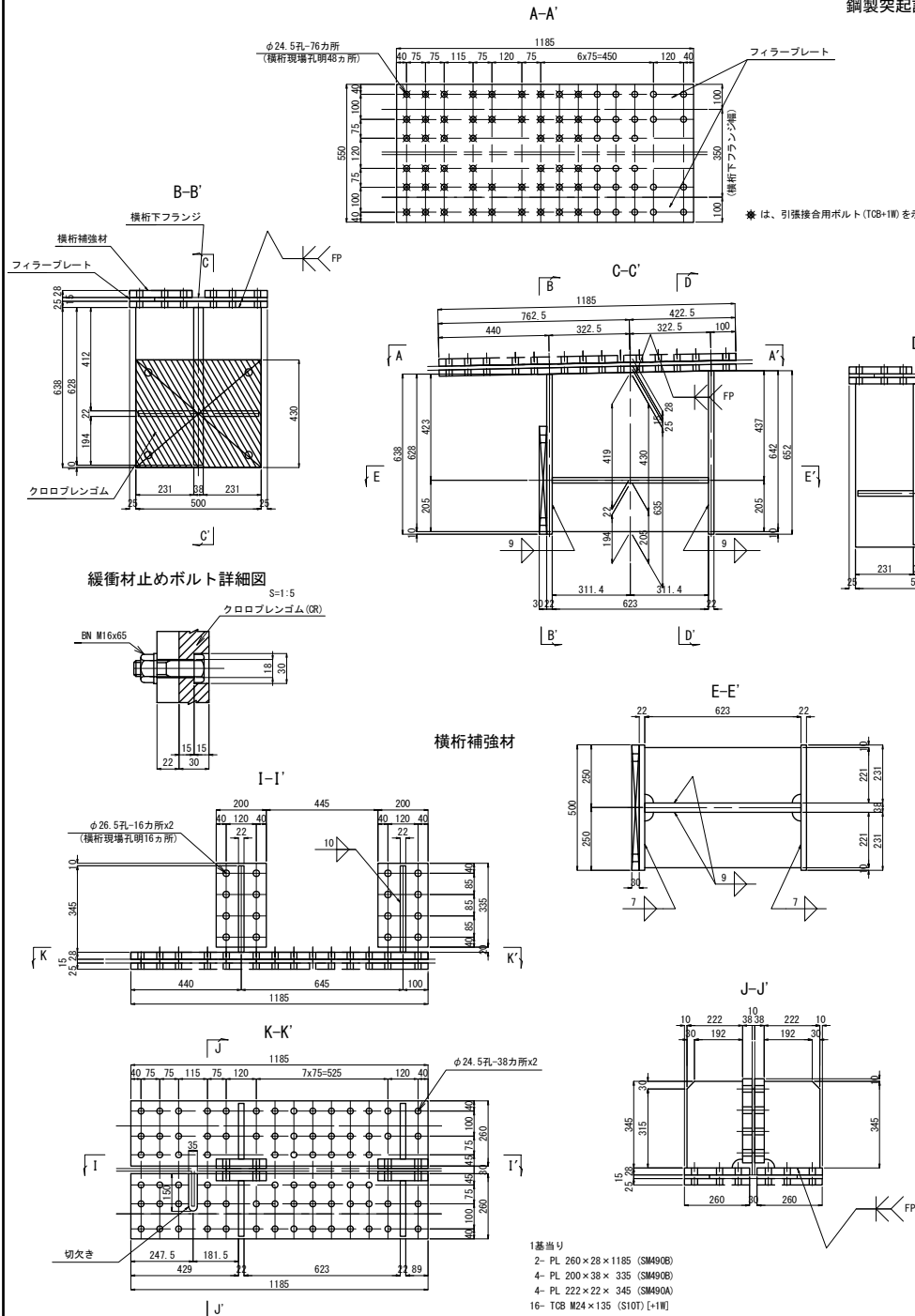
上部工側鋼製突起

横変位拘束構造図(その6)

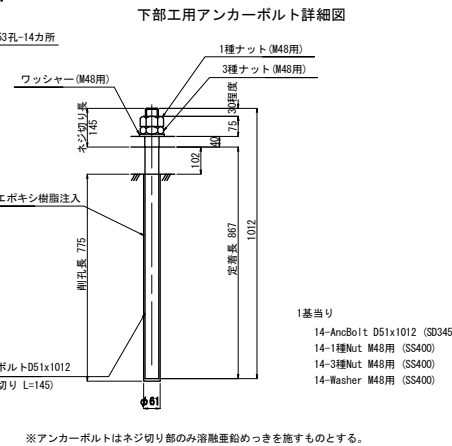
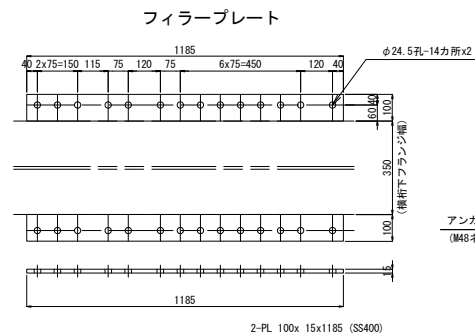
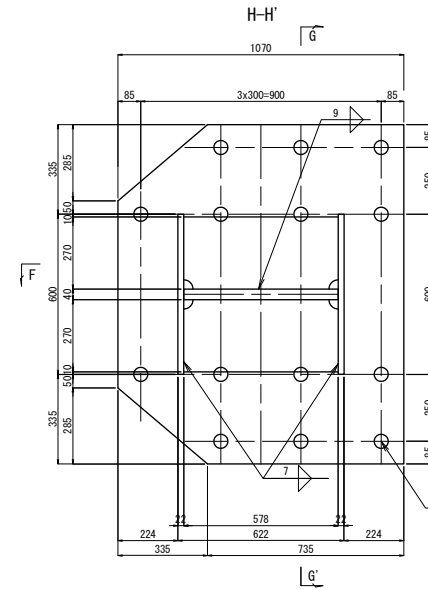
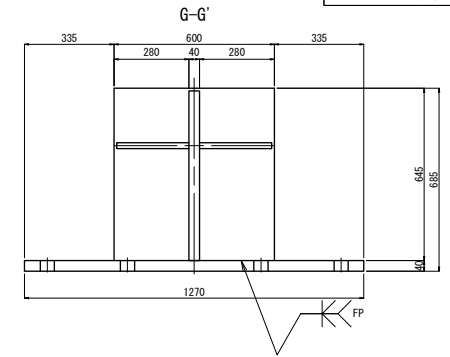
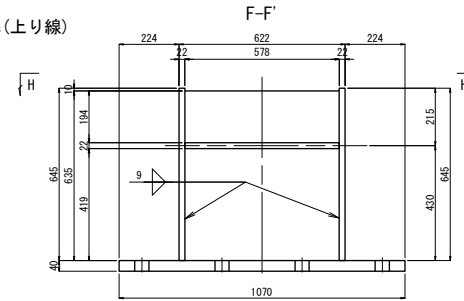
<A2橋台 (Type I a)>
鋼製突起詳細図 製作数1基(上り線)

S=1:20

下部工側鋼製突起



- 1基当り
- 1- PL 550 × 25 × 1185 (SM490A)
 - 1- PL 500 × 22 × 638 (SM490A)
 - 1- PL 500 × 22 × 652 (SM490A)
 - 1- PL 623 × 38 × 642 (SM490B)
 - 2- PL 221 × 22 × 623 (SM490A)
 - 50- TCB M22 × 110 (S10T) [+1W]
 - 26- TCB M22 × 105 (S10T)
 - 1- クロロレンゴム 400x30x500 (硬度55° ±5°)
 - 4- BN M16x65 (I-W, HDZ35)



注記:

- 鋼材加工及び鋼製突起の取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
 - 横変位拘束構造の本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
 - 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、問題がないことを確認すること。
 - 特記なきスカラーアップは全てR35とすること。
 - 鋼材の表面処理は、溶融亜鉛めっき (JIS H 8641) とする。
- 取付金具類の付着量はHDZ77とすし、ボルト、ナット類の付着量はHDZ749とす。

仙台東部道路 新名取川橋桁底補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その6) <A2橋台 (Type I a)>		
縮尺	S=1:20	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		

上部工側鋼製突起

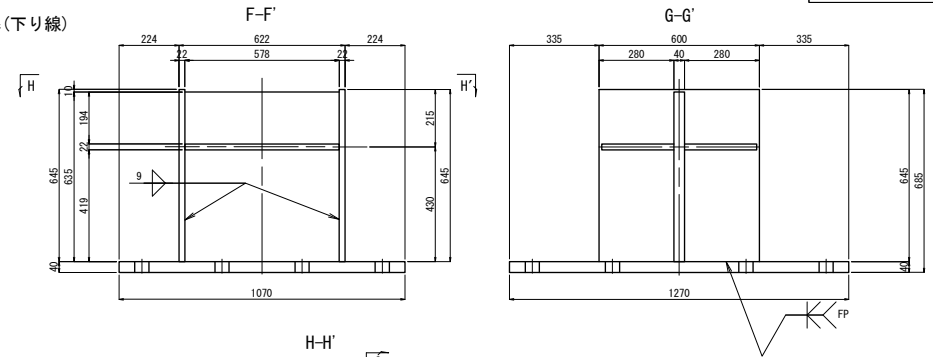
横変位拘束構造図(その7)

<A2橋台 (Type I a) >

鋼製突起詳細図 製作数1基(下り線)

S=1:20

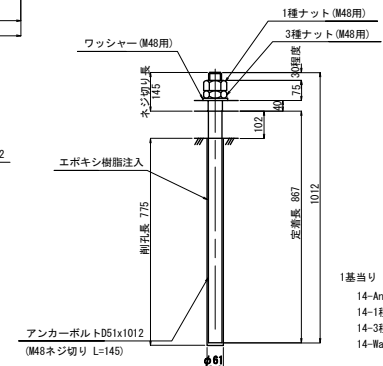
下部工側鋼製突起



1基当り

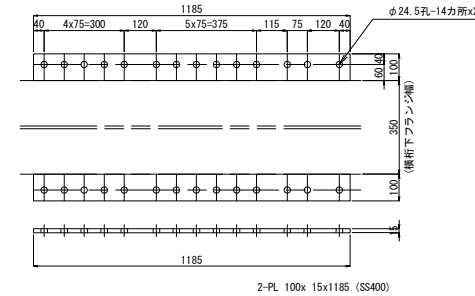
1- PL	1070 × 40 × 1270	(SM490B)
2- PL	600 × 22 × 645	(SM490A)
1- PL	578 × 40 × 635	(SM490B)
2- PL	270 × 22 × 578	(SM490A)

下部工用アンカーボルト詳細図



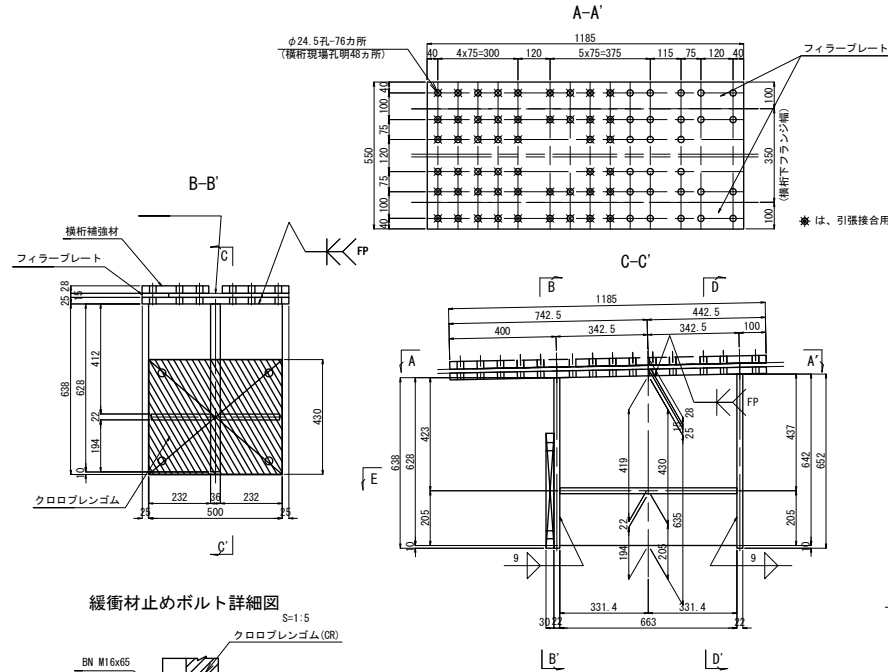
※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

フィラープレート



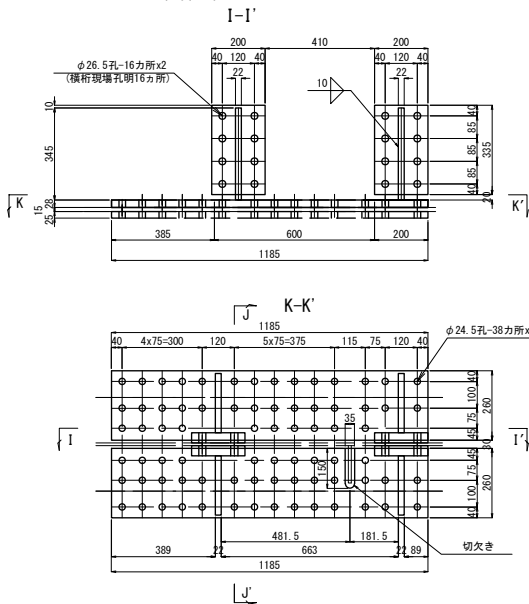
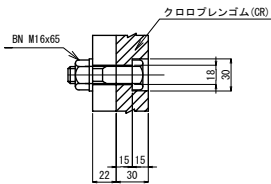
注記：

- 1) 鋼材加工及び鋼製突起の取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて各構造物の応力計算を行うこと。
- 2) 橋台・橋脚構造物の本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
寸法を変更する場合は必要に応じて本体の応力計算を行うこと。
- 3) 施工にあたっては事前に統括調査を行い、問題がないことを確認すること。
- 4) 特記なきスカーラップは全てR35とすること。
- 5) 鋼材の断面処理は、溶融亜鉛めっき（JIS H 8641）とする。
取付金具類の付着量はHD277ととし、ボルト、ナット類の付着量はHD249とする。

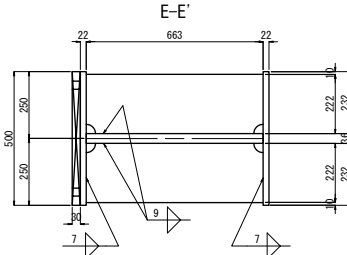


緩衝材止めボルト詳細図

S=1:5

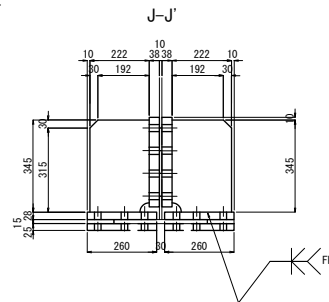


横桁補強材



1基当り

- 1- PL 550×25×1185 (SM490A)
1- PL 500×22× 638 (SM490A)
1- PL 500×22× 652 (SM490A)
1- PL 642×36× 663 (SM490B)
2- PL 222×22× 663 (SM490A)
50- TCB M22× 110 (S10T) [+1W]
26- TCB M22× 105 (S10T)
1-クローブレンゴム 400×30×500(硬度55° ±5°)
4-BN M16×65 (1-W, HDZ35)



1基当り

- 2- PL 260 × 28 × 1185 (SM490B)
4- PL 200 × 38 × 335 (SM490B)
4- PL 222 × 22 × 345 (SM490A)
16- TCB M24 × 135 (S10T) [+1W]

仙台東部道路 新名取川橋桁震補強工事	
図面の種類	横梁位拘束構造図 (その7) ＜A2橋台 (Type I a)＞
縮 尺	S=1:20 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所

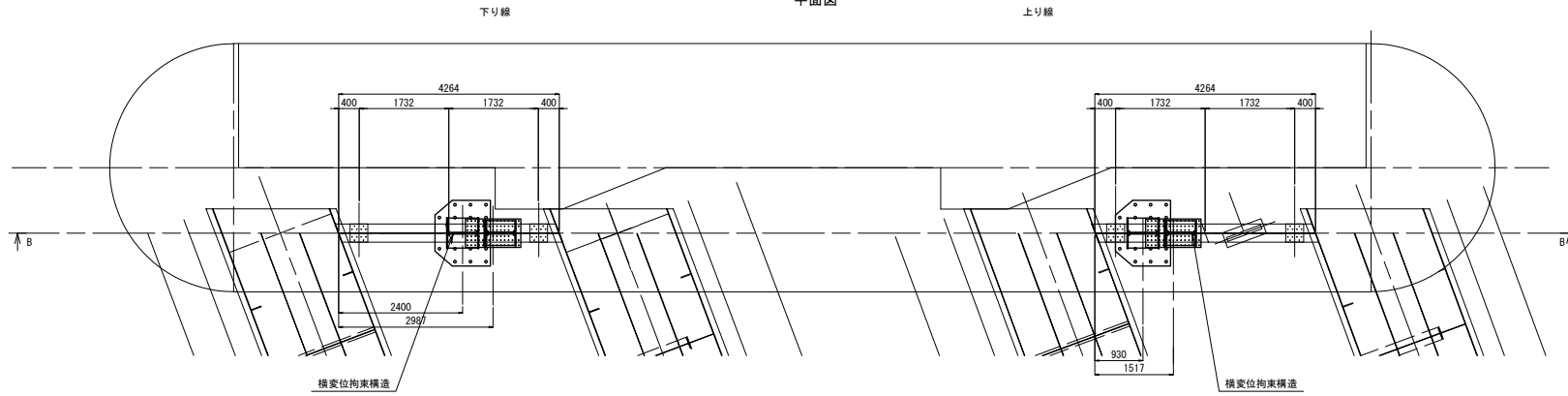
横変位拘束構造図(その8)

S=1:100

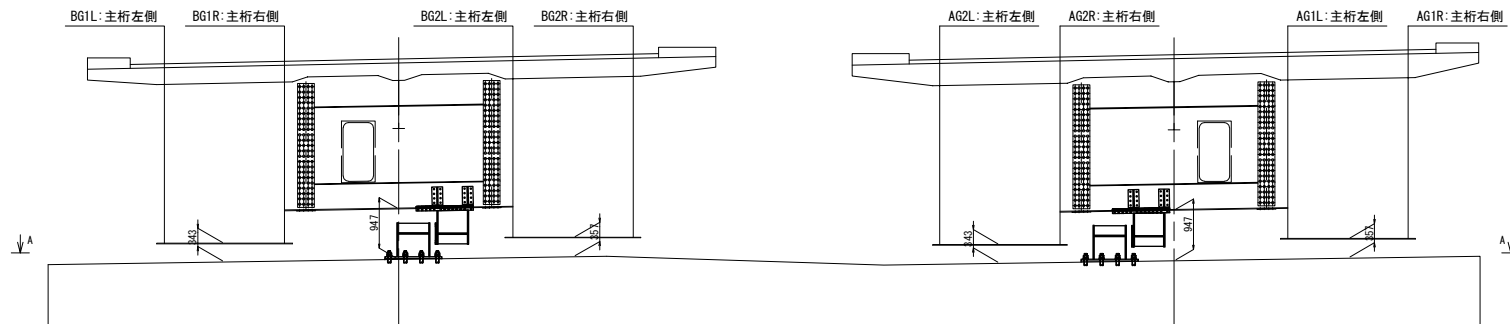
127 / 190

<P2橋脚(起点側) (Type I b) >

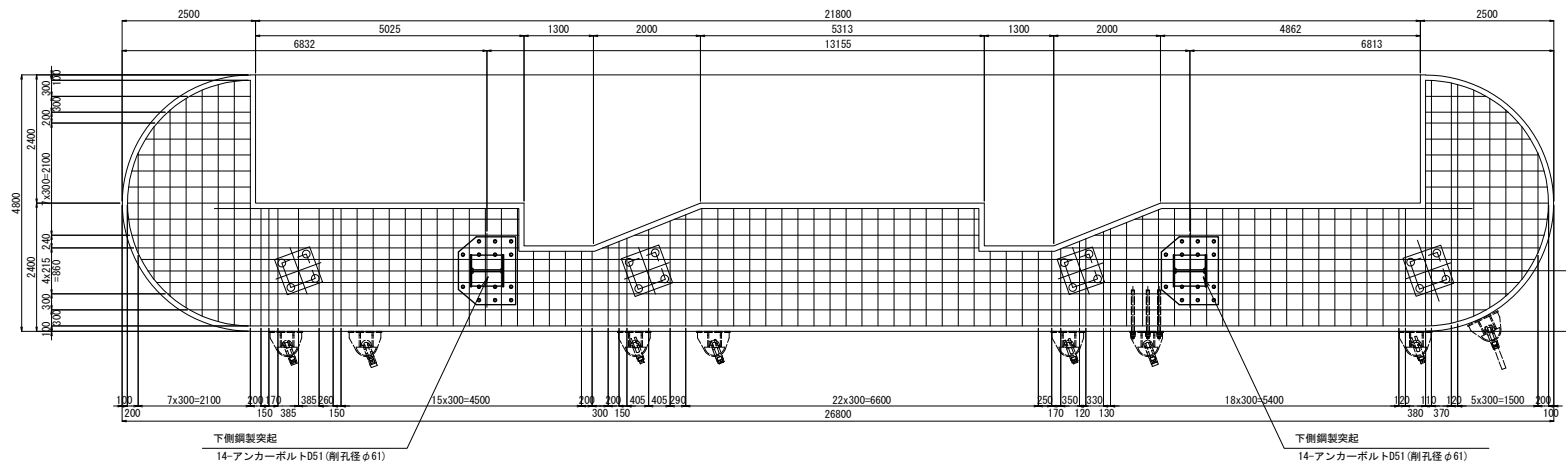
平面図



正面図
B-B



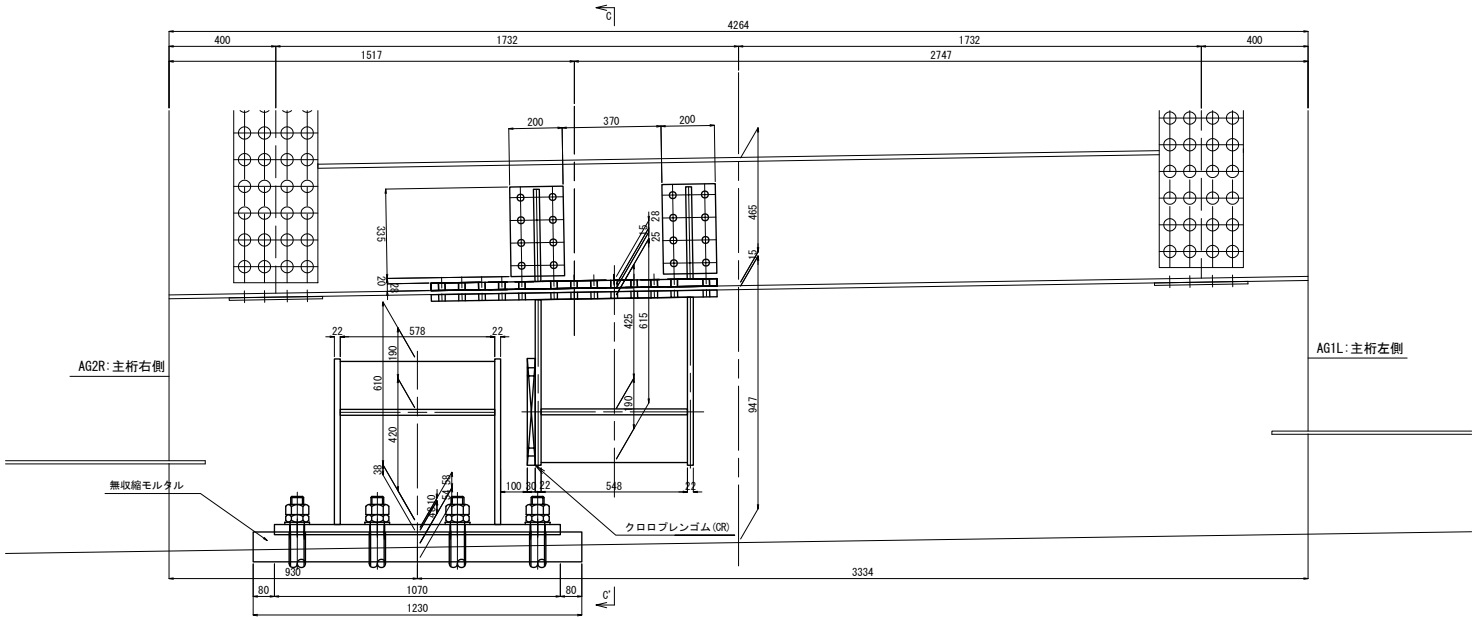
橋座配筋図
A-A



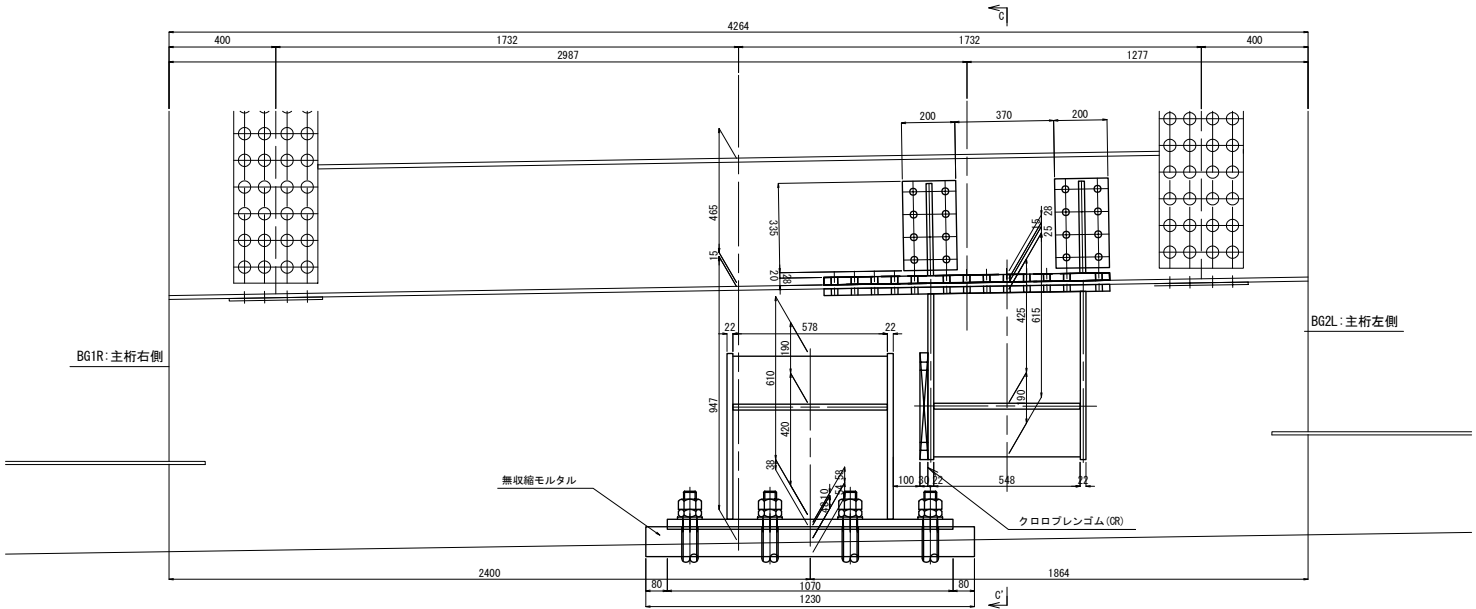
仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その8) <P2橋脚(起点側) (Type I b) >		
縮尺	S=1:100	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

<P2橋脚(起点側)(Type I b)>

上り線取付図(正面図)

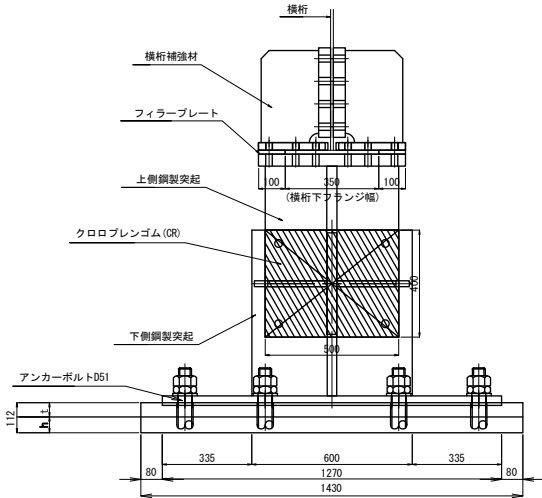


下り線取付図(正面図)

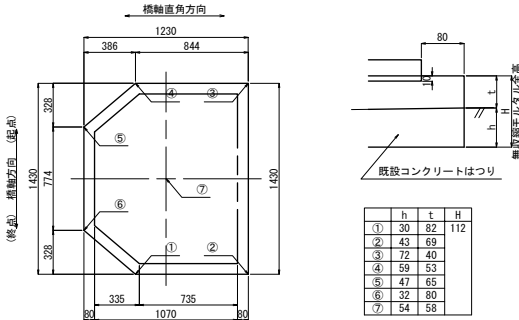


取付図
C-C

S=1:20

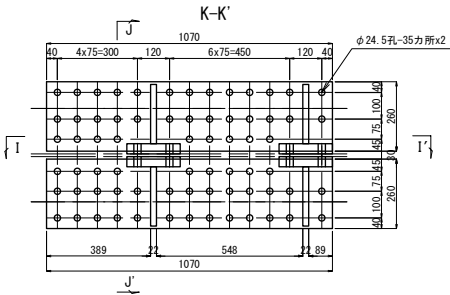


台座モルタル詳細図 S=1:40



注記)
1. 台座モルタルの寸法等は現地再調査の上、最終決定すること。

仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その9) <P2橋脚(起点側)(Type I b)>		
縮 尺	S=1:20	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		



9

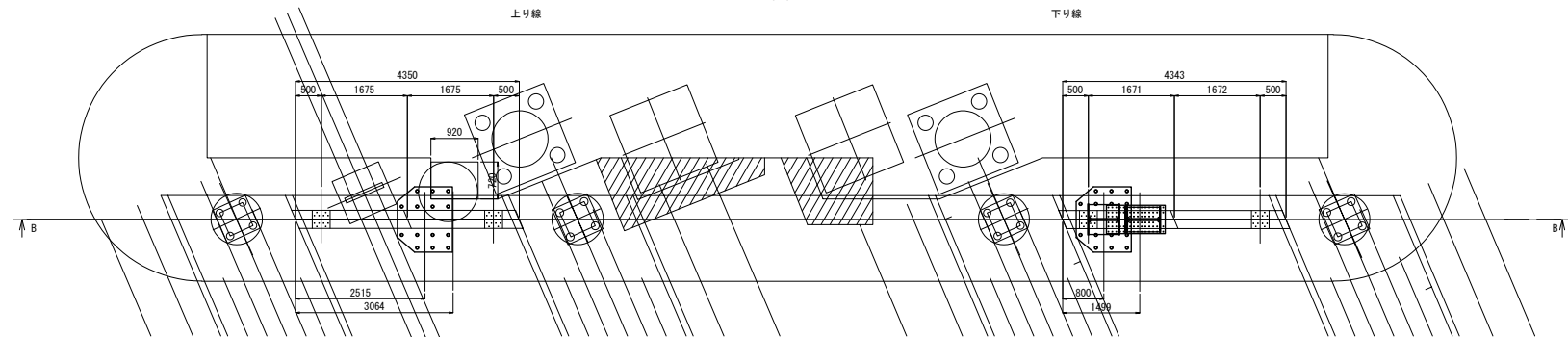
★ は、引張接合用ボルト (TCB+1W) を示す。

横変位拘束構造図(その11)

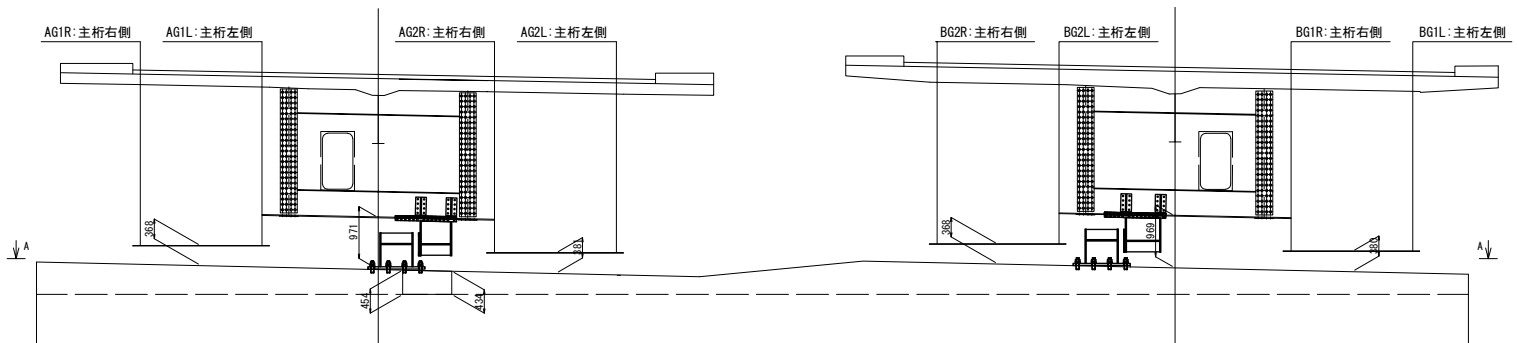
S=1:100

<P3橋脚(終点側)(Type I b)>

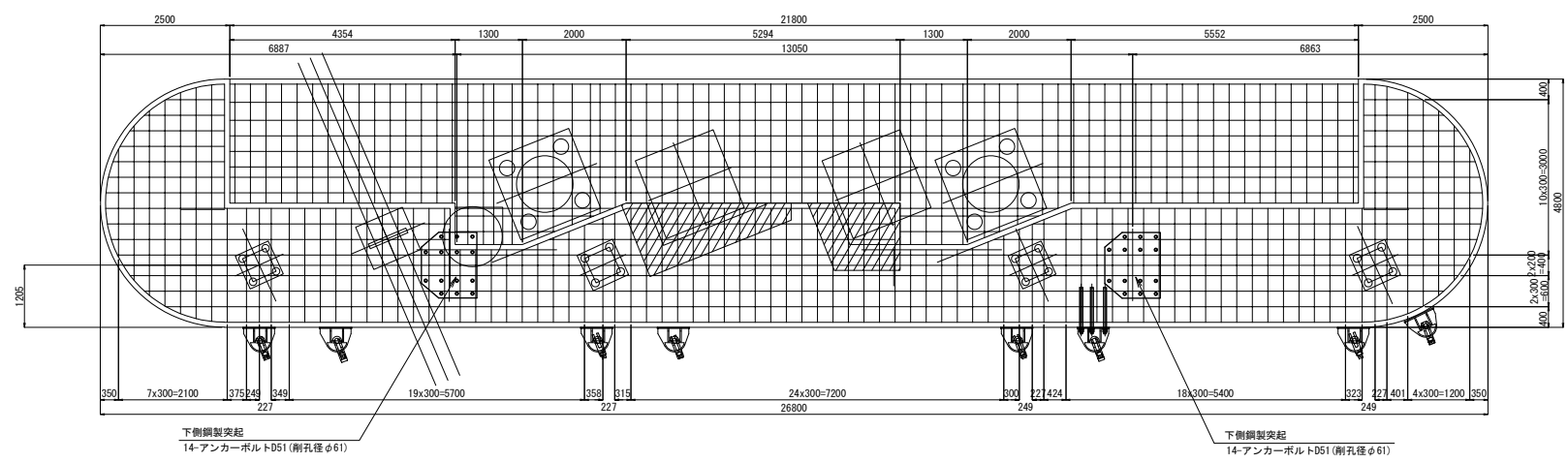
平面図



正面図
B-B



橋座配筋図
A-A



仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その11) <P3橋脚(終点側)(Type I b)>		
縮尺	S=1:100	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

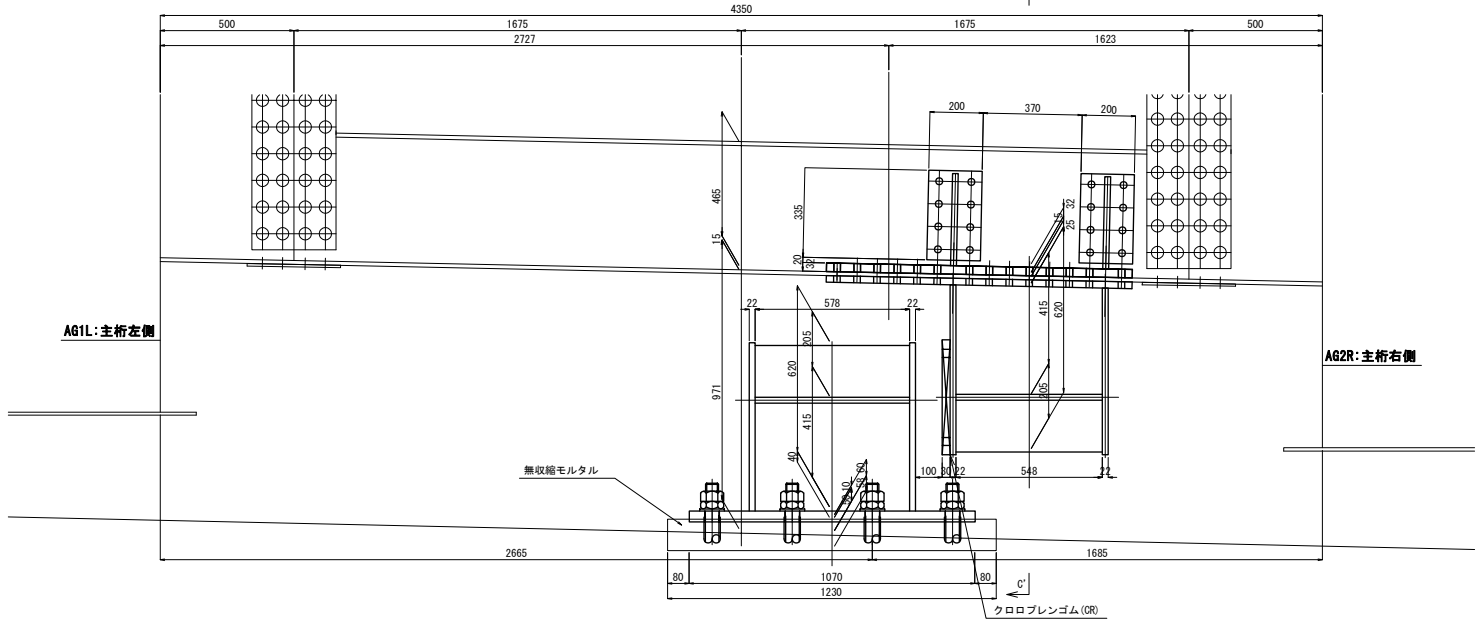
横変位拘束構造図(その12)

<P3橋脚(終点側)(Type I b)>

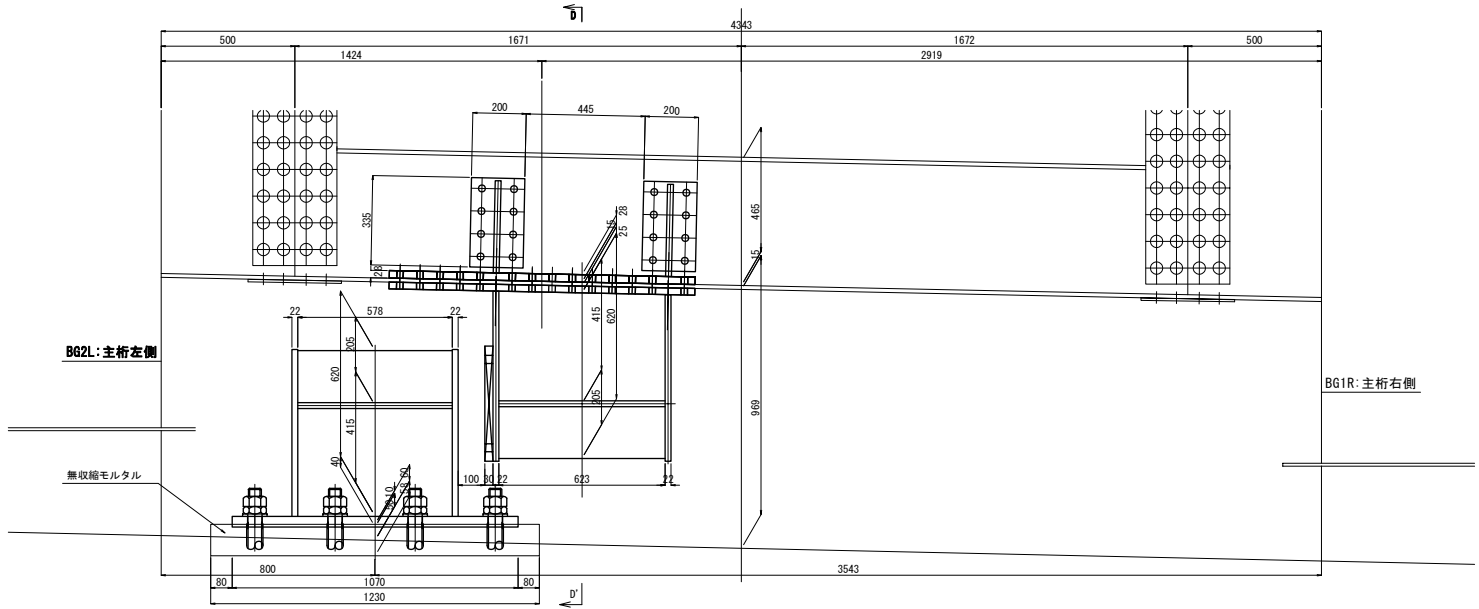
S=1:20

131 / 190

上り線取付図(正面図)

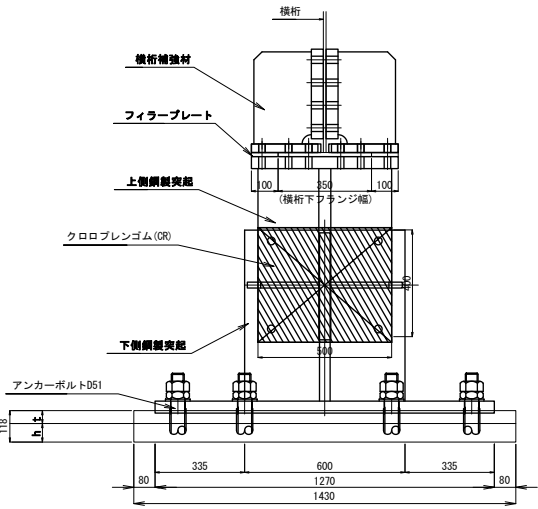


下り線取付図(正面図)

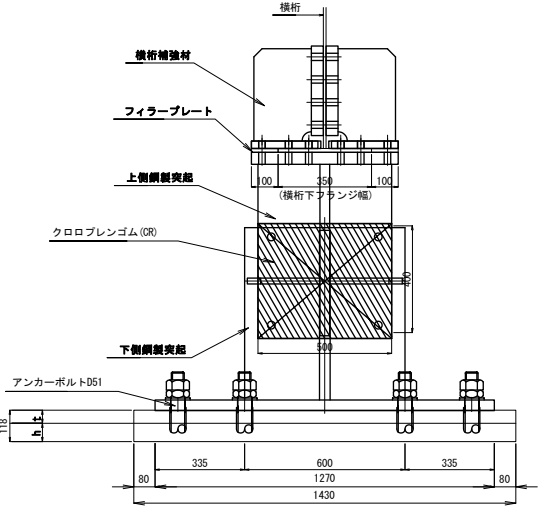


取付図
C-C

S=1:20



D-D

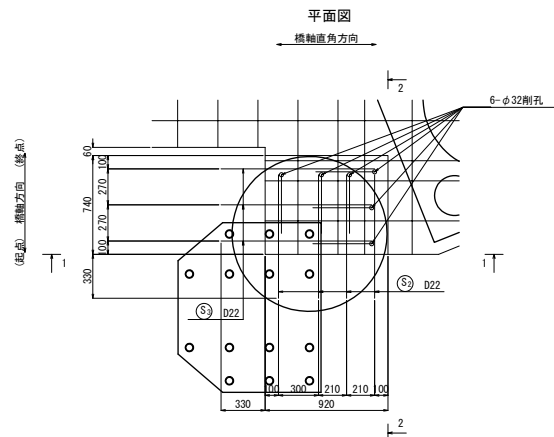


注記)
1. 台座モルタルの寸法等は現地再調査の上、最終決定すること。

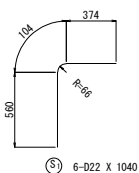
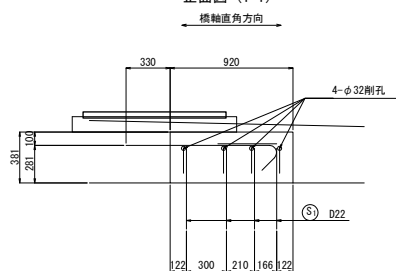
仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その12) <P3橋脚(終点側)(Type I b)>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

コンクリート拡幅詳細図

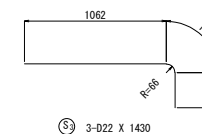
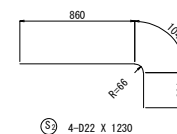
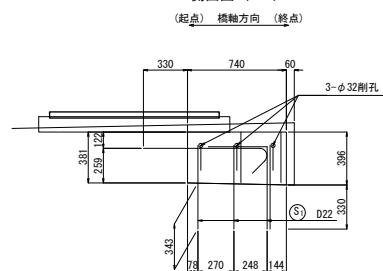
S=1:40



正面图 (1-1)



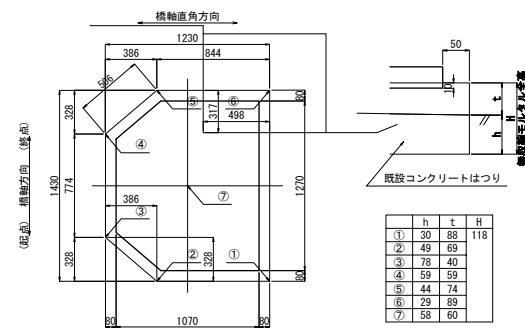
側面図 (2-2)



鉄筋質量表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
S ₁	D22	1040	6	3.04	3.16	19	┌
S ₂	D22	1230	4	3.04	3.74	15	└
S ₃	D22	1430	3	3.04	4.35	13	└
47							
					A	B	
合 計					D22	47 kg	-
総質量						47 kg	-

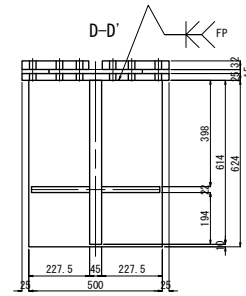
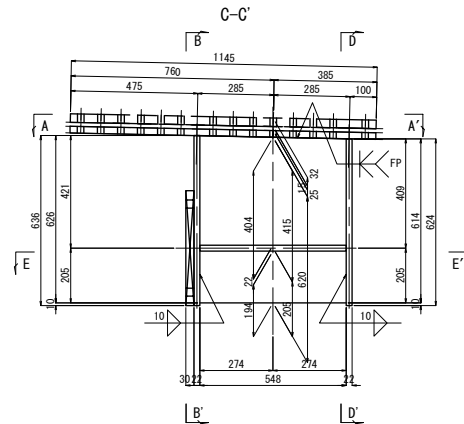
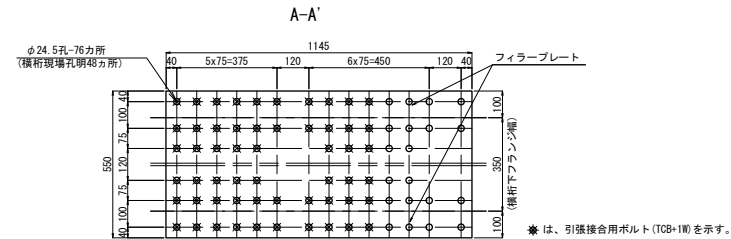
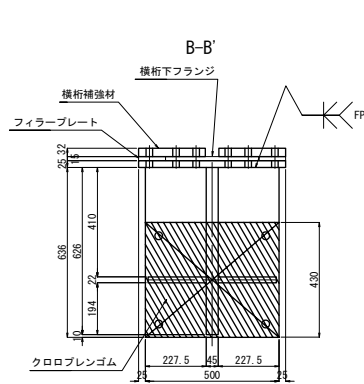
台座モルタル詳細図 S=1:40



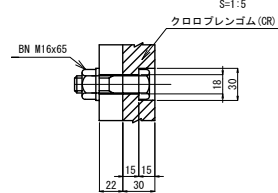
	h	t	H
①	30	88	11
②	49	69	
③	78	40	
④	59	59	
⑤	44	74	
⑥	29	89	
⑦	58	60	

仙台東部道路 新名取川橋耐震補強工事	
図面の種類	横置き拘束構造図 (その13) <P3橋図 (終点側) Type I b>
縮 尺	S=1:40
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所

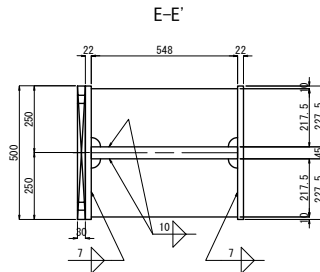
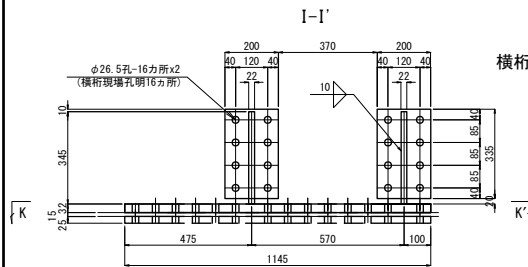
<P3橋脚(終点側)(Type I b)>
鋼製突起詳細図 製作数1基(上り線)



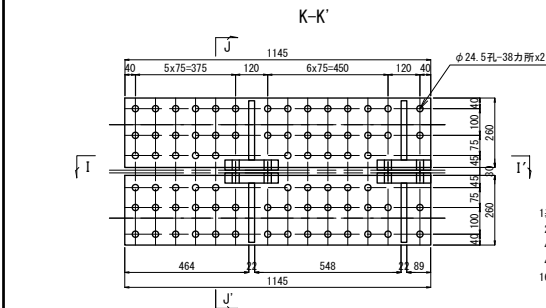
緩衝材止めボルト詳細図



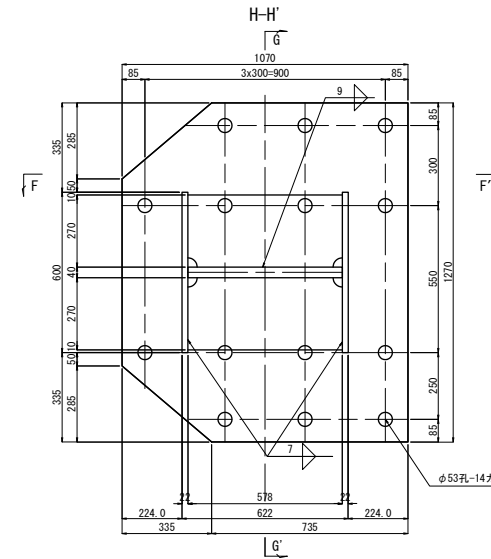
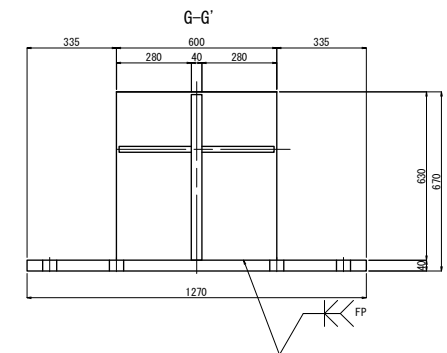
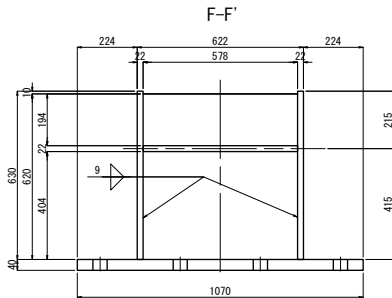
横桁補強材



- 1基当り
1- PL 550×25×1145 (SM490A)
1- PL 500×22×636 (SM490A)
1- PL 500×22×624 (SM490A)
1- PL 548×45×626 (SM490C-H)
2- PL 218×22×548 (SM490A)
56- TCB M22×115 (S10T) (+IW)
20- TCB M22×110 (S10T)
1-クロロレンダム 400x30x500(硬度55° ±5°)
4-BN M16x65 (1-W, HDZ35)

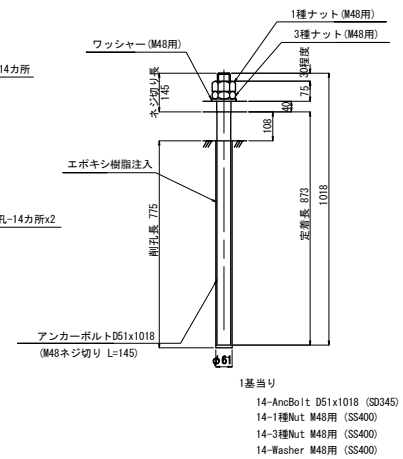


- 1基当り
2- PL 260×32×1145 (SM490B)
4- PL 200×38×335 (SM490B)
4- PL 222×22×345 (SM490A)
16- TCB M24×135 (S10T) (-IW)



- 1基当り
1- PL 1070×40×1270 (SM490B)
2- PL 600×22×630 (SM490A)
1- PL 578×40×620 (SM490B)
2- PL 270×22×578 (SM490A)

下部工用アンカーボルト詳細図



※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

- 注記: 1)鋼材加工及び鋼製突起の取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
2)横変位拘束構造の本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
3)施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、問題がないことを確認すること。
4)特記なきスカーラップは全てR35とすること。
5)鋼材の表面処理は、溶融亜鉛めっき (JIS H 8641) とする。
取付金具類の付着量はHDZ77とし、ボルト、ナットの付着量はHDZ749とする。

仙台東部道路 新名取川橋脚底補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その14) <P3橋脚(終点側)(Type I b)>		
縮尺	S=1:20	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部事務所		
事務所名			

横変位拘束構造図(その15)

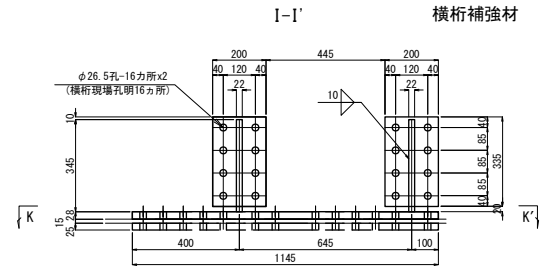
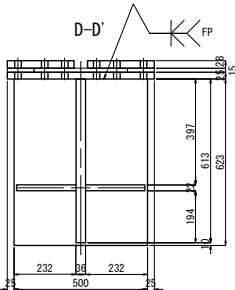
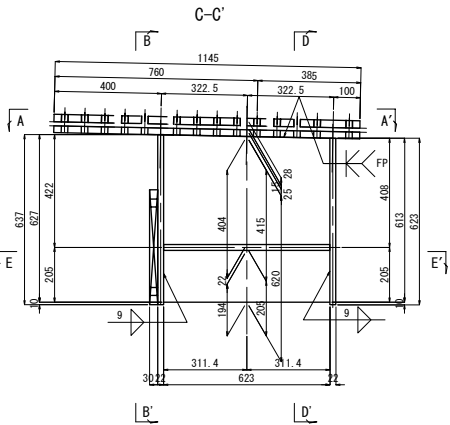
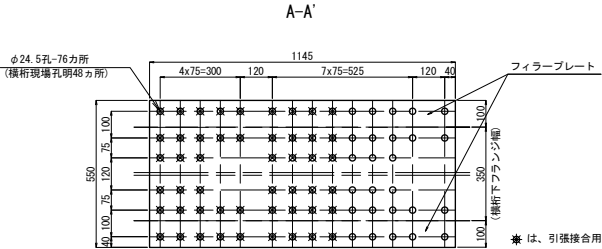
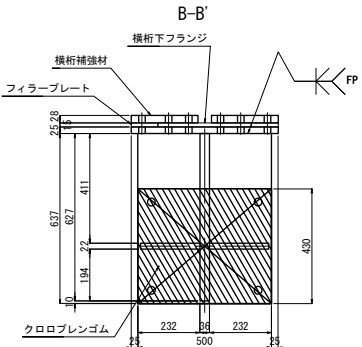
S=1:20

下部工側鋼製突起

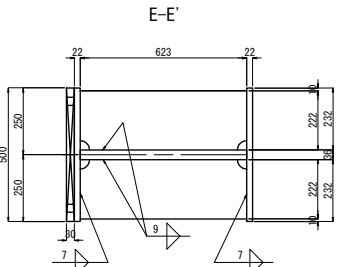
134 / 190

上部工側鋼製突起

<P3橋脚(終点側)(Type I b)>
鋼製突起詳細図 製作数1基(下り線)

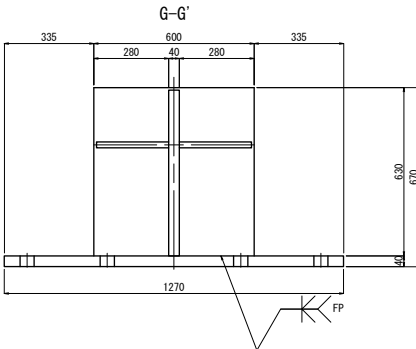
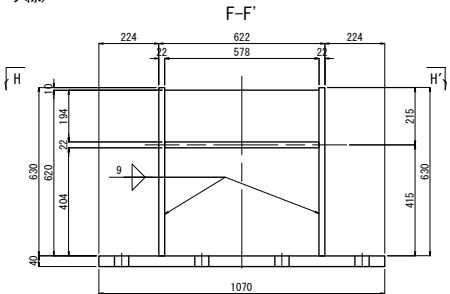
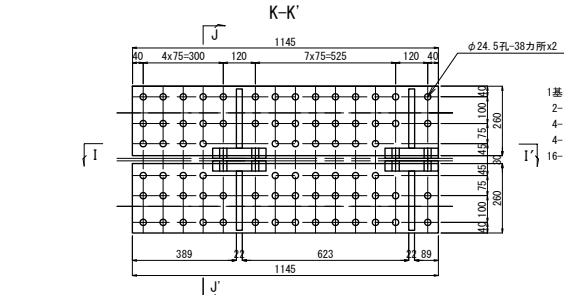
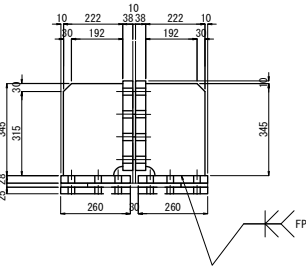


横桁補強材

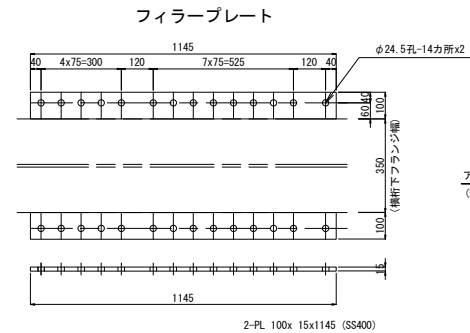
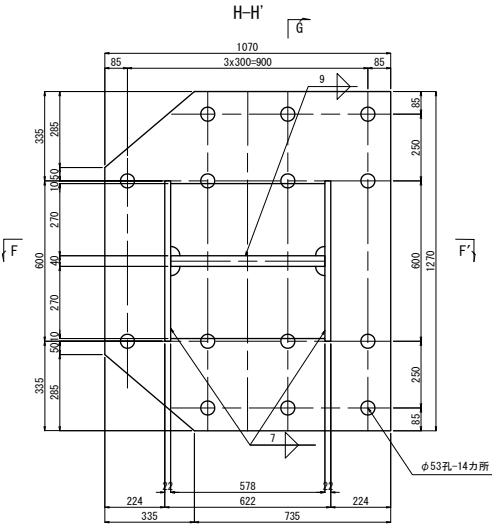


- 1基当り
- 1- PL 550×25×1145 (SM490A)
 - 1- PL 500×22×637 (SM490A)
 - 1- PL 500×22×623 (SM490A)
 - 1- PL 623×36×627 (SM490B)
 - 2- PL 222×22×623 (SM490B)
 - 50- TGB M22×110 (S10T) [+1W]
 - 26- TGB M22×105 (S10T)
 - 1-クロロレンゴム 400x30x500(硬度55° ±5°)
 - 4-BN M16x65 (I-W, HDZ35)

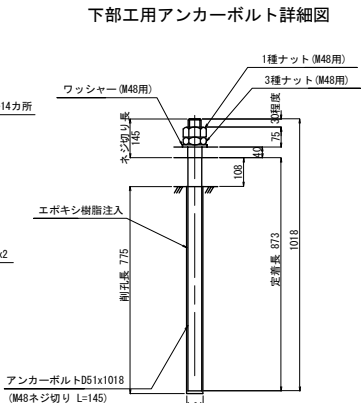
J-J'



- 1基当り
- 1- PL 1070×40×1270 (SM490B)
 - 2- PL 600×22×630 (SM490A)
 - 1- PL 578×40×620 (SM490B)
 - 2- PL 270×22×578 (SM490A)



フィラープレート



下部工用アンカーボルト詳細図

- 1基当り
- 14-Anchor Bolt D51x1018 (SD345)
 - 14-1種Nut M48用 (SS400)
 - 14-3種Nut M48用 (SS400)
 - 14-Washer M48用 (SS400)

※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

- 注記:
- 1) 鋼材加工及び鋼製突起の取付位置等は、現地再調査の上、最終決定すること。
 - 2) 横変位拘束構造の本体形状は、現地再調査の上、最終決定すること。
 - 3) 寸法を変更する場合は必要に応じて本体の応力計算を行うこと。
 - 4) 施工にあたっては事前に鉄筋探索を行い、問題がないことを確認すること。
 - 5) 鋼材の表面処理は、溶融亜鉛めっき (JIS H 8641) とする。
- 取付金具類の付着量はHDZT77とし、ボルト、ナット類の付着量はHDZT49とする。

仙台東部道路 新名取川橋脚耐震補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その15) <P3橋脚(終点側)(Type I b)>		
縮尺	S=1:20	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東部管理事務所		

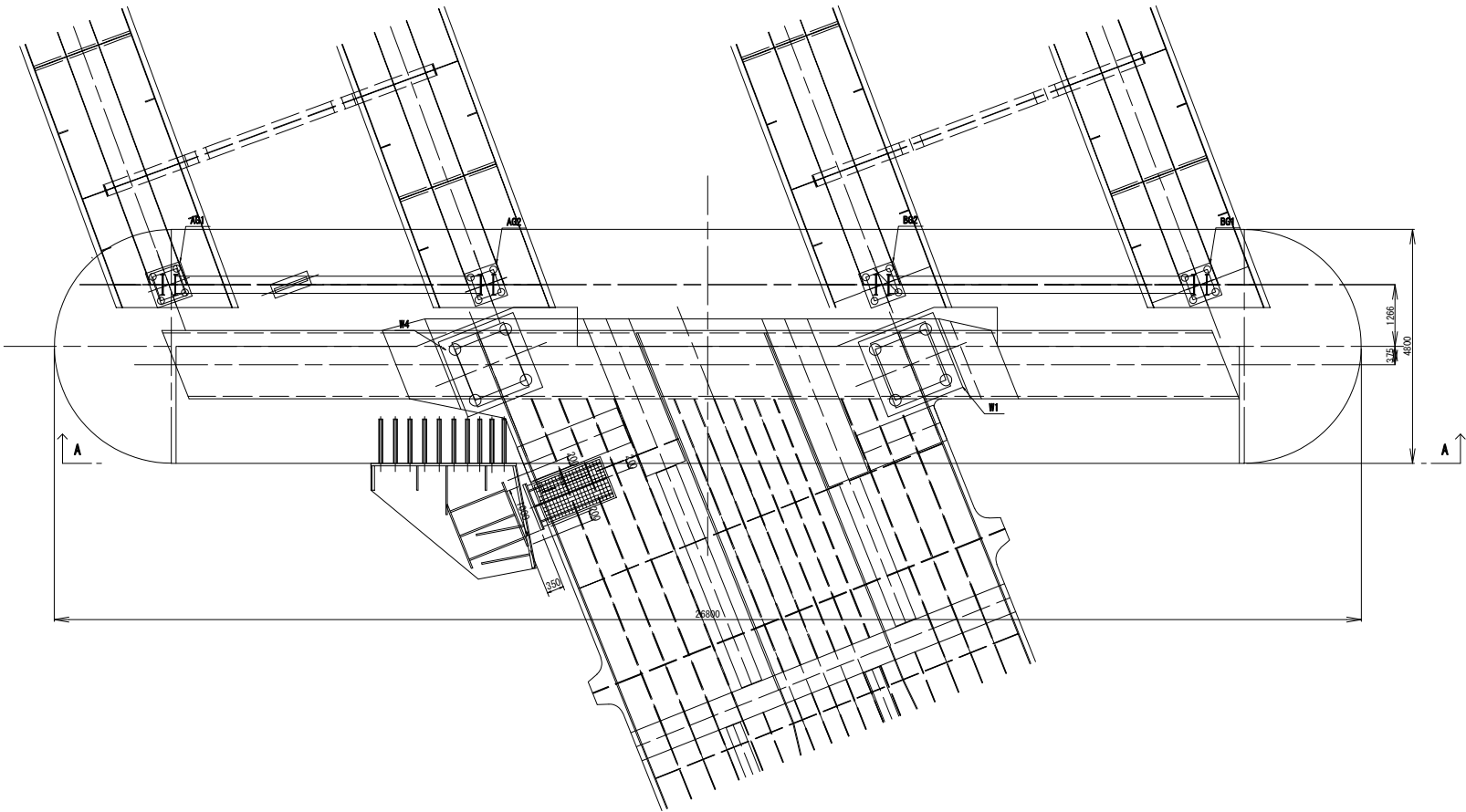
横変位拘束構造図(その16)

1/100

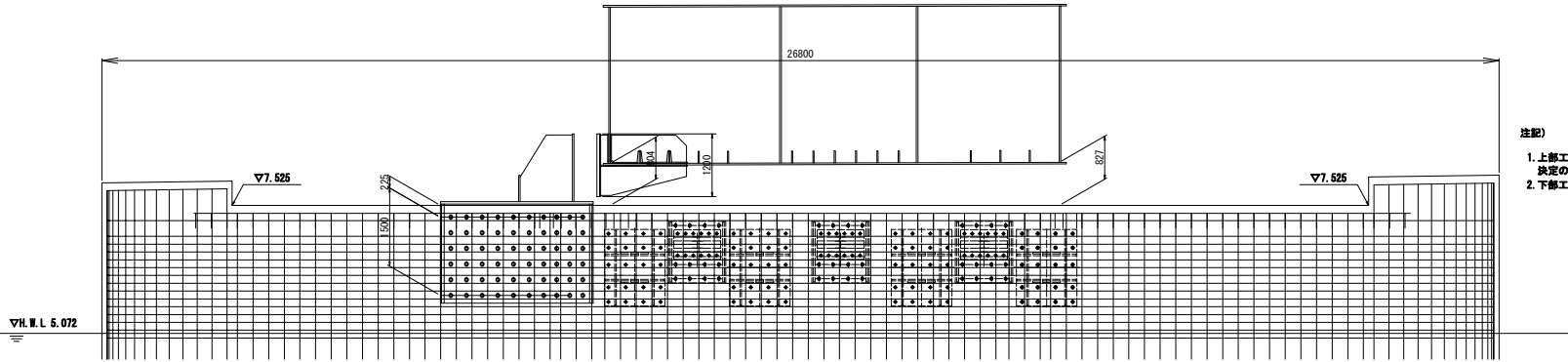
135 / 190

<P2橋脚(終点側) (Type II)>

平面図



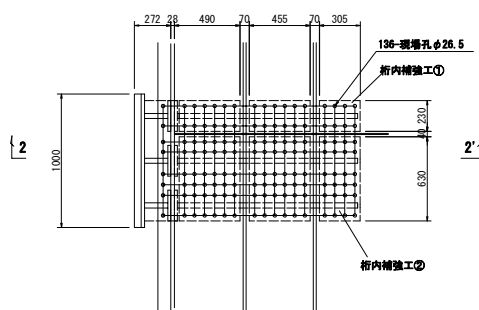
断面図 (A-A)



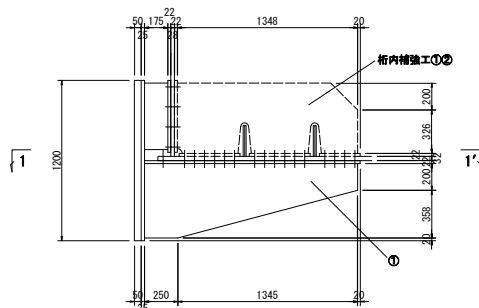
- 注記)
1. 上部エブラケットの設置位置は、下部工前面～ブラケット中心位置を計測の上、決定のこと。
 2. 下部エブラケットの設置位置は、橋座～桁下の高さを計測の上、決定のこと。

仙合東部道路 新名取川橋脚補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その16) <P2橋脚(終点側) (Type II)>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事業所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

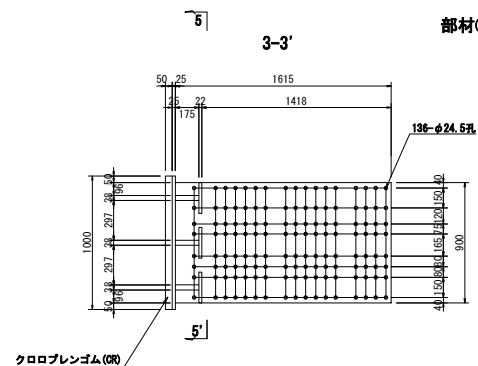
平面图(1-1')



断面图(2-2')



部材①



部材①(製作数:1基)

1-BL 900×22×1615

1-PL 900x22x1615
1-PL 1000x25x1200

2-PI 175x26x499

3-PL 175x38x498
3-PL 220x22x528

3-PL 230x22x538
3-PL 550x20x1505

126-TCB M22x115 (6)

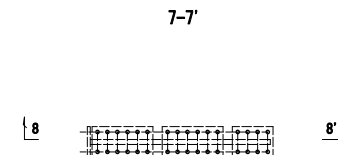
34-TCB M22x110 (S)

24-108 ■ 22x110 (S)

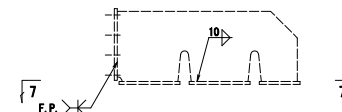
1-PM M16~95(1-PM HD325)

4-BN 116x85 (1-W, H)

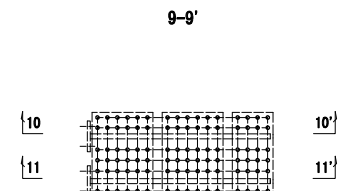
桁内補強部材①



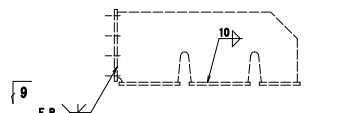
8-8'



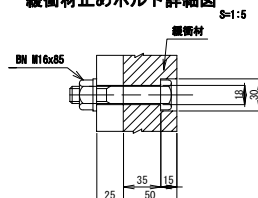
桁内補強部材②



10-10' (11-11')



緩衝材止めボルト詳細図



注配)

1. 特記なき材質は全てS490YBとする。
2. 特記なきスカーラップは全て3GRとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 上部ブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。

仙台東部道路 新名取川橋梁補強工事	
図面の種類	横穴式拘束筋道図(その17) ＜P2欄開(終点側) (Type II)＞
縮 尺	図 示 図面番号
設計会社名	株式会社 片平新日本技研
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台支店管理事務所

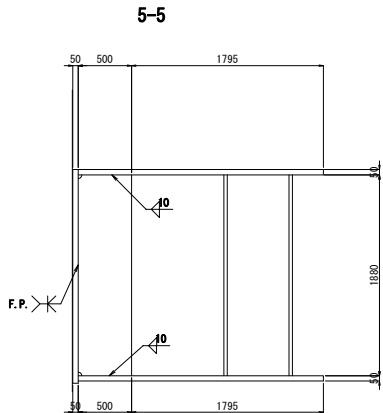
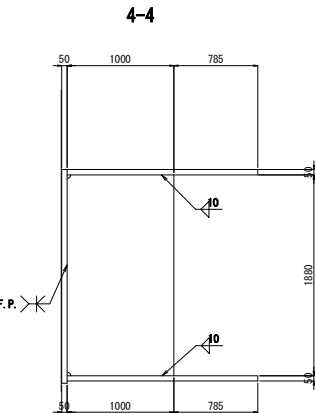
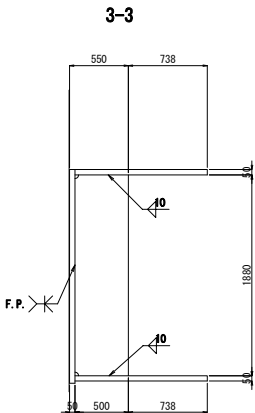
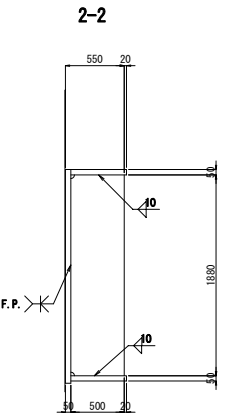
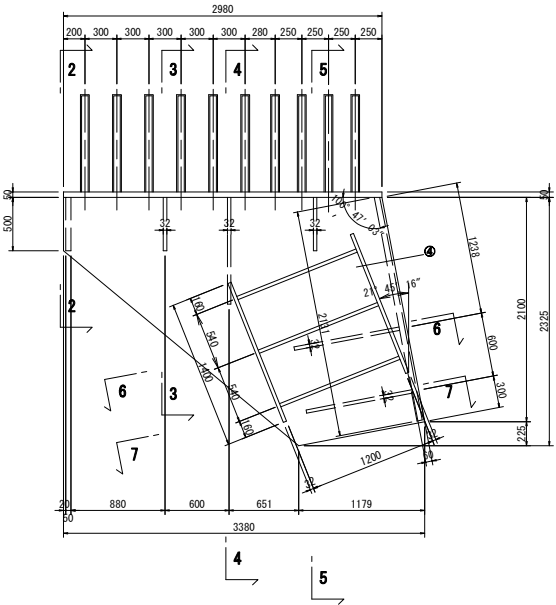
横変位拘束構造図(その18)

<P2橋脚(終点側)(Type II)>

下部工取付部材

S=1:50

137/190



プレート1基当り(製作数:1基)

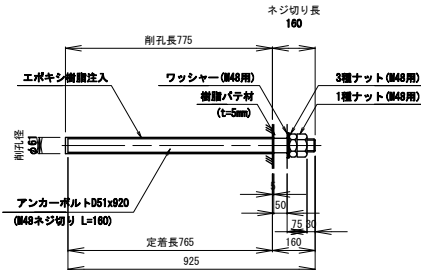
- 1-PL 2980x50x2000
- 2-PL 3380x50x2325
- 1-PL 2131x50x1880
- 1-PL 500x50x1880
- 3-PL 1000x32x1880
- 2-PL 500x32x1880

部材④ 1基当り(製作数:1基)

- 1-PL 500x32x1400
- 3-PL 1227x32x1200
- 1-PL 1297x32x1400

下部工用アンカーボルト詳細図

S=1:20



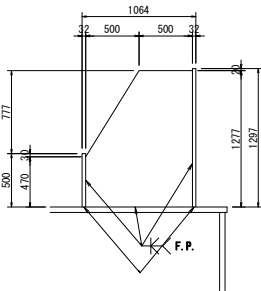
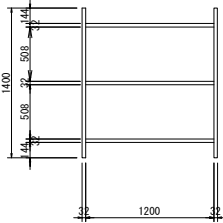
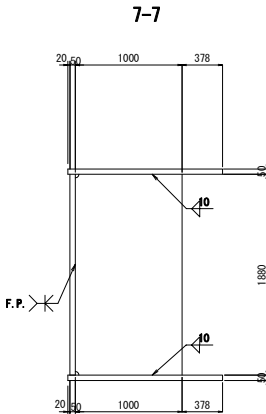
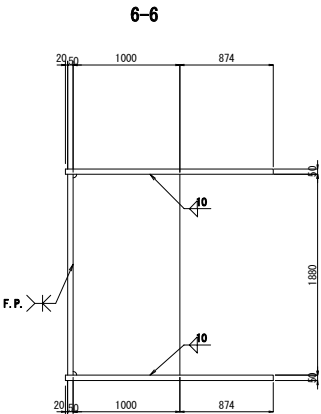
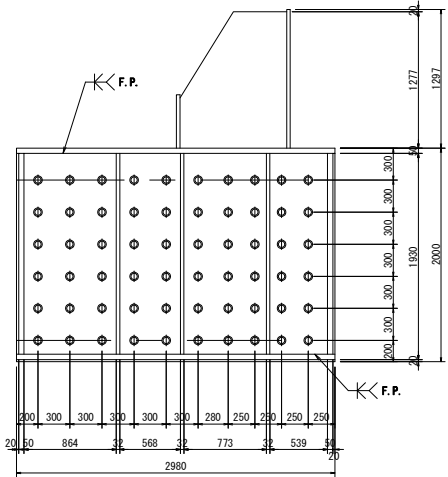
※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

プレート1基当り(製作数:1基)

- 60-AnchBolt D51x925 (S3045)
- 60-1種Nut M48用 (SS400)
- 60-3種Nut M48用 (SS400)
- 60-Washer M48用 (SS400)

注記)

- 特記なき材質は全てS30407Bとする。
- 特記なきスカーフは全て3Rとする。
- 工事製作は現場実測図面によるものとする。
- 下部工プレートの防錆処理は、溶融亜鉛めっき(JISB641)とし、ボルトナット際の付着量はHDZ749としボルトナット頭以外はHDZ777とする。



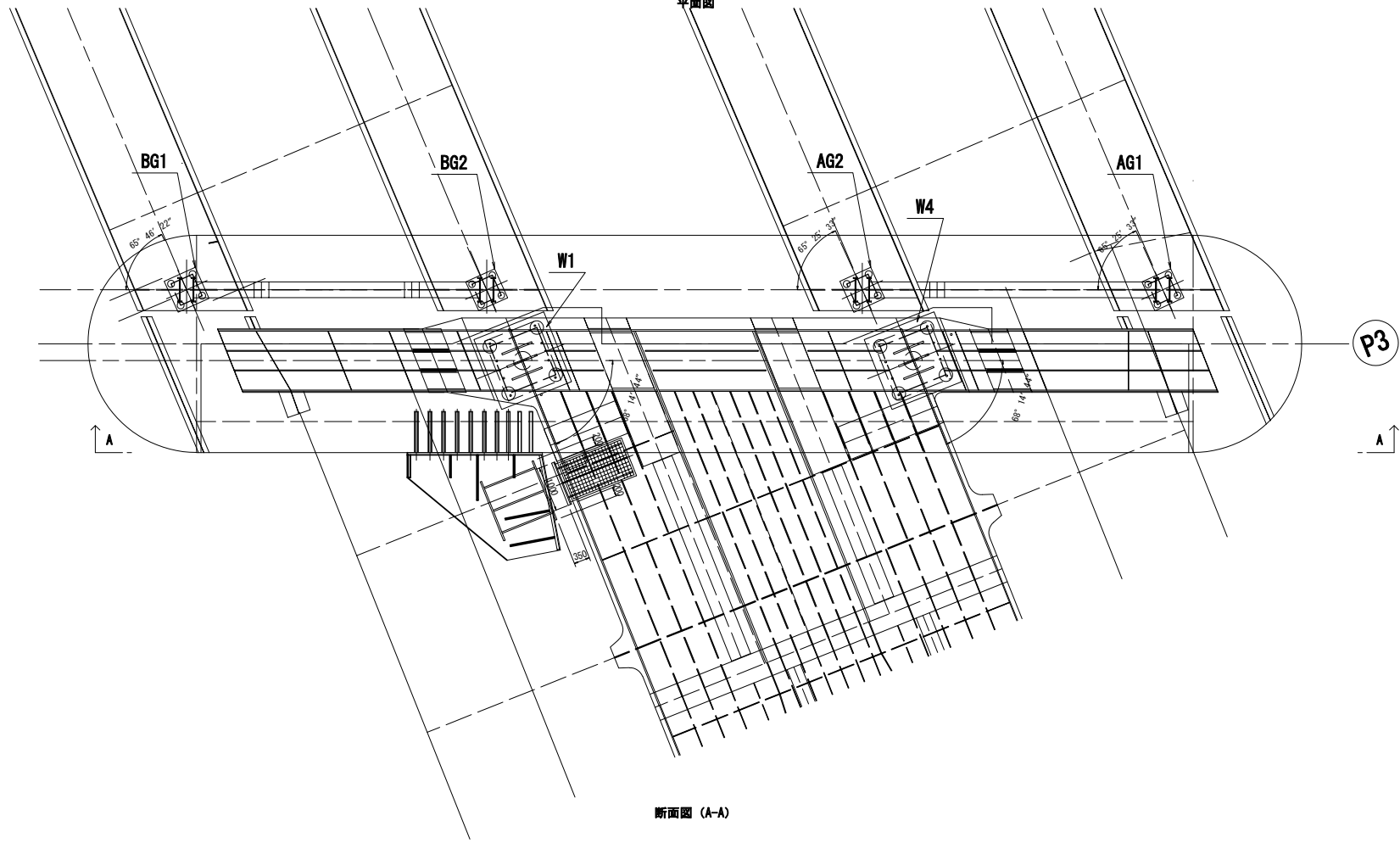
仙台東部道路 新名取川側耐震補強工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その18) ＜P2橋脚(終点側) Type II＞		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

横変位拘束構造図(その19)

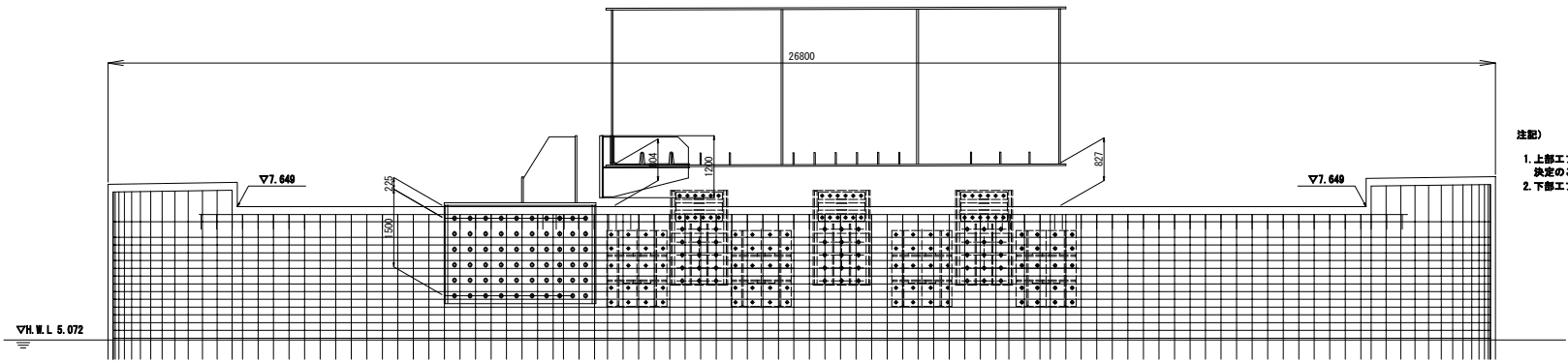
1:100

<P3橋脚(起点側)(Type II)>

平面図



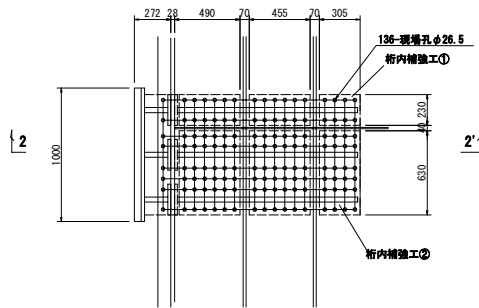
断面図 (A-A)



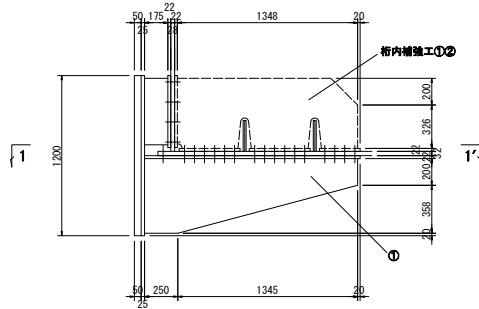
- 注記)
1. 上部工ブラケットの設置位置は、下部工前面～ブラケット中心位置を計測の上、決定のこと。
 2. 下部工ブラケットの設置位置は、橋座～桁下の高さを計測の上、決定のこと。

仙合東部道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その19) <P3橋脚(起点側)(Type II)>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		

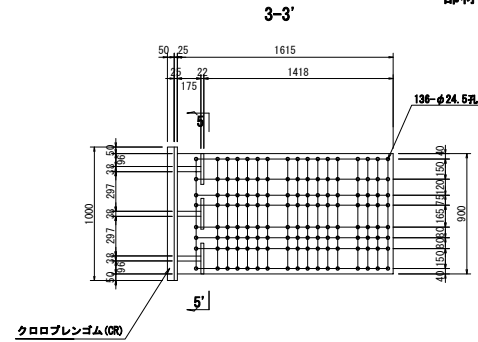
平面图(1-1')



断面图(2-2')



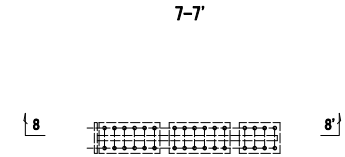
部材①



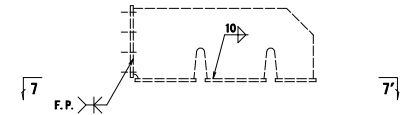
部材①(製作数:1基)

- 1-PL 900x22x1615
 1-PL 1000x25x1200
 3-PL 175x38x498
 3-PL 230x22x538
 3-PL 558x38x1595
 136-TGB 822x115 (S10T)
 24-TGB 822x110 (S10T)
 1-ククロロブレングム 1000x50x1200 (硬度55° ±5°)
 4-BN M16x85 (1-#H, H235)

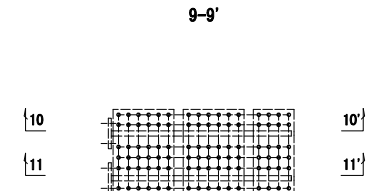
桁内補強部材①



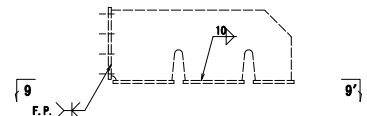
8-8'



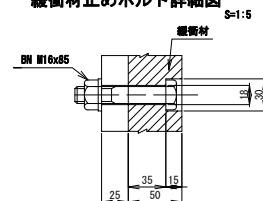
桁内補強部材②



10-10' (11-11')



緩衝材止めボルト詳細図



注記)

1. 特記なき材質は全てS45Cとする。
2. 特記なきスカラーは全て35Rとする。
3. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
4. 上部エブラケットは主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとする。

仙台東部道路 新米取川橋新設補強工事			
図面の種類	横穴洩水筒構造図(その20) <P3橋脚(起点側) Type II>		
縮 尺	図 示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技研		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管理事務所		

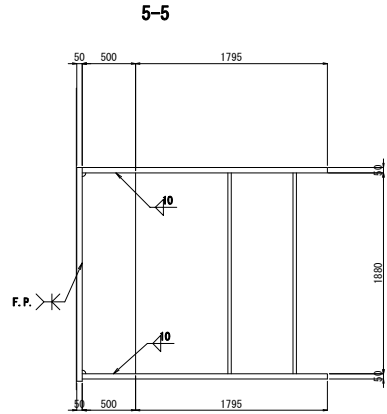
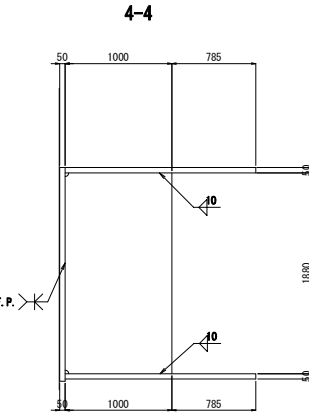
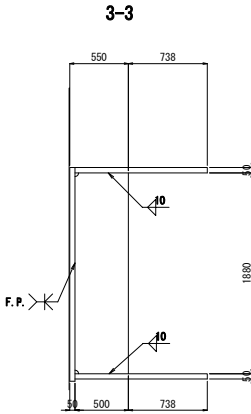
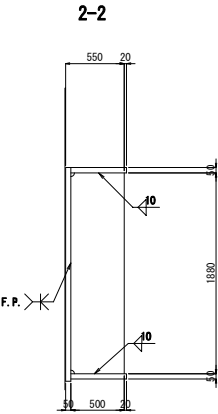
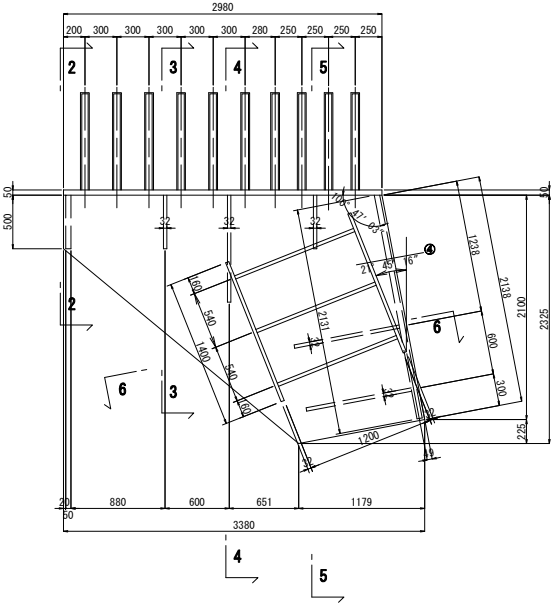
横変位拘束構造図(その21)

<P3橋脚(起点側)(Type II)>

下部工取付部材

S=1:50

140/190



プレート1基当り(製作数:1基)

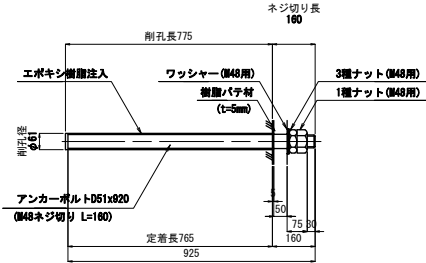
- 1-PL 2980x50x2000
- 2-PL 3380x50x2325
- 1-PL 2131x50x1880
- 1-PL 500x50x1880
- 3-PL 1000x32x1880
- 2-PL 500x32x1880

部材④ 1基当り(製作数:1基)

- 1-PL 500x32x1400
- 3-PL 1227x32x1200
- 1-PL 1297x32x1400

下部工用アンカーボルト詳細図

S=1:20



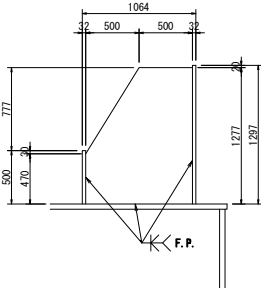
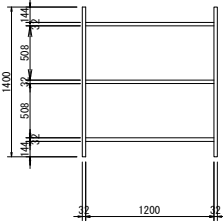
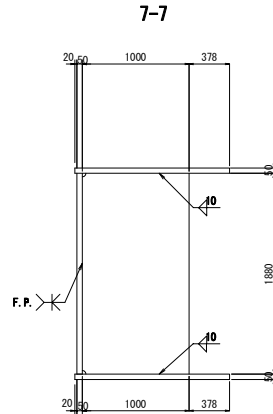
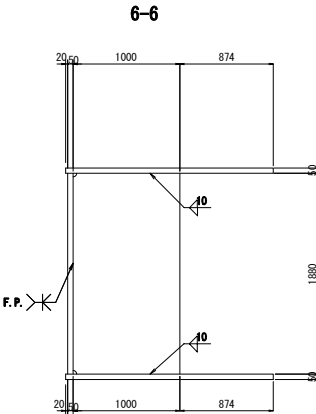
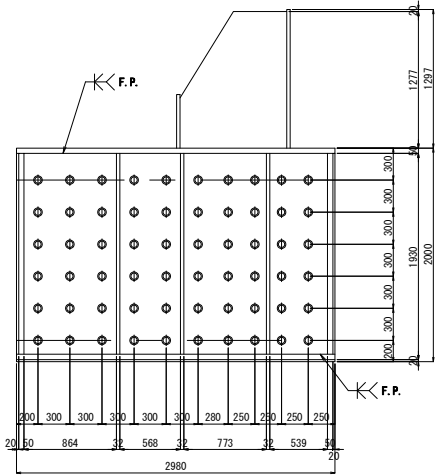
※アンカーボルトはネジ切り部のみ溶融亜鉛めっきを施すものとする。

プレート1基当り

- 60-AnchBolt D51x925 (SS400)
- 60-1種Nut M48用 (SS400)
- 60-3種Nut M48用 (SS400)
- 60-Washer M48用 (SS400)

注記)

- 特記なき材質は全てSS400Bとする。
- 特記なきスカーラップは全て3Rとする。
- 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
- 下部工プレートの防錆処理は、溶融亜鉛めっき(JISB641)とし、ボルトナット類の付着量はHDZT49としボルトナット類以外はHDZT77とする。



仙台支那道路 新名取川橋脚復旧工事			
図面の種類	横変位拘束構造図(その21) <P3橋脚(起点側)(Type II)>		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	株式会社 片平新日本技術		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 東北支社 仙台東管区事務所		